

取扱説明書 ブルーレイディスクレコーダー

品番 DMR-BRZ2000
DMR-BRZ1000



安全上のご注意

ご使用前に必ずお読みください。
(10~14ページ)

接続と設定を行う

お買い上げ時は、16ページ
詳しい接続・設定は、202ページ



視聴 ▶

録画 ▶

再生・編集 ▶

ダビング ▶

スカパー! プレミアムサービス ▶

CATV ▶

他機器からダビング ▶
(ビエラ・ディーガなど)

ビデオカメラ ▶

写真・音楽 ▶

便利機能 ▶

必要なとき ▶

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書別添付

「操作」についての

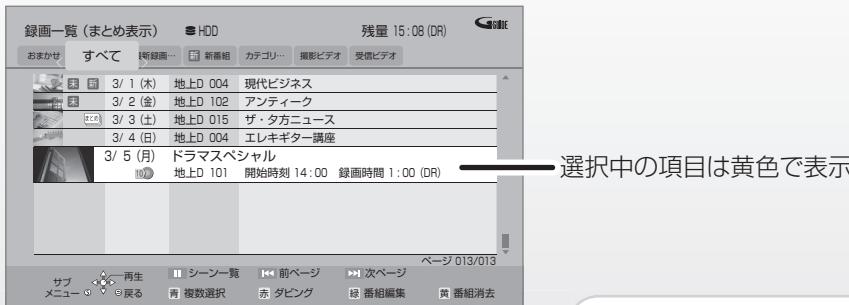
本書以外にも、目的別に以下のガイドで本機の操作をご案内しています。

1 機器操作は

表示中の画面で確認

画面上で、機能説明や操作できるボタンの表示、さらには補足説明などを確認できます。

例)操作できるボタンの表示



例えば、黄ボタンを押すと番組の消去ができます

基本的な操作は、リモコンの
[▲] [▼] [◀] [▶] と [決定] を使います。



前の画面に戻る

補足説明



マークが付いた画面が表示されたとき

ボタンを押すと、

操作に対する補足説明が確認できます。

2 困ったときは

操作ガイド

困ったときの解決方法や、調べたい用語を確認できます。

スタート を押して、[▲][▼][◀][▶] で「操作ガイド」を
選び、決定 を押してください。



ご案内

本書では、本機の接続や設定、操作方法を説明しています。

3 音声で案内

音声ガイド

機器の操作を音声や操作音で確認できます。

- ご使用になる場合は、初期設定「音声ガイド機能」を「入」に設定してください。(→177)



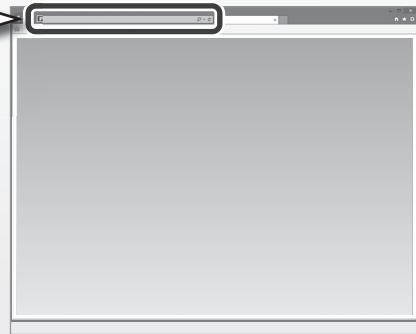
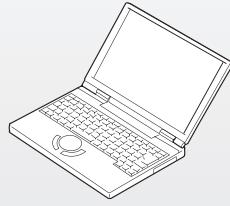
予約確認 ボタンを3秒以上押すと、設定画面を直接表示することができます。

4 連携機器情報などの詳しい情報は

当社ホームページ

お持ちのパソコンからご覧ください。(本機からホームページをご覧になることはできません)

ブラウザのアドレスバーに
diga.jp と入力



本機を使用していただくための、サポート情報を掲載しています。

- 接続機器に合わせた“接続方法”や“基本の使い方”がわかる「使い方ナビゲーション」「つなぎ方ナビゲーション」
- 連携できる機器品番情報を確認できる「動作確認情報一覧」
- 困ったときや、用語を調べたいときの「よくあるご質問」など

例えば…

使い方ナビゲーション



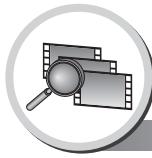
例えば…

動作確認情報一覧



ホームページの内容は、変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

本機の「特長」



番組探しが便利!

セレクトバー

番組を視聴しながら見たい番組を探せます。

▶ 39 ページ



思い出をもっと楽しむ

見る/残す

▶ 74、119、125、129 ページ

撮影した動画・写真の再生や取り込みをします。

おまかせクリップ

動くアルバム

▶ 135、138 ページ

動画・写真からアルバム動画などを作成します。

お好みの番組を自動で録画



おまかせ録画

▶ 54 ページ

人名やカテゴリーなどの検索条件を設定すると、
その条件に合った番組を自動で予約録画します。

番組をどこでも視聴

外からどこでもスマホで視聴

▶ 189 ページ

録画した番組や放送中の番組をスマートフォンで
見ることができます。

番組持ち出し

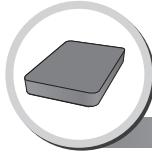
▶ 141 ページ

番組を携帯電話などのモバイル機器に持ち出します。



録画可能時間を拡大

テレビのリモコンで操作



USBハードディスク

▶ 194 ページ

別売のUSBハードディスク(以降、USB-HDDと表示)
の録画に対応しています。

ビエラリンク(HDMI)

▶ 146 ページ

HDMI CECを利用して、接続したテレビのリモコンで
本機を操作できます。



高画質で楽しむ

4Kダイレクトクロマアップコンバート

▶ 88、183 ページ

(24p/30p出力)

マスタークレードビデオコーディング

▶ 85 ページ

24p/30p(4K)出力、マスタークレードビデオコーディング
の機能を使って、プレミアム高画質で再生できます。
(4Kはアップコンバート出力対応です)



ネットワークにつないで楽しむ

ネットワークに接続すると、いろいろな機能を利用することができます。

スカパー！プレミアム
サービス Link（録画）

お部屋ジャンプリンク
(DLNA)

ネットワークを
使ってダビング

お引越しダビング

▶ 110 ページ

▶ 154 ページ

▶ 116 ページ

▶ 116 ページ

ネットワークに接続して利用できるその他の機能については、213ページをご覧ください。

ディモーラ/ミモーラ

▶ 36, 189, 225 ページ

ディモーラやミモーラに会員登録すると、さらに便利な機能がご利用いただけます。

外からどこでもスマホで視聴

外出先から、番組の視聴や
録画予約などができます。

詳しくは、下記ホームページを
ご覧ください。

http://panasonic.jp/support/av/m_access/



シーン再生

ディモーラから
のおすすめ

ニューストピックス など

ディモーラやミモーラのサービスの詳細については、下記ホームページをご覧ください。

パナソニック株式会社 テレビ番組情報ウェブサービス

ディモーラ : <http://dimora.jp/>

ミモーラ : <http://me-mora.jp/>



パナソニックスマートアプリについて

パナソニック商品を、スマートフォンで楽しく快適に使うための統合アプリです。

- ・機器操作、ディモーラ/ミモーラのサービスなども簡単に使えます。

パナソニックスマートアプリのダウンロード方法や使い方はこちら
<http://panasonic.jp/pss/ap/>



目次

ご使用になる前に.....	15
接続と設定を行ってください	16
•付属品	16

接続と設定について詳しくは、以下をご覧ください。	
詳しい接続と設定.....	202

接続

B-CAS（ビーキャス）カードを 挿入する.....	203
テレビやアンテナと接続する	204
ビデオと接続する.....	210
アンプと接続する.....	211
•HDMI 端子で接続する	211
•デジタル音声端子で接続する	212
ネットワーク接続をする	213
•各機器と直接接続する	214
•ハブまたはブロードバンドルーターを 使って各機器と接続する	215
電源コードを接続する	218

設定

かんたん設置設定をする	219
リモコンのテレビ操作設定をする.....	221
かんたんネットワーク設定をする.....	223
•こんな画面が表示された場合	224

各部の働き	23
•本体前面.....	23
•本体表示窓.....	23
•本体背面.....	24
•リモコン	25
ディスク・SD カードを入れる	26
•ディスク	26
•SD カード.....	26
本書内のマーク表示について	27
記録できるディスクについて	28
•どのディスクを選べば良いかわからない.....	30
•記録したディスクを他の機器で 再生するには？	31
操作の前に	32
•本機の映像をテレビに映す	32
•本機の電源を切る	32
•節電待機で電源を切る.....	32
•画面上の基本操作について	33
スタート画面について	34
•スタート画面で表示できる機能	35
•お好みの表示に変更する	37
•かんたん番組表、かんたん録画一覧を 表示する	38
セレクトバーについて	39

「安全上のご注意」を必ずお読みください(→10~14ページ)

□ 視聴

テレビ放送を見る	40
●データ放送を見る	40
●その他の選局方法	40
●番組視聴中の便利な機能	41

⌚ 録画

放送中の番組を録画する	43
●録画中のいろいろな操作	44
番組表の見方	45
番組表 (G ガイド) を使って	
予約録画する	46
●番組表の表示設定	48
●詳細設定をする	50
●番組表での予約の取り消し / 修正	51
●録画中の予約録画を止める	51
●注目番組一覧から予約録画する	52
日時を指定して予約録画する	
(時間指定予約)	53
自動予約機能を使う	54
●おまかせ録画する	54
●おまかせ録画した番組を再生する	57
●関連する番組を自動で予約録画する (カテゴリーまとめて予約)	58
●自動予約の確認、修正、登録の取り消し	59
●新番組を自動で予約録画する	60
●ニュース番組を自動で予約録画する	61
検索機能を使う	62
●ジャンルや人名、ワードで検索する	62
●選択した番組から検索する	63
予約内容の確認、取り消し、修正など	64
予約録画の便利な機能	65
予約録画に関するお知らせ	66
多重音声の記録について	68
録画モードについて	69
番組の同時録画について	71
記録の制限について	72

▣ 再生・編集

再生する	73
●録画した番組を再生する	73
●市販またはレンタルの BD ビデオや DVD ビデオを再生する	73
●撮影ビデオ (AVCHD、MP4) を再生する	74
●HDD に取り込んだ撮影ビデオを再生する	75
●他の機器で作成したプレイリストの再生	75
●録画一覧について	76
●まとめ 番組について	80
●再生中のいろいろな操作	81
●3D 映像を楽しむ	84
●BD-Live 対応の BD ビデオや 副映像のある BD ビデオを楽しむには	85
●マスターグレードビデオコーディング 対応のディスクを楽しむ	85
●音声や字幕などの設定をする (再生設定)	86
番組を検索する	90
●似たものおすすめを使って番組を探す	92
番組を編集する	93
チャプターの作成・再生・編集	97
●チャプターマークを作成する / 削除する	97
●チャプターを再生・編集する	98
番組を消去する	99
 ダビング	
番組のダビングについて	100
番組をダビングする	102
●かんたんダビング	102
●詳細ダビング	104
●ファイナライズ後のディスク (DVD ビデオ) をダビングする	106
●複数の音声や字幕情報の番組を DVD 画質でディスクにダビングする	108
ダビング時の動作について	109

(→ 次ページに続く)

目次 (続き)

⌚ スカパー！プレミアムサービス

スカパー！プレミアムサービス対応	
チューナーから録画する	110

CA TV CATV

CATV（ケーブルテレビ）から録画する	111
●ネットワークを使って予約する	112
●見ている番組を録画する	113
●i.LINK を使って予約する	113
●Ir システムを使ってタイマー予約する	114
●外部入力から時間指定予約する	114

⌚ 他機器からダビング

ビエラなどからダビングする	115
●ネットワークを使ってダビングする	116
●お引越しダビング	116
●i.LINK (TS) を使ってダビングする	118
●外部入力を使ってダビングする	118

🎥 ビデオカメラ

ビデオカメラから取り込む	119
●撮影ビデオ (AVCHD、MP4) を取り込む	120
●接続した機器を再生して取り込む	124
●ネットワークを使って取り込む (ダビング)	124

📸 写真・音楽

写真を再生する	125
●おもいで再生をする	127
●写真再生のいろいろな機能	127
写真を整理する	128
写真を取り込む / 書き出す	129
●写真を取り込む	129
●写真を書き出す	130
音楽 CD を再生する	131
●音楽再生中のいろいろな操作	131

💡 便利機能

写真や動画をネット送受信する	132
●ディーガなどの対応機器へ送信する	132
●ディーガなどの対応機器から受信する	134
●送受信の設定を確認・変更する	134
おまかせクリップを楽しむ	135
●おまかせクリップを作成する	135
●おまかせクリップを再生・消去・ダビングする	136
●おまかせクリップの設定	137
動くアルバムを楽しむ	138
●動くアルバムを作成する	138
●動くアルバムを再生・消去・ダビングする	140
録画した番組をモバイル機器に持ち出す	141
●持ち出し番組を作成する	142
●ネットワーク経由で持ち出す (転送)	143
●SD/USB 経由で持ち出す (転送)	143
●転送した番組を確認・消去する	145
ビエラリンク (HDMI) を使う	146
インターネットを楽しむ	149
●acTVila (アクティビラ) を利用する	149
●動画共有サイトなどのサービスを利用する	151
ドアホンやセンサーから録画された映像を再生する	152
●録画された映像を再生する	152
●録画された映像を編集する	153
お部屋ジャンプリンク (DLNA) を使う	154
●別室のテレビなどで見る (本機をサーバーとして使用する)	154
●別室の機器の映像を見る (本機をクライアントとして使用する)	155
●Wi-Fi Direct® を利用してお部屋ジャンプリンク (DLNA) を使う	156

「安全上のご注意」を必ずお読みください(→10~14ページ)

マイメニューについて	157
●マイメニューを設定する	157
●マイメニューを使う	158
ファイル共有機能を使う	159
●パソコンから本機にデータを保存する	160
●保存した動画ファイル(MP4)や写真を本機で再生する	160
●保存した動画ファイル(MP4)や写真を録画一覧や写真一覧に取り込む	161
自宅にあるパソコンで操作する	162

？ 必要なとき

本機で記録できるようにする (フォーマット)	163
ディスク名入力 / ディスクプロテクト / 全番組消去	165
ファイナライズ	166
文字入力	167
●カーソルキー方式で文字入力する	167
●リモコンボタン方式で文字入力する	168
いろいろな情報を見る(メール / 情報)	170
放送設定を変える(放送設定)	171
●アンテナレベルを確認する	173
●受信アンテナ設定をする	173
●受信チャンネルを修正する	175
本機の設定を変える(初期設定)	177
●リモコン設定をする	187
●ネットワーク連携する機器の設定をする	188
ソフトウェアの更新について	191
再生のみできるディスク / 使えないディスクについて	192
●再生のみできるディスク	192
●本機で使えないディスク	192
SDカードについて	193
別売のUSBハードディスク(USB-HDD) について	194
●推奨USB-HDDについて	194
●接続する	194
●取り外しについて	195
●録画用フォーマットで使用する	195
●SeeQVaultフォーマットで使用する	196

USB機器について	197
●接続できるUSB機器について	197
●USB機器を接続する	197
●取り外しについて	197
取り扱いについて	198
受信できるテレビ放送について	201
同時操作について	228
●録画 / 予約録画中の同時操作	228
●ダビング中の同時操作	229
●本機を操作中のお部屋ジャンプリンク(DLNA)の同時操作	229
こんな表示が出たら	230
故障かな!?	232
仕様	236
著作権など	242
保証とアフターサービス (よくお読みください)	244
さくいん	246



安全上のご注意（必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



気をつけていただく内容です。

⚠ 警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する



電源プラグ
を抜く

異常があったときには、電源プラグを抜く

- ・煙が出たり、異常ににおいや音がする
 - ・映像や音声が出ないことがある
 - ・内部に水や異物が入った
 - ・電源プラグが異常に熱い
 - ・本体に変形や破損した部分がある
- そのまま使うと火災・感電の原因になります。
- ・電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

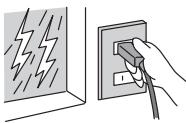


プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- ・電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

⚠ 警告

雷が鳴ったら、本機や電源プラグ、アンテナ線に触れない



感電の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- ・傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

電源コード・プラグを破損するようなことはしない
(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど)



傷んだまま使用すると、感電や、ショートによる火災の原因になります。

- ・コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない



感電の原因になります。

ぬれ手禁止

メモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない



誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- ・万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

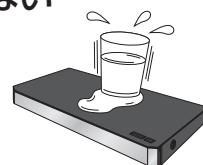
分解、改造をしない



内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

分解禁止

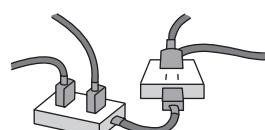
内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない



ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。

- ・機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- ・特にお子様にはご注意ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V以外での使用はしない



たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

本機のイラスト(姿図)は、イメージイラストであり、ご購入のものとは形状が多少異なる場合がありますがご了承ください。

⚠ 警告

電池は誤った使いかたをしない



- 指定以外の電池を使わない
- 乾電池は充電しない
- 加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない
- \oplus と \ominus を針金などで接続しない
- 金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない
- \oplus と \ominus を逆に入れない
- 新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない
- 被覆のはがれた電池は使わない

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。

• 電池には安全のため被覆をかぶせています。これをはがすとショートによる火災の原因になりますので、絶対にはがさないでください。

電池の液がもれたときは、素手でさわらない



- 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す



そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

心臓ペースメーカーを装着している方は本機を装着部から22cm以上離す



無線LANからの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない



無線LANからの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあります。誤動作による事故の原因になります。

病院内や医療用電気機器のある場所で使用しない



無線LANからの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあります。誤動作による事故の原因になります。

⚠ 注意

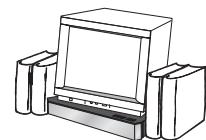
異常に温度が高くなるところに置かない



温度が高くなりすぎると、火災の原因になることがあります。

- ・直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。
- ・また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。

放熱を妨げない



内部に熱がこもると、火災の原因になることがあります。

- ・後面の内部冷却用ファンや側面の吸気孔をふさがないでください。
- ・また、外装ケースが変形する原因にもなりますのでご注意ください。

不安定な場所に置かない



- ・高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない



倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。

コードを接続した状態で移動しない



接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない



倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない



電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。

屋外アンテナの設置、工事は自分でしない



強風でアンテナが倒れた場合に、けがや感電の原因になります。

- ・設置・工事は販売店にご相談ください。

⚠ 注意

長期間使わないときや、外装ケースのお手入れのときは、電源プラグを抜く



電源プラグ
を抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

- ディスクやSDカード、USB機器は、保護のため取り出しておいてください。

長期間使ないときは、リモコンから電池を取り出す



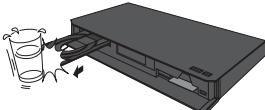
液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

ディスクトレイに指をはさまれないように注意する



けがの原因になることがあります。
•特に子様には指はさみ注意 ご注意ください。

機器の前にものを置かない



リモコンの開/閉ボタンを押すと、離れた場所からディスクトレイを開くことができますが、開いたときに、ものに当たって倒れるなどで破損やけがの原因になることがあります。

- ガラス扉付きラックなどに入れてご使用の場合は、不用意に扉を開くことがあります。
- リモコンの開/閉ボタンを押すと、本機以外の当社製機器のディスクトレイも開くことがあります。
- 誤ってリモコンの開/閉ボタンを押さないようご注意ください。

光過敏の既往症のある人、心臓に疾患のある人、体調不良の人は3D映像を視聴しない



病状悪化の原因になることがあります。

3D映画などを視聴する場合は1作品の視聴を目安に適度に休憩をとる



長時間の視聴による視覚疲労の原因になることがあります。

3D映像の視聴年齢については、およそ5~6歳以上を目安にする



お子様の場合は、疲労や不快感などに対する反応がわかりにくいため、急に体調が悪くなることがあります。

- お子様が視聴の際は、保護者の方が目の疲れがないか、ご注意ください。

3D映像を視聴中に疲労感、不快感など異常を感じた場合には、視聴を中止する



そのまま視聴すると体調不良の原因になることがあります。

- 適度な休憩をとってください。
- 3D映像の見えかたには個人差がありますので、「3D設定」で効果を設定する場合には特にご注意ください。

ご使用になる前に

本機の設置について

- ・アンプなどの熱源となるものの上に置かない。
 - ・温度変化が起きやすい場所に設置しない。
 - ・「つゆつき」が起こりにくい場所に設置する。
 - ・不安定な場所に設置しない。
 - ・重いものを上に載せない。
- タバコの煙や、超音波式加湿器から噴霧された水分も故障の原因になりますのでお気をつけください。



つゆつきについて

冷えたビンなどを冷蔵庫から出してしばらく置いておくと、ビンの表面に水滴が発生します。このような現象を「つゆつき」といいます。

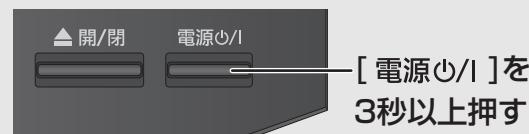
- ・「つゆつき」が発生しやすい状況
 - ・急激な温度変化が起きたとき（暖かい場所から寒い場所への移動やその逆、急激な冷暖房、冷房の風が直接当たるなど）
 - ・湯気が立ち込めるなど、部屋の湿度が高いとき
 - ・梅雨の時期
- ・「つゆつき」が起こったときは故障の原因になりますので、部屋の温度になじむまで（約2～3時間）、電源を切ったまま放置してください。

本機の温度上昇について

本機を使用中は温度が高くなります。性能・品質には問題ありません。本機の移動やお手入れなどをするとときは、電源を切って電源コードを抜いてから3分以上待ってください。

- ・本機の温度が気になる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

本機が操作を受け付けなくなったら



本機の電源が切れます。

故障かな!?と思った場合 →232

本機を廃棄 / 譲渡するときは

198ページをご覧ください。

インターネットの閲覧制限機能について

本機には、インターネットを見る際に、お子様などに見せたくないホームページやブログなどを見ることを制限するための機能が組み込まれています。詳しくは 149 ページをご覧ください。

番組などの消去について

本機での番組消去、部分消去、チャプター消去などの消去機能は、一度実行すると元に戻すことはできません。よく確認してから実行してください。

無許可コピーコンテンツの利用制限について

本機は著作権を保護するために、以下の技術を採用しています。

Cinavia の通告

この製品は Cinavia 技術を利用して、商用制作された映画や動画およびそのサウンドトラックのうちいくつかの無許可コピーの利用を制限しています。

無許可コピーの無断利用が検知されると、メッセージが表示され再生あるいはコピー（ダビング）が中断されます。

Cinavia 技術に関する詳細情報は、<http://www.cinavia.com> の Cinavia オンラインお客様情報センターで提供されています。Cinavia についての追加情報を郵送でお求めの場合、Cinavia Consumer Information Center, P.O. Box 86851, San Diego, CA, 92138, USA まではがきを郵送してください。

本書内の表現について

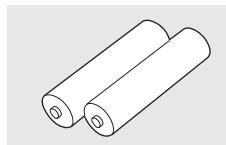
- ・本書内で参照していただくページを (→○○) で示しています。
- ・本書では、スタート画面などの操作はお買い上げ時の状態で説明しています。
- ・本書における本体および画面のイラストは、DMR-BRZ2000 のものです。

接続と設定を行ってください

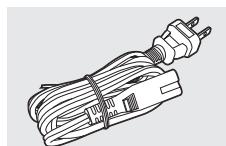
付属品



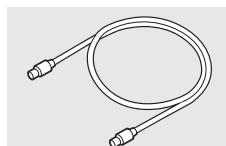
リモコン（1個）
N2QAYB000994



リモコン用乾電池（2本）
単3形乾電池



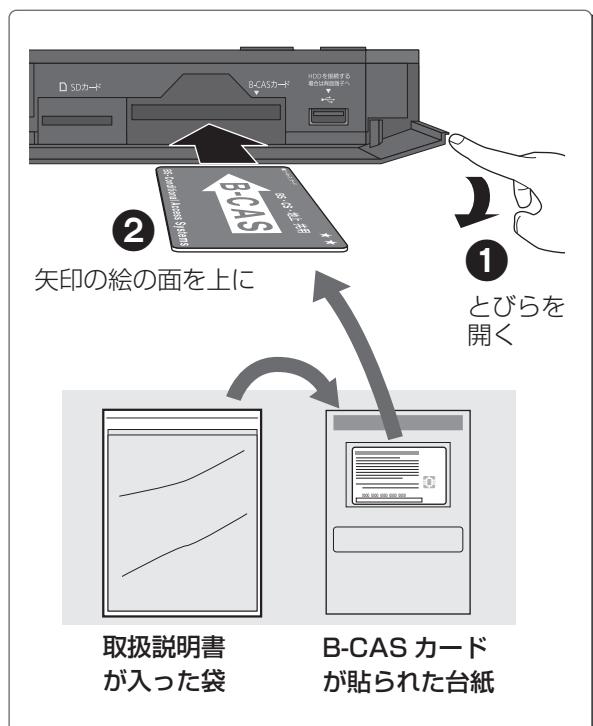
電源コード（1本）
K2CA2YY00269



アンテナケーブル（1本）
(75Ω 同軸ケーブル)
K2KYYYYY00040



B-CAS カード（1枚）
●台紙に貼り付けてあります。
●本カードの紛失時は
(→203)



(B-CASカードは、奥まで差し込んでも少し出でている状態になります)

- 電源コードキャップ*および包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
※付属の電源コードによって、電源コードキャップがないものがあります。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。
- イラストと実物の形状は異なっている場合があります。
- 付属品の品番は、2014年8月現在のものです。変更されることがあります。
- 電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。

付属品や別売品は販売店でお買い求めいただけます。

パナソニックの家電製品直販サイト「パナソニックストア」でお買い求めいただけるものもあります。詳しくは「パナソニックストア」のサイトをご覧ください。

<http://jp.store.panasonic.com/>

パナソニックグループのショッピングサイト



Panasonic Store



ご家庭のアンテナ端子に合わせて接続してください

A アンテナ端子が別々の場合



VHF/UHF 端子
(地上デジタル)



BS/CS 端子

次のページからの手順
②～⑦を行ってください。

地上デジタル放送のみ視聴する場合

次のページからの手順
②③⑥⑦を行ってください。

B アンテナ端子がひとつの場合



VHF/UHF・BS/CS 混合の端子
(別売の分波器が必要です)

206 ページの B の接続をして
手順 ⑦を行ってください。

地上デジタル放送のみ視聴する場合

次のページからの手順
②③⑥⑦を行ってください。

C CATV をご利用の場合



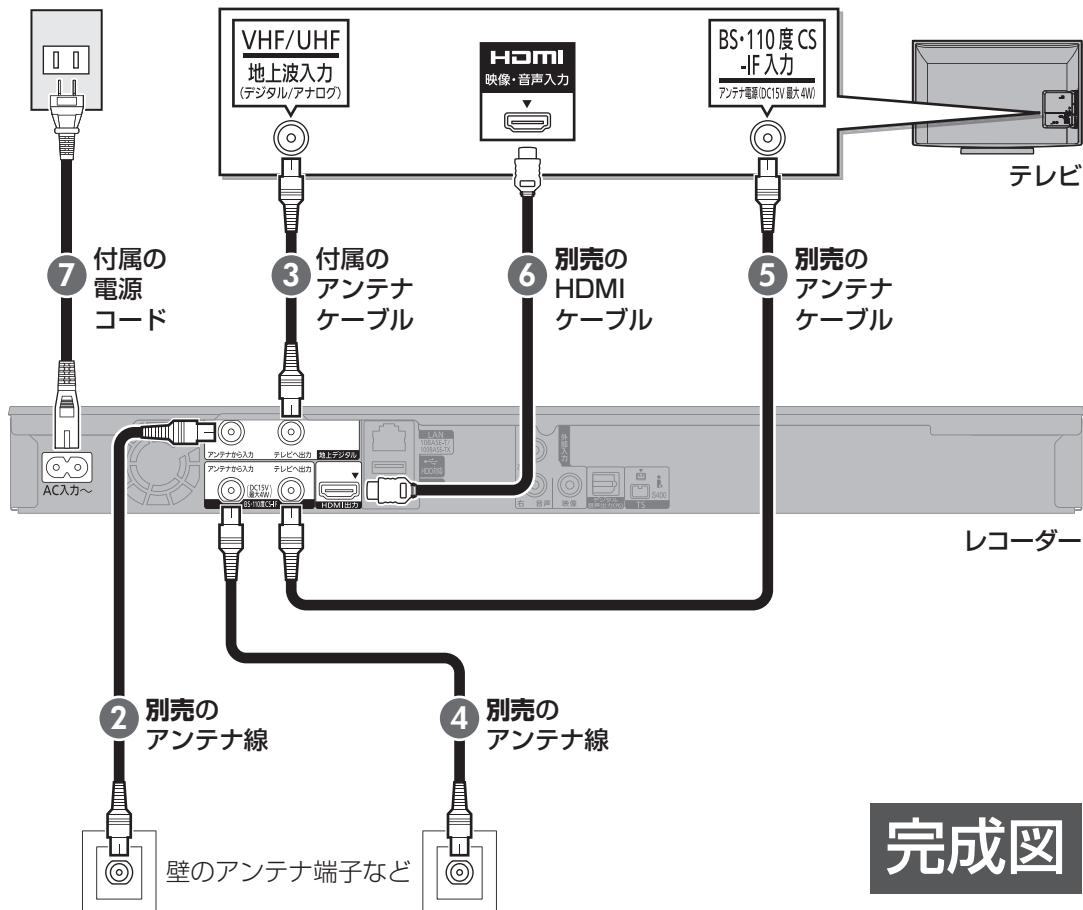
ケーブルテレビの端子

207 ページへ



接続と設定を行なう

⑤ ⑥ のケーブルは付属していません。別途購入が必要です。



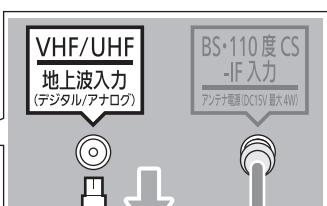
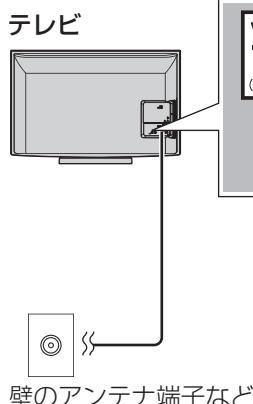
完成図

接続と設定を行ってください（続き）

2 地上デジタル放送 アンテナ をつなぎかえる

テレビにつないでいるアンテナ線を外して
レコーダーにつなぎかえます。

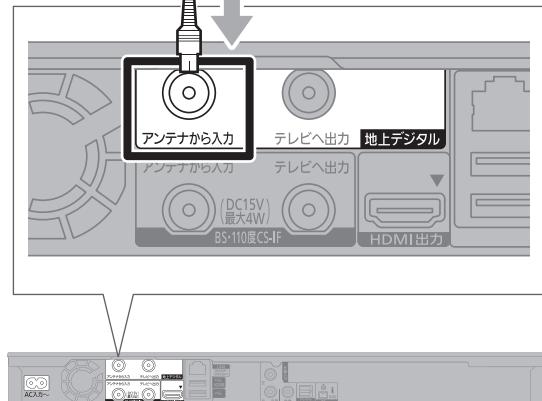
1



壁のアンテナ端子など

2

つなぎかえる



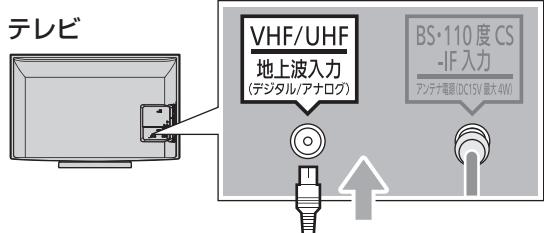
レコーダー

3 地上デジタル放送 アンテナケーブル をつなぐ

付属のアンテナケーブルを使って
テレビとレコーダーをつなぎます。

テレビの端子を間違えない
ようにお気をつけください。

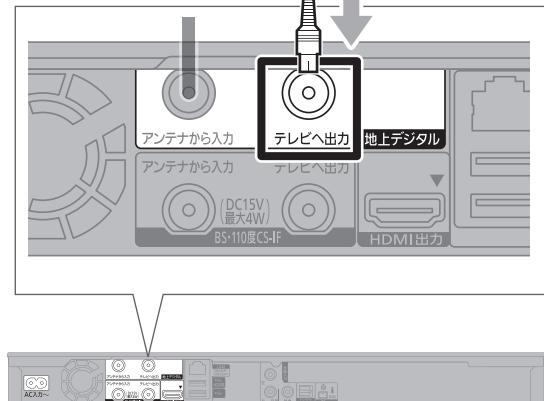
テレビ



付属のアンテナケーブル



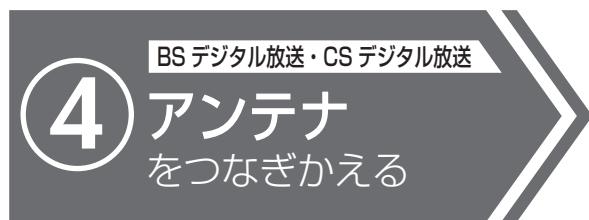
つなぐ



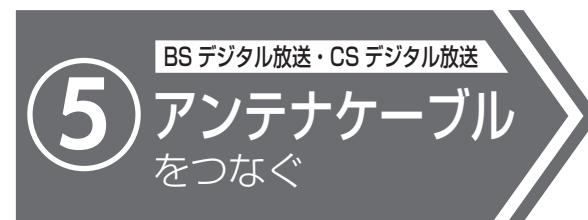
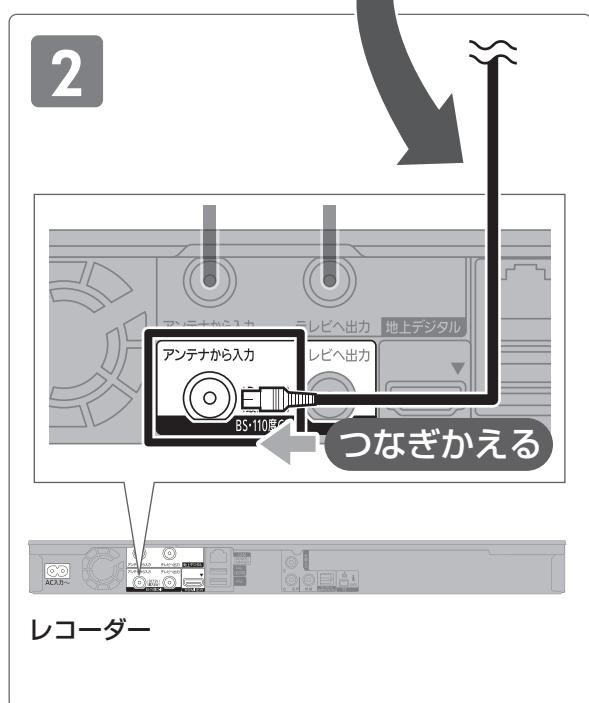
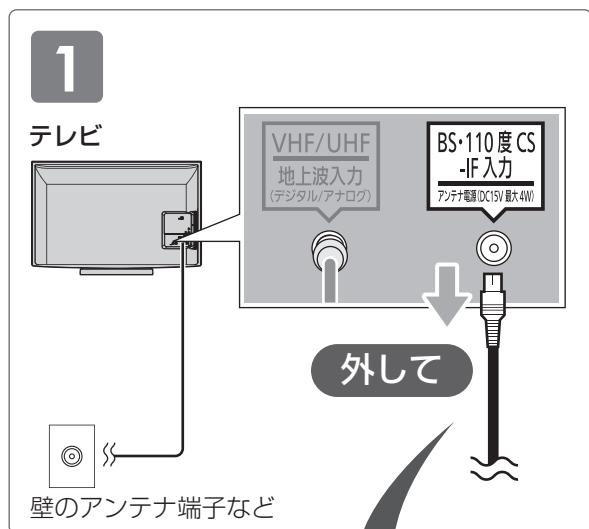
レコーダー



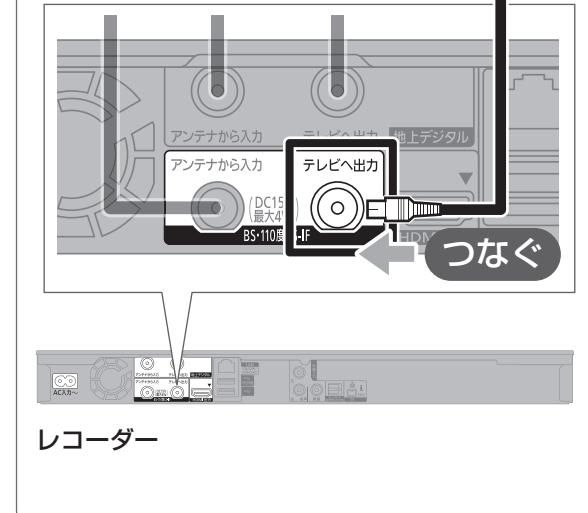
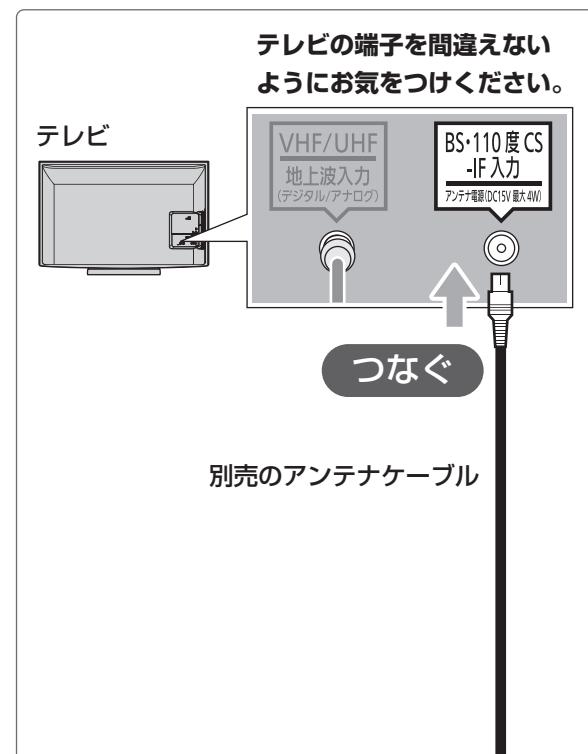
BS・CS を視聴しない場合、以下の接続は不要です。⑥ に進んでください。



テレビにつないでいるアンテナ線を外して
レコーダーにつなぎかえます。



別売のアンテナケーブルを使って
テレビとレコーダーをつなぎます。

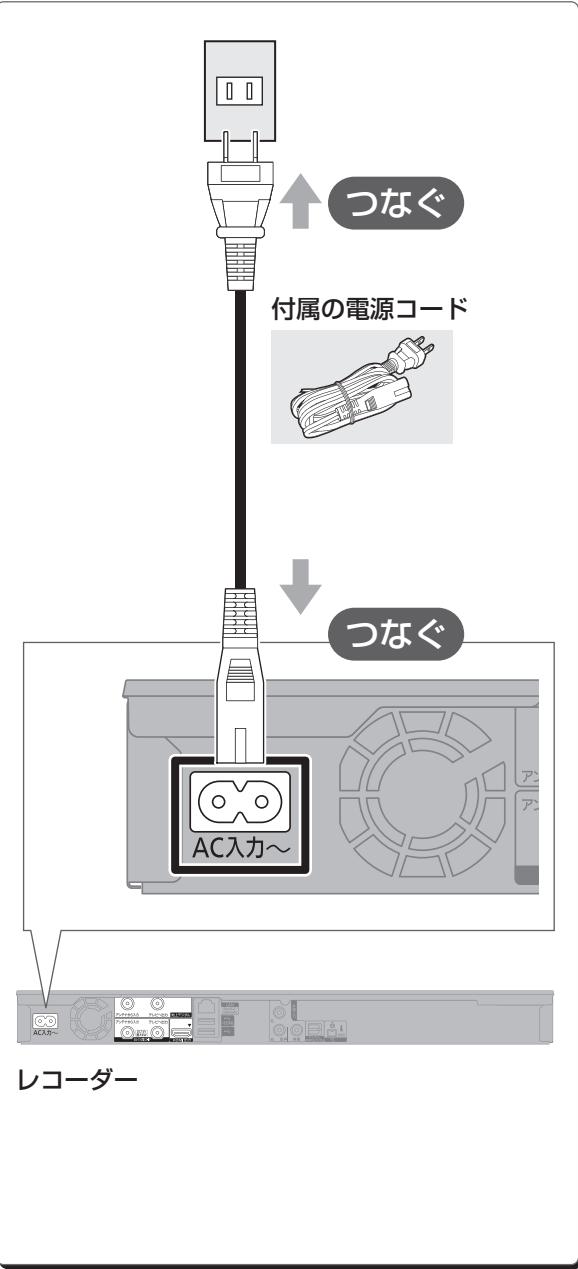
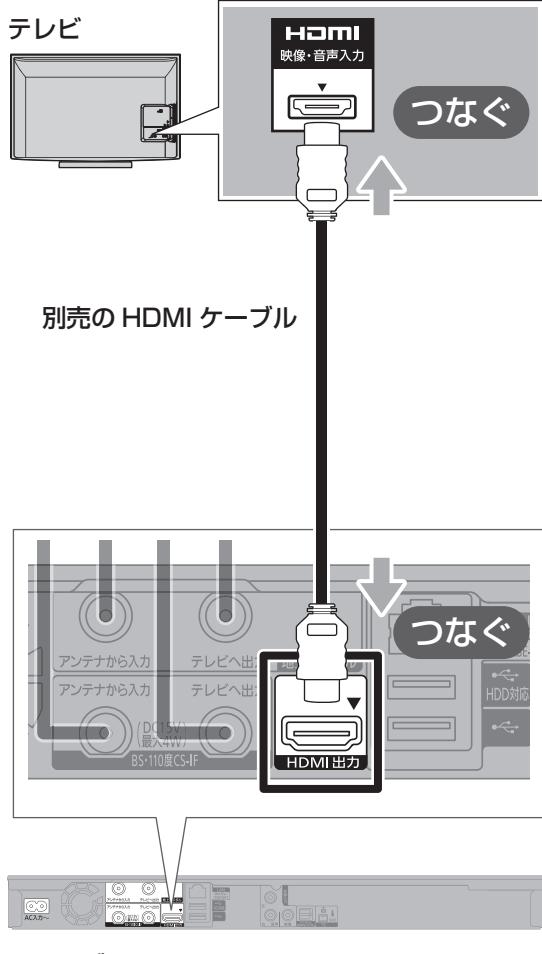


接続と設定を行なう

接続と設定を行ってください（続き）

6 HDMI ケーブルをつなぐ

7 電源コードをつなぐ



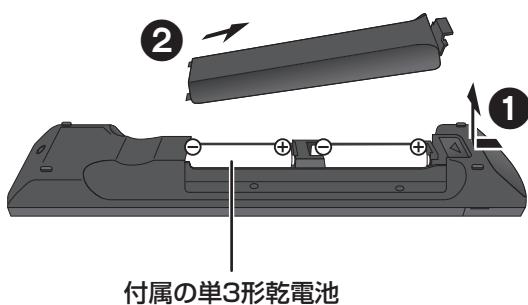
ネットワーク接続をする

213ページ



8 電源を入れる

1 リモコンに電池を入れる



付属の単3形乾電池

2 レコーダーの電源を入れる



接続と設定を行う

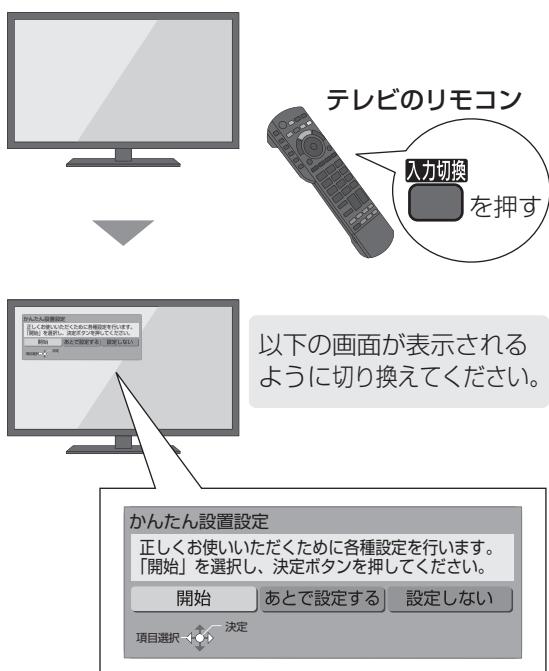
- \oplus/\ominus を確認してください。
- 電池はマンガン乾電池、またはアルカリ乾電池をお使いください。

- リモコンを使うと他の当社製レコーダーなどが同時に動作してしまう場合は、リモコンモードを変えてください。
(→187)
- 本機のリモコン受信部(→23)に向けて、まっすぐ操作してください。

接続と設定を行ってください（続き）

9 設定をする

1 テレビの入力を切り換える



2 画面に従って設定する

（「かんたん設置設定」→219ページ）



接続と設定について詳しくは…

ビデオと接続する

210 ページ

アンプと接続する

211 ページ

ネットワーク接続をする

213 ページ

かんたん設置設定をする

219 ページ

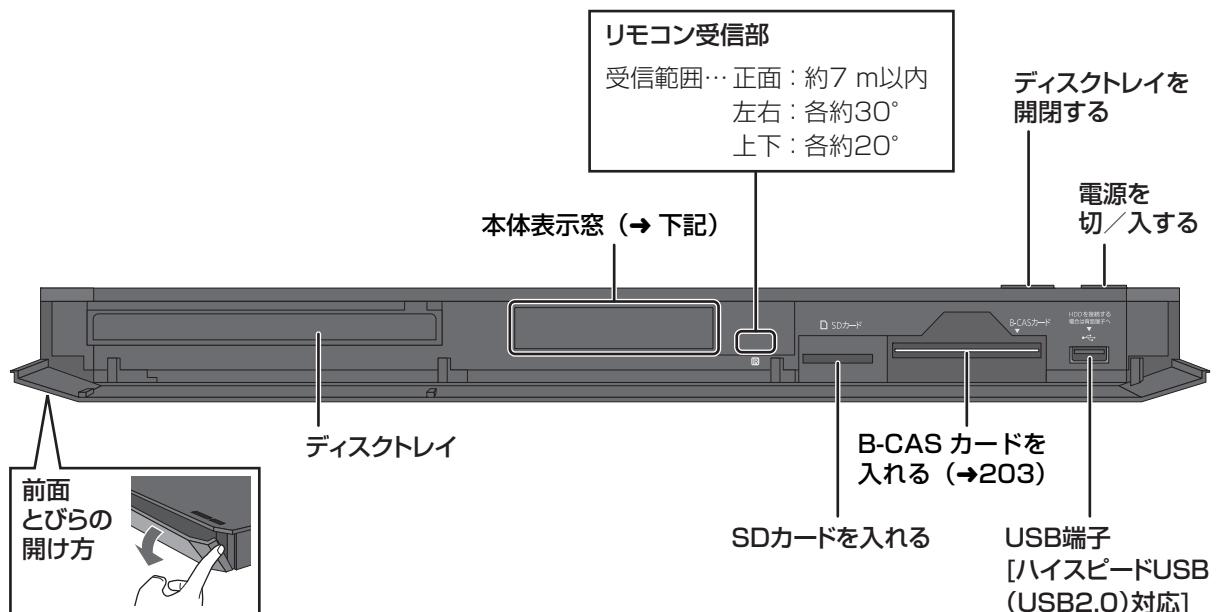
かんたんネットワーク設定をする

223 ページ



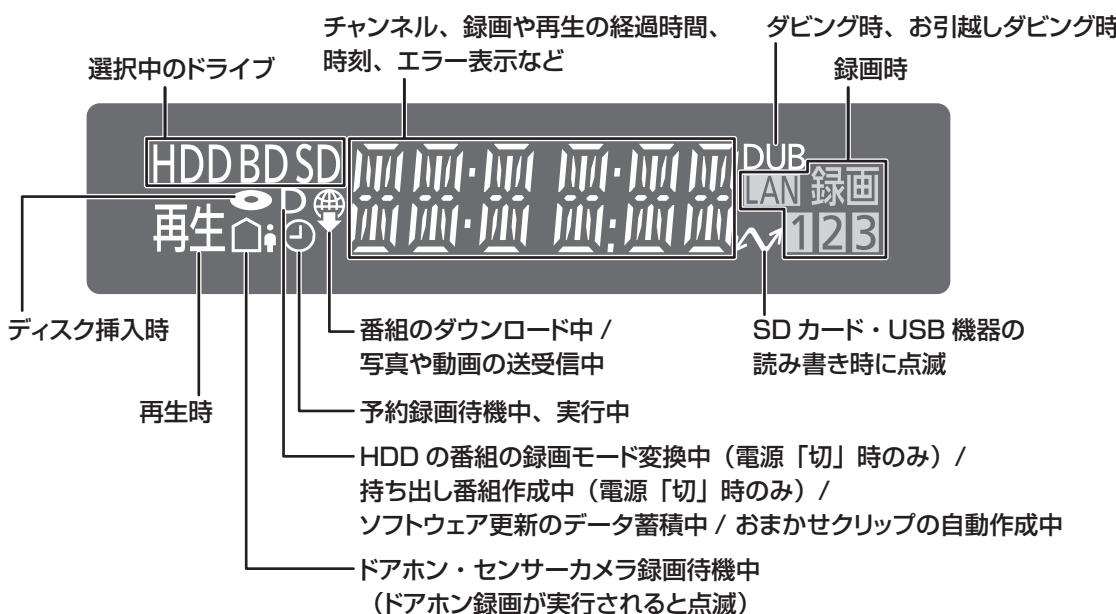
各部の働き

本体前面



本体表示窓

以下の場合に点灯表示します。

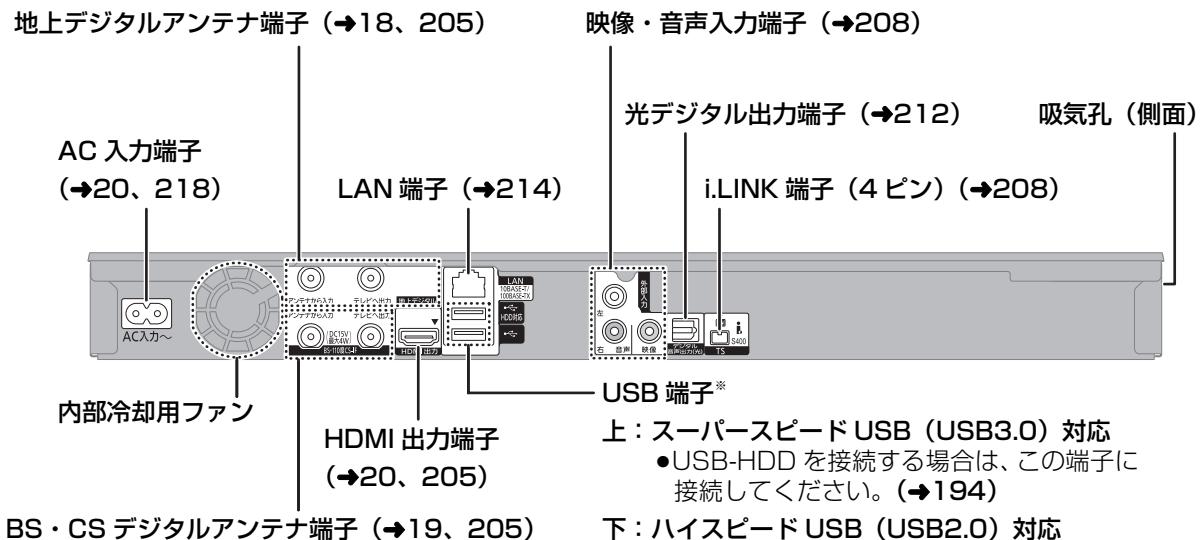


お知らせ

- 電源「切」時に本体表示窓に時刻を表示するには、以下①～③の設定にしてください。
①「クイックスタート」(→178)を「入」に設定
②「クイックスタートモード」(→178)を「標準」に設定
③「ECOスタンバイ」(→182)を「切」に設定
ただし、「節電待機」(→32)で電源を切ると、時刻は表示されません。

各部の働き (続き)

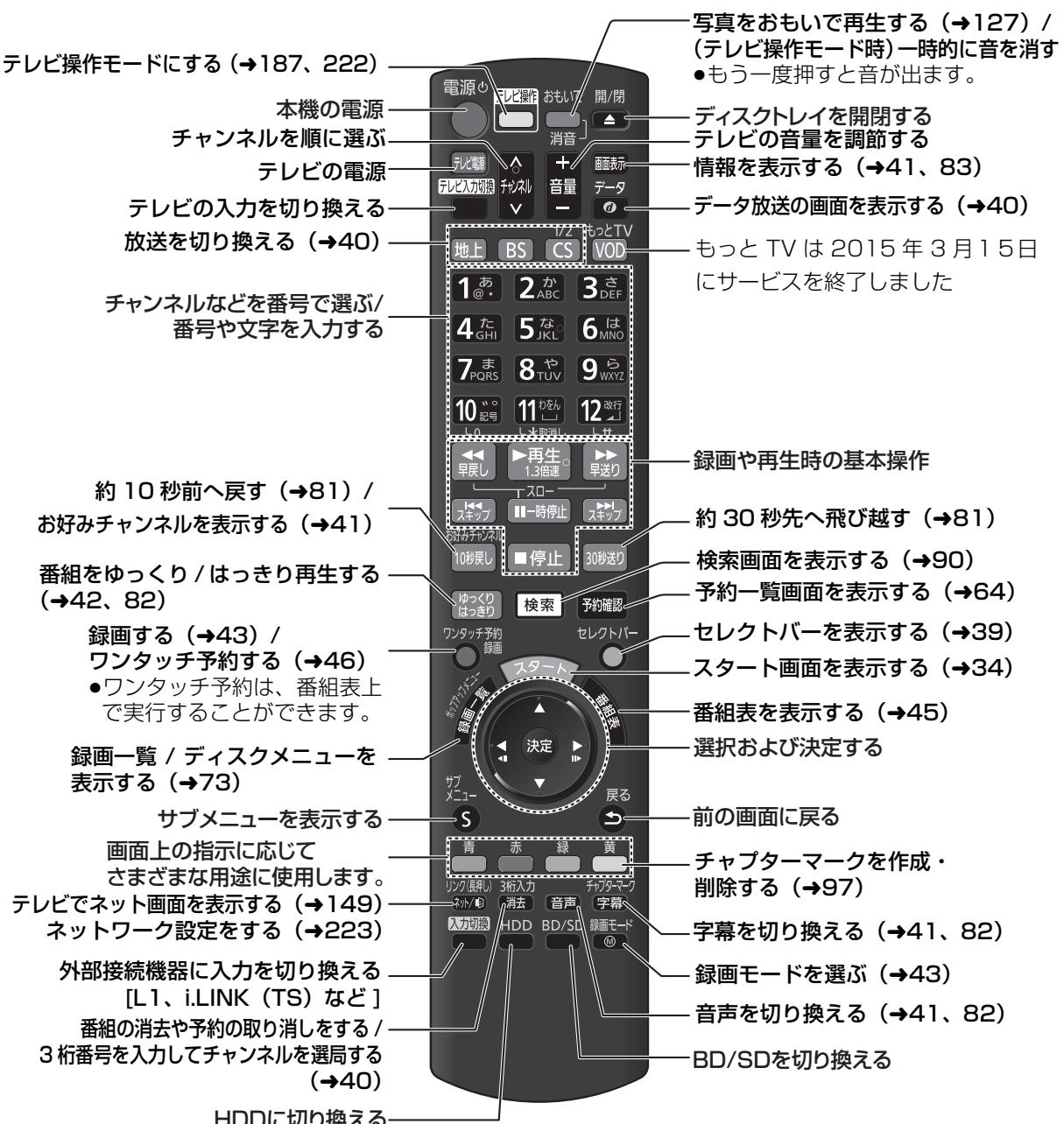
本体背面



* 接続する USB ケーブルの形状によって、背面端子に 2 つ同時に接続できない場合があります。

その場合、本体前面の USB 端子をご使用ください。

リモコン

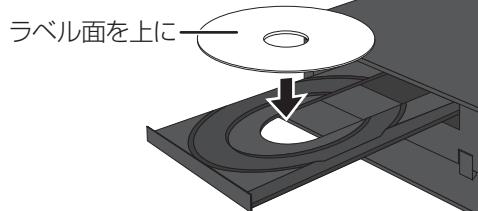


ディスク・SD カードを入れる

ディスク

開/閉 ▲ を押してトレイを開き、ディスクを入れる

- もう一度押すと、トレイが閉まります。
- 本体の [▲ 開 / 閉] でも操作できます。
- ディスクの確認画面が表示されるまでしばらくお待ちください。



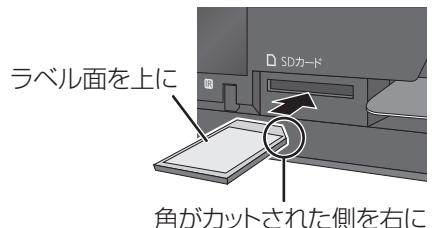
お知らせ

- 両面ディスクの場合、記録または再生したい側の面を下にして入れてください。
- ほこりや指紋が付着したディスクは、汚れを取り除いてから使用してください。(→199)
- 傷の付いたディスクは、記録や再生ができません。
- 使用後は、ディスクの汚れや傷つきを防ぐため、ケースまたはカートリッジに収めて保管してください。不織布ケースに保管すると、ディスクが変形して読みなくなる場合があります。
- カートリッジ付きディスクについて**
 - カートリッジ付きの BD-RE (Ver.1.0) は、本機では使用できません。(カートリッジからディスクを取り出しても使えません)
 - DVD-RAM や 8 cm のディスクは、カートリッジからディスクを取り出してトレイに載せてください。(→下記)
(TYPE1 は使えません)
- ディスクをお使いにならない場合は、ディスクをトレイから取り出しておくことをお勧めします。

SD カード

① 本体前面のとびらを開ける

② カードを「カチッ」と音がするまで、奥までまっすぐ差し込む



③ 本体前面のとびらを閉じる

④ カードを取り出すには

上記手順 ② で、カードの中央部を「カチッ」と音がするまで押し、まっすぐ引き出す

お知らせ

- 本体表示窓の “△” (→23) 点滅中は、読み込み・書き込みを行っています。本体が正常に動作しなくなったり、カードの内容が破壊されたりするおそれがありますので、点滅中に電源を切ったり、カードを取り出したりしないでください。
- mini タイプや micro タイプの SD カードは、必ず専用のアダプターを装着し、アダプターごと出し入れしてください。

例)

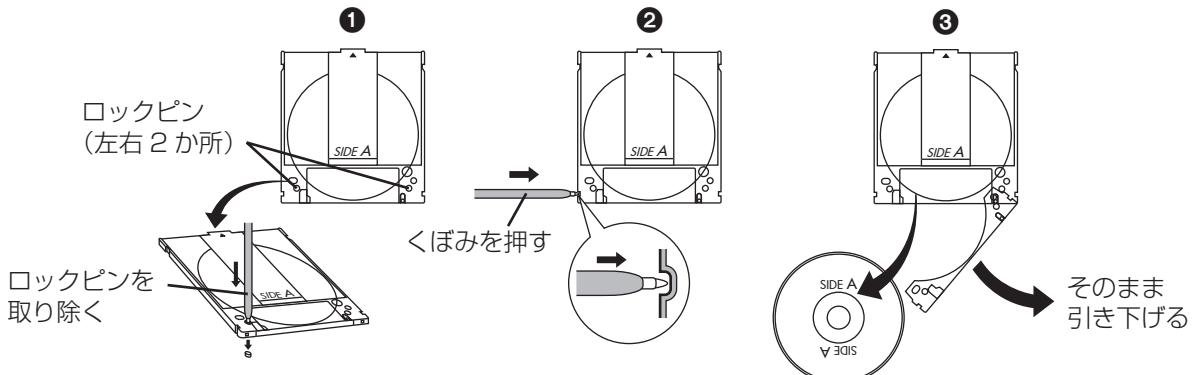


カートリッジ付きディスクの取り出し方例

カートリッジからの取り出し方はディスクによって異なります。

詳しくはディスクの説明書をご覧ください。

両面 DVD-RAM ディスクの場合



本書内のマーク表示について

ディスクなどの表示を以下のマークで表示しています。

ディスクなど	表示マーク	ディスクなど	表示マーク
HDD	HDD	DVD ビデオ	DVD-V
BD-RE*	BD-RE	+R	
BD-R*	BD-R	+R DL	
BD ビデオ	BD-V	+RW	
DVD-RAM	RAM	CD	
DVD-R	-R	SD カード	
DVD-R DL		USB 機器	
DVD-RW	-RW	USB-HDD	USB-HDD

* DL、BDXL も含みます。

- 同じディスクでも記録方式の違いなどにより動作が異なる場合は、表示マークに記録方式を付与しています。
 - AVCREC 方式の場合 : 例) **RAM AVCREC** **-R AVCREC**
 - VR 方式の場合 : 例) **RAM VR** **-R VR** **-RW VR**
 - ビデオ方式の場合 : 例) **-R V** **-RW V** (ただしファイナライズ後は **DVD-V**)
- ビデオカメラなどで撮影したハイビジョン動画 (AVCHD) が記録されたディスクや SD カードの場合は、**AVCHD** と表示
- ビデオカメラなどで撮影した動画(MP4)が記録された SD カードや USB-HDD(SeeQVault フォーマット) (**→194**) の場合は、**MP4** と表示

USB-HDD を接続時の操作について

本書では、USB-HDD を接続している場合の操作も含めて記載しています。USB-HDD を接続している場合にできる操作については、**USB-HDD** と表示しています。
 接続できる USB-HDD については (**→194**)

記録できるディスクについて

ディスクの種類	ロゴ	記録可能なディスク	記録方式
BD-RE		BD-RE : Ver.2.1(1層/2層)、Ver.3.0(3層)に対応した 2倍速メディアまで	—
BD-R		BD-R : Ver.1.1/1.2/1.3(1層/2層)に 対応した6倍速メディア、Ver.2.0(3層/4層) に対応した4倍速メディアまで	
DVD-RAM		Ver.2.0/2.1/2.2に対応した 5倍速メディアまで	AVCREC方式
			VR方式 (DVDビデオレコーディング規格)
DVD-R		DVD-R : Ver.2.0/2.1に対応した 16倍速メディアまで	AVCREC方式
DVD-R DL (片面2層)		DVD-R DL : Ver.3.0に対応した 8倍速メディアまで	VR方式 (DVDビデオレコーディング規格)
			ビデオ方式 (DVDビデオ規格)
DVD-RW		Ver.1.1/1.2に対応した6倍速メディアまで	VR方式 (DVDビデオレコーディング規格)
			ビデオ方式 (DVDビデオ規格)

•8 cm ブルーレイディスク、8 cm DVD ディスクへは記録できません。

記録できるコンテンツ	記録できる画質 録画モード	フォーマットは? (→163)	備考
番組 写真	放送画質 DR ハイビジョン画質 1.5~15倍録	必要	<ul style="list-style-type: none"> • DL、BDXL™ にも記録できます。 • カートリッジ付きのBD-RE(Ver.1.0)の記録や再生はできません。 (カートリッジからディスクを取り出しても使えません) • 2014年8月現在、BD-R (片面4層)は発売されていません。
番組 写真	ハイビジョン画質 1.5~15倍録	必要	<ul style="list-style-type: none"> • デジタル放送を記録するには、 CPRM対応のディスクか確かめて ください。 • カートリッジ付きのDVD-RAMは、 カートリッジからディスクを取り出し てお使いください。 (TYPE1は使えません)
番組 写真	DVD画質 XP SP LP EP FR	不要 (データ用ディスクの場合、 フォーマット必要)	
番組	ハイビジョン画質 1.5~15倍録	必要	<ul style="list-style-type: none"> • デジタル放送を記録するには、 CPRM対応のディスクか確かめて ください。
番組	DVD画質 XP SP LP EP FR	必要	
番組	DVD画質 XP SP LP EP FR	不要	<ul style="list-style-type: none"> • コピー制限のない番組(ビデオカメラで 撮影した映像など)のみ記録できます。 • デジタル放送は記録できません。
番組	DVD画質 XP SP LP EP FR	必要	<ul style="list-style-type: none"> • デジタル放送を記録するには、 CPRM対応のディスクか確かめて ください。
番組	DVD画質 XP SP LP EP FR	必要	<ul style="list-style-type: none"> • コピー制限のない番組(ビデオカメラで 撮影した映像など)のみ記録できます。 • デジタル放送は記録できません。

• DVDの記録方式は、本機でフォーマット (→163) することで設定されます。

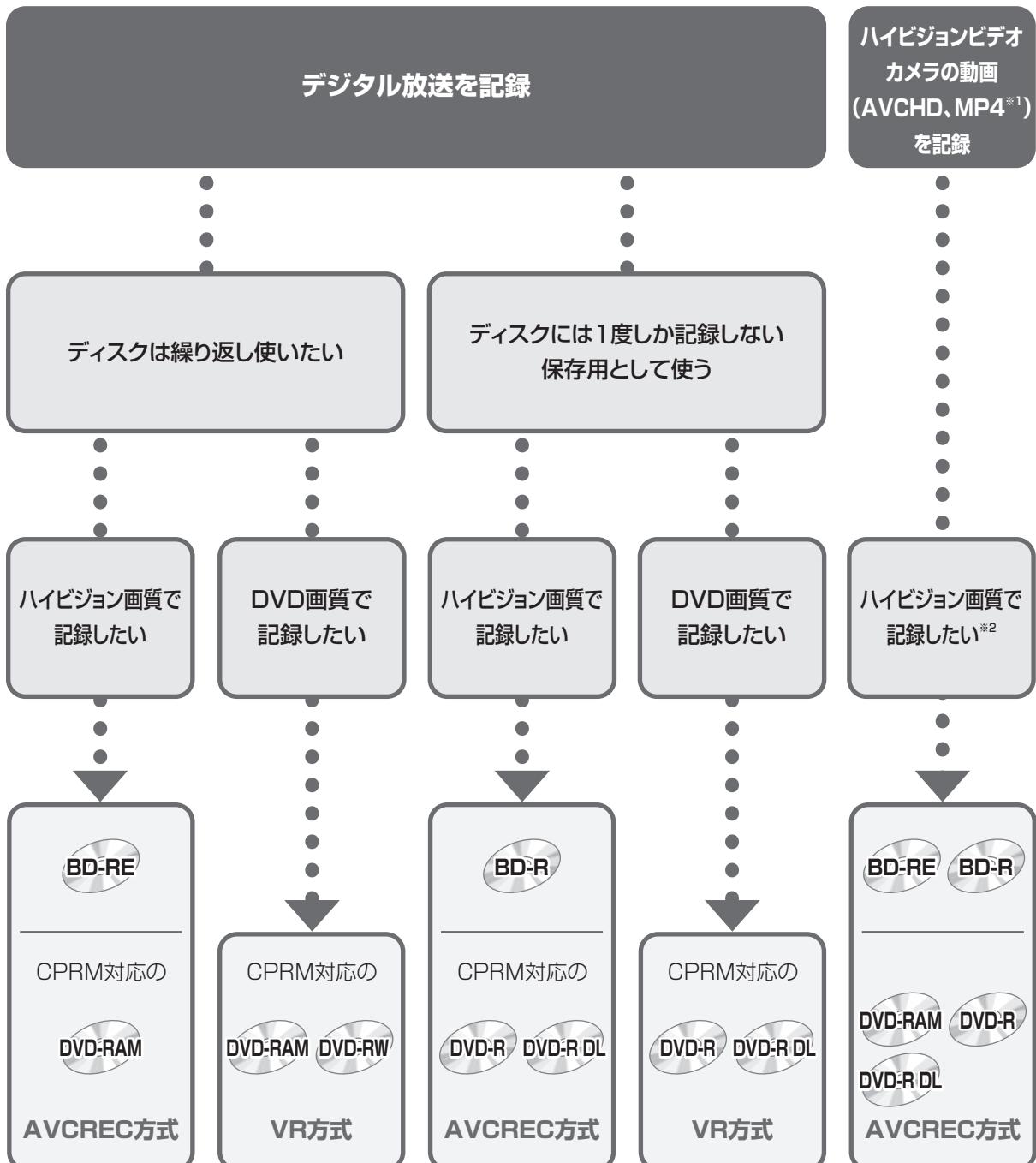
記録できるディスクについて (続き)



こんなとき
どうしたらいいの?

どのディスクを選べば良いかわからない…

お客様の使い方に合わせてディスクを選んでください。



*1 MP4はHDDに取り込んだあと、ディスクにダビングします。

*2 DVD画質で記録したい場合、HDDに取り込んだあと、VR方式、ビデオ方式のDVDにダビングします。



こんなとき
どうしたらいいの？

記録したディスクを他の機器で再生するには？



BD-RE、BD-Rに対応した機器で再生できます。

- LTH typeのBD-Rに記録した場合、再生機器がLTH typeに対応していないと再生できないときがあります。
- 当社製 DMR-E700BD や 2006年春以前に発売された他社製機器では、再生できません。
- 1.5～15倍録モードの番組や、本機に取り込んだ動画（AVCHD、MP4）、LAN 経由（スカパー！プレミアムサービスやCATV）で録画した番組は、再生できない場合があります。
- DL や BDXL のブルーレイディスクは、対応機器でのみ再生できます。
 - ・ DL のブルーレイディスクは、2006年秋以降に発売された当社製ブルーレイディスクレコーダーで再生できます。
 - ・ BDXL のブルーレイディスクは、右記のロゴが付いた機器で再生できます。

BDXL™



以下の条件に当てはまる機器で再生できます。

- 記録したディスクの再生に対応
- 記録したディスクの記録方式の再生に対応

・ AVCREC 方式の場合：

対応機器には右記のロゴが付いています。

AVCREC™

対応機器以外で使用しないでください。

ディスクがフォーマットされたり、取り出せなくなるなど故障の原因になります。

■R■ はファイナライズ（→166）が必要です。

・ VR 方式の場合：

VR 方式の再生に対応している必要があります。

・ ビデオ方式の場合：

記録後にファイナライズ（→166）が必要です。

- デジタル放送を記録したディスクの場合、CPRM に対応している必要があります。

お知らせ

- ディスクによっては、記録できることや、記録状態によって再生できないことがあります。

操作の前に

本機の映像をテレビに映す

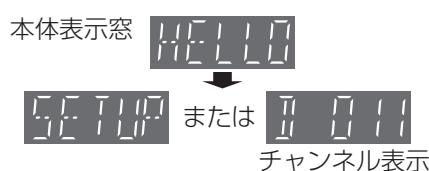
1 テレビの電源を入れる

2 テレビのリモコンで、入力切換の操作をする

- ・本機を接続した入力に切り換えてください。
(HDMIなど)



3 本機のリモコンの 電源ボタン を押す



- ・テレビに映像が映っているか確認してください。

☞ テレビに映像が表示されない場合

- ・テレビの入力を確認してください。
- ・接続を確認してください。(→203~218)

節電待機で電源を切る

「節電待機」で電源を切ると、電源「切」時の消費電力を少なくすることができます。(消費電力→236)

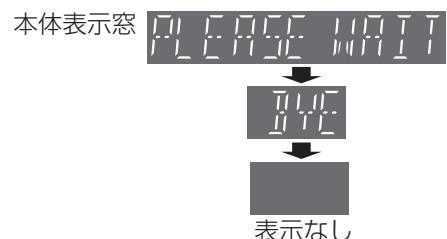
1 テレビ視聴中に

サブメニュー を押す

- ・サブメニュー画面が表示されない場合、もう一度 [サブメニュー] を押してください。

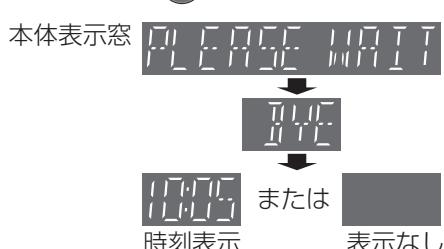
2 「節電待機」を選び、決定 を押す

3 「はい」を選び、決定 を押す



本機の電源を切る

本機のリモコンの 電源ボタン を押す



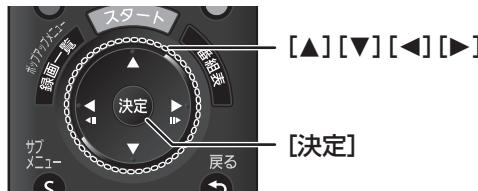
お知らせ

・「節電待機」中の制限について

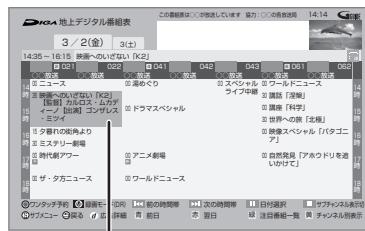
- ・「クイックスタート」(→178) が「切（時計表示無し）」時と同じ動作になるため、起動が遅くなります。
- ・以下の機能は働きません。
 - お部屋ジャンプリンク (DLNA)
 - 宅外リモート接続機能
 - ビエラリンク録画待機
 - スカパー! プレミアムサービス対応チューナーや CATV からの予約登録、または番組の時間変更に追従
- ・以下の録画は実行されません。
 - ドアホン・センサーダイヤルからの録画
 - i.LINK からの予約録画
- ・「節電待機モード」(→178) が「モード2」の場合は、以下の制限もあります。
 - アンテナ線を本機経由でテレビに接続している場合に、テレビの映像が映らない、もしくは画質が悪くなるときがある
 - 本機を経由せずにアンテナ線をテレビに接続すると、改善することができます。(→209)
- ・「節電待機」中に無効なボタンを押すと、本体表示窓に時刻が表示されます。

画面上の基本操作について

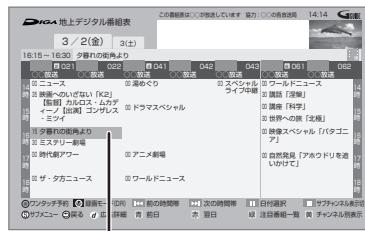
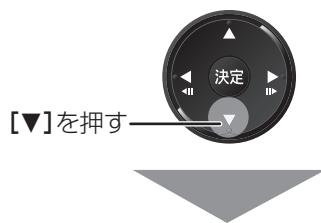
本機は画面に表示されている項目をリモコンの
[▲][▼][◀][▶] で選び、[決定] を押すことで操作を行います。



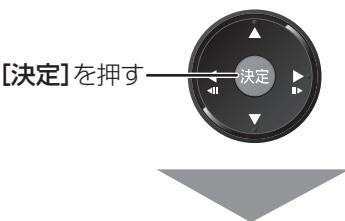
例えば、番組を選びたい場合



黄色になっている項目が、現在選ばれている項目



黄色になります。



番組内容の画面が表示されます。

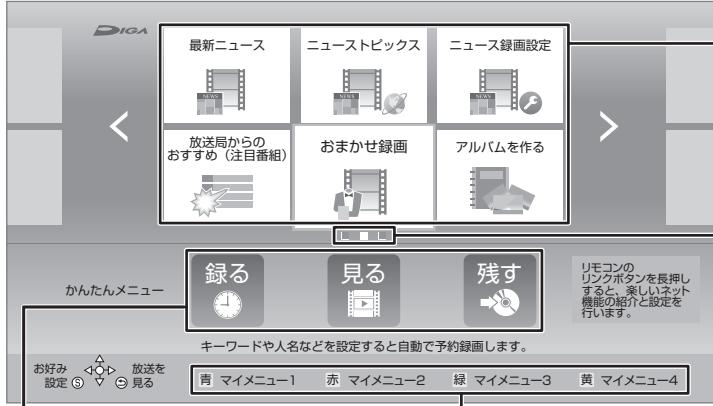
本書では、上記のような操作をする場合、
番組を選び、決定 を押す
と記載しています。

スタート画面について

スタート画面から本機の主な機能を操作することができます。

1 スタート を押す

2 項目を選び、決定 を押す



表示する主な機能は、好みに合わせて変更することができます。(→37)

現在表示しているページの位置

スタート画面は3つのページに分かれています。

•録る:(→38)

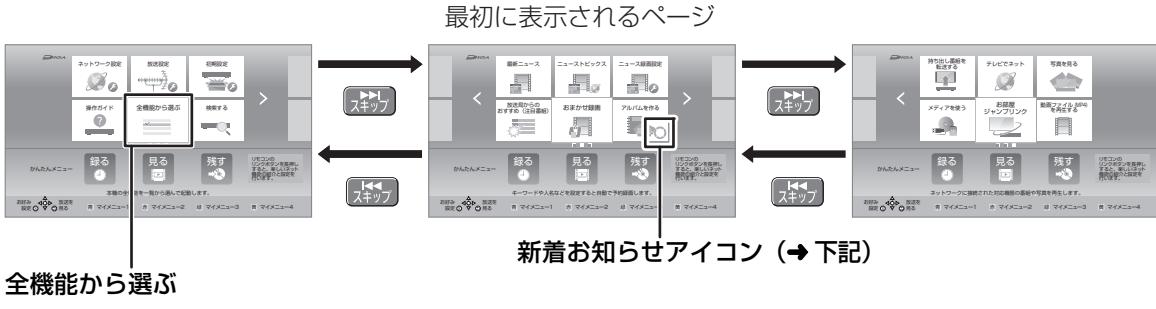
•見る:(→38)

•残す:(→102, 104)

青 赤 緑 黄 を押すと、マイメニューを表示します。(→157)

④ 左右のページを表示するには

スキップ リモコンのスイッチを押す (または [◀][▶] を数回押す)



新着お知らせアイコン (→下記)

全機能から選ぶ

スタート画面に表示されていない機能を選びたいときに選んでください。

○お知らせ

○ 新着お知らせアイコンについて

以下の機能で新着情報があるときに表示します。

- ・新番組おまかせ録画番組を見る*
- ・最新録画番組を見る*
- ・受信した写真／動画を見る*
- ・アルバムを作る*
- ・ディモーラからのおすすめ
- ・メール／情報・診断コード
- ・ドアホン・センサー／カメラ映像を見る

* 電源「切」時にのみ新着情報の更新を行います。新着情報があるときは、番組や写真のサムネイルを表示します。

スタート画面で表示できる機能

以下の機能を表示することができます。表示する機能は、好みに合わせて変更することができます。(→37)

分類	表示できる機能	備考
見る	録画番組を見る	(→73)
	セレクトバー	(→39)
	最新ニュース	(→61)
	最新録画番組を見る	(→77)
	新番組おまかせ録画番組を見る	「新番組おまかせ録画」(→60) で録画した番組を視聴します。
	写真を見る	(→125)
	撮影ビデオを見る	(→75)
	受信した写真／動画を見る	(→77、125)
	動画ファイル(MP4)を再生する	(→75)
番組を探す・予約する	ドアホン・センサーダイヤル映像を見る	(→152)
	予約する	(→46)
	おまかせ録画	(→54)
	予約確認する	(→64)
	ニュース録画設定	(→61)
	検索する	(→90)
	放送局からのおすすめ(注目番組)	(→52)
	カテゴリーまとめて検索	(→58)
	新番組おまかせ録画	(→60)
	ジャンル検索	(→62)
	好み番組表	好みチャンネル(→41)で登録された放送局のみを番組表に表示します。

スタート画面について（続き）

分類	表示できる機能	備考
残す	アルバムを作る	(→135、138)
	持ち出し番組を転送する	(→143、144)
ネットワーク機能を使う	お部屋ジャンプリンク（DLNA）	(→155)
	テレビでネット	(→149)
	アクトビラ	(→149)
	ニューストピックス	ミモーラのサービスに登録すると、話題のニュースをシーン一覧で表示します。 (→61) ☞ サービスの登録について (→225)
	ディモーラからのおすすめ	ディモーラのサービスに登録すると、おすすめ番組が配信されます。 ☞ サービスの登録について (→225)
	ミモーラ検索	ミモーラのサービスに登録すると、録画した番組の中から、見たいシーンなどをキーワードで検索することができます。 ☞ サービスの登録について (→225)
	Wi-Fi Direct 接続	(→156)
	お引越しダビング	(→116)
設定する・ その他の機能	放送設定	(→171)
	初期設定	(→177)
	ネットワーク設定	(→184、223)
	メール／情報・診断コード	(→170、232)
	壁紙設定	(→37)
	操作ガイド	操作ガイドを表示します。 困ったときの解決方法や、調べたい用語を確認できます。
	お好み設定リセット	(→37)
メディアを使う	メディアを使う	ディスク、SD カード、USB 機器、USB-HDD 内のデータを表示します。

お好みの表示に変更する

スタート画面に表示する機能や背景の壁紙をお好みに合わせて変更することができます。

(「全機能から選ぶ」の表示を変更することはできません)

表示する機能を変更する

1  を押す

2 変更したい機能を選び、 を押す

3 「機能を登録する」を選び、 を押す

4 メニューを選び、 を押す

5 表示したい機能を選び、 を押す

- 登録できる機能については (→35)

6 「はい」を選び、 を押す

② スタート画面の表示をお買い上げ時の設定に戻すには

- ① [スタート] を押す
- ② 「全機能から選ぶ」を選び、[決定] を押す
- ③ 「設定する・その他の機能」を選び、[決定] を押す
- ④ 「お好み設定リセット」を選び、[決定] を押す
- ⑤ 「はい」を選び、[決定] を押す

壁紙を変更する

1  を押す

2 「全機能から選ぶ」を選び、 を押す

- 表示がない場合は [<◀◀>] [<▶▶>] でページを切り換えてください。

3 「設定する・その他の機能」を選び、 を押す

4 「壁紙設定」を選び、 を押す

5 壁紙を選び、 を押す

- 「写真」を選ぶ場合は、あらかじめ「壁紙登録」(→127)を行ってください。

6  を押す

- 壁紙設定を終了します。

スタート画面について(続き)

かんたん番組表、かんたん録画一覧を表示する

「かんたん番組表」や「かんたん録画一覧」を使うと、よりわかりやすい画面で番組の予約や再生を行うことができます。

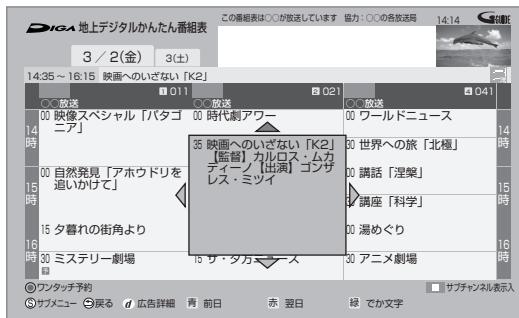
1 スタート を押す

2 「録る」または「見る」を選び、決定 を押す

録る

番組を選び、 を押すと予約できます。

• [決定] を押すと番組内容の表示や詳細な予約設定ができます。(→46)



各ボタンで以下の操作ができます。

- [**[◀◀][▶▶]**] : 時間帯の切り替え (→48)
- [**[II] 一時停止**] : 日付の切り替え (→48)
- [サブメニュー] : 番組の検索などができます。

例)

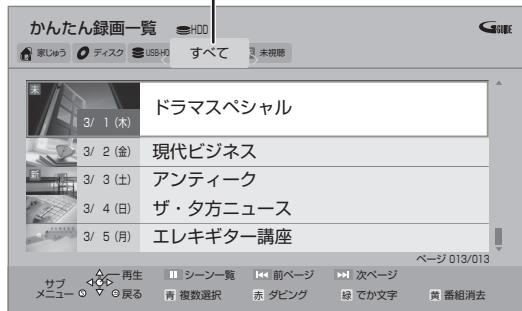


見る

番組を選び、 を押すと番組の再生を開始します。

ラベル

- [**[◀][▶]**] を押すと、ラベルを切り換えることができます。



各ボタンで以下の操作ができます。

- [**[II] 一時停止**] : シーン一覧 (→79)
- [**[赤]**] : ダビング (→102)
- [**[緑]**] : 文字を大きくします。
- [**[黄]**] : 番組消去 (→99)
- [サブメニュー] : 内容確認などができます。

例)



お知らせ

- ダウンロードした番組は表示されません。

セレクトバーについて

セレクトバーを使用すると、番組を視聴または再生中に、録画一覧やシーン一覧などを表示することができます。

1 セレクトバーを押す

2 メニューを選び、**決定**を押す

録画一覧（→76）のメニューや

最新ニュースを表示



画面上部のセレクトバーで選んだ項目に関連した番組を一覧表示



- 番組を選んで [決定] を押すと、再生します。
- 「最新ニュース」を選んだ場合、ニュース録画した番組（→61）から、最新の番組を再生します。

☞ セレクトバーを消すには
[セレクトバー] を押す

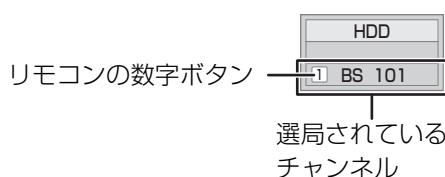
テレビ放送を見る

1 地上 BS CS 1/2 を押す

- [CS] を押すごとに、CS 1 または CS 2 に切り換わります。



2 1@. ~ 12 改行 または チューニングボタンを押して、チャンネルを選ぶ



お知らせ

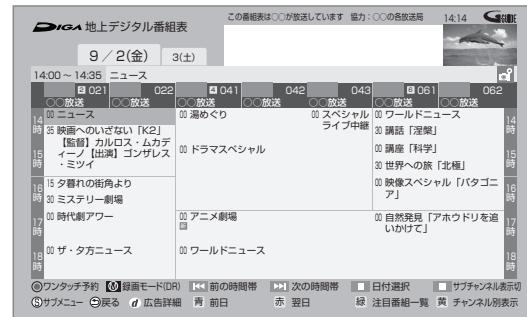
- 本機でワンセグ放送を視聴することはできません。

その他の選局方法

番組表から選局

① 選局番号を押す

② 放送中の番組を選び、決定を押す



別の放送の番組表を見るには

[地上][BS][CS] を押す

③ 「今すぐ見る」を選び、決定を押す

3桁チャンネル番号を入力して選局

① テレビ視聴中に、3桁入力を押す

- 押すごとに放送が切り換わります。

② 1@. ~ 10[”]を押して、チャンネルを入力する

例) 101 の場合…[1] → [10] → [1]

- 画面が表示されている間に入力してください。

枝番号の異なる放送を選局するには

(地上デジタル) (→42「枝番選局」)

1 データ放送のある番組を選局し、データを押す

2 見たい項目を選び、決定を押す

例)



- 画面の指示に従って、[青]、[赤]、[緑]、[黄]や数字ボタンで操作してください。

データ画面を消すには

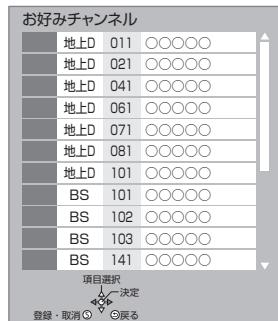
[データ] を押す

お好みチャンネルから選局

お好みチャンネルは、テレビ画面に放送局のリストを表示し、そのリストの中から選局できる機能です。放送に関係なく1つのリストに表示することができます。登録したチャンネルは、お好み番組表としても表示できます。

① テレビ視聴中に、**[10秒戻し]** を押す

② 放送局を選び、**[決定]** を押す



■チャンネルの登録

- ① 登録したい放送局を視聴中に、
[お好みチャンネル / 10秒戻し] を押す
- ② [サブメニュー] を押す
- ③ 「登録」を選び、[決定] を押す
- ④ 「はい」を選び、[決定] を押す
●リストの一番下に登録されます。
(最大 48 チャンネル)

■チャンネルの取り消し

- ① [お好みチャンネル / 10秒戻し] を押す
- ② 取り消す放送局を選び、[サブメニュー] を押す
- ③ 「取消」を選び、[決定] を押す
- ④ 「はい」を選び、[決定] を押す

お知らせ

- お好みチャンネルで表示される順番を変更したい場合は、チャンネルをすべて取り消し、再度希望の順番で登録してください。
- かんたん設置設定や地上デジタルのチャンネル設定を行うと、地上デジタルの登録した内容は取り消されます。

番組視聴中の便利な機能

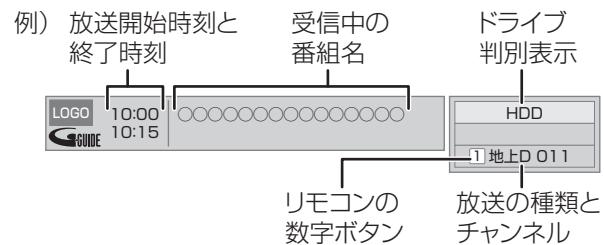
上下左右の黒帯を消して拡大

上下左右に黒帯が入っている場合に、上下左右の黒帯を消して大きく表示します。

(詳しくは → 87 「画面モード切換」)

見ている番組の情報を表示

画面表示 を押す



④ 表示を消すには

[画面表示] を数回押す

音声を切り換える

音声 を押す

- 押すごとに、放送の内容によって音声が切り換わります。

お知らせ

- 多重音声の記録について (→ 68)
- 録画中に切り換えて、記録される音声に影響はありません。

字幕を表示する

視聴している番組が字幕付きの番組の場合、字幕を表示できます。

字幕 を押す

- 押すごとに、字幕の表示の入 / 切を切り替えます。

放送中の番組の 3D 設定をする

3D 対応テレビと接続時

サイドバイサイド (2画面構成) などの 3D 対応の放送の番組を 3D 映像で見ることができない場合に変更してください。

(詳しくは → 89 「出力方式」)

テレビ放送を見る (続き)

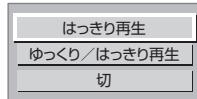
はっきり再生する

ゆっくり / はっきり再生する (0.8 倍速)

音声をはっきりと聞き取りやすくします。また、「ゆっくり / はっきり再生」にすると、番組を HDD に一時的に記録することによって、通常よりも遅い速度で再生します。

テレビ視聴中に、**[ゆっくり / はっきり]** を押す

- 押すごとに設定を順に切り替えます。



☞ ゆっくり / はっきり再生を終了するには

- ① [■ 停止] を押す
- ② 「はい」を選び、[決定] を押す
(一時的に記録した番組は削除されます)

お知らせ

- 電源を切ると、ゆっくり / はっきり再生は終了し、一時的に記録した番組も削除されます。
- 以下の場合、一時的な記録は終了します。ただし、その時点までの記録内容を見ることはできます。
 - ・ゆっくり / はっきり再生と 2 番組録画の同時実行中に、別の番組の予約録画開始時刻になったとき
 - ・ゆっくり / はっきり再生が 8 時間を超えたとき
 - ・HDD の容量がなくなったとき
- 本機が番組を録画できない状態のときは、ゆっくり / はっきり再生を実行することはできません。
- ゆっくり / はっきり再生中は、放送中の番組より遅い速度で再生するため、放送中の番組との間に時間差が生じます。
- 録画中の番組はゆっくり / はっきり再生できません。
- ゆっくり / はっきり再生中は、音声は PCM になります。
- はっきり効果の強さを設定したり、はっきり再生を常時有効に設定することもできます。(→181)

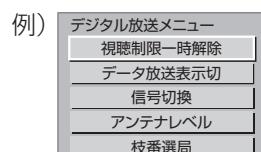
放送内容などの設定

① テレビ視聴中に、**S** を押す

- サブメニュー画面が表示されない場合、もう一度 [サブメニュー] を押してください。

② 「デジタル放送メニュー」を選び、**決定** を押す

③ 設定項目を選び、**決定** を押す (→右記へ)



視聴制限一時解除

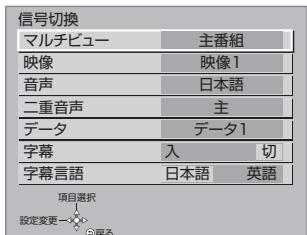
暗証番号 (→172) を入力して視聴制限を一時解除します。

データ放送表示切

データ放送の表示を終了します。

信号切換

映像や音声などの信号を複数放送している場合は、以下の操作で切り換えることができます。



設定する項目を選び、設定する

お知らせ

- 記録できる音声、映像、字幕情報は、録画モードによって異なります。
(詳しくは →69)

アンテナレベル

アンテナレベルが確認できます。

枝番選局

(地上デジタル)

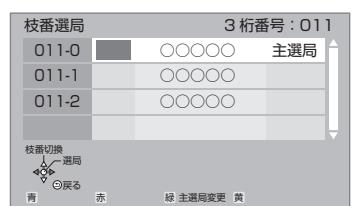
枝番号とは、同じチャンネル番号に割り当てられる放送が複数受信できた場合に、追加される番号のことです。

(例:「011-0」、「011-1」)

3桁チャンネル番号を入力して選局すると主選局の放送局が選局されます。

以下の操作で、違う枝番号の放送局を選局することができます。

放送局を選び、[決定] を押す



☞ 主選局を変更するには

主選局にしたい放送局を選び、[緑] を押す

お知らせ

- 視聴中の番組により表示される項目が変わります。

放送中の番組を録画する

HDD

この操作では HDD にのみ録画できます。

1 地上 BS CS 1/2 を押す

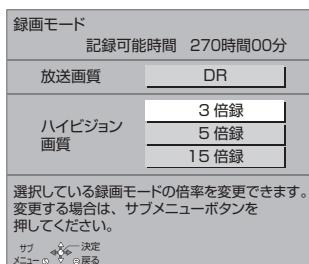
- [CS] を押すごとに、CS 1 または CS 2 に切り換わります。

2 1@ ~ 12 改行 または 升降 を押して、チャンネルを選ぶ

3 録画モード を押して、録画モードを選ぶ

- 押すごとに、切り換わります。
- 表示が消えると、選ばれた録画モードに切り換わります。

例)



- ハイビジョン画質を選択時に [サブ メニュー] を押すと、録画モードの倍率を変更することができます。(→ 70)

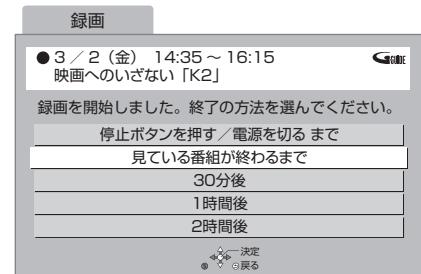
4 ワンタッチ予約 録画 を押す

本体前面



“録画 1” または “録画 2”、“録画 3” が点灯

5 録画の終了方法を選び、決定 を押す



例) 「30 分後」を選んだ場合

本体前面



④ 録画を止めるには

[■ 停止] を押す

お知らせ

- 録画モードと記録時間の目安 (→ 238)
- 録画モードと記録時間の倍率について (→ 70)
- CATV から録画する (→ 111)
- ディスクや USB-HDD へは録画できません。
 - ・ 予約録画はできます。(ビデオ方式は除く)
- 予約録画が始まり、複数の番組を録画 (→ 71) できない場合は、予約録画が優先され録画は終了します。
- 長時間連続して録画すると、8 時間ごとの番組に分割されます。
- デジタル放送の番組でも、DVD 画質相当（従来のアナログ放送と同様の画質）の番組があります。この番組は、ハイビジョン画質の録画モードを選んで録画しても、画質は DVD 画質相当です。
- 録画中の番組の録画モードを変えることはできません。
- 複数の番組を録画するには
 - 手順 1 ~ 5 で別の番組を録画してください。
 - ・ 3 番組録画中のチャンネル / 放送 / 入力切換は、録画中の番組間でのみ行えます。
 - ・ 番組の同時録画について (→ 71)

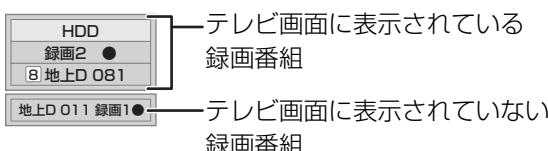
放送中の番組を録画する（続き）

録画中のいろいろな操作

録画中の番組の確認

■表示 を押す

例) 複数の番組を録画中



録画中の番組をテレビ画面に表示

一時停止などの操作をする場合、操作前に録画中の番組をテレビ画面に表示させてください。

- 放送を切り換えていた場合：

地上 BS CS 1/2 を押す

- チャンネルを切り换えていた場合：

△ チャンネル を押す

- 入力を切り换えていた場合：

INPUT 切換 を押す

録画を止める

■停止 を押す

- 複数の番組を録画中のときは、録画を止めたいチャンネルを選んでください。

一時停止する

録画を一時停止させたい番組をテレビ画面に表示させてください。（→上記）

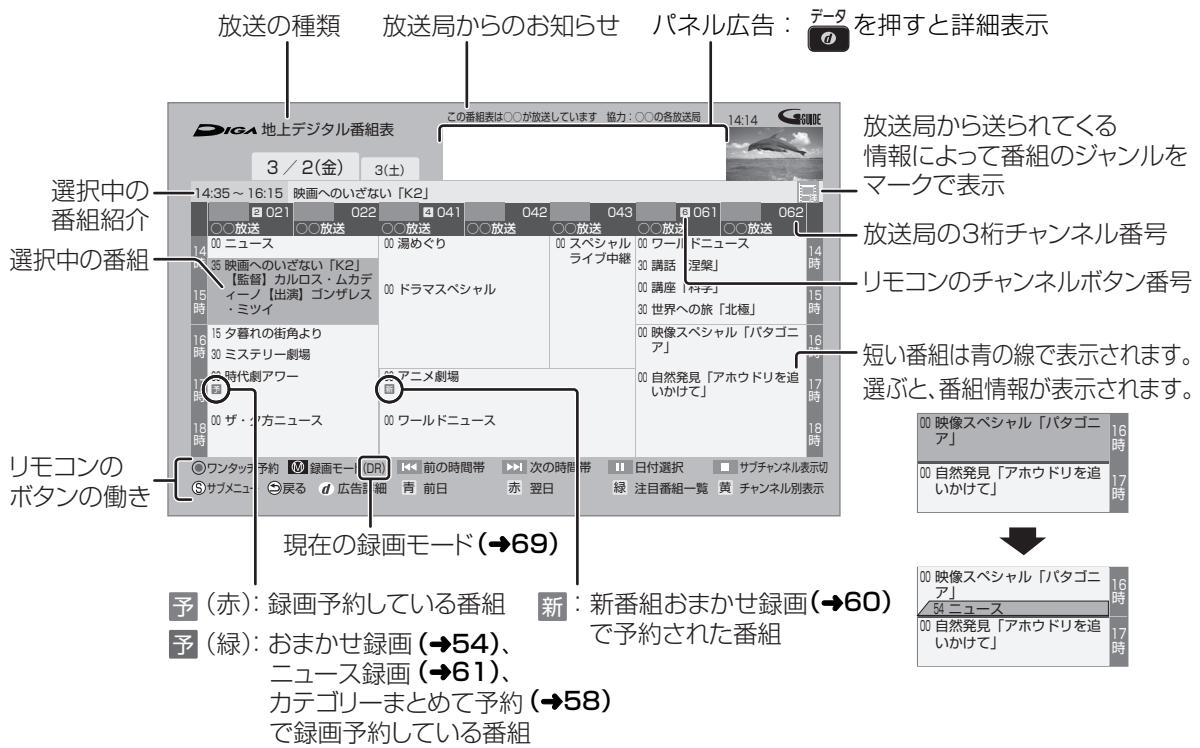
■一時停止 を押す

- もう一度押す、または [ワンタッチ予約 録画 ●] を押すと録画を再開します。（番組は分割されません）
- 一時停止すると、その部分が再生時に一瞬静止画になる場合があります。

番組表の見方

番組表は、放送局から送られるテレビ番組情報を、新聞の番組欄のようにテレビ画面に表示するシステムです。電源「切」時に番組表のデータ受信を行います。

例) 全チャンネル表示



番組の色分け表示について

本機は番組データのジャンル情報に従って代表的な5つのジャンル（映画、スポーツ、音楽、ドラマ、アニメ／特撮）を色分け表示しています。

お知らせ

- 本機を設置した時間帯によっては、番組表を表示できるまでに1日程度かかる場合があります。
- 番組表の受信時刻は、放送ごとに異なるため、一度にすべての放送の番組表が表示されないこともあります。
- パネル広告について**
インターネットに接続し、「通信によるGガイド受信」(→171)を「入」にすると、インターネット専用のパネル広告を表示することができます。

番組表（G ガイド）を使って予約録画する

HDD BD-RE BD-R RAM -R AVCREC -R VR -RW VR

USB-HDD

ディスクに予約録画する場合、ディスクを入れると下記のような画面が表示されますので、【戻る】を押して画面を消してください。

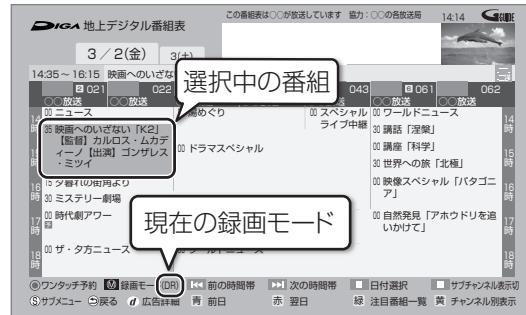
例)



ディスクへは、1 番組のみ予約できます。

1 選択キー
を押す

2 リモコン
で番組を選ぶ



☞ 別の放送の番組表を見るには

[地上][BS][CS] を押す

☞ 現在の録画モードを変更するには

[録画モード] を押す

☞ 番組を検索するには

(→62、90)

3 決定
を押す

決定 の代わりに ワンタッチ
録画 を押すと、

現在の録画モードで簡単に予約を完了できます。(予が表示されます)

●HDD に予約します。

●手順 4 ~ 5 の操作は不要です。



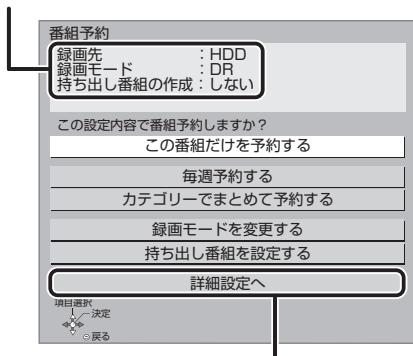
4 「番組予約へ」を選び、決定 を押す



表示マークについては → 操作ガイド (→2)

5 項目を選び、**決定**を押す

予約内容を確認してください。



- ディスクやUSB-HDDに予約録画する場合は、「詳細設定へ」を選び「録画先」を「BD」または「USB-HDD」に変更してください。

この番組だけを予約する：

この番組のみ予約を登録

毎週予約する：

毎週同じ曜日に予約を登録

カテゴリーでまとめて予約する：

お好みの番組を自動で登録 (→58)

録画モードを変更する：

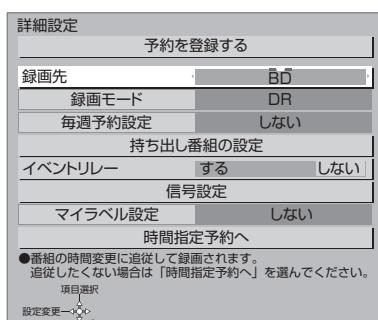
録画モードを変更 (変更後、「この番組だけを予約する」または「毎週予約する」を選んで予約を登録してください)

持ち出し番組を設定する：

モバイル機器へ持ち出すための番組を作成
(→142)

詳細設定へ：

録画先や予約する曜日の設定などの予約内容を変更 (→50)



DVDにデジタル放送を録画する場合

CPRM対応

のディスクをお使いください。



DVDに予約録画できる記録方式



ハイビジョン画質で記録できます。

(1.5 ~ 15倍録モードで記録)

●**RW**ではできません。



DVD画質で記録します。

(XP、SP、LP、EP、FRモードで記録)



予約録画できません。

お知らせ

- 複数の番組を予約する場合は、手順1~5の操作を繰り返してください。予約済みの番組をさらにもう1番組予約することはできません。
- 番組表はお買い上げ後すぐには表示されません。放送局から番組表のデータを受信する必要があります。
- 電源の入／切にかかわらず、予約の開始時刻になると予約録画を開始します。
- 本機では128番組まで予約できます。(毎日・毎週予約は、1番組として数えます)
- USB-HDDに複数の番組を同時に録画したい場合は、USB3.0対応のUSB-HDDを使用してください。(→194)
- 本機で録画したUSB-HDDの番組は、他の機器に接続しても再生することはできません。
- SeeQVaultフォーマットのUSB-HDDには予約録画できません。

その他の表示設定

1 番組表表示中に

サブ
メニュー
S を押す

2 項目を選び、設定する

番組表の検索	「フリーワード」や「ジャンル」などから、番組を検索します。 (→62)
放送切換	別の放送の番組表を表示します。 ●お好み番組表は、「お好みチャンネル」(→41)で登録されている放送局が表示されます。
表示チャンネル数	1画面に表示するチャンネル数を変更します。
表示日数切換	1画面に表示する日数を変更します。
表示対象	番組表で表示させる内容を変更します。 ●「設定チャンネル」は、チャンネル設定されている P01 ~ 36までのチャンネルを表示します。 ●番組表の表示をやめると、設定は「すべて」に戻ります。

ジャンル別表示

- 全チャンネル表示時のみ

ドラマや映画、スポーツなどの見たいジャンルの番組だけを番組表上で明るく表示します。

① メインジャンルを選び、[決定]を押す

② サブジャンルを選び、[決定]を押す

☞ ジャンル別の表示をやめるには

① [サブメニュー]を押す

② 「全ジャンル表示」を選び、[決定]を押す

●別の放送の番組表を表示した場合やサブメニュー操作を行った場合もジャンル表示をやめます。

視聴制限一時解除

暗証番号(→172)を入力して視聴制限を一時解除します。
[決定]を押す

番組データ取得

選択した局の番組情報を受信します。
[決定]を押す



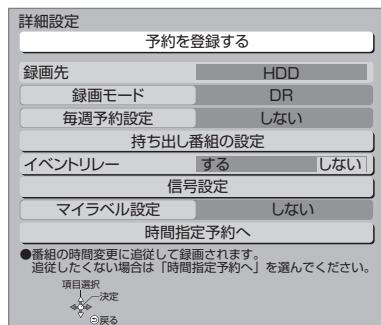
録画

番組表 (G ガイド) を使って予約録画する (続き)

詳細設定をする

47 ページ手順 5 などで「詳細設定へ」を選んだあとに操作します。

1 項目を選び、設定する (→ 下記へ)



- 「録画モード」「毎週予約設定」「持ち出し番組の設定」「信号設定」「マイラベル設定」「時間指定予約へ」の場合は、[決定] を押してください。

2 設定が終了したら、「予約を登録する」または「修正を反映する」を選び、**決定** を押す

録画先	録画先を選びます。 ●DVD に予約録画する場合は、「BD」を選んでください。
録画モード	録画モード (→69) を設定します。
毎週予約設定	

「毎週予約」(→65) を設定する

- 「自動更新」を「入」に設定すると、前回の番組を消去して録画するので、HDD 容量を効率よく録画できます。
- 曜日ごとに「する」「しない」の設定をすることもできます。

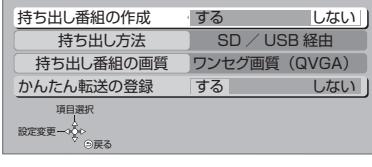
持ち出し番組の設定

HDD

録画時に持ち出し番組も作成するよう設定をします。(→142)

持ち出し番組の設定

・モバイル機器へ持ち出すための番組を作成します。録画する番組によっては、録画終了後の電源「切」中に作成するため、時間がかかります。



「持ち出し番組の作成」を選び、「する」を選ぶ

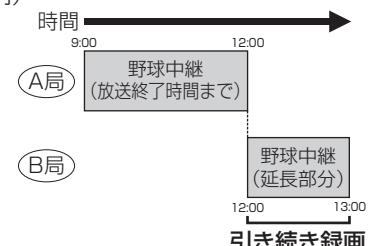
- 「かんたん転送の登録」を「する」に設定すると、「かんたん転送」(→143) で転送することができます。
- 持ち出し番組の作成は、録画後でも行うことができます。(→142)

④ 持ち出し方法と画質について (→141)

イベントリレー

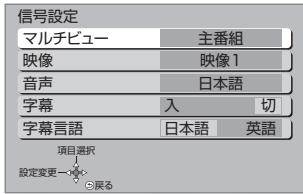
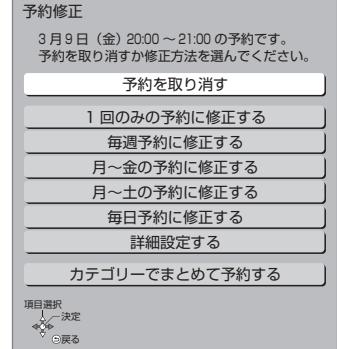
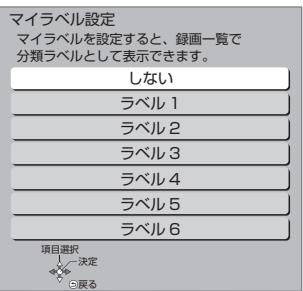
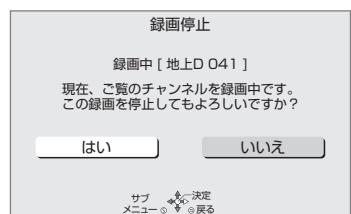
「する」を選ぶと、野球延長などで延長部分が他のチャンネルで放送される場合、引き継ぎ番組を録画します。(ただし、別番組として録画されます)

例)



お知らせ

- 毎日・毎週予約を設定している場合は働きません。
- 録画先が“BD”的場合、延長部分は HDD に代替録画されます。
- 他の予約と重複した場合、一方の番組が録画されないときがあります。

<p>信号設定</p> <p>複数の音声や映像の信号があるときには設定します。DVDに録画する場合などに設定してください。</p>  <p>① 項目を選び、設定する ② [戻る] を押す</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> 記録できる音声、映像、字幕情報は、録画モードによって異なります。(詳しくは →69) 選べる項目は、予約時点の番組情報に基づいています。実際に放送された番組が設定した項目を含んでいない場合、設定した内容では録画されません。 	<p>番組表での予約の取り消し / 修正</p> <p>① 「予」が表示されている番組を選び、 を押す ② 項目を選び、 を押す</p> 
<p>マイラベル設定</p> <p>HDD</p> <p>録画する番組をどのマイラベルに分類させるか設定することができます。</p> <p>設定すると、録画一覧 (→76) で番組を探すのに便利です。</p> <p>設定は録画後に変更することもできます。(→95)</p> 	<p>④ 「詳細設定する」を選んだ場合 「番組予約」のときは (→50「詳細設定」) 「時間指定予約」のときは (→53「時間指定予約」)</p> <p>⑤ 「カテゴリーでまとめて予約する」を選んだ場合 (→58)</p>
<p>時間指定予約へ</p> <p>録画時間や番組名などの変更をしたい場合に行います。(→53「時間指定予約」)</p>	<p>録画中の予約録画を止める</p> <p>1 を押す</p> <p>●複数の番組を録画中のときは、録画を止めたいチャンネルを選んでください。</p> <p>2 「はい」を選び、 を押す</p> <p>例) </p> <p>●上記画面が表示されない場合は、本機の映像をテレビに映してください。(→32)</p>



番組表 (G ガイド) を使って予約録画する (続き)

注目番組一覧から予約録画する

放送局がお勧めする番組を一覧表示できます。

1 番組表表示中に

緑 [決定] を押す

2 放送を選び、[決定] を押す

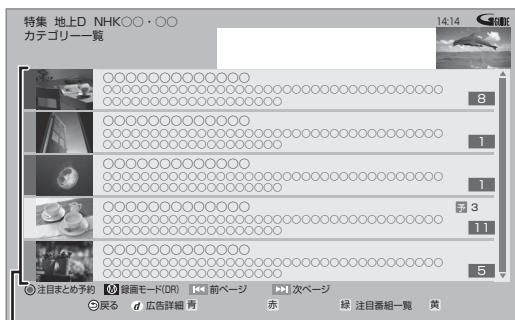
- 地上D、BS、CSの全チャンネルを選んだ場合、手順 4 へ進んでください。



インターネットに接続し、「通信によるGガイド受信」(→171)を「入」に設定すると、放送局の注目番組一覧を表示します。

(2014年8月現在、インターネットから注目番組の情報を取得できる放送局はNHK、WOWOW、スター・チャンネルのみです)

3 (インターネットから注目番組の情報を取得できる放送局を選んだときのみ) カテゴリーを選び、[決定] を押す



カテゴリー

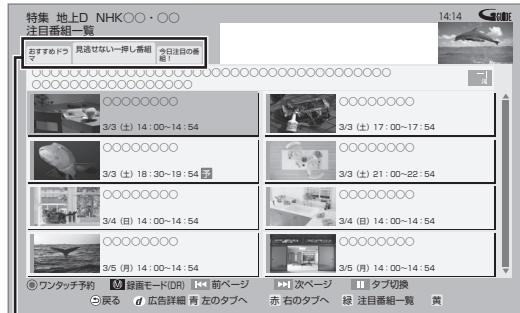
☞ カテゴリー内の注目番組をまとめて予約するには

- [ワンタッチ予約 録画 ●] を押す
 - 予が表示され、予約は完了します。
 - 録画された番組は、まとめ番組になります。

☞ 放送を変更するには

- [緑] を押す (→手順 2 へ)

4 番組を選び、[決定] を押す



カテゴリー

☞ 前後のページを見るには

- [◀◀][▶▶] を押す

☞ 他のカテゴリーを表示するには

- [青][赤] を押す

([II] 一時停止] を押してカテゴリーを選択することもできます)

☞ 放送を変更するには

- [緑] を押す (→手順 2 へ)

☞ 録画モードを変更するには

- ① [録画モード] を押す

- ② 録画モードを選び、[決定] を押す

5 「番組予約へ」を選び、[決定] を押す

(「番組予約」のときは →47 手順 5)

(「時間指定予約」のときは →53 手順 3)

日時を指定して予約録画する（時間指定予約）

HDD BD-RE BD-R RAM -R AVCREC -R VR -RW VR

- 1  **予約確認** を押す
 - 2  ワンタッチ予約
 録画 を押す

3 予約内容を設定する

(→右記「時間指定予約」へ)

時間指定予約	○○放送
録画日	3月9日(金)
毎週予約設定	しない
放送種別／チャンネル	地上局 061
開始時刻	3月 9日 20:00
終了時刻	— — — —
録画先	HDD
録画モード	DR
持ち出し番組の設定	
番組名入力	
マイラベル設定	しない
予約を登録する	
項目選択	
設定変更	○戻る

CATVセットトップボックスなどの外部入力から録画するときは「外部入力L1」を選んでください。

**4 「予約を登録する」または「修正を反映する」
を選び、決定を押す**

お知らせ

- 暗証番号に関する表示が出たとき

デジタル放送には、視聴制限のある番組があり、視聴・録画には暗証番号（**→172**）の入力が必要です。視聴制限のない番組の場合は、**[戻る]** を押すと予約できます。

- 本機の日時が間違っている場合は、日時設定を行ってください。
(→177「日時設定」)
 - 番組追従機能 (→65) は働きません。
 - SeeQVault フォーマットの USB-HDD には予約録画できません。

予約内容の設定

時間指定予約

時間指定予約	○放送
録画日	3月10日(土)
毎週予約設定	しない
放送種別／チャンネル	地上D 061
開始時刻	3月10日 17:00
終了時刻	3月10日 17:30
録画先	HDD
録画モード	DR
持ち出し番組の設定	
番組名入力	
マイラベル設定	しない
予約を登録する	
<input type="button" value="項目選択"/> <input type="button" value="決定"/> <input type="button" value="キャンセル"/>	

- ① 項目を選び、設定する（→下記へ）
 - 「毎週予約設定」「録画モード」「持ち出し番組の設定」「番組名入力」「マイラベル設定」の場合は、[決定]を押してください。
 - ② 設定が終了したら、
左記手順4へ

録画日	日付を指定します。
毎週予約設定	毎日・毎週予約を設定します。 (→50「毎週予約設定」)
放送種別 / チャンネル	録画する放送とチャンネルを設定します。
開始時刻 / 終了時刻	録画の開始時刻や終了時刻を設定します。 •[◀]または[▶]を押したままにすると15分単位で変更できます。
録画先	録画先を選びます。
録画モード	録画モード(→69)を設定します。
持ち出し番組の設定	持ち出し番組作成の設定をします。 (→50)
HDD	
番組名入力	•文字入力について(→167) •入力しなくとも、番組表にある番組は、録画後に自動的に番組名が付きます。
マイラベル設定	録画する番組をどのラベルに分類させるか設定します。(→51)
HDD	

自動予約機能を使う

おまかせ録画する

設定した録画条件から番組を毎日検索し、自動で予約録画します。

- **HDD** に 5 倍録モードで予約録画されます。
録画モードを変更したい場合は、「録画モードを設定する」(→55) で設定してください。
- おまかせ録画は最大 12 個まで登録できます。
☞ 自動予約機能で予約可能な番組数について (→67)

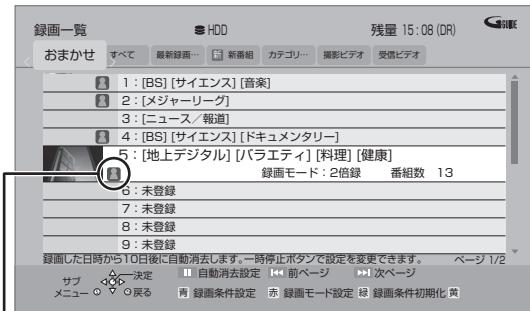
1 [スタート] を押す

2 「おまかせ録画」を選び、**決定** を押す

- 表示がない場合は [<◀◀][▶▶>] でページを切り換えてください。

3 「未登録」を選び、**青** を押す

- 登録済みのおまかせ録画を変更するには、項目を選び、[青] を押してください。



マイメニューの利用者アイコン

- 設定したおまかせ録画はマイメニューにも登録できます。(→157)
マイメニューで登録した場合は、登録したボタンに対応した色のアイコンが表示されます。

4 録画条件を設定する (→55)



5 すべての設定が終了したら、**決定** を押す

お知らせ

- おまかせ録画の自動予約を取り消す場合は、登録済みのおまかせ録画を取り消してください。(録画条件の初期化) (→59)
- 予約録画が重なった場合、優先順位の高い予約録画を優先して予約します。優先順位は予約録画の種類によって異なります。
(→67「自動予約する番組の優先順位について」)

■録画条件について

放送種別	放送の種類 ●「お好み」は、「お好みチャンネル」(→41)で登録されている放送局です。
検索条件 ^{※1}	「ジャンル」、「カテゴリー」、「ディモーラおまかせ」の切り替え ●「ディモーラおまかせ」に設定すると、録画履歴の傾向からお客様の興味がありそうな番組や、ディモーラのサービスに登録されたディーガで多く録画された番組または話題になった番組を自動で録画予約します。 ☞サービスの登録について(→225)
ジャンル	ドラマ、スポーツ、音楽などのキーワード
カテゴリー ^{※2}	放送番組に関連したキーワード
サブジャンル	「ジャンル」の詳細
サブカテゴリー	「カテゴリー」の詳細
フリーワード	登録したワード ☞フリーワードの登録について(→56) ●インターネットに接続すると、旬のキーワード(青色表示)を取得することができます。
人名(頭文字)	人名の頭文字
人名	「人名(頭文字)」で指定した頭文字の人名

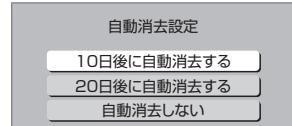
自動消去設定

おまかせ録画で予約録画された番組は、自動的に消去することができます。(10日後、または20日後)

54ページ手順2のあと

③ [II-時停止] を押す

④ 項目を選び、[決定] を押す



- 自動消去の対象から外したい番組は、「プロテクト設定」(→57) または「おまかせ録画から除外」(→57)を設定してください。



録画モードを設定する

おまかせ録画ごとに録画モードを設定できます。

54ページ手順2のあと

③ 登録したおまかせ録画を選び、[赤] を押す

④ 録画モード(→69)を設定する

※1 放送データが未取得の場合は、「カテゴリー」への切り替えはできません。

※2 選択項目は放送データの取得状況によって変わります。

自動予約機能を使う (続き)

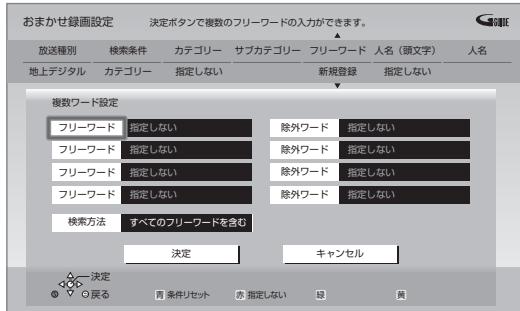
フリーワードを登録する

フリーワードは 20 件まで登録することができます。

① 「新規登録」を選び、**決定** を押す

② 項目を選び、設定する

☞ 文字入力 (→167)



フリーワード :

入力した文字に関連した番組を、録画予約します。

除外ワード :

入力した文字に関連した番組を、録画予約の対象から除外します。

検索方法 :

検索時のフリーワードの組み合わせ方を設定します。

- 「すべてのフリーワードを含む」：登録したすべてのフリーワードを含む番組を録画予約します。
- 「いずれかのフリーワードを含む」：登録したフリーワードのうち、いずれか 1 つでも一致した番組があった場合、その番組を録画予約します。

③ 設定が完了したら、「決定」を選び、**決定** を押す

☞ インターネットから取得したキーワード (青色表示) を登録するには

キーワード (青色表示) を選び、[緑] を押す

☞ 登録したフリーワードを変更するには

① 変更したいフリーワードを選び、[緑] を押す

② 項目を選び、設定する

☞ 文字入力 (→167)

☞ 登録したフリーワードを削除するには

削除したいフリーワードを選び、[黄] を押す

お知らせ

- 英数の文字入力をした場合、検索は半角文字と全角文字を区別せずに行います。
- 検索結果は、放送データの取得状況によって変わりますので、録画条件が一致していても、おまかせ録画されない場合があります。
- インターネットから取得したキーワード (青色表示) は、ディモーラサービスから取得しています。
(ネットワークの接続状態によっては、取得できない場合があります)

おまかせ録画した番組を再生する

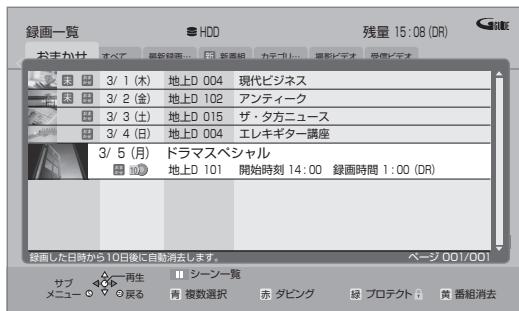
1 スタート を押す

2 「おまかせ録画」を選び、決定 を押す

- 表示がない場合は[◀◀][▶▶]でページを切り換えてください。

3 項目を選び、決定 を押す

4 番組を選び、決定 を押す



おまかせ録画の一覧から番組を消去する

上記手順 3 のあと

④ 消去したい番組を選び、黄 を押す

⑤ 「消去」を選び、決定 を押す

- 他のおまかせ録画一覧に同じ番組がある場合は、本機から消去されません。(HDDの残量は増えません)
再生中に [消去] を押して番組消去を行うと、その番組は本機から消去されます。

プロテクト設定 / 解除

自動消去などで記録内容を誤って消去しないよう、番組ごとに保護する設定ができます。

上記手順 3 のあと

④ 番組を選び、緑 を押す

⑤ 「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、決定 を押す

- プロテクト設定すると「」が表示されます。
- 他のおまかせ録画一覧に同じ番組がある場合は、その番組もプロテクト設定 / 解除されます。

おまかせ録画一覧の便利な機能

左記手順 3 のあと

④ 番組を選び、S を押す

⑤ 項目を選び、決定 を押す (→ 下記へ)

(→78)	先頭から再生
(→ 左記)	番組消去
(→93)	内容確認
(→98)	番組編集
	チャプター一覧へ
	おまかせ録画から除外
	登録済み予約



録画

内容確認	番組の内容が確認できます。 ☞ 画面を消すには [決定] を押す
おまかせ録画から除外	おまかせ録画一覧で表示させなくします。 「すべて」ラベル (→77) からは番組を見るることができます。
登録済み予約	おまかせ録画で録画予約した番組を表示します。

お知らせ

- おまかせ録画により、自動で録画された番組には「」が表示されます。
- 「おまかせ」ラベルでは、新しく録画された番組がある場合には、「」が表示されます。
- 録画一覧 (→76) の「すべて」ラベルでは  番組として、まとめ表示されます。
 - 「」の番組を消去した場合、おまかせ録画一覧でも番組は表示されなくなります。

自動予約機能を使う（続き）

関連する番組を自動で予約録画する (カテゴリーまとめて予約)

お好みの番組に関連するカテゴリーの番組を毎日検索して自動で予約録画します。

- **HDD** に予約します。
- 登録できる項目数は 32 個までです。

☞ 自動予約機能で予約可能な番組数について
(→67)

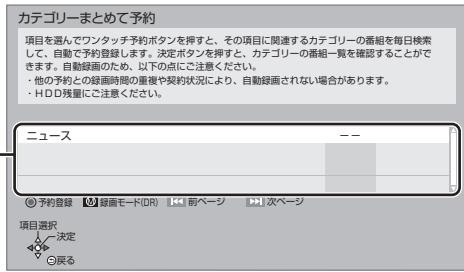
選択した番組から探す

選択している番組に関連した項目から番組を自動で予約録画します。

1 番組予約画面（→47 手順 5）表示中に「カテゴリーまとめて予約する」を選び、決定** を押す**

- 選択している番組に関連するカテゴリーの番組の情報がない場合、選択できません。

2 表示されている項目を選び、決定** を押す**



選択している番組に関連した項目が表示されます。

- 録画モードを変更する場合は、[録画モード] を押して、録画モードを選んでください。

3 「予約する」を選び、決定** を押す**

カテゴリーから探す

ドラマ、スポーツ、アニメなどの項目を選び、その項目に関連したカテゴリーの番組を自動で予約録画します。

1 **スタート を押す**

2 「全機能から選ぶ」を選び、決定** を押す**

- 表示がない場合は [**◀◀**] [**▶▶**] でページを切り換えてください。

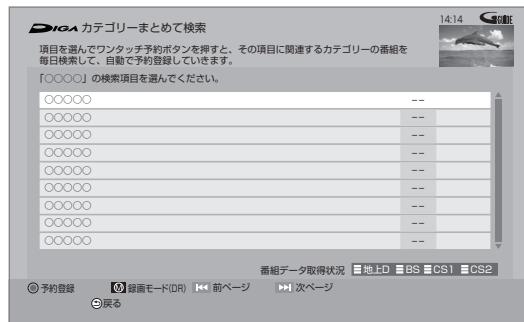
3 「番組を探す・予約する」を選び、決定** を押す**

4 「カテゴリーまとめて検索」を選び、決定** を押す**

5 「検索する」を選び、決定** を押す**

6 検索対象から項目を選び、決定** を押す**

7 項目を選び、録画** を押す**



- 録画モードを変更する場合は、[録画モード] を押して、録画モードを選んでください。

☞ カテゴリーの番組一覧を表示する場合

手順 7 で [決定] を押す

自動予約の確認、修正、登録の取り消し

おまかせ録画予約の確認、修正、登録の取り消し

1 [スタート] を押す

2 「おまかせ録画」を選び、[決定] を押す

- 表示がない場合は[◀◀][▶▶]でページを切り換えてください。

■ 予約済み番組を確認する

③ 確認したい項目を選び、[決定] を押す

ガ
メニュー

④ [S] を押す

⑤ 「登録済み予約」を選び、[決定] を押す

- 予約番組を修正したい場合：

「登録済み予約」では確認のみできます。

予約された番組を修正したい場合は、

予約一覧 (→64) で修正してください。

■ 登録済みのおまかせ録画を取り消す

選択したおまかせ録画のみを取り消し、自動予約されなくします。(録画条件の初期化)

③ 登録した項目を選び、[緑] を押す

④ 「はい」を選び、[決定] を押す

- すでに予約済みの予約は取り消されません。

予約一覧 (→64) で取り消してください。

カテゴリーまとめて予約の確認、修正、登録の取り消し

1 [スタート] を押す

2 「全機能から選ぶ」を選び、[決定] を押す

- 表示がない場合は[◀◀][▶▶]でページを切り換えてください。

3 「番組を探す・予約する」を選び、[決定] を押す

4 「カテゴリーまとめて検索」を選び、[決定] を押す

5 「登録した予約を確認する」を選び、[決定] を押す

■ 予約済み番組を確認する

⑥ 確認したい項目を選び、[決定] を押す

- 予約番組を修正したい場合：

① 修正したい番組を選び、

[ワンタッチ予約 録画 ●] を押す

② 項目を選び、[決定] を押す

詳細設定について (→50)

(予約番組を修正すると、カテゴリーまとめて予約の番組ではなくなります)

■ 登録済みの項目を取り消す

⑥ 登録した項目を選び、[ワンタッチ予約 録画] を押す

⑦ 「はい」を選び、[決定] を押す

- すでに予約済みの予約は取り消されません。

予約一覧 (→64) で取り消してください。

お知らせ

- 予約録画が重なった場合、優先順位の高い予約録画を優先して予約します。優先順位は予約録画の種類によって異なります。(→67「自動予約する番組の優先順位について」)
- 契約が必要なチャンネルの番組は、契約していない場合、自動登録されません。

自動予約機能を使う (続き)

新番組を自動で予約録画する

(地上デジタル) (BS デジタル)

番組名に [新]、<新>、<新番組>、<新シリーズ>が含まれるドラマまたはアニメを最大 16 番組まで自動で予約することができます。

- 「夜ドラマ」は 18 時～23 時 59 分の間に開始時刻が含まれるドラマが対象になります。
- HDD に DR モードで予約します。

1 スタート を押す

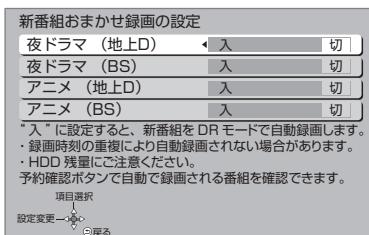
2 「全機能から選ぶ」を選び、決定 を押す

- 表示がない場合は [◀◀][▶▶] でページを切り換えてください。

3 「番組を探す・予約する」を選び、決定 を押す

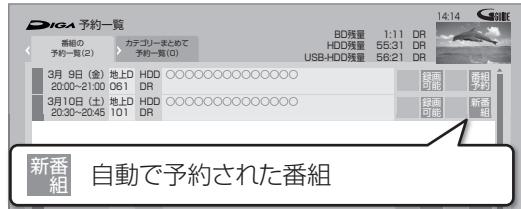
4 「新番組おまかせ録画」を選び、決定 を押す

5 設定したい項目を選び、「入」にする



予約された新番組の確認

予約確認 を押す



☞ 予約内容を修正するには (→64)

- 「修正」を選び、「設定変更」画面を表示すると、通常の番組予約になります。
- 新番組を毎日・毎週予約したい場合も予約内容の修正が必要です。

お知らせ

- 再生し、停止すると、次回予約の画面が表示されます。画面の指示に従ってください。
- 新番組でも、受信した番組データによっては正しく予約できない場合があります。
- 予約録画が重なった場合、優先順位の高い予約録画を優先して予約します。優先順位は予約録画の種類によって異なります。
(→67「自動予約する番組の優先順位について」)
- 契約が必要なチャンネルの新番組は、契約していない場合、自動登録されません。

ニュース番組を自動で予約録画する

地上デジタル

指定したチャンネルのニュース番組を自動で予約録画することができます。

録画されたニュースは、「最新ニュース」や「ニューストピックス」として見ることができます。

- **HDD** に予約します。
- ニューストピックスをご利用になるには、インターネットに接続して、ミモーラの会員登録が必要です。
☞ サービスの登録について (→225)
- ☞ 自動予約機能で予約可能な番組数について (→67)

ニュース録画設定

1 **スタート** を押す

2 「ニュース録画設定」を選び、**決定** を押す

- 表示がない場合は [<◀◀][▶▶>] でページを切り換えてください。

3 項目を選び、設定する



ニューストピックスが利用できるチャンネルには、
“*”が表示されます。
(インターネットに接続してミモーラ会員登録済み
の場合に表示されます)

ニュース録画機能 :

「入」に設定すると、ニュース番組の自動録画を有効にします。

チャンネル :

チャンネルを選びます。

4 設定が終了したら、

「設定完了」を選び、**決定** を押す

最新ニュースを再生する

録画されたニュース番組の中から最新の番組を再生することができます。

1 **スタート** を押す

2 「最新ニュース」を選び、**決定** を押す

- 表示がない場合は [<◀◀][▶▶>] でページを切り換えてください。

ニューストピックスを再生する

録画されたニュース番組の中から話題のニュースを順番にシーン一覧で表示します。

1 **スタート** を押す

2 「ニューストピックス」を選び、**決定** を押す

- 表示がない場合は [<◀◀][▶▶>] でページを切り換えてください。

3 見たいシーンを選び、**決定** を押す

- 選んだシーンから再生されます。

お知らせ

- 録画されるニュース番組は以下のようになります。
 - ・ 7倍録モードで予約録画されます。録画モードは変更できません。
 - ・ 放送時間が 15 分以上の番組が予約録画されます。
 - ・ 番組編集はできません。
 - ・ 録画後 48 時間以上経つと、自動で消去されます。番組を残したい場合は、ダビングなどで保存してください。(→104)
 - ・ 録画一覧 (→76) では以下のように表示されます。
 - **ニュース** 番組として、まとめ表示されます。
 - 番組には「**ニュース**」が表示されます。
 - ・ 予約録画が重なった場合、優先順位の高い予約録画を優先して予約します。優先順位は予約録画の種類によって異なります。(→67「自動予約する番組の優先順位について」)
 - ・ シーン一覧は、地上デジタル放送の一部の番組のみ対応しています。(2014 年 8 月現在)
また、シーン情報は、放送後一定期間保存していますが、保存期間が過ぎるとシーン再生はできなくなります。
詳しくは、ミモーラのホームページ (→225) をご覧ください。



検索機能を使う

ジャンルや人名、ワードで検索する

1 番組表表示中に

サブメニュー
S を押す

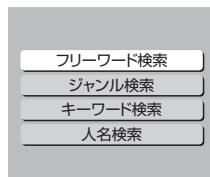
サブメニュー S の代わりに [検索] を押すと、

複数の検索条件を組み合わせて、番組を検索することができます。
(→90)



2 「番組表の検索」を選び、[決定] を押す

3 検索方法を選び、[決定] を押す



ジャンル検索
キーワード検索
人名検索

④ 検索条件を選び、[決定] を押す

●この操作を繰り返し、検索条件を絞り込みます。

☞ 放送ごとに表示するには

[地上][BS][CS] を押す

☞ 別日の検索結果を表示するには

[青](前日) [赤](翌日) を押す

(検索結果画面表示中に、[II一時停止] を押して日付を選択することもできます)

⑤ 番組を選び、[決定] を押す

⑥ 「番組予約へ」を選び、[決定] を押す

(→47手順5)

フリーワード検索

「フリーワード」「ジャンル」「出演者」の検索条件(5件まで)を登録し、1つでも条件を満たす番組を検索することができます。

●番組表の番組名や番組内容にある番組概要、番組詳細内容(→46手順4)の文字情報から検索します。

■ 検索条件を登録する

④ 緑 [決定] を押す

⑤ 検索方法を選び、[決定] を押す

●「フリーワード」は、文字を入力し(→167)、登録してください。

上記手順④～⑤を繰り返し、検索したい条件を追加してください。

☞ 登録したフリーワードを変更するには

① 検索条件を選び、[決定] を押す

② 「フリーワード編集」を選び、[決定] を押す

③ 文字を入力する(→167)

☞ 登録した検索条件を削除するには

① 検索条件を選び、[黄] を押す

② 「はい」を選び、[決定] を押す

■ 検索する

④ 検索する放送種別を変更する場合：

① 赤 [決定] を押す

② 検索したい放送を「入」に設定し、[決定] を押す

⑤ 青 [決定] を押す

☞ 別日の検索結果を表示するには

[青](前日) [赤](翌日) を押す

(検索結果画面表示中に、[II一時停止] を押して日付を選択することもできます)

⑥ 番組を選び、[決定] を押す

⑦ 「番組予約へ」を選び、[決定] を押す

(→47手順5)

お知らせ

●検索結果は、放送データの取得状況によって変わりますので、キーワードなどの検索条件が一致していても検索できない場合があります。

●インターネットに接続し、「通信によるGガイド受信」(→171)を「入」にしている場合、フリーワード検索結果の表示に時間がかかります。

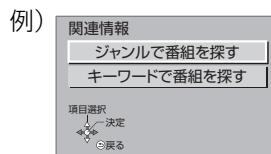
●「フリーワード検索」で英数の文字入力をした場合、半角で登録されますが、検索は半角文字と全角文字を区別せずに行います。

選択した番組から検索する

選択している番組に関連した情報（ジャンル、出演者など）から番組を検索します。

1 番組内容画面（→46 手順 4）表示中に「関連情報」を選び、決定** を押す**

2 項目を選び、決定** を押す**



- この操作を繰り返し、検索条件を絞り込みます。

☞ 放送ごとに表示するには

[地上][BS][CS] を押す

☞ 別日の検索結果を表示するには

[青]（前日）[赤]（翌日）を押す

（検索結果画面表示中に、[■一時停止] を押して日付を選択することもできます）

3 番組を選び、決定** を押す**

4 「番組予約へ」を選び、決定** を押す**

（→47 手順 5）



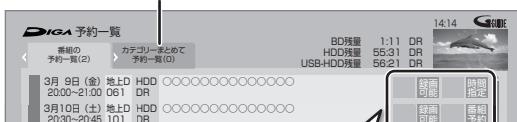
録画

予約内容の確認、取り消し、修正など

1 [予約確認] を押す

2 番組を選び、以下の操作を行う

- [◀] [▶] を押して、「カテゴリーまとめて予約一覧」を選ぶと、カテゴリーまとめて予約の確認、修正、登録の取り消しができます。（→59 手順 5）



予約状況がマークで表示されます。

- 「①」が表示されたときは、予約内容を確認してください。
- 表示マークについては → 操作ガイド（→2）

- 実行されなかった予約は、翌々日の午前4時には一覧から消去されます。
(消去された予約は「履歴一覧の表示」で確認できます → 右記)

予約の取り消し

[黄] を押す

予約内容の修正

- [決定] を押す
- 「修正」を選び、[決定] を押す
(「番組予約」のときは →50「詳細設定」)
(「時間指定予約」のときは →53「時間指定予約」)

毎日・毎週予約の予約状況を確認

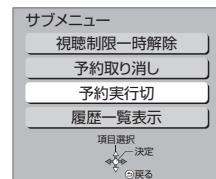
予約の重複などを確認できます。

- [決定] を押す
 - 「毎週一覧」を選び、[決定] を押す
- 予約の「重複」がある場合に [決定] を押すと、「予約重複確認」画面を表示します。（→66）
予約の修正をしてください。

予約の実行を止める（一時解除）

① [サブメニュー] を押す

例)



② 「予約実行切」を選び、[決定] を押す

- 予約内容に「予約実行切」マークが表示されます。
- [サブメニュー] を押して「予約実行入」を選択すると、待機状態に戻ります。[LAN 経由（スカパー！プレミアムサービスやCATV）で録画中の番組を除く]

視聴制限の一時解除

暗証番号（→172）を入力して視聴制限を一時解除します。

① [サブメニュー] を押す

② 「視聴制限一時解除」を選び、[決定] を押す

③ 1あ～10記号 で暗証番号を入力する

履歴一覧の表示

「一部未実行」など、録画ができなかった予約の履歴を一覧表示します。

① [サブメニュー] を押す

② 「履歴一覧表示」を選び、[決定] を押す

•履歴を選択して削除することができます。

履歴の削除

「一部未実行」の番組などの履歴を削除します。

① [サブメニュー] を押す

② 「履歴削除」を選び、[決定] を押す

③ 「はい」を選び、[決定] を押す

- 予約一覧で削除した場合でも、履歴一覧での履歴は残っています。

予約録画の便利な機能

録画の毎日・毎週予約

連続ドラマを毎日・毎週予約すると自動的に毎日または毎週録画し、毎回の放送を録りためています。



- 連続ドラマが終了するなど不要になった予約は取り消してください。(→64)

まとめ表示について

まとめ **HDD** **USB-HDD**

連続ドラマなどを毎日・毎週予約した番組は、録画一覧画面でまとめて表示されます。(→80)
(「自動更新」を「入」にして録画した場合は除く)

前回の番組を消去して録画するには

(自動更新) HDD

「自動更新」(→50) を設定しておくと、前回の放送分は消去されますので、HDD の容量を効率よく使えます。

- 未視聴の場合でも自動更新されます。
- 番組にプロテクトを設定している場合や、HDD 再生中、ダビング中は自動更新されません。(別番組として録画され、次回からそれが自動更新されます)
- 録画先を HDD 以外に変更すると、「自動更新」は「切」に設定されます。

ディスクや USB-HDD の残量不足などに対応 (代替録画)

以下の理由などでディスクなどに予約録画できない場合は、録画の失敗を防ぐために、自動的に“HDD”に録画先を変更し、録画の開始から HDD に録画します。

- ディスクや USB-HDD の残量不足
- ディスクの入れ忘れ
- USB-HDD が接続されていない
- USB-HDD の電源が入っていない
- USB3.0 非対応の USB-HDD への予約録画の重複
- SeeQVault 対応の USB-HDD が接続されている

お知らせ

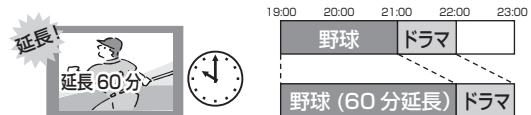
- HDD の残量が少ない場合は、録画できる分のみ録画されます。
- DVD 画質の予約を代替録画すると、HDD には 3 倍録モードで録画します。

番組追従機能

- 番組表から予約した番組にのみ働きます

■野球中継などの番組延長に対応

予約後に放送時間が変わっても、録画時間を自動的に変更します。(3 時間までの変更に対応)



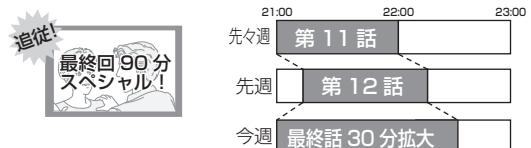
- 「イベントリレー」(→50) を設定しておくと、延長部分が、他のチャンネルで放送される場合にも対応します。
- 予約した番組が放送局側の都合により放送されなかった場合、予約録画は実行されません。



録画

■毎日・毎週予約した番組の時間変更に対応

「ドラマを毎週予約していたが、次回の放送に時間変更があった。最終回だけ 30 分拡大版だった。」などの場合に対応します。(開始 / 終了時刻の 3 時間までの変更に対応)



- 次回以降の予約登録をするときに、同じ番組名を番組表データから探して登録します。
- 番組表の更新を基に働くため、更新状態(番組名の変更など)によっては正しく働く場合があります。この場合は、最初の予約内容のまま登録します。

番組追従機能を無効にするには

時間指定予約で予約を行ってください。(→53)

お知らせ

- 番組追従機能によって予約の重複が起こった場合は、変更後の録画時間で録画の優先順位を決定します。開始時刻の早い番組が実行され、遅い番組の重複している部分は録画されません。
- 番組追従機能は当社独自の機能です。G ガイド固有の機能ではありません。

予約録画に関するお知らせ

予約録画待機中の録画や再生

以下の場合、予約録画が始まり、録画や再生は終了します。

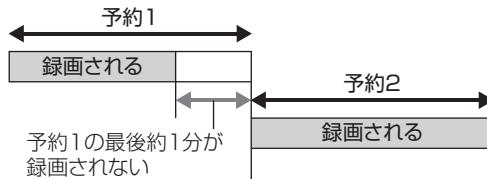
- 録画中：
複数の番組を録画できない状態のとき
- ディスク再生中：
ディスクへ予約した番組の予約時刻になったとき
- ファイル取り込みしたMP4(→75、160)を再生中：
予約録画の開始時刻になったとき

予約時の電源の切 / 入について

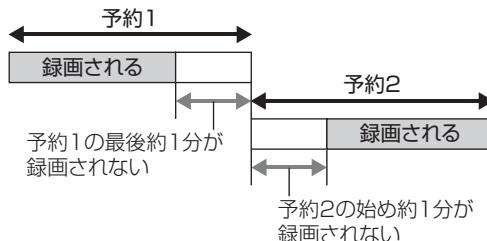
電源の切 / 入にかかわらず、予約録画は始まります。
予約録画中に電源を切ることはできます。(録画に影響はありません)

前の予約の終了時刻と次の予約の開始時刻が同じ場合

複数の番組を録画できない状態のときや、USB3.0 非対応の USB-HDD に予約している場合は、前の予約の終わりの約 1 分が録画されません。



次の予約先が「BD」の場合は、次の予約の始めも、約 1 分が録画されません。



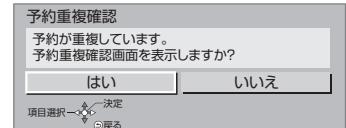
- 前の予約の録画終了時刻に近づくと、視聴中のチャンネルが次の予約のチャンネルに切り換わる場合があります。

予約番組が重なっているとき

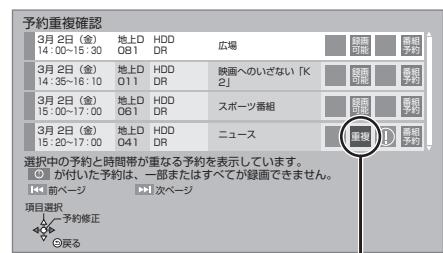
(47 ページ手順 5 などのあと)

予約が重なって、録画が正しく行われない場合、確認画面が表示されます。

画面の指示に従って、予約の重複を修正することをお勧めします。



例)



「重複」マークが付いた予約は、一部またはすべてが録画できません。

予約を選び、[決定] を押すと、予約の修正ができます。

予約一覧画面で「重複」マークが表示されている番組は、番組の一部またはすべてが録画されません。



開始時刻の早い番組を優先して録画します。録画が終わりしだい、次の番組が途中から録画されます。

開始時刻が同じ場合、後から予約した番組を優先して録画します。

- LAN 経由(スカパー! プレミアムサービスや CATV) の番組に「重複」マークが表示されている場合、途中からの録画は実行されません。

自動予約機能で予約可能な番組数について

- 新番組おまかせ録画は16番組まで可能です。
- 以下の録画予約は合計128番組まで可能です。
 - ・おまかせ録画（→54）
 - ・カテゴリーまとめて予約（→58）
 - ・ニュース録画（→61）

自動予約する番組の優先順位について

- 本機は、以下の優先順位で予約します。
- 予約の重複が起きた場合は、優先順位の低い自動予約は登録されません。
- ① 検索条件が「ジャンル」または「カテゴリー」のおまかせ録画（→55）
 - ② カテゴリーまとめて予約（→58）
 - ③ 新番組おまかせ録画（→60）
 - ④ 検索条件が「ディモーラおまかせ」のおまかせ録画（→55）
 - ⑤ ニュース録画（→61）

同じ種類の予約録画が重なった場合、複数の番組を録画（→71）できないときは、以下の優先順位で予約します。

- ① 開始時刻の早い番組を優先
- ② 開始時刻が同じときは、地上デジタルとBSデジタルでは、地上デジタル放送の番組を優先
- ③ 放送波が同じときは、チャンネル番号の小さい番組を優先



録画

再放送の録画について

「おまかせ録画」や「カテゴリーまとめて予約」では、同じ番組を二度録画するのを防ぐために、番組名に「第2話」や「#2」などの話数を含む番組（連続ドラマやアニメなど）を録画したことがある場合、その再放送は約180日間録画予約しません。

（ただし、途中で録画を中断した番組の再放送は録画予約します）

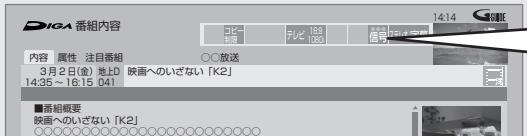
- 一度録画した番組の再放送も録画予約するには、「再放送の録画」（→180）を「録画する」に変更してください。

多重音声の記録について

海外映画やスポーツ中継などには、主音声と副音声を含んだ二重音声の番組や複数の音声を含んだマルチ音声の番組があります。このような音声を含んだ番組を録画するときは、設定により記録される音声が異なります。

録画する放送の音声を見分けるには…

番組表の番組内容画面で、表示されるマークを確認してください。



信号 : マルチ音声
主+副 : 二重音声

番組を視聴中のときは、
【音声】を押して、
音声を切り換えて
確認することもできます。

例えば、日本語と英語の2か国語放送を記録する場合

記録する操作	記録音声	記録先	記録できる音声
デジタル放送などの録画	信号 マルチ音声	HDD BD-RE BD-R RAM AVCREC -R AVCREC USB-HDD	両方の音声を記録
	主+副 二重音声	RAM VR -R VR -RW VR	•マルチ音声：片方の音声のみ記録 予約時に「信号設定」(→51) の「音声」で選択する •二重音声：両方の音声を記録
外部入力からの録画	マルチ音声	HDD BD-RE BD-R RAM AVCREC -R AVCREC	片方の音声のみ記録 外部機器側で、記録したい音声にする
	二重音声	HDD BD-RE BD-R RAM AVCREC -R AVCREC	以下の設定に従って記録 「ハイビジョン画質 / 持ち出し番組の記録設定」(→179) の「外部入力音声設定」を「二重音声」、「二重音声記録時の音声選択」を記録したい音声にする (外部機器側で「主音声」と「副音声」の両方を出力してください)

録画モードについて



録画

録画モード	DR	1.5 ~ 15 倍録	XP・SP・LP・EP	FR
画質	放送画質 放送そのままの画質で記録	ハイビジョン画質 放送データを圧縮 ^{*1} して、ハイビジョン画質で長時間記録 ディスクにもハイビジョン画質で記録	DVD画質 従来のアナログ放送と同様の画質で記録	DVD画質 ディスクの残量に合わせてXP~EPの中で画質を自動調整して記録 •番組の時間が少なくて、ディスク残量がなくなる場合があります。
	—	高画質 長時間	高画質 長時間	—
記録できる放送 / 入力	地上・BS・CS デジタル放送 i.LINK (TS)	地上・BS・CS デジタル放送 外部入力	地上・BS・CS デジタル放送 外部入力	
記録できるディスク	HDD BD-RE BD-R USB-HDD	HDD BD-RE BD-R RAM AVCREC -R AVCREC USB-HDD	RAM VR -R VR -R V ^{*2} -RW ^{*2}	
サラウンドの音声	サラウンド音声		ステレオ音声 (ダウンミックス2チャンネル)	
複数の音声 (マルチ音声 →68)	複数の音声をすべて記録	音声は2つ記録 ^{*3 *4}	音声は1つだけ記録 ^{*3}	
複数の映像	複数の映像をすべて記録	映像は1つだけ記録 ^{*3}		
字幕情報	字幕の入 / 切情報を含めて記録 (再生時、字幕表示の入 / 切ができる)		字幕の入 / 切情報は記録しない (再生時、字幕表示の入 / 切はできない) ^{*3}	

* 1 MPEG-4 AVC/H.264 エンコード

* 2 -RV -RWV デジタル放送のコピー制限のある番組は記録できません。

* 3 記録したい映像や音声、字幕表示の入 / 切などの内容を選びたい場合、記録前に下記の設定をしてください。

・録画時：「信号切換」(→42) で選ぶ

・予約録画時：「信号設定」(→51) で選ぶ

・ダビング時：「信号切換」(→86) で選んだあと、ダビングを行う (→109)

* 4 15倍録モードの場合、音声の種類によっては録画できる時間が短くなることがあります。

録画モードについて（続き）

画質と記録時間について

スポーツ、音楽ライブ番組など、動きや明るさの変化が激しい番組を長時間の録画モード（4倍録～15倍録）で録画する場合、ブロック状のノイズが目立つことがあります。この場合、DR や 1.5 倍録など高画質の録画モードをお使いになることをお勧めします。

DR モード切り換えについて

1.5～15倍録モードでの録画中に、再生やダビング、お部屋ジャンプリンク（DLNA）などを行うと、以下のような画面が表示される場合があります。

例) [BD-V] 再生時

再生を開始します。
ハイビジョン画質で録画中の番組を
DR モードに切り替え、録画を継続します。

その場合は、いったん DR モードで録画したあと、電源「切」時に設定した録画モードに変換します。
(電源「切」時に予約録画など本機が動作中の場合、動作終了後に変換を行います)

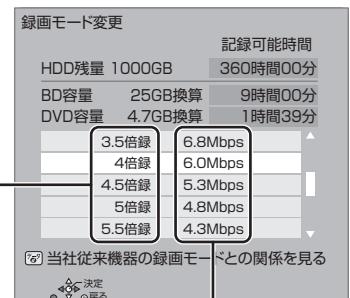
☞ 変換が終了しているか確認するには（→96）

また、1.5～15倍録モードで複数の番組を録画中は、以下の操作ができない場合があります。

- HDD 残量不足時の再生やダビング、番組キープ
- ドアホン・センサーハンディ映像の再生
- 持ち出し番組やダビングリスト作成画面のプレビュー

録画モードと記録時間の倍率について

例)



記録時間の倍率 情報量(ビットレート)*

* 数値が大きいほど画質は良くなります。

ハイビジョン画質の倍率や情報量は、ハイビジョン映像（24 Mbps）を DR モードで録画した場合との比較を表しています。

☞ 録画モードと記録時間の目安（→238）

番組の同時録画について

本機でできる最大の同時録画の組み合わせは、以下のとおりです。

- 1～4番組目の録画順は自由です。

表の見方

地上・BS・CS放送	録画する放送/入力
DR	録画モード/接続

1番組目

地上・BS・CS放送
DR
1.5～15倍録



2番組目

地上・BS・CS放送
DR
1.5～15倍録
i.LINK(TS)入力^{*1}
DR



3番組目

地上・BS・CS放送
DR
1.5～15倍録
外部入力
1.5～15倍録



4番組目

スカパー!
プレミアムサービス^{*1}
CATV^{*1}
LAN経由

地上・BS・CS放送
DR



地上・BS・CS放送
i.LINK(TS)入力^{*1}
DR



地上・BS・CS放送
外部入力
XP, SP, LP, EP, FR^{*2}

地上・BS・CS放送
i.LINK(TS)入力^{*1}
DR



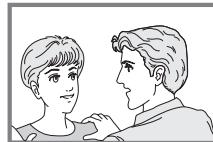
地上・BS・CS放送
外部入力
XP, SP, LP, EP, FR^{*2}



スカパー!
プレミアムサービス^{*1}
CATV^{*1}
LAN経由

* 1 i.LINK (TS) 入力、LAN 経由（スカパー！プレミアムサービスや CATV）の番組は、HDD にのみ録画できます。

* 2 XP、SP、LP、EP、FR モードでの録画は DVD にのみできます。



ディスクに複数の番組を同時に録画することはできません。

お知らせ

- 以下の場合、番組の複数同時録画はできません。
 - ・ディスクから HDD へダビング中
 - ・HDD から HDD へダビング（複製）中
 - ・LAN 経由（スカパー！プレミアムサービスや CATV）の 2 番組の場合
 - ・ディスクに 1.5～15 倍録モードで 1 番組、HDD に 2 番組、スカパー！プレミアムサービスの 1 番組の同時録画
 - ・ビエラリンク（HDMI）を利用して「見ている番組を録画」を実行しているときは、新たに「見ている番組を録画」はできません。
 - ・USB3.0 非対応の USB-HDD に同時録画する場合
- 同じ時間帯の番組を複数予約したい場合は、46 ページの操作を繰り返してください。

記録の制限について

デジタル放送の録画とダビング

デジタル放送のほとんどの番組には、不正なダビングを防止し著作権を保護するため、「ダビング10」または「1回だけ録画可能」のコピー制限があります。



ブルーレイディスク

市販されているディスクはそのまま使用できます。



DVD

著作権保護技術を持った CPRMに対応している必要があります。

パッケージに **CPRM対応** の記載のある

DVDを準備してください。

(デジタル放送録画用と記載されている場合もあります)

■ コピー制限について

コピー制限のある番組を録画すると、録画先が HDD や USB-HDD の場合は①または②を、ブルーレイディスクの場合は③を表示します。

①～③はダビングの残り可能回数を表します。

DVDの場合は④を表示し、ダビングや移動はできません。

①の番組をダビングまたは転送すると、ダビング元の番組は消去されます。(複製はできません)

●通常の番組・持ち出し番組ともにダビング元から消去されます。(④番組が消去されてもディスク残量は増えません)



●プロテクト設定(→93)されている①の番組はダビングできません。

コピー制御の仕組みに関する一般的な内容については、下記ホームページをご覧ください。

社団法人 デジタル放送推進協会

<http://www.dpa.or.jp>

ビデオ方式のディスクの記録アスペクト

「DVD-Video 記録の設定」の「記録アスペクト設定」(→179)に従って記録します。⑤⑥へ記録するときに有効です。

●「オート」に設定していると、番組の開始時のアスペクト比で記録します。別のアスペクト比で記録したい場合、設定を変更してください。

ハイビジョン画質/持ち出し番組の記録アスペクト

「ハイビジョン画質 / 持ち出し番組の記録設定」の「記録アスペクト設定」(→179)に従って記録します。480iの映像を1.5～15倍録モードで記録するときに有効です。

●以下の場合、「オート」に設定していると、番組のアスペクト変化に追従して記録します。

・外部入力から録画

・ファイナライズ後のディスク(DVDビデオ)からHDDにダビング

●ハイビジョン画質の16:9映像は「4:3」にしても、16:9映像として記録されます。

従来のアナログ放送と同様の画質で放送されている番組の記録

放送によっては、DRモードよりも他の録画モードで記録するほうが、記録容量が大きくなる場合があります。

再生する

録画した番組を再生する

HDD BD-RE BD-R RAM -R -RW USB-HDD

ディスクを再生する場合、ディスクを入れる。

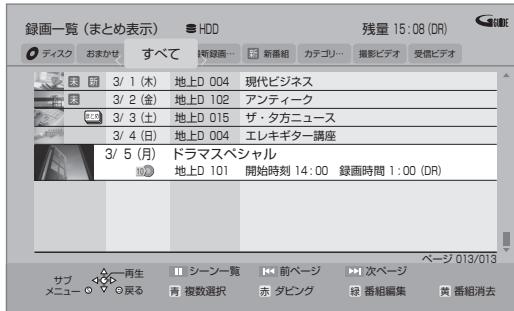
例) BD-RE



上記画面が表示された場合、「録画した番組を見る」を選び、[決定]を押すと、下記の手順2に進むことができます。

1 録画一覧を押す

2 番組を選び、決定を押す



●毎日・毎週予約した番組は、**まとめ**番組内に録画されます。

まとめ番組を選んで、[決定]を押すと、**まとめ**番組内の番組を表示できます。

④番組を検索するには (→90)

お知らせ

●表示マークについては →操作ガイド (→2)

●録画中番組の再生について

・HDD や USB-HDD に録画中の番組を再生できます。(追っかけ再生)

・録画中に録画済みの番組を再生できます。(同時録画再生)
ただし、ディスク予約録画中は、ディスクの再生はできません。

●録画一覧は録画した日付順に表示されます。(**まとめ** 番組は、最初に録画した番組の日付で表示します)

●有料放送を録画した番組では、再生時点での契約状況により、放送局からのメッセージが表示されます。

●録画一覧表示中に [赤] を押すと、かんたんダビング(→102)を行なうことができます。

市販またはレンタルのBDビデオやDVDビデオを再生する

BD-V DVD-V

ディスクを入れて、メニュー画面が表示されたときは、画面に従って操作してください。

1 ディスクを入れる

- 自動的に再生が始まります。
- 再生が始まらない場合、[▶再生]を押してください。

2 メニュー画面が表示された場合

項目を選び、決定を押す



④メニュー画面を表示させるには

BD-V 再生中 : [サブメニュー]を押して、「トップメニュー」を選ぶ
停止中 : [録画一覧]を押す

DVD-V [録画一覧]を押す
([サブメニュー]を押して、「トップメニュー」を選ぶ)

④ポップアップメニューを表示させるには

BD-V 再生中 : [録画一覧]を押す

●停止中に [1]～[10] を押して、タイトルを再生できるディスクもあります。

DVD-V : 2桁入力 **BD-V** : 3桁入力

お知らせ

●メニュー画面の表示中は、ディスクが回っています。本機のモーターの保護やテレビ画面への焼き付き防止のため、再生しないときは [■停止] を押して停止させてください。

再生する（続き）

撮影ビデオ（AVCHD、MP4）を再生する

AVCHD

MP4（SDカードやSeeQVaultフォーマットのUSB-HDD）

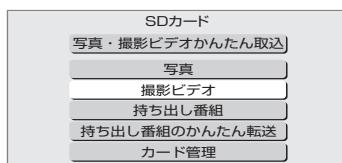
当社製デジタルハイビジョンビデオカメラなどで撮影した動画を再生することができます。

- 以下の動画の再生にも対応しています。

- 1080/60p(1920×1080/60プログレッシブ)記録
- MP4（ビットレート：100 Mbps 以下、解像度：3840×2160/30p、4096×2160/24pまで）記録
- AVCHD 3D

ディスクや SD カードを入れる、または USB-HDD を接続（→194）すると、下記画面が表示されます。（表示される項目は記録内容によって異なります）

例） [SD]



[SD] :

下記の手順 4 に進みます。

ディスク、[USB-HDD] :

右記の手順 5 に進みます。

5 「撮影ビデオを見る」または「撮影ビデオ（AVCHD）を見る」、「動画ファイル（MP4）を見る」を選び、**決定** を押す

- 複数種類の撮影ビデオが SD カードに存在している場合、メッセージが表示されます。
再生したい撮影ビデオを選び、[決定] を押してください。

6 動画を選び、**決定** を押す

メニューが表示されないときは

[1] ~ [10] で 3 術入力して動画を再生してください。

- [MP4] 動画を選んで [赤] を押すと、HDD に動画を取り込むことができます。
- [MP4] 動画を選んで [黄] を押すと、動画を消去します。

1 [スタート] を押す

2 「メディアを使う」を選び、**決定** を押す

- 表示がない場合は [◀◀][▶▶] でページを切り換えてください。

3 ディスク：

「ブルーレイ（BD）/DVD」を選び、

決定 を押す（→手順 5 へ）

[SD] :

「SD カード」を選び、**決定** を押す

[USB-HDD] :

「USB-HDD」を選び、**決定** を押す（→手順 5 へ）

4 「撮影ビデオ」を選び、**決定** を押す

お知らせ

- [MP4] 撮影形式やファイル構成によっては、正しく再生できない場合があります。

HDDに取り込んだ撮影ビデオを再生する

HDD

SD カードや USB 機器などから本機に取り込んだ動画を再生します。

- 動画の種類や初期設定によって、取り込んだ動画の再生方法が異なります。（→120）

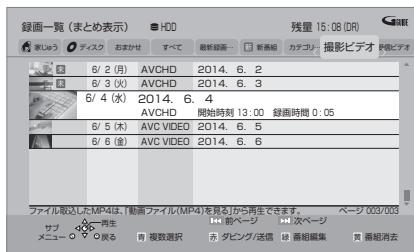
AVCHD または変換取り込みした MP4(4K 以外)を再生する

本機に取り込んだ AVCHD、AVCHD 3D、1080/60p、MP4（4K 以外）の動画を再生します。MP4（4K 以外）は「変換取込」（→120）した動画のみ再生できます。

1  を押す

2 [◀] [▶] で「撮影ビデオ」を選ぶ

3 動画を選び、**決定** を押す



取り込んだ動画は、録画一覧のチャンネル欄では以下のように表示されます。

- AVCHD : 「AVCHD」
(サイドバイサイド方式で記録した 3D 映像も含む)
- AVCHD 3D : 「AVCHD 3D」
- 1080/60p の番組 : 「AVCHD PRO」
- MP4（4K 以外） : 「AVC VIDEO」

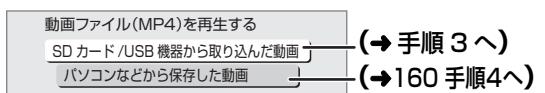
ファイル取り込みした MP4 を再生する

本機に「ファイル取込」（→120）した MP4 を再生します。

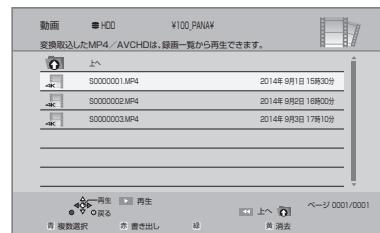
1  を押す

2 「動画ファイル (MP4) を再生する」を選び、**決定** を押す

- 表示がない場合は [◀][▶] でページを切り換えてください。
- 「ファイル共有サーバー機能」（→186）が「入」の場合、下記の画面が表示されます。
項目を選び、[決定] を押してください。



3 動画を選び、**決定** を押す



- 動画を選んで [赤] を押すと、SD カードや SeeQVault フォーマットした USB-HDD に、動画を書き出すことができます。
- 動画を選んで [黄] を押すと、動画を消去します。
- 再生中に予約録画が始まると、再生を中断します。

他の機器で作成したプレイリストの再生

BD-RE **BD-R** **RAM** **-R AVCREC** **-R VR** **-RW VR**

本機ではプレイリストの作成や編集はできません。

1  を押す

2 「メディアを使う」を選び、**決定** を押す

- 表示がない場合は [◀][▶] でページを切り換えてください。

3 「ブルーレイ (BD) /DVD」を選び、**決定** を押す

4 「プレイリストを見る」を選び、**決定** を押す

5 プレイリストを選び、**決定** を押す

再生する（続き）

録画一覧について

HDD BD-RE BD-R RAM -R -RW USB-HDD

例)

ラベル

- [◀] [▶] を押すと、ラベルを切り換えることができます。

表示状態

- 表示を変えるには（→78）

選択中のメディア

残量 15:08 (DR)

残量 / 録画モード

- 変更するには（→43）

表示変更ができるラベル

- 好みに合わせて表示するラベルを

変更することができます。

（→78 「分類ラベル設定」）

選択中の番組

表示マークについては →操作ガイド（→2）

（→79）（→102）（→93）（→99）

ページ数

- [◀◀] [▶▶] を押すと、前後のページに表示を切り換えることができます。

押したままにすると、素早く切り換わります。

HDD USB-HDD 録画後すぐは「録画済」と表示

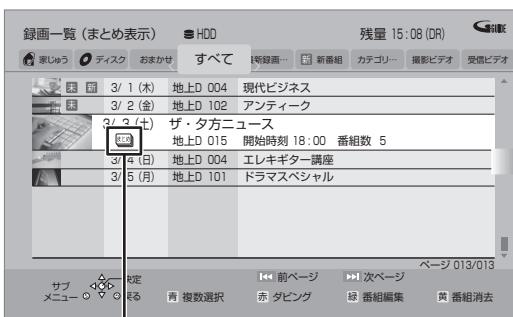
（画像は電源「切」時に作成されます）

- 表示される画像を変更するには（→95 「サムネイル変更」）

- 「家じゅう」「ディスク」「USB-HDD」（SeeQVault フォーマット）の場合、画像は表示されません。

まとめ 番組について

毎日・毎週予約やカテゴリーまとめて予約で録画した番組は、録画一覧では まとめ 番組として表示されます。



まとめ 番組を選び、決定 を押すと、まとめ 番組内の番組を一覧表示します。

お知らせ

- 録画一覧に表示される DR モードの残量は、BS デジタル放送を 24 Mbps で録画したものとして計算されています。（→238）
- 録画一覧は録画やダビングまたは本機に取り込んだ日付順に表示されます。

ラベルの分類について

HDD に録画した番組は、番組の内容によって本機があらかじめ設定しているラベルに自動的に分類されます。

家じゅう	「お部屋ジャンプリンク」(→155) で接続された機器の録画番組をまとめて表示します。 ●「家じゅうラベルの表示」(→186) を「入」にすると、表示されます。 ●「家じゅう」ラベルに表示できる機器は最大 10 台まで、番組数は 1 台当たり最大 4000 番組までです。 ●「家じゅう」ラベルから他のディーガの番組を再生した場合、接続機器側の「レート変換モード」は働きません。映像が途切れたり停止する場合は、スタート画面の「お部屋ジャンプリンク」から再生してください。	
ディスク	ディスク内の番組（ディスクが入っている場合のみ表示） ● BD-V DVD-V では表示されません。	
USB-HDD	USB-HDD 内の番組（USB-HDD が接続されている場合に表示）	
HDD	おまかせ	おまかせ録画 (→54) で録画された番組
	すべて	すべての番組
	最新録画番組*	最新の録画番組から順に 18 番組まで表示します。 ●表示は全番組表示になります。 ●再生中に録画が開始されると、録画一覧上の選択中の番組は変更されます。番組を消去するときはお気をつけください。
	未未視聴*	録画してまだ見ていない番組 ●再生後は、「未未視聴」から除外されます。
	新新番組*	新番組おまかせ録画 (→60) で録画された番組 ●再生後に表示される予約画面で「予約する」の操作を行うと、「新新番組」から除外されます。
	カテゴリまとめて番組*	●カテゴリまとめて予約 (→58) で録画された番組
	ダウンロード*	●ダウンロードした番組 (→150)
	ドラマ、映画などの「ジャンル」*	録画した番組の番組情報を基に、そのジャンルに該当する番組のみを表示します。 ●番組によっては、正しく分類されない場合があります。
	マイラベル*	「マイラベル設定」(→51、95) で設定した番組のみを表示します。 ●マイラベルは 6 個準備されています。新たに追加することはできません。 ●マイラベル名は変更することができます。（→78「分類ラベル設定」）
	撮影ビデオ	ディスクや SD カード、USB 機器から取り込まれた動画 [AVCHD、MP4 (4K 以外)] (→120)、おまかせクリップ (→135) や動くアルバム (→138)
	受信ビデオ	ネット経由でディーガなどの対応機器から受信した動画 (→134)

*分類ラベル設定 (→78) で録画一覧に表示するラベルを変更できます。

再生する (続き)

録画一覧上の便利な機能

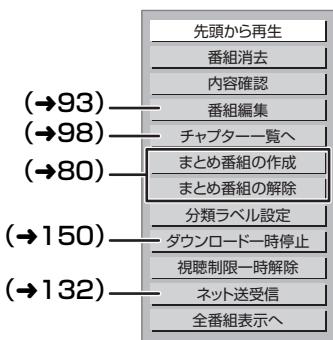
録画一覧画面上で

① 番組を選び、 を押す

- 「分類ラベル設定」を行うときは、変更したいラベル (→76) を選んでから [サブメニュー] を押してください。

② 項目を選び、**決定** を押す (→下記へ)

(例)



先頭から再生

番組を最初から再生します。

HDD **USB-HDD**

番組消去

番組を消去すると、持ち出し番組も消去されます。(ダウンロードした番組を除く)

「消去」を選び、[決定] を押す

内容確認

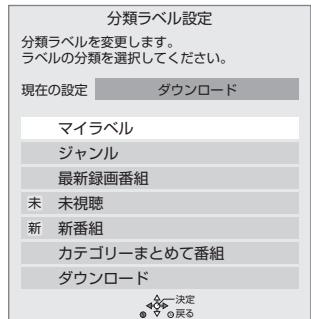
番組の内容が確認できます。

 画面を消すには
[決定] を押す

分類ラベル設定

HDD

録画一覧に表示するラベルを変更します。



表示させたいラベルを選び、

[決定] を押す

- 「ジャンル」を選んだ場合は、この操作を繰り返します。
- 「マイラベル」は、以下の操作でラベル名を変更することができます。

- 設定するマイラベルを選び、**[決定]** を押す
- 「名称変更」を選び、**[決定]** を押す
(ラベル名を変更しない場合は、「確定」を選んでください)
- ラベル名を入力する
(→167)

視聴制限一時解除

HDD **USB-HDD**

「HDD 番組の視聴制限」

(→180) で設定された視聴制限を一時的に解除します。画面の指示に従って暗証番号を入力してください。

全番組表示へ

表示を切り替えます。

まとめ表示へ

•SeeQVault フォーマットの USB-HDD の場合はできません。

一覧を更新

「家じゅう」ラベルに表示される番組をすぐに更新します。

更新を中止

•「家じゅう」ラベル選択時のみ

見たいシーンから再生する（シーン一覧）

HDD

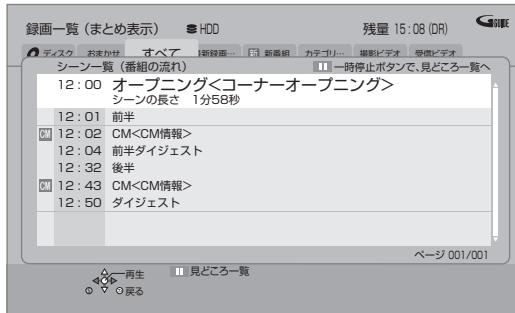
インターネットに接続すると、HDD に録画した番組のシーン一覧を表示することができます。シーン一覧では、録画した番組の流れを確認することができます。ミモーラのサービスに登録すると、見たいシーンから再生を始めることができます。

☞ サービスの登録について（→225）

録画一覧画面上で

① 番組を選び、[II-一時停止] を押す

- シーン一覧が表示されます。



ミモーラ会員登録している場合：

② 見たいシーンを選び、[決定] を押す

- 選んだシーンから再生が始まります。

☞ 見どころ一覧を表示するには

上記手順 ① のあと、[II-一時停止] を押す

- 見どころ一覧で、項目を選び、[決定] を押すと、その場面の再生が始まります。

お知らせ

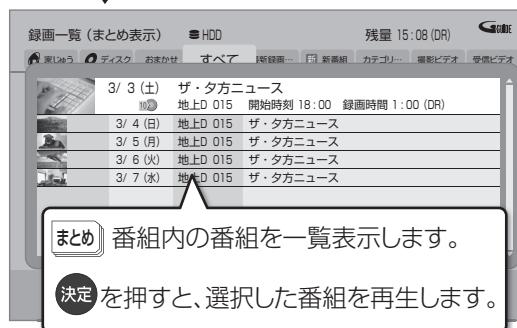
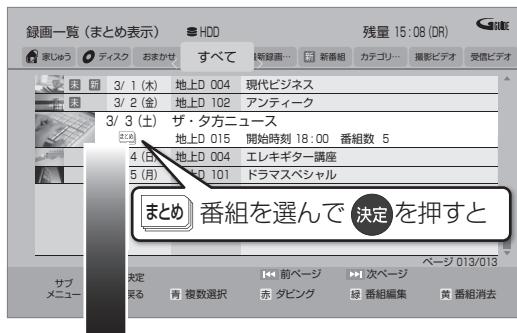
- シーン一覧は、地上デジタル放送の一部の番組のみ対応しています。（2014年8月現在）
また、シーン情報は、放送後一定期間保存していますが、保存期間が過ぎるとシーン再生はできなくなります。
詳しくは、ミモーラのホームページ（→225）をご覧ください。
- 以下の番組ではシーン一覧は表示できません。
 - ・番組結合した番組
 - ・BD からダビングした番組
 - ・シーン情報のない番組
- 番組内容とは異なるシーン情報が表示される場合があります。

再生する（続き）

まとめ 番組について

HDD USB-HDD

毎日・毎週予約や、カテゴリーまとめて予約で録画した番組、おまかせクリップ（→135）や動くアルバム（→138）は、録画一覧画面で「まとめ」番組として表示されます。



「まとめ」番組の録画一覧での表示は、「まとめ」番組内で一番最初に録画や記録された番組の日付で表示されます。

まとめ 番組内の番組を連続して再生する

（まとめ再生）

まとめ 番組を選び、▶再生 1.3倍速 を押す

- 「まとめ」番組にダウンロードした番組が含まれる場合、まとめ再生はできません。

まとめ 番組の番組名について

「まとめ表示」での番組名は、「まとめ」番組内の最初の番組名が付きます。

☞「まとめ表示」での番組名を変更するには

変更したい「まとめ」番組を選んで、「番組名編集」を行ってください。（→93）

● 「まとめ」番組名を変更しても番組内の各番組の名前は変わりません。

まとめ 番組の編集

① 番組を選び、青 を押す

● が表示されます。この操作を繰り返し、番組を選びます。

② すべて選んだあと、S を押す

③ 項目を選び、決定 を押す（→下記へ）

まとめ番組の作成	選んだ番組を、1つにまとめます。 「まとめ番組の作成」を選び、[決定]を押す
まとめ番組の解除	まとまりを解除します。 「まとめ番組の解除」を選び、[決定]を押す
まとめ番組から除外	選んだ番組を、「まとめ」番組から外します。 (まとめ番組一覧表示のとき) 「まとめ番組から除外」を選び、[決定]を押す

お知らせ

- おまかせクリップ（→135）や動くアルバム（→138）は、まとめ番組の編集はできません。
- SeeQVault フォーマットの USB-HDD は、まとめ番組の編集はできません。

再生中のいろいろな操作

停止

 停止 を押す

続き再生メモリー機能

止めた位置を一時的に記憶するため、次回再生時に止めた位置から再生します。

(お部屋ジャンプリンクで再生した場合も含む)

- **HDD** **USB-HDD**：番組ごとに止めた位置を記憶
- ディスク、**SD**：前回止めた位置のみを記憶
・記憶した位置は、トレイを開けると解除されます。
- ・ **BD-V** **DVD-V** ディスクによっては、続き再生メモリー機能が働かない場合があります。

一時停止

 一時停止 を押す

- もう一度押す、または [**▶ 再生**] を押すと、再生を再開します。

早送り / 早戻し (サーチ)

 または  を押す

押すごとに、または押したままにすると速度が速くなります。(5段階)

- [**▶ 再生**] を押すと、通常再生に戻ります。
- 早送り 1速時のみ音声が出ます。
(マスタークレードビデオコーディング (**→85**) 再生中は除く)

スキップ

再生中または一時停止中に

 または  を押す

押した回数だけ番組や場面を飛び越します。

- チャプターマーク (**→97**) がある場合は、その場面に飛びます。
- **HDD** **USB-HDD** まとめ再生中 (**→80**) は、前後の番組も含めて飛び越します。
- **MP4** ('ファイル取込'した動画も含む) できません。

30秒先へ飛び越す / 10秒前へ戻す

 または  を押す

押すごとに、約30秒先へ飛び越して、または約10秒前に戻して再生します。

- **DVD-V** 正しく働かない場合があります。

早見再生 (1.3倍速)

 **1.3倍速** を約1秒以上押す

通常よりも速い速度で再生します。

- もう一度 [**▶ 再生/1.3倍速**] を押すと、通常再生に戻ります。
- 以下の場合はできません。
 - ・市販の BD ビデオや「AVCHD 3D」の表示がある番組を 3D 再生中
 - ・「1080/60p」の表示がある番組
 - ・**RW** ('ファイル取込'した動画も含む)
 - ・**MP4** ('ファイル取込'した動画も含む)
- ディスクによっては音声が出ない場合があります。

再生する（続き）

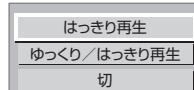
はっきり再生

ゆっくり／はっきり再生（0.8倍速）

音声をはっきりと聞き取りやすくします。また、「ゆっくり／はっきり再生」にすると、通常よりも遅い速度で再生します。

ゆっくり／はっきり を押す

- 押すごとに設定を順に切り替えます。



- ゆっくり／はっきり再生中に【▶再生】を押すと、通常速度のはっきり再生になります。
- 以下の場合、ゆっくり／はっきり再生はできません。
 - 市販のBDビデオや「AVCHD 3D」の表示がある番組を3D再生中
 - 「1080/60p」の表示がある番組
 - 【-RW】（ファイナライズ後も含む）
 - 【MP4】（「ファイル取込」した動画も含む）
- ディスクによっては音声が出ない場合があります。
- ゆっくり／はっきり再生中は、音声はPCMになります。
- はっきり効果の強さを設定したり、はっきり再生を常時有効に設定することもできます。（→181）

スロー再生

一時停止中に

早戻し または 早送り を押す

押すごとに速度が速くなります。（5段階）

- 【▶再生】で通常再生に戻ります。
- 「AVCHD 3D」の表示がある番組を3D再生中、または【BD-V】、【AVCHD】では、送り方向のみ働きます。
- 【MP4】（「ファイル取込」した動画も含む）できません。
- 音声は出ません。

コマ送り／コマ戻し

一時停止中に



（左または右）を押す

押すごとに1コマずつ送り（戻し）します。

- 押したままにすると、連続してコマ送り（戻し）します。
- 【▶再生】で通常再生に戻ります。
- 「AVCHD 3D」の表示がある番組を3D再生中、または【BD-V】、【AVCHD】では、コマ戻しはできません。
- 【MP4】（「ファイル取込」した動画も含む）できません。

音声や字幕の切り換え

音声 または 字幕 を押す

表示された再生設定画面で、音声や字幕を切り換えることができます。

（詳しくは→86）

- 【BD-V】【DVD-V】ディスク制作者の意図などにより、切り替えができないディスクもあります。
- 【MP4】（「ファイル取込」した動画も含む）できません。

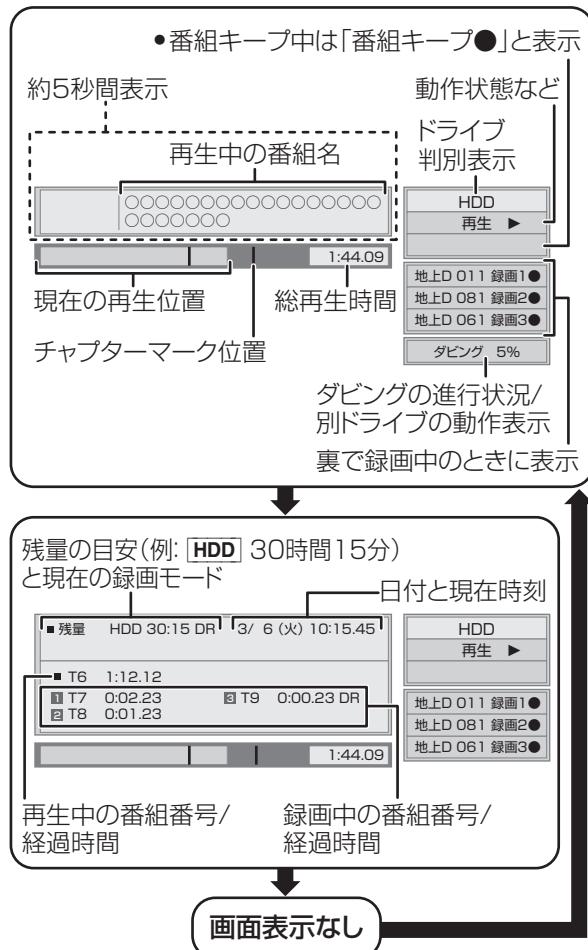
操作の状態の表示

テレビ画面で操作内容や本機の状態などを確認できます。

を押す

- 押すごとに切り換わります。

例) **HDD**



残量表示について

放送信号によってディスクの使用量にばらつきが生じるため、記録可能なおおよその時間を表示しています。
(DR モードは、特にそのばらつきが大きくなります)

お知らせ

- ディスクや再生状態（停止中など）によっては、一部できない操作があります。

3D 映像を楽しむ

3D 対応テレビと接続すると、臨場感にあふれた、迫力ある 3D 映像をお楽しみいただけます。

- テレビ側で必要な準備を行ってください。



※ イラストはイメージ図です。

- 表示される画面の指示に従って、再生を行ってください。

3D 再生に関する設定

必要に応じて下記の設定を行ってください。

3D 方式設定	3D 映像が正しく 3D 再生できない場合に、接続しているテレビの方式に合わせて設定してください。 （→182）
3D 再生時の注意表示	3D 視聴の注意画面を表示しないようにすることができます。 （→182）
BD-Video の 2D→3D 変換モード	2D ディスクを 3D 再生する場合の、字幕やメニューの表示方法を設定できます。（→179）
画面表示の飛び出し量	再生設定画面などの飛び出し量を変更することができます。（→89）

3D 映像を 2D（従来の映像）再生したい場合、以下の設定をしてください。

- **BD-V** : 「3D ディスクの再生方法」（→179）
- 録画した 3D 番組 : 「3D 番組の出力方法」（→182）

再生中の番組の 3D 設定をする

サイドバイサイド（2 画面構成）などの 3D 対応の放送の番組を 3D 映像で見ることができない場合に変更してください。

（詳しくは →89 「出力方式」）

3D 映像を再生するための便利な機能

3D 映像の奥行きなどを設定して再生することや、2D 映像を擬似的に 3D 映像に変換して再生することなどができます。

（詳しくは →89 「3D 設定」）

お知らせ

- 「3D 方式設定」（→182）が「サイドバイサイド」の場合は、テレビ側でも 3D の設定を切り換えてください。
- 接続している機器によっては、再生中の映像が解像度などの変化のため、2D 映像に切り換わることがあります。接続している機器側の 3D 設定をご確認ください。
- 3D 映像は、「HDMI 出力解像度」や「24p 出力」（→183）の設定どおりに出力されない場合があります。
- 3D 映像の再生開始時に、サイドバイサイド（2画面構成）で見えることがあります。
- 3D 映像と 2D 映像を連続で再生すると、先頭部分が二重に見えることがあります。
- 「AVCHD 3D」の表示がある番組は、接続したテレビによっては、サイドバイサイド（2 画面構成）で再生することができます。

BD-Live 対応の BD ビデオや 副映像のある BD ビデオを楽しむには

お楽しみいただける機能や操作方法などはディスクによって決められており、さまざまです。
ディスクに添付の説明やホームページをご覧いただきお楽しみください。

インターネットを使って BD-Live 対応ディスクを楽しむ

BD-Live 対応ディスクでは、インターネットに接続して字幕や特典映像、ネットワーク対戦ゲームなどのさまざまな機能を楽しむことができます。

ほとんどの BD-Live 対応ディスクでは、BD-Live 機能を利用して再生するために、外部メモリー（ローカルストレージ）に追加コンテンツをダウンロードする必要があります。

- 本機ではローカルストレージに SD カードを利用します。SD カードが挿入されていない場合、BD-Live 機能を利用できません。

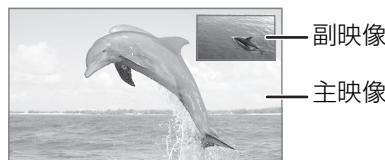
- ① ネットワーク接続と設定をする（→213、223）
- ② 「BD-Live インターネット接続」（→179）を「有効」または「有効（制限付き）」に設定する
- ③ 1 GB 以上の残量がある SD カードを入れる
- ④ ディスクを入れる

- SD カードに記録された BD ビデオのデータが不要になった場合は、「カード管理」の「BD ビデオデータ消去」で消去することができます。（→164、手順 5 で「BD ビデオデータ消去」を選んでください）

副映像のあるディスクを楽しむ

副映像のあるディスクでは、映画監督のコメントやサブストーリーなどの映像を、本編の再生と一緒に楽しむことができます。

例)



- 副映像の音声を出力する場合、「BDビデオ副音声・操作音」（→181）を「入」にしてください。

☞ 副映像が表示されないときは

- 「副映像設定」の「映像情報」と「音声情報」を設定してください。（→87）
- 「BD-Video の 2D → 3D 変換モード」を「モード 2」に設定してください。（→179）

マスタークレードビデオコーディング対応のディスクを楽しむ

マスタークレードビデオコーディング (MGVC) に対応した市販のブルーレイディスクを再生すると、これまでご家庭では観ることのできなかったスタジオスターと同等の滑らかで質感豊かな高画質映像をお楽しみいただけます。

- 「MASTER GRADE VIDEO CODING」（→179）を「入」に設定してください。
- 再生すると、自動的にマスタークレードビデオコーディングとして再生されます。

[画面表示] を押すと、以下の表示が出ます。



お知らせ

- インターネットに接続して BD-Live コンテンツを利用するには、アカウントの取得が必要な場合があります。アカウントの取得方法は、ディスクの画面表示や説明書に従ってください。
- BD-Live 対応ディスクは再生中に、レコーダーやディスクの識別 ID をインターネット経由でコンテンツプロバイダに対して送信することができます。

お知らせ

- マスタークレードビデオコーディングとしての再生中は、以下の動作制限があります。
 - ・ゆっくり / はっきり再生（0.8 倍速）や早見再生（1.3 倍速）はできません。
 - ・早送り 1 速時の音声は出力されません。

音声や字幕などの設定をする（再生設定）

1 再生中に

サブメニューを押す

- サブメニュー画面が表示されない場合、もう一度【サブメニュー】を押してください。

2 「再生設定」を選び、決定を押す

3 メニューを選び、決定を押す

例) BD-V



4 設定項目を選び、決定を押す

- ディスクにより設定項目は異なります。

5 設定を変更する

お知らせ

- 映像や音声によっては、効果が得られない場合や適切に動作しない場合があります。
- 収録内容により表示が変わります。収録されていない場合はできません。

基本設定

音声情報

音声属性を表示したり、音声や言語を選ぶことができます。

信号切換

DR モードまたは 1.5 ~ 15 倍録モードの番組は音声などを切り替えます。「字幕」「字幕言語」の設定内容はデジタル放送の視聴時にも適用されます。

▶ マルチビュー

▶ 映像

▶ 音声

▶ 二重音声

▶ 字幕（入 / 切）

▶ 字幕言語

音声チャンネル

音声（L/R）を切り替えます。

字幕設定

字幕の表示位置やスタイルの設定を行います。

▶ 字幕設定：字幕表示の入 / 切や、言語の選択

▶ 字幕スタイル：ディスクに記録された字幕スタイルの選択

▶ 字幕位置 BD-V DVD-V：字幕の表示位置を変更

▶ 字幕輝度 BD-V DVD-V：字幕表示の明るさを調整

アングル

アングルを選びます。

リピート

（本体表示窓に経過時間が表示されるときのみ）
繰り返し再生の方法を選びます。ディスクによりリピートの種類は異なります。

▶ 番組 : 録画した番組全体を繰り返し再生

▶ タイトル : BD-V DVD-V AVCHD

タイトル全体を繰り返し再生

▶ チャプター : 再生中のチャプターを繰り返し再生

▶ プレイリスト : プレイリスト

▶ 全曲 : ディスクの全曲

▶ 1曲 : 選んだ曲のみ

ランダム（音楽再生時のみ）

- 「入」にすると、順不同に再生します。

映像情報 [AVCHD]

情報の表示のみ

主映像情報 [BD-V]**副映像設定 [BD-V]**

- ▶ 映像情報
- ▶ 音声情報

画面モード切換

上下左右に黒帯が入っている場合に、上下左右の黒帯を消して大きく表示します。

- ▶ ノーマル : 元の映像で表示
- ▶ サイドカット: 16:9 映像の左右の黒帯を消して拡大表示
- ▶ ズーム : 4:3 映像の上下の黒帯を消して拡大表示

●以下の場合、画面モード切換は「ノーマル」に戻ります。

- ・他のチャンネルを選局
- ・番組の再生を始める、または終了する
- ・電源を切 / 入

●番組やディスクの内容によっては、設定しても効果がない場合があります。

●テレビ側の画面モードなどを使って調整できる場合もあります。ご使用のテレビの説明書をご覧ください。

映像詳細設定

設定した内容は保持されます。

ディスプレイ

- ▶ 標準
- ▶ プロジェクター

映像素材

再生時の画質を選びます。

- ▶ 標準
- ▶ シネマ
- ▶ アニメ
- ▶ ライブ
- ▶ オート

番組のジャンル情報に応じて適した画質にします。
また、製作時期が古く画質が良好ではない場合にノイズを抑えてすっきりとした画質にします。

解像感調整

映像の鮮明さを調整します。

数値が大きい方が、より鮮明になります。

- ▶ 解像感
- ▶ 輪郭補正

ノイズ低減

動画に発生する不要なノイズを補正します。

数値が大きい方が、より低減されます。

- ▶ ブロックノイズ低減
- ▶ ランダムノイズ低減
- ▶ モスキートノイズ低減
- ▶ ドット妨害・クロスカラー低減

輝度・色調整

映像の明るさ、黒レベル、白/黒階調、色の濃さ、色あい、を調整します。

- ▶ 明るさ
- ▶ 黒レベル
- ▶ 白階調
- ▶ 黒階調
- ▶ 色の濃さ
- ▶ 色あい

24p/30p 変換出力

- ▶ 切
- ▶ **24p** [24p 対応のテレビと接続時のみ]
 - 映画らしい動きで再生することができます。
 - 4K/24p 対応テレビと接続している場合「HDMI 出力解像度」(→183) を「オート」に設定時に 4K/24p で出力されます。
 - 1080/24p 対応のテレビと接続している場合「HDMI 出力解像度」(→183) を「オート」または「1080i」「1080p」に設定時に 1080/24p で出力されます。
- ▶ **30p** [4K/30p 対応テレビと接続時のみ]
 - 「HDMI 出力解像度」(→183) を「オート」に設定時に 4K/30p で出力されます。

設定の切り換え時に、映像が乱れる場合があります。
この設定は再生中のみ有効です。

詳細設定

- ▶ **輝度垂直帯域制限**
- ▶ **輝度水平帯域制限**
- ▶ **色垂直帯域制限**
- ▶ **色水平帯域制限**
- ▶ **原画解像度変換**^{*1}
 - 【BD-V】またはハイビジョン放送 (1080i) を DR モードまたは 1.5~15 倍録 モードで記録した番組に有効]
 - 低解像度 (720i/p, 480i/p) の原画をハイビジョン (1080i) に変換したアニメ番組などの場合、「切」以外を選ぶと再生する画質が改善することがあります。
- ▶ 切
- ▶ **720i/p**
- ▶ **480i/p**
- 設定によっては、再生する画質が劣化します。
- この設定は再生中のみ有効です。
- ▶ **プログレッシブ処理**
 - プログレッシブ映像の最適な出力方法を選びます。
 - 「Auto」でぶれが生じるときは、「Video」にしてください。
- ▶ **Auto**
- ▶ **Video**

映像詳細設定を標準に戻す

映像詳細設定を初期化します。

音声詳細設定

設定した内容は保持されます。

音質効果

- ▶ 切
- ▶ **ナイトサラウンド**^{*2}
 - 夜間など音量を絞った状態でも大音量の音声や小音量の音声などを自動的に調節して、聞き取りやすいサラウンド音声を楽しめます。
- ▶ **リ・マスター (弱 / 標準 / 強)**^{*2}
 - デジタル放送や記録時の音声圧縮処理によって欠落した音声信号の高音域成分を復元し、より豊かな高音質を楽しめます。
 - (サンプリング周波数が 96 kHz 以下で記録された音声に有効)

- 音声がひずむ場合、「切」にしてください。
- リ・マスターとナイトサラウンドを同時に設定することはできません。

自動音量調整^{*2}

番組と CM、ディスクと放送など、コンテンツ間の音量差を自動で調整します。

- 音声がひずむ場合、「切」にしてください。

シネマボイス^{*2}

センターチャンネルを含む 3 チャンネル以上のサラウンド音声の場合、センターチャンネルの音声レベルを 2 倍にしてセリフを聞き取りやすくします。

*1 3D 再生中は設定できません。

*2 「デジタル出力」が「PCM」の場合のみ働きます。(→181)
(音声は 2 チャンネルになります)

3D 設定

出力方式^{※3}

- ▶ オリジナル : 元の映像で表示します。
- ▶ サイドバイサイド:
サイドバイサイド（2画面構成）などの3D対応の放送の番組を3D映像で見ることができない場合に選択してください。
 - 変更しても正しく表示されない場合は、「3D方式設定」(→182)とテレビ側の3D設定を確認してください。
- ▶ 2D → 3D 変換:
再生中の2D映像を擬似的に3D映像に出力します。（録画した番組、[BD-V]、[DVD-V]の再生時に有効）
 - [BD-V]の3D再生や[3D]表示のある番組では、「オリジナル」固定になります。

3D画面モード（3D奥行きコントローラー）^{※3}

(3D再生中のみ)

- ▶ 標準 : 標準的な3D効果で映像を再生します。
- ▶ 弱 : 飛び出しすぎを抑えて、広がり感のある3D映像を楽しめます。
(「2D → 3D 変換」時は選択できません)
- ▶ 手動

画面モード手動設定

[3D画面モード(→上記)が「手動」時のみ]

3D映像の各種効果を設定します。

- ▶ 奥行き : 映像の飛び出し量を設定
- ▶ スクリーンタイプ : 画面の見え方（平面または曲面）を選択
- ▶ 周辺ぼかし幅 : 画面の縁のぼかし量を設定
- ▶ 周辺ぼかし色 : 画面の縁のぼかしの色を設定

画面表示の飛び出し量

3D再生中の再生設定画面などの飛び出し量を変更することができます。

※3 以下の場合、「出力方式」は「オリジナル」、「3D画面モード」は「標準」に戻ります。

- 他のチャンネルを選局
- 番組の再生を始める、または終了する
- 電源を切／入

番組を検索する

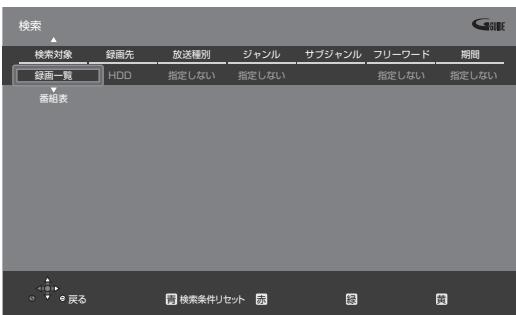
複数の検索条件を組み合わせて、番組表や録画番組の中から番組を検索し、予約録画や再生・編集をすることができます。

1 [検索] を押す

- 番組表表示中に、[検索] を押した場合は、手順③に進んでください。

2 予約録画したい番組を検索する場合： 「番組表」を選び、[▶] を押す

再生・編集したい番組を検索する場合：
「録画一覧」を選び、[▶] を押す



3 検索条件を設定する (→91)

- 検索条件を指定しない項目は、「指定しない」を選んでください。
([赤] を押して「指定しない」にすることもできます)
- 最後に検索した条件が保持されます。
(放送データの取得状況によっては、人名の設定が解除される場合があります)

設定した検索条件をリセットするには
[青] を押す

4 すべての設定が終了したら、[決定] を押す



再検索するには
[検索] を押す

予約する

- 番組を選び、[決定] を押す
- 「番組予約へ」を選び、[決定] を押す (→47 手順 5)

再生する

- 番組を選び、[決定] を押す

編集する

- 番組を選び、[緑] を押す (→93 手順 3)
チャプターを編集するには
[サブメニュー] を押して「チャプターリスト」を選び、[決定] を押す (→98 手順 4)

消去する

- 番組を選び、[黄] を押す
- 「消去」を選び、[決定] を押す

検索条件について

録画先 ^{*1 *2}	録画番組のある録画先 ●「家じゅう」は、お部屋ジャンプリンク（DLNA）で接続された機器の中から番組を検索することができます。
放送種別	放送の種類 ●「お好み」 ^{*3} は、「お好みチャンネル」（→41）で登録されている放送局です。
ジャンル	番組のジャンル
サブジャンル ^{*4}	「ジャンル」の詳細
フリーワード	登録したワード ☞ フリーワードの登録について（→右記） ●番組表の番組名や番組内容にある番組概要、番組詳細内容（→46 手順4）の文字情報から検索します。 ●インターネットに接続すると、旬のキーワード（青色表示） ^{*3} を取得することができます。
人名(頭文字) ^{*3}	人名の頭文字
人名 ^{*3}	「人名（頭文字）」で指定した頭文字の人名
期間 ^{*2}	番組を録画した日時

* 1 USB-HDD を登録している場合や「家じゅうラベルの表示」（→186）が「入」の場合に表示されます。

* 2 検索対象が「番組表」のときは表示されません。

* 3 検索対象が「番組表」のときのみ表示されます。

* 4 録画先が「家じゅう」のときは表示されません。

フリーワードを登録する

フリーワードは 20 件まで登録することができます。

- ① 「新規登録」を選び、**決定** を押す
- ② 項目を選び、設定する
☞ 文字入力（→167）

☞ インターネットから取得したキーワード（青色表示）を登録するには
キーワード（青色表示）を選び、[緑] を押す
☞ 登録したフリーワードを変更するには
① 変更したいフリーワードを選び、[緑] を押す
② 文字を入力する（→167）

☞ 登録したフリーワードを削除するには
削除したいフリーワードを選び、[黄] を押す

お知らせ

- 録画中の番組は、検索の対象になりません。
- 検索結果は、放送データの取得状況によって変わりますので、キーワードなど検索条件が一致していても検索できない場合があります。
- インターネットに接続し、「通信によるGガイド受信」（→171）を「入」にしている場合、番組表の検索結果の表示に時間がかかります。
- フリーワードで英数の文字入力をした場合、検索は半角文字と全角文字を区別せずに行います。
- インターネットから取得したキーワード（青色表示）は、ディモーラサービスから取得しています。（ネットワークの接続状態によっては、取得できない場合があります）
- SeeQVault フォーマットのUSB-HDD は、番組の検索ができません。

番組を検索する (続き)

似たものおすすめを使って番組を探す

HDD

再生中の番組とよく似たジャンルの番組を検索して、あなたにお勧めします。

また、インターネットに接続すると、番組のジャンルやシーン情報（キーワードや出演者など）を基に、動画共有サイトやクトビラからよく似た動画を検索します。

●動画共有サイトやクトビラから検索するには、ミモーラの会員登録が必要です。

●サービスの登録について (→225)

録画した番組を再生中に

1 セレクトバー を押す

2 [▼] を押して、「似たものおすすめ」を選ぶ

3 [◀][▶] を押して、番組やシーン（場面）、または動画を選び、決定 を押す

再生が始まります。



[▲][▼] で、検索対象を本機の HDD または動画共有サイトやクトビラに切り換えることができます。

次のおすすめ一覧を選ぶには
[◀◀][▶▶] を押す

おすすめ一覧を消すには
[セレクトバー] を押す
(再生画面に戻ります)

お知らせ

●シーン情報は地上デジタル放送の一部の番組のみ対応しています。(2014年8月現在)

対応番組については、ミモーラのホームページ (→225) をご覧ください。

●地域によって全国放送と異なる番組が放送された場合や、シーン情報を付与するサービスが予告なく終了した場合、検索機能が正常に働かないときがあります。

●以下の番組は検索されません。

- ・録画中の番組
- ・3D番組
- ・視聴制限のある番組
- ・番組の画像（サムネイル）が作成されていない番組
- ・シーン情報が付与されていない番組 など

●録画時間の長い番組やインターネットに接続している場合、検索結果の表示に時間がかかるときがあります。

番組を編集する

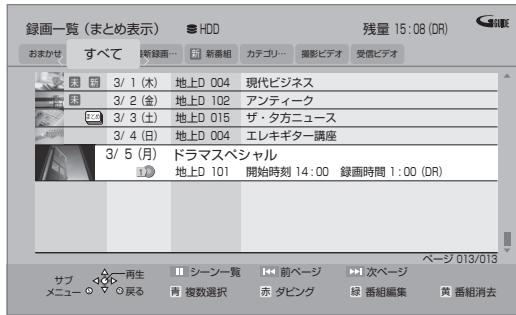
HDD BD-RE BD-R RAM -R -RW USB-HDD

(ファイナライズしたディスクや **AVCHD** では編集できません)

1 を押す

2 番組を選び、 を押す

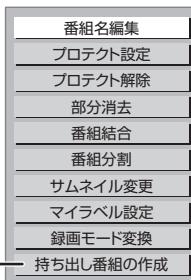
例) **HDD**



☞ 番組を検索するには (→90)

3 項目を選び、 を押す (→右記へ)

例) **HDD**



(→142) —————

番組名編集

☞ 文字入力 (→167)

お知らせ

- 以下の番組は変更できません。
 - 新** 表示の番組
 - おまかせクリップ (→135) や動くアルバム (→138) の **まとめ** 番組
- 番組名を変更すると、持ち出し番組の番組名も変更されます。
- まとめ** 番組の番組名を変更しても、**まとめ** 番組内の各番組の名前は変わりません。

プロジェクト設定 / 解除

記録内容を誤って消去しないよう、番組ごとに書き込み禁止（プロジェクト）の設定ができます。

- RV** **-RWV** できません。

「プロジェクト設定」または「プロジェクト解除」を選び、**[決定] を押す**

- プロジェクト設定すると「」が表示されます。

再生・編集

お知らせ

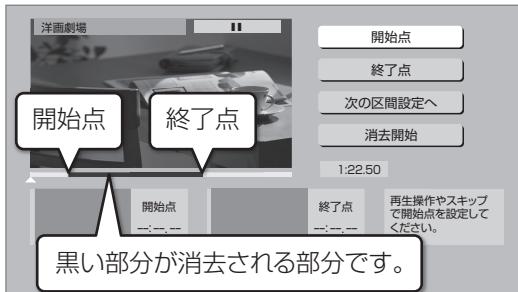
- 「録画モード変換」が設定されている番組は、「番組分割」「番組結合」「プロジェクト設定」はできません。設定を取り消すと実行できます。
- 持ち出し番組の作成が終了していない番組は、「番組分割」「番組結合」はできません。「持ち出し番組の作成」(→142) の設定を取り消すと実行できます。
- ダウンロードした番組は、「プロジェクト設定 / 解除」、「マイラベル設定」、「持ち出し番組の作成」のみできます。
- 編集量が多い場合、ディスクへダビングできないことがあります。
- SeeQVault フォーマットの USB-HDD は、「部分消去」「番組結合」「番組分割」「サムネイル変更」「録画モード変換」ができません。

番組を編集する (続き)

部分消去

番組中の不要な箇所を消去できます。

● **[R V] -[RW V]** できません。



① [▶ 再生] を押して、再生を始める

② 「開始点」を選び、消去する部分の開始点^{*}で
[決定] を押す

③ [▶ 再生] を押して、再生を始める

④ 「終了点」を選び、消去する部分の終了点^{*}で
[決定] を押す

- 続けて別の不要な部分を設定する場合、「次の区間設定へ」を選び、[決定] を押す (→手順②へ)
 - ・ 20区間まで設定できます。
 - ・ すでに設定した区間の変更はできなくなります。

⑤ 「消去開始」を選び、[決定] を押す

⑥ 「実行」を選び、[決定] を押す

- 部分消去すると、持ち出し番組は消去されます。
- 部分消去した番組をディスクに画質変更ダビングすると、番組の最後の部分がダビングされない場合があります。
- 「シームレス再生」(→180) を「入」にして再生すると、番組の消去部分の前後の映像が再生されない場合があります。

* 編集したい場面をうまく選ぶために

- ① 早送りやスロー再生など (→81、82) を使って、目的の部分を探す
- ② 編集したい場面で [II 一時停止] を押し、
[◀] [▶] を押して場面を調整する

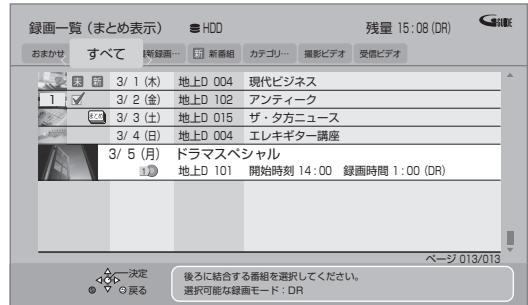
番組結合

HDD USB-HDD

同じ録画モードや素材の 2 つの番組同士を、1 つの番組に結合することができます。

● 1.5 ~ 15 倍録モードの番組は、それぞれ同じ録画モードとして扱われます。

① 結合したい番組を選び、[決定] を押す



② 「結合」を選び、[決定] を押す

お知らせ

● 結合した番組は以下のようになります。

- ・ 録画モード：
画質の高いほうの録画モード (ただし、画質は向上しません)
- ・ ダビングの残り可能回数：少ないほうの回数
- ・ 番組名：最初に選択した番組名
- ・ おまかせ録画の番組の自動消去の日時：
最初に選択したおまかせ録画の番組の録画日時を基準にして自動消去 (→55)
- ・ チャプターマーク：
結合した位置に作成 (結合してチャプターマーク数が 999 を超える場合、超えた分は削除されます)
- ・ 番組の結合部分：映像や音声が途切れことがあります。
- ・ 持ち出し番組は消去されます。

● 以下の番組は結合できません。

- ・ ダウンロードした番組
- ・ 録画時間の合計が 8 時間を超える場合
- ・ デジタル放送の番組とそれ以外の番組
- ・ 本機で DR モードで録画した番組と i.LINK (TS) 入力から記録した番組
- ・ LAN 経由 (スカパー! プレミアムサービスや CATV) で録画した番組
- ・ 録画モード変換 (→96) を行うと、結合できるようになります。
視聴制限のある番組を結合すると、厳しいほうの視聴制限になります。
- ・ 撮影画質が異なる「AVCHD 3D」の表示がある番組同士
- ・ おまかせクリップ (→135) や動くアルバム (→138)

番組分割

- **-R V** **-RW V** できません。



- ① 「分割」を選び、分割する場面^{*}で [決定] を押す
●「プレビュー」を選び、[決定] を押すと、分割する場面を確認することができます。

⌚ 場面を選び直すには

- ① 「分割」を選び、[▶ 再生] を押して再生を始める
 - ② 分割する場面で、[決定] を押す
- ② 「終了」を選び、[決定] を押す
- ③ 「分割」を選び、[決定] を押す

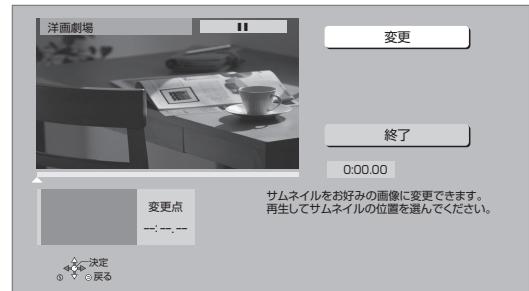
- 分割した番組は、**まとめ** 番組になります。
- 分割すると、持ち出し番組は消去されます。
- 分割すると、分割点の直前部分が一瞬再生されなくなります。
- **BD-RE** **BD-R** 分割した番組は、HDD にダビングできない場合があります。

サムネイル変更

HDD **-R V** **-RW V** **USB-HDD**

録画一覧やトップメニューで表示される画像（サムネイル）を変更します。

- **-R V** **-RW V** サムネイルはファイナライズ後のトップメニュー画面で表示されます。



- ① [▶ 再生] を押して、再生を始める

- ② 「変更」を選び、お好みの場面^{*}で [決定] を押す

⌚ 場面を選び直すには

- ① 「変更」を選び、[▶ 再生] を押して再生を始める
 - ② お好みの場面で、[決定] を押す
- ③ 「終了」を選び、[決定] を押す

マイラベル設定

HDD

録画した番組をお好みのラベルに分類することができます、番組を探すのに便利です。



- ① ラベルを選び、[決定] を押す

- ② 「マイラベル設定」を選び、[決定] を押す

- 選択したラベルが録画一覧にない場合、画面にメッセージが表示されます。画面の指示に従って表示設定をしてください。

- マイラベルの設定を解除するには、「設定解除」を選び、[決定] を押してください。
- マイラベル名は変更することができます。(→78「分類ラベル設定」)

* 編集したい場面をうまく選ぶために

- ① 早送りやスロー再生など (→81、82) を使って、目的の部分を探す
- ② 編集したい場面で [II-一時停止] を押し、[◀] [▶] を押して場面を調整する

番組を編集する (続き)

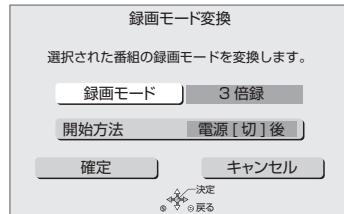
録画モード変換

HDD USB-HDD

録画モードの変換には、番組の再生とほぼ同じ時間がかかる場合があります。

録画モードを変換すると、容量を抑えることができます。

- 1.5 ~ 15 倍録 モードのみ選択できます。



- ① 「録画モード」を選び、[決定]を押す

- ② 倍率を選び、[決定]を押す

- ③ 「開始方法」を選び、開始方法を設定する

- すぐに：

「確定」後すぐに、変換を開始します。変換中は録画や再生はできません。

- 電源 [切] 後：

電源「切」後、予約録画の設定がされていない時間帯に変換を行います。変換中に電源を入れると、変換を中止し、次に電源を切ると、変換をやり直します。

- ④ 「確定」を選び、[決定]を押す

- ⑤ 「すぐに」開始する場合：

「開始」を選び、[決定]を押す

☞ 変換を実行中に中止するには

[戻る] を 3 秒以上押す

「電源 [切] 後」開始する場合：

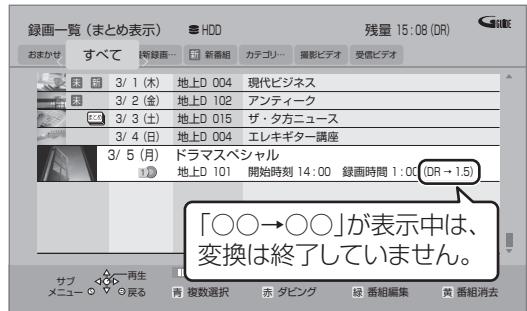
[決定] を押す

☞ 変換の設定内容を変更・取り消しするには

- ① 93 ページ手順 3 で「録画モード変換」を選ぶ

- ② 「設定変更」または「設定取消」を選び、
[決定] を押す

☞ 変換が終了しているか確認するには



お知らせ

- 15 倍録モードの番組や HDD に取り込んだハイビジョン動画 (AVCHD) は変換できません。
- 残量が少ない場合、変換できないことがあります。
- 番組と録画モードの組み合わせによっては、変換すると容量が増える場合があります。
- XP、SP、LP、EP、FR モードの二重音声の番組を変換する場合、変換を開始する前に「二重音声記録時の音声選択」(→179) で記録したい音声を選んでください。

チャプターの作成・再生・編集

[HDD] (ダウンロードした番組ではできません)

[BD-RE] [BD-R] [RAM] [-R AVCREC] [-R VR] [-RW VR]

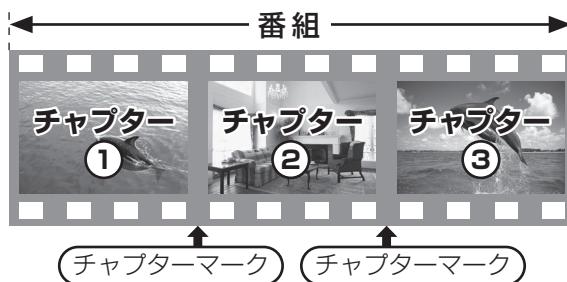
(ファイナライズしたディスクでは再生のみできます)

[USB-HDD]

チャプターとは

チャプターマークで区切られた区間のことです。

スキップ (→81) すると、チャプターマークを作成した場面に飛びることができます。



チャプターの自動作成について

- 「自動チャプター」(→179) を「入」にすると、デジタル放送の録画時に CM などの場面で自動的にチャプターマークを作成します。複数の番組を録画中でも作成します。
- 録画する番組や録画モードによっては、正しく作成されない場合があります。

お知らせ

- [HDD] [USB-HDD] チャプターマークが最大数まで作成された番組は、継ぎ再生メモリー機能 (→81) や「サムネイル変更」(→95) ができなくなります。

チャプターマークを作成する / 削除する

作成

再生中または一時停止中にチャプターマークを作成したい場面で

黄
[チャプターマーク] を押す



チャプターマークを作成しました。

削除

一時停止中に

- ① [スリップ] または [スキップ] を押して、削除したい場面に飛び
- ② 黄
[チャプターマーク] を押す
- ③ 「はい」を選び、[決定] を押す



前後のチャプターが結合されます。

チャプター一覧からチャプターマークの作成や削除を行うこともできます。

- ① [録画一覧] を押す
- ② 番組を選び、[サブメニュー] を押す
- ③ 「チャプター一覧へ」を選び、[決定] を押す
- ④ [緑] を押す



- ⑤ 上記「作成」「削除」の手順を行う

チャプターの作成・再生・編集(続き)

チャプターを再生・編集する

1 録画一覧を押す

2 番組を選び、サブメニューを押す

番組を検索するには(→90)

3 「チャプター一覧へ」を選び、決定を押す

4 編集する:
チャプターを選び、サブメニューを押す

(→手順5へ)

再生する:

チャプターを選び、決定を押す



5 編集する項目を選び、決定を押す

(→右記へ)

チャプター消去

指定したチャプターの録画内容を消去し、番組の部分消去を行います。(元に戻すことはできません)



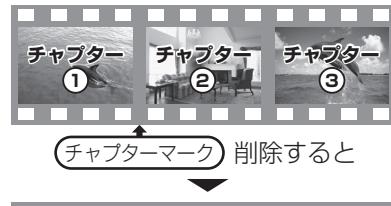
番組が部分消去されます。

「消去」を選び、[決定]を押す

- チャプターをすべて消去すると、その番組自体も消去されます。
- 持ち出し番組も消去されます。
- チャプター消去した番組をディスクに画質変更ダビングすると、番組の最後の部分がダビングされない場合があります。

チャプター結合

選択中のチャプターと次のチャプターの間のチャプターマークを削除して、1つにつなぎます。



前後のチャプターが結合されます。

「結合」を選び、[決定]を押す

番組を消去する

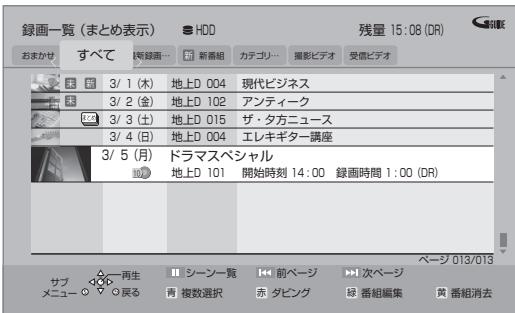
HDD BD-RE BD-R RAM -R -RW USB-HDD

1 録画一覧 を押す



を押す

2 番組を選び、[黄] を押す



- 「おまかせ」ラベルの番組を消去する場合は、「おまかせ録画の一覧から番組を消去する」(→57)をご覧ください。
- [まとめ] 番組内の番組を消去する場合、[黄] を押す前に、[決定] を押して、[まとめ] 番組内の番組を表示してください。
- 複数の番組を消去する場合、番組を選んで [青] を押す操作を繰り返してください。
(選んだ番組には が表示されます。
もう一度 [青] を押すと選択を取り消します。)

☞ 番組を検索するには (→90)

3 「消去」を選び、[決定] を押す

お知らせ

- [まとめ] 番組内の番組を消去して、残り 1 番組になった場合、
[まとめ] 番組は解除されます。(残った番組は録画した日付で表示されるようになります)

HDD の番組消去について

- ・消去すると、持ち出し番組も消去されます。
(ダウンロードした番組を除く)
- ・消去中に他の操作をしたり、番組分割した番組を消去する場合は、消去に時間がかかることがあります。
- ・消去が完了しても、HDD の残量表示に反映されるまで時間がかかる場合があります。

消去後のディスク残量について

- ・HDD BD-RE RAM -RW VR USB-HDD

消去すると、消去した分、残量が増えます。

- ・-RW V

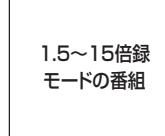
最後に記録した番組を消去したときのみ、残量が増えます。

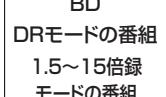
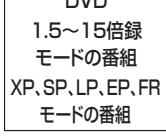
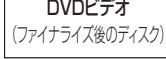
— 消去しても残量は増えません —	— 消去すると残量が増えます —
番組 1	番組 2

・BD-R -R 消去しても残量は増えません。

番組のダビングについて

本機では、HDD、USB-HDD、ディスクの間でダビングを行うことができます。

ダビング方向と方法	ダビング速度	お知らせ
 →  <ul style="list-style-type: none"> かんたんダビング 詳細ダビング 再生中番組の保存 	 <p>DRモードの番組 LAN経由で録画した番組</p> <p>高速 → BD</p> <p>高速* → DVD (AVCREC方式)</p> <p>1倍速 → DVD (VR方式)</p>	<p>※ 画質変更ダビングになり、以下のような制限があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 番組によっては、番組の再生とほぼ同じ時間がかかる場合があります。 画質変更ダビング中に視聴や再生などを行った場合、ダビング速度が遅くなります。 <p>☞ 他機器での再生については (→31)</p>
 →  <ul style="list-style-type: none"> 詳細ダビング 以下の場合、USB-HDD からダビングできません。 <ul style="list-style-type: none"> ・ディスクがDVD(VR方式・ビデオ方式) ・USB-HDD が SeeQVault フォーマット 	 <p>1.5～15倍録 モードの番組</p> <p>高速 → BD</p> <p>1倍速 → DVD (VR方式・ビデオ方式)</p>	
 →   →  <ul style="list-style-type: none"> 詳細ダビング 	<p>高速</p>	<p>録画用フォーマットの USB-HDD の場合:</p>  ← 移動のみ可能 →  <ul style="list-style-type: none"> ・ダビング元の番組は消去されます。 ・HDD の持ち出し番組は消去されます。 ・ダビングの残り回数は減りません。 ・以下の番組はダビングできません。 <ul style="list-style-type: none"> ・AVCHD や AVC VIDEO の表示がある番組 ・XP、SP、LP、EP、FR モードの番組 ・おまかせクリップ (→135) ・動くアルバム (→138) <p>SeeQVault フォーマットの USB-HDD の場合:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コピー制限のある番組について <ul style="list-style-type: none"> ・HDD からダビングするときは、HDD のダビング元の番組のダビング残り回数は 1 回減ります。USB-HDD の番組のダビング残り回数は 1 回になります。 ・HDD へダビングするときは、USB-HDD の番組は消去されます。 ・XP、SP、LP、EP、FR モードの番組はダビングできません。

ダビング方向と方法	ダビング速度	お知らせ
 →  ● 詳細ダビング	     →   →   →   → 	デジタル放送のダビングについて(ムーブバック) ● DVD からはダビングできません。 ● BD からは移動になります。 (ディスクの番組は消去されます。ただし [BD-R] はディスク残量は増えません)
 →   →  ● 詳細ダビング · SeeQVault フォーマット のUSB-HDDの場合はできません。	高速	 移動のみ可能 →  ● [BD-RE] [BD-R] 以下の番組は移動できません。 · ディスク内で番組分割した番組 · 当社製ブルーレイディスクレコーダー以外の機器で記録や編集をした番組 · [BD-R] ファイナライズしたディスク · 録画時間が 8 時間を超える番組

お知らせ

- 録画モードを変更してダビングする場合は、高速になりません。
- ディスク容量を超えてダビングしたり、他機器で作成したディスクをダビングするときは、画質変更ダビングになる場合があります。
- HDD にダビングした XP, SP, LP, EP, FR モードの番組をディスクにダビングする場合、VR 方式の DVD には高速でダビングします。それ以外のディスクには高速でダビングできません。



ダビング

番組をダビングする

かんたんダビング

ダビング方向：

HDD → BD-RE BD-R RAM -R -RW

HDD にある番組をディスクにダビングします。

●操作の前に記録可能なディスクを入れてください。

1 [スタート] を押す

2 「残す」を選び、[決定] を押す

3 「かんたんダビング」を選び、[決定] を押す

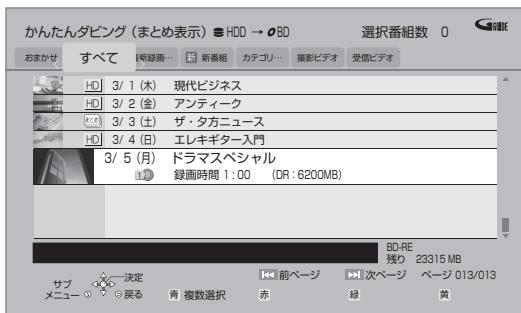
- [RAM] [R] 新品など未フォーマットの場合、画質の選択画面が表示されます。

画質を選び、[決定] を押してください。

4 番組を選び、[決定] を押す

- 複数の番組をダビングする場合、番組を選んで [青] を押す操作を繰り返してください。
(選んだ番組には が表示されます。)

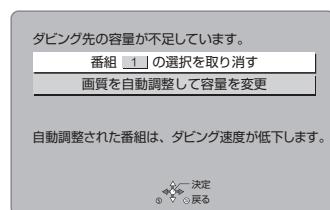
もう一度 [青] を押すと選択を取り消します。)



☞ 選んだ番組がディスク残量を超える場合

確認画面が表示されます。

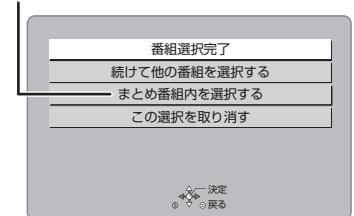
例)



「画質を自動調整して容量を変更」を選んだ場合、ディスクの容量に応じた録画モードに自動設定します。

5 「番組選択完了」を選び、[決定] を押す

手順 4 でまとめ番組を選んだときのみ表示



他の番組も選択したい場合は、表示された項目を選んで操作してください。(→手順 4 へ)

6 「ダビング開始」を選び、[決定] を押す

- オプション設定について (→103)

7 「はい」を選び、[決定] を押す



新品など未フォーマットのディスクにダビングする場合、自動的にフォーマットした後、ダビングを始めます。

☞ ダビングを実行中に中止するには

[戻る] を 3 秒以上押す

- ファイナライズ中は中止できません。
- 中止時の動作 (→109)

☞ ダビングの進行状況を表示するには

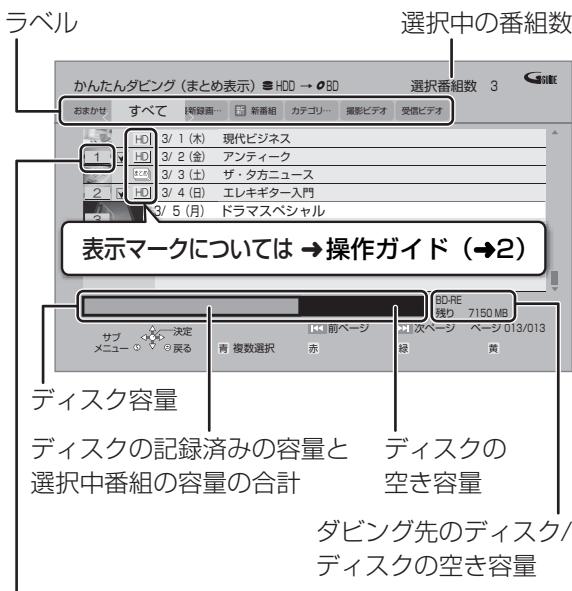
[画面表示] を押す

スタート画面の「残す」を選んでも進行状況を確認できます。

お知らせ

- 「DVD 画質」で未フォーマットの [R] [-RW] にダビングする場合、以下の記録方式にフォーマットします。
 - ・[10] ~ [10] の番組が含まれている場合 : VR 方式
 - ・[10] ~ [10] の番組が含まれていない場合 : ビデオ方式
- 1 回にダビングできる番組は 99 番組までです。(まとめ番組をダビングする場合、まとめ番組内の番組数が 99 番組を超えると、ダビングできません)
- プロテクト設定 (→93) されている [10] の番組はダビングできません。
- まとめ 番組内の番組とそれ以外の番組を複数選んでダビングするには、[サブメニュー] を押して、「全番組表示へ」に切り換えてください。

かんたんダビングの画面の見方



選んだ番組には番号が付けられ、選んだ順にダビングされます。

- 異なるラベルの番組を複数選んでダビングすることはできません。
- 「かんたん録画一覧」(→38) からダビングする場合、「すべて」「未視聴」以外のラベルは選択できません。

ダビングする画質について

HD表示のある番組 :

- 以下のディスクにハイビジョン画質でダビングできます。

[BD-RE] [BD-R] [RAM AVCREC] [-R AVCREC]

- 以下のディスクはDVD画質でのダビングになります。

[RAM VR] [-R VR] [-R V] [-RW]

HD表示のない番組 :

- [BD-RE] [BD-R] [RAM AVCREC] [-R AVCREC]** にはハイビジョン画質でダビングします。(ただし画質は向上しません)

ダビングの便利な機能

かんたんダビング画面 (→102 手順 4) で

① 番組を選び、**S** を押す

② 項目を選び、**決定** を押す (→下記へ)

内容確認	番組の内容が確認できます。
画質変更	<input checked="" type="checkbox"/> が付いている番組のダビングする画質を変更できます。 ●選択できる画質は番組やディスクによって異なります。
オプション	以下の設定ができます。
設定	●ダビング終了後自動電源 [切] ●ダビング終了後自動ファイナライズ ([-R] [-RW] のみ)
視聴制限一時解除*	「HDD番組の視聴制限」(→180) で設定された視聴制限を一時的に解除します。画面の指示に従って暗証番号を入力してください。
並び替え*	表示順を変更します。 (全番組表示時のみ)
まとめ表示へ*	表示を切り換えます。
全番組表示へ*	(「かんたん録画一覧」(→38) からダビングする場合、表示されません。全番組表示に固定されます)

* 番組に が付いているときはできません。

お知らせ

●[-R] [-RW] 「オプション設定」(→上記) の「ダビング終了後自動ファイナライズ」を「する」に設定すると、ダビング終了後、ファイナライズ (→166) を行います。記録や編集をすることはできなくなります。また、ダビング中は録画や再生はできません。

番組をダビングする（続き）

詳細ダビング

ダビング方向：

● **HDD** → **HDD** **BD-RE** **BD-R** **RAM** **-R** **-RW** **USB-HDD**

● **BD-RE** **BD-R** **RAM** **-R** **AVCREC** **-R** **VR** **-RW VR**

→ **HDD**

● **USB-HDD** → **HDD** **BD-RE** **BD-R** **RAM AVCREC**

-R AVCREC **USB-HDD**

（SeeQVault フォーマットの USB-HDD は、HDD にのみダビング可能です）

● 新品のディスクにダビングする場合は、フォーマットをして記録方式を設定してください。（→163）

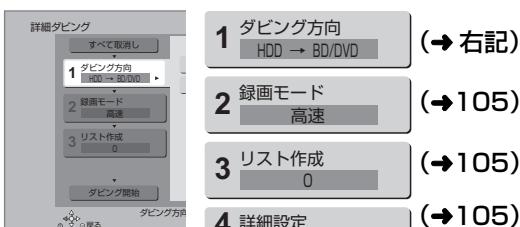
1 [スタート] を押す

2 「残す」を選び、決定** を押す**

3 「詳細ダビング」を選び、決定** を押す**

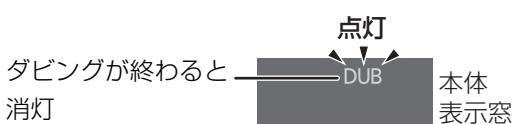
4 項目を選び、[▶] を押す

● 「ダビング方向」「録画モード」「リスト作成」「詳細設定」の項目を設定してください。



5 「ダビング開始」を選び、決定** を押す**

**6 「ダビングする」または
「ダビング後に電源[切]」を選び、**決定** を押す**



☞ ダビングを実行中に中止するには

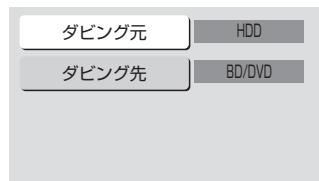
[戻る] を 3 秒以上押す

● ファイナライズ中は中止できません。

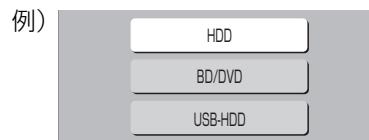
● 中止時の動作（→109）

ダビング方向

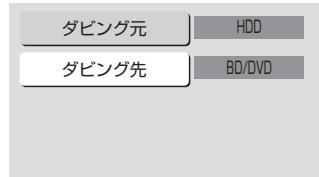
① 「ダビング元」を選び、決定** を押す**



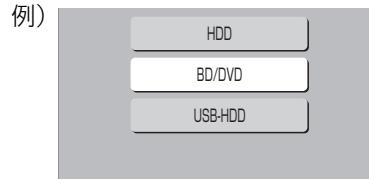
② ダビング元を選び、決定** を押す**



③ 「ダビング先」を選び、決定** を押す**



④ ダビング先を選び、決定** を押す**



⑤ [◀] を押す（→左記手順 5 へ）

お知らせ

● **HDD** **USB-HDD** ダビング先とダビング元を同じにすると、番組を複製することができます。（複製後は **まとめ** 番組になります）

・ コピー制限のある番組を複製する場合、ダビング残り可能回数は 1 回減ります。（複製された番組のダビング残り可能回数は 1 回になります）

・ **①** 表示のある番組、ダウンロードした番組の複製はできません。

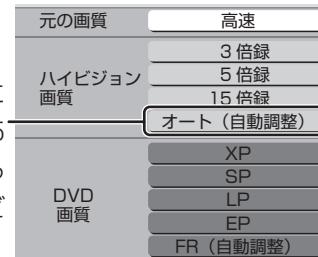
・ ディスクから **HDD** へのダビング開始時のコピー禁止信号を確認中は、予約録画は実行できません。

録画モード

- ① 「録画モード」を選び、**決定** を押す



- ② 録画するモードを選び、**決定** を押す



- ハイビジョン画質を選択時に【サブメニュー】を押すと、録画モードの倍率を変更することができます。（→70）

- ③ [◀] を押す（→104手順5へ）

お知らせ

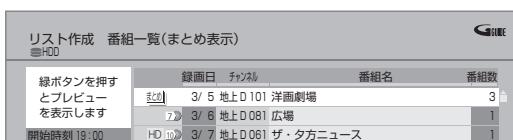
- 録画モードと記録時間の目安（→238）
- ディスクによって選べる録画モードは異なります。
- ダビング元より高画質な録画モードでダビングしても、画質は向上しません。
- アニメなど録画番組の内容によっては、オート（自動調整）を選択しても、空き容量が大幅に残ることがあります。

リスト作成（番組を選択する）

- ① 「新規登録」を選び、**決定** を押す



- ② 番組を選び、**青** を押す



- が表示されます。操作を繰り返し、番組を選びます。
- ダビング先にダビングできる番組のみ明るく表示します。

④ 選択を取り消すには

番組を選び、【青】を押す

- ⑤ 選び終わったあと、**決定** を押す

- ⑥ [◀] を押す（→104手順5へ）

お知らせ

- USB-HDD にダビングする場合や高速モードで BD-RE / BD-R にダビングする場合、HD 表示のある番組のみ登録できます。（録画用フォーマットの USB-HDD には、「AVCHD」や「AVC VIDEO」の表示がある番組はダビングできません）
- ダビングリスト容量について（ダビング先に記録される容量）
 - 管理情報が含まれるなどの理由で、ダビングする番組の合計より少し大きくなります。

詳細設定

（-R / -RW へダビングするときのみ）

- ① 「ファイナライズ」を選び、**決定** を押す
② 「入」または「切」を選び、**決定** を押す
③ [◀] を押す（→104手順5へ）

（BD-RE / BD-R / RAM AVCREC / -R AVCREC へ 1.5 ~ 15倍録 モードを選んでダビングするときのみ）

複数の音声や字幕情報を含んだ番組の記録方式を設定できます。

- ① 「音声・字幕の記録」を選び、**決定** を押す
② 「モード1」または「モード2」を選び、**決定** を押す
 - モード1：再生時に音声や字幕の切り替えができます。
 - モード2：再生時に音声や字幕の切り替えはできません。ダビング前に「信号切換」（→86）で記録する内容を設定してください。

- ③ [◀] を押す（→104手順5へ）

お知らせ

- 「ファイナライズ」を「入」に設定すると、ダビング終了後、ファイナライズ（→166）を行います。記録や編集をすることはできなくなります。また、ダビング中は録画や再生はできません。

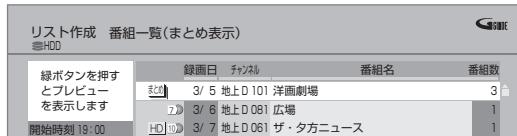


ダビング

番組をダビングする（続き）

ダビングの便利な機能

リスト作成画面（→105「リスト作成」手順②）で



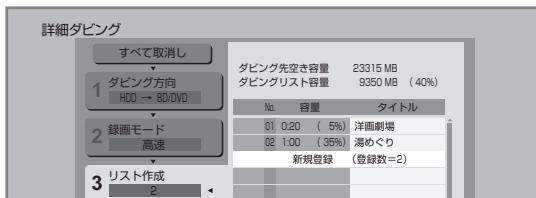
① 番組を選び、**S** を押す

② 項目を選び、**決定** を押す（→下記へ）

内容確認	番組の内容が確認できます。
視聴制限一時解除	「HDD 番組の視聴制限」（→180）で設定された視聴制限を一時的に解除します。画面の指示に従って暗証番号を入力してください。
並び替え	表示順を変更します。（全番組表示時のみ）
HDD USB-HDD	
まとめ表示へ 全番組表示へ	表示を切り替えます。 ●SeeQVault フォーマットの USB-HDD の場合はできません。
HDD USB-HDD	

番組に が付いているときはできません。

リスト作成画面（→105「リスト作成」手順①）で



●登録されたリストや設定を取り消す：

「すべて取消し」を選び、[決定] を押す

●リスト項目を入れ替える：

番組を選び、[決定] を押したあと、新たに登録したい番組を選ぶ

●リストの追加や消去、移動などの編集をする：

[サブメニュー] を押したあと、項目を選ぶ

・リスト全消去

・追加

・消去

・移動

ファイナライズ後のディスク（DVDビデオ）をダビングする

ファイナライズ後のディスクを編集したい場合など、ディスクの内容をダビングすることができます。

ダビング方向：

DVD-V（ファイナライズ後の **-RV** **-RWV**、
+R、+R DL、+RW）→ **HDD**

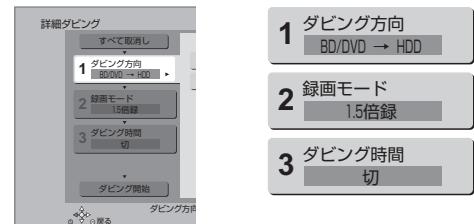
1 **スタート** を押す

2 「残す」を選び、**決定** を押す

3 「詳細ダビング」を選び、**決定** を押す

4 項目を選び、[▶] を押す

●操作方法は「詳細ダビング」（→104）をご覧ください。



以下のように設定してください。

・「ダビング方向」：「ダビング元」→「BD/DVD」

・「録画モード」：「録画モード」を選択

（1.5～15倍速のみ選べます）

・「ダビング時間」：ダビング時間を設定する
（→107）

5 「ダビング開始」を選び、**決定** を押す

6 「ダビングする」または「ダビング後に電源[切]」を選び、**決定** を押す

- 最初に右記の画面がダビングされます。
- 番組の再生が終わったあとも、設定した時間までダビングを続けます。



7 ダビングしたい番組の再生を始める

☞ トップメニューが表示された場合は番組を選び、**[決定]** を押す



☞ 好みの番組を再生するには

- [録画一覧]** を押す
- 番組を選び、**[決定]** を押す

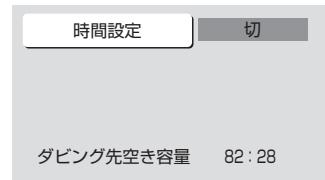
☞ ディスクの再生が始まらない場合は

- [▶ 再生]** を押す
- (トップメニューが表示されたら)番組を選び、**[決定]** を押す

☞ ダビングを実行中に中止 / 終了するには
[戻る] を3秒以上押す

ダビング時間

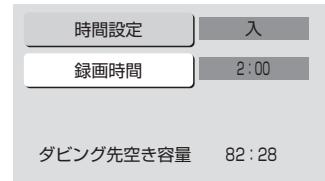
① 「時間設定」を選び、**決定** を押す



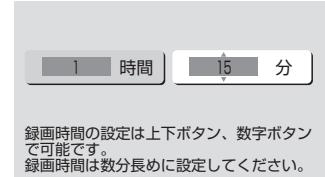
② 「入」または「切」を選び、**決定** を押す

- 「切」にすると、ダビング先の容量がなくなるまでダビングを続けます。

③ 「録画時間」を選び、**決定** を押す



④ “時間”または“分”を選び [**▲**][**▼**] で設定し、
決定 を押す



お知らせ

- 市販のDVDビデオのほとんどは録画禁止処理がされており、ダビングできません。
- 高画質や高音質のディスクをダビングしても、元の画質や音質のまま記録することはできません。
- テレビ画面に表示される内容をそのまま記録するため、トップメニュー画面の操作も記録します。
- ダビング中、不要な番組などはスキップ (→81) で飛び越すことができます。
- 記録した映像が横長になっているなどアスペクトが正しくない場合、「ハイビジョン画質 / 持ち出し番組の記録設定」(→179) の「記録アスペクト設定」を変更して再度取り込んでください。

ダビング

複数の音声や字幕情報を番組を DVD画質でディスクにダビングする

HDDに録画した番組を再生中にダビングすることができます。（1番組のみダビング）

- 記録する音声や字幕情報を設定できます。
- 再生位置にかかわらず、再生中の番組の先頭からダビングが開始されます。

ダビング方向：[HDD] → [BD-RE] [BD-R] [RAM] [-R] [-RW]

- 新品のディスクにダビングする場合は、フォーマットをして記録方式を設定してください。（→163）

1 ダビングしたい番組を再生する

複数の音声や字幕情報を含んでいる番組の場合：

- [RAM VR] [-R VR] [-RW VR] [音声] または [字幕] を押して、表示された再生設定画面（→86）で、記録したい音声や字幕を設定する

2 [サブメニュー] を押す

- サブメニュー画面が表示されない場合、もう一度 [サブメニュー] を押してください。

3 「再生中番組の保存」を選び、[決定] を押す

4 「保存開始」を選び、[決定] を押す



☞ ダビングを実行中に中止するには

[戻る] を3秒以上押す

- 中止時の動作（→109）

お知らせ

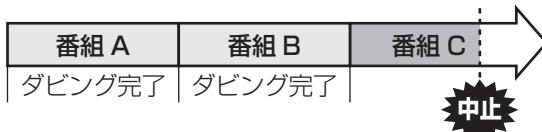
- [RAM VR] [-R VR] [-RW VR] 複数の音声を含んだ番組を2番組以上同時にダビングしたい場合、ダビング前に記録したい音声や字幕の設定を行ってください。

- ①ダビングしたい番組を再生し、以下の設定をする
 - [音声] または [字幕] を押して、表示された再生設定画面（→86）で、記録したい音声や字幕を設定する
- ②かんたんダビング（→102）、詳細ダビング（→104）
字幕設定を番組ごとに変更してダビングすることはできません。
1番組ずつダビングしてください。

ダビング時の動作について

ダビング実行中、ダビングを中止したときの動作

例) デジタル放送の番組 A・B・C の順にダビングして番組 C の途中で中止した場合



番組 A・B のみダビングされます。

番組 C はダビングされず、ダビング元に残ります。

ただし、コピー制限のない番組を画質変更ダビング中に中止した場合、途中までがダビングされます。

[BD-R] [-R] 番組 C の中止したところまでがディスクに書き込まれるため、番組 C がダビングされていない場合でもディスク残量は減少します。

-R V -RW V に画質変更ダビングするときの動作

番組を HDD に一時的に複製したあと、ディスクにダビングします。ダビング後、一時的に複製した HDD の番組は消去されます。

HDD の残量が少ないとときは、ダビングできません。HDD の不要な番組を消去 (→99) してからダビングしてください。

チャプターマークの保持について

ダビングすると、チャプターマークの位置が多少ずれる場合があります。また、最大チャプターマーク数 (→240) を超えると、超えた分は保持されません。

「1080/60p」の表示がある番組のダビングについて

以下の場合、画質変更ダビングになり、プログレッシュでは記録できません。

- ダビング先の **[BD-RE] [BD-R]** の残量が少ない
- **[BD-RE] [BD-R]** 以外のディスクへのダビング

部分消去やチャプター消去した番組の画質変更ダビングについて

部分消去やチャプター消去した番組をディスクに画質変更ダビングすると、番組の最後の部分がダビングされない場合があります。

3D 対応の番組のダビングについて

- 3D 表示のある番組を **[RAM VR] [-R VR] [-RW VR]** に XP、SP、LP、EP、FR モードでダビングすると、番組から 3D 情報がなくなります。
- 「AVCHD 3D」の表示がある番組は、以下の場合、画質変更ダビングになり、2D 映像として記録されます。
 - ・ ダビング先の **[BD-RE] [BD-R]** の残量が少ない
 - ・ **[BD-RE] [BD-R]** 以外のディスクへのダビング

複数の音声（マルチ音声）や字幕情報を含んだ番組のダビングについて

録画した番組をディスクにダビングする場合、音声や字幕情報は以下のようになります。

- **[BD-RE] [BD-R] [RAM AVCREC] [-R AVCREC]**
(高速、1.5～15 倍録 モードでダビング時)
複数の音声や字幕情報を記録できます。(再生時に切り替え可能)
- **[RAM VR] [-R VR] [-RW VR]** (HDD からダビング時)
複数の音声や字幕情報の記録はできません。(再生時に切り替え不可)
再生中番組の保存 (→108) でダビングしてください。

お知らせ

- 他の機器でディスクを再生すると音声や字幕を切り替えられないことがあります。

[BD-RE] [BD-R] [RAM AVCREC] [-R AVCREC] 詳細ダビングの詳細設定 (→105) で、「音声・字幕の記録」を「モード2」にしてディスクに画質変更ダビングすると、「信号切換」(→86) で設定した内容で記録することができます。(ただし、音声の切り替えや字幕表示の入／切はできなくなります)

二重音声の番組のダビングについて

録画した番組をダビングする場合、音声は以下のようになります。

- **[BD-RE] [BD-R] [RAM AVCREC] [-R AVCREC]**
[USB-HDD] [RAM VR] [-R VR] [-RW VR]
両方の音声を記録
- **-R V -RW V** 以下の設定に従って記録：
「DVD-Video 記録の設定」(→179) の「二重音声記録時の音声選択」を記録したい音声にする



ダビング

スカパー！プレミアムサービス対応チューナーから 録画する



ネットワークで接続すると、スカパー！プレミアムサービス対応チューナーからの番組をそのままの画質で本機に録画することができます。

※ 外部入力から録画する場合は、「見ている番組を録画する」
(→113) の手順で録画してください。

●サービスについては、当社ホームページをご覧ください。

http://panasonic.jp/support/bd/network/hd_rec/

●「スカパー！HD」は2012年9月29日より
「スカパー！プレミアムサービス」に名称変更しました。

接続と設定

●ネットワーク接続と設定をする
(→214、215、223)

●設定を変更する場合 (→188)

HDD

スカパー！プレミアムサービス対応チューナーで ネットワーク設定と予約の設定をする

録画中は、本体前面の“LAN”ランプが点灯します。



●本機が録画先になるように設定してください。詳しくはスカパー！プレミアムサービス対応チューナーの説明書をご覧ください。

●本機の予約一覧に「LAN 予約」マークが表示されままでの、予約内容を確認してください。(→64)

・録画モードを変更することはできません。

・「重複」マークが表示されている場合、録画は実行されません。

・視聴制限のある番組や接続しているチューナーによっては、番組名が表示されないことがあります。

録画を止めるには

[■ 停止] を押す

●スカパー！プレミアムサービス以外の番組も録画中のときは、“LAN”的表示のあるチャンネルを選んでください。

チューナーから本機にダビングするときは

●「ビエラなどからダビングする」(→115) をご覧ください。

お知らせ

●本機が動作中のときは、予約の設定ができない場合があります。

●スカパー！プレミアムサービスの番組の録画が正しく実行されない場合がありますので、以下のようにしてください。

・本機の日時が間違っている場合、もしくは本機をアンテナにつないでいない場合は、日時設定を行ってください。
(→177「日時設定」)

・予約登録後、ネットワーク設定をやり直す場合、設定前に登録済みの予約を取り消し、設定後に再度予約登録を行ってください。

●スカパー！プレミアムサービスの番組を録画中は、市販のBDビデオやAVCHDのディスクを再生することはできません。

●予約登録後、本機側で「持ち出し番組の設定」(→50)、「番組名入力」(→53)、「マイラベル設定」(→51) の設定ができます。ただし、チューナー側で予約を修正すると、本機側の予約を取り消し、再登録するため、本機側で設定した内容は無効になります。

●録画中のスカパー！プレミアムサービスの番組を、本機で「予約実行切」にすると、再び「予約実行入」にすることはできません。

●予約した番組の直前の放送が視聴制限のある番組や「録画禁止」の番組の場合、始めの数秒間、録画されないことがあります。

●スカパー！プレミアムサービスの番組は、録画モードが表示されません。

●視聴制限のある番組は、録画一覧画面(→76) やダビング画面(→102、105) などで表示されない場合があります。「視聴制限一時解除」を行うと、表示されるようになります。

●以下の場合、記録したスカパー！プレミアムサービスの番組は字幕表示の入／切ができません。

・接続しているチューナーが字幕データの出力に対応していない場合

・画質変更ダビングした場合

・他社製機器で記録した場合

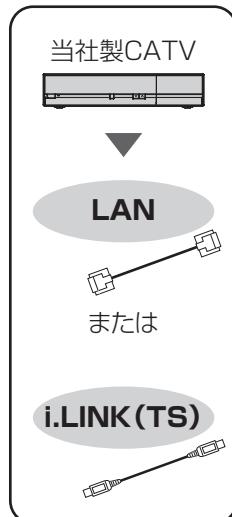
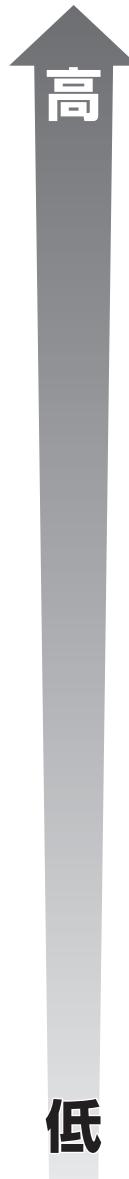
CATV(ケーブルテレビ)から録画する

☞ 接続の詳細については(→208)

お勧めは?

接続機器は?

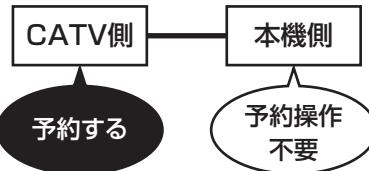
予約操作は?



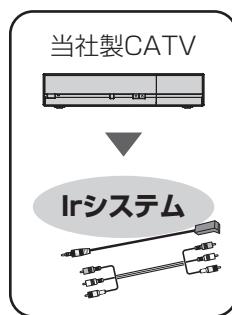
ネットワークを使って予約する(→112)

または

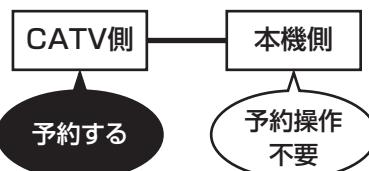
i.LINKを使って予約する(→113)



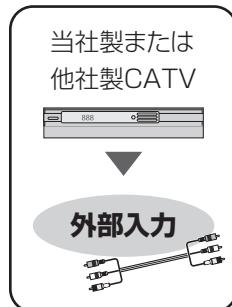
そのままの画質で記録します。



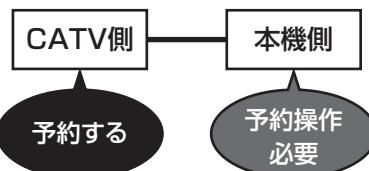
Irシステムを使ってタイマー予約する(→114)



ハイビジョン画質(1.5~15倍録)で記録します。*



外部入力から時間指定予約する(→114)



ハイビジョン画質(1.5~15倍録)で記録します。*

* [RAM VR] [R VR] [RW VR]にはDVD画質で記録します。

i.LINK(TS)端子やIrシステムを使っての録画は、当社製CATVセットトップボックスでの動作のみ保証しています。他社製品と接続する場合は外部入力を使って録画してください。

ネットワークを使って録画できるCATVセットトップボックスについては、当社ホームページ(→3)をご覧ください。

上記の接続[i.LINK(TS)、外部入力]で、見ている番組を録画するときは(→113)
CATVから本機にダビングするときは(→115)

お知らせ

- CATVからコピー制限のある番組を録画する場合、「ダビング10」の番組でも「1回だけ録画可能」な番組として録画されます。

CATV（ケーブルテレビ）から録画する（続き）

ネットワークを使って予約する

ネットワークで接続すると、CATV セットトップボックスからの番組をそのままの画質で本機に録画することができます。

- ネットワーク接続と設定をする

(→214、215、223)

お部屋ジャンプリンク (DLNA) / スカパー! Link
(録画) 設定 (→188)

録画を止めるには

[■ 停止] を押す

- ネットワーク経由以外の番組も録画中のときは、“LAN”の表示のあるチャンネルを選んでください。

HDD

CATV側でネットワーク設定と予約の設定をする

録画中は、本体前面の“LAN”ランプが点灯します。



- 本機が録画先になるように設定してください。詳しくはCATV セットトップボックスの説明書をご覧ください。

- 本機の予約一覧に「LAN 予約」マークが表示されま
すので、予約内容を確認してください。(→64)
 - ・「重複」マークが表示されている場合、録画は実行
されません。
 - ・視聴制限のある番組や接続している CATV セット
トップボックスによっては、番組名が表示されない
ことがあります。

お知らせ

- 本機が動作中のときは、予約の設定ができない場合があります。
- CATVの番組の録画が正しく実行されない場合がありますので、以下のようにしてください。
 - ・本機の日時が間違っている場合、もしくは本機をアンテナにつ
ないでいる場合は、日時設定を行ってください。
(→177「日時設定」)
 - ・予約登録後、ネットワーク設定をやり直す場合、設定前に登録済
みの予約を取り消し、設定後に再度予約登録を行ってください。
- CATVの番組を録画中は、市販のBDビデオやAVCHDのディス
クを再生することはできません。
- 予約登録後、本機側で「持ち出し番組の設定」(→50)、「番組名
入力」(→53)、「マイラベル設定」(→51) の設定ができます。
ただし、CATV 側で予約を修正すると、本機側の予約を取り消
し、再登録するため、本機側で設定した内容は無効になります。
- 録画中のCATVの番組を、本機で「予約実行切」にすると、再び
「予約実行入」にすることはできません。
- 予約した番組の直前の放送が視聴制限のある番組や「録画禁止」
の番組の場合、始めの数秒間、録画されないことがあります。
- CATVの番組は、録画モードが表示されません。
- 視聴制限のある番組は、録画一覧画面 (→76) やダビング画面
(→102、105) などで表示されない場合があります。「視聴制
限一時解除」を行うと、表示されるようになります。

見ている番組を録画する

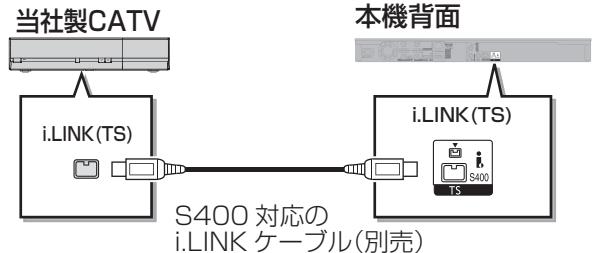
HDD

- 1  を押して、CATV を接続した端子
〔「L1」など〕を選び、CATV でチャンネルを選ぶ
- 2  を押して、録画モード (→69) を選ぶ
 - i.LINK (TS) 入力の場合、DR モードのみ選べます。
- 3  を押す
- 4 録画の終了方法を選び、 を押す

録画を止めるには
[■ 停止] を押す

i.LINK を使って予約する

HDD



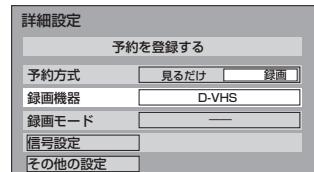
- 初期設定で以下の設定をする
 - ・「i.LINK 機器モード設定」: 「TS モード2」 (→183)

1 CATV 側の i.LINK 設定で本機を設定する

2 CATV 側で予約をする

- 「録画機器」の設定は、「D-VHS」にしてください。

例) CATV 側の予約画面



予約方法は機器により異なります。詳しくは
CATV 側の取扱説明書をご覧ください。

3 本機の電源を切る

お知らせ

- 外部入力 (L1) から録画中、XP、SP、LP、EP、FR モードの予約録画が始まると、録画が中断します。
- i.LINK (TS) 入力から録画中、本機の予約録画が始まり、複数の番組を録画 (→71) できない場合は、録画が中断します。

お知らせ

- 本機には DR モードで録画されます。
- 本機の予約一覧には登録されません。
- i.LINK (TS) 入力から録画中、本機の予約録画が始まり、複数の番組を録画 (→71) できない場合は、録画が中断します。
- 他の操作を実行していると、予約録画が開始されない場合があります。予約の開始前には本機の電源を切ってください。
- 録画中に本機の電源を切らないでください。
- 番組の先頭部分が録画されないとときがあります。

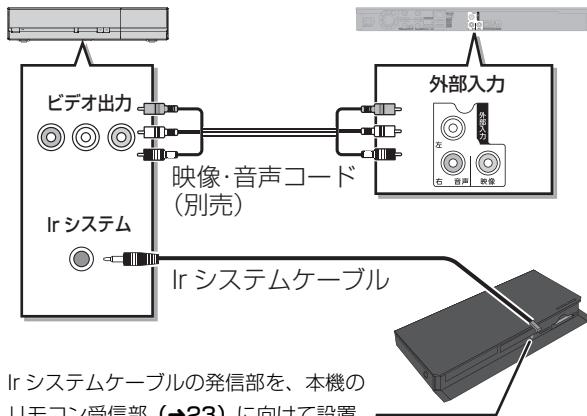
C
A
T
V

CATV(ケーブルテレビ)から録画する(続き)

Irシステムを使ってタイマー予約する

HDD BD-RE BD-R RAM -R AVCREC -R VR -RW VR

当社製CATV



Irシステムケーブルの発信部を、本機の
リモコン受信部(→23)に向けて設置

●初期設定で以下の設定をする

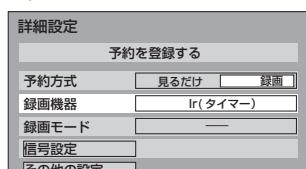
- 「リモコンモード」(→187)：
CATV側のIrシステムのリモコン種別の番号と合わせる

1 CATV側のIrシステムを設定する

2 CATV側で予約をする

- 「録画機器」の設定は、「Ir(タイマー)」にしてください。
- 録画モードの設定やディスクに予約する場合は、予約後に本機の予約一覧(→64)で、予約内容の修正を行ってください。

例) CATV側の予約画面



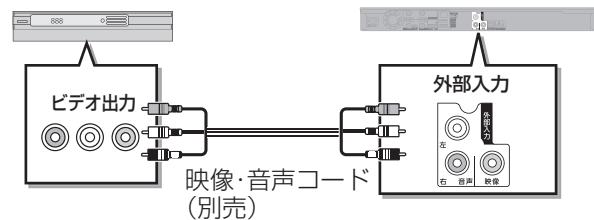
予約方法は機器により異なります。詳しくは
CATV側の取扱説明書をご覧ください。

- 本機が予約を受け付けたときに、本体表示窓に“ACCEPT”が表示されます。
- 本機の予約一覧に登録されますので、予約内容を確認してください。(→64)

外部入力から時間指定予約する

HDD BD-RE BD-R RAM -R AVCREC -R VR -RW VR

当社製または他社製CATV

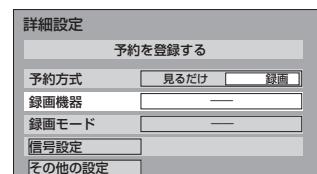


1 入力切換を押して、「L1」を選ぶ

2 CATV側で予約をする

- 「録画機器」の設定は、「—」にしてください。

例) CATV側の予約画面



予約方法は機器により異なります。

詳しくはCATV側の取扱説明書をご覧ください。

3 本機の「時間指定予約」で予約する(→53)

- 「放送種別/チャンネル」は「外部入力L1」に設定してください。
- ディスクに予約する場合は、「録画先」を「BD」に設定してください。

お知らせ

●Irシステムを使ったタイマー予約について

- 本機動作中に予約を行うと正しく登録されない場合があります。
- お使いの機器によっては、タイマー予約ができない場合があります。

●HDD Irシステムを使った運動予約について

Irシステム運動予約対応機器の場合、Irシステムを使うと、本機の予約操作は不要になりますが、録画の開始時刻に本機側が以下の状態になっている必要があります。

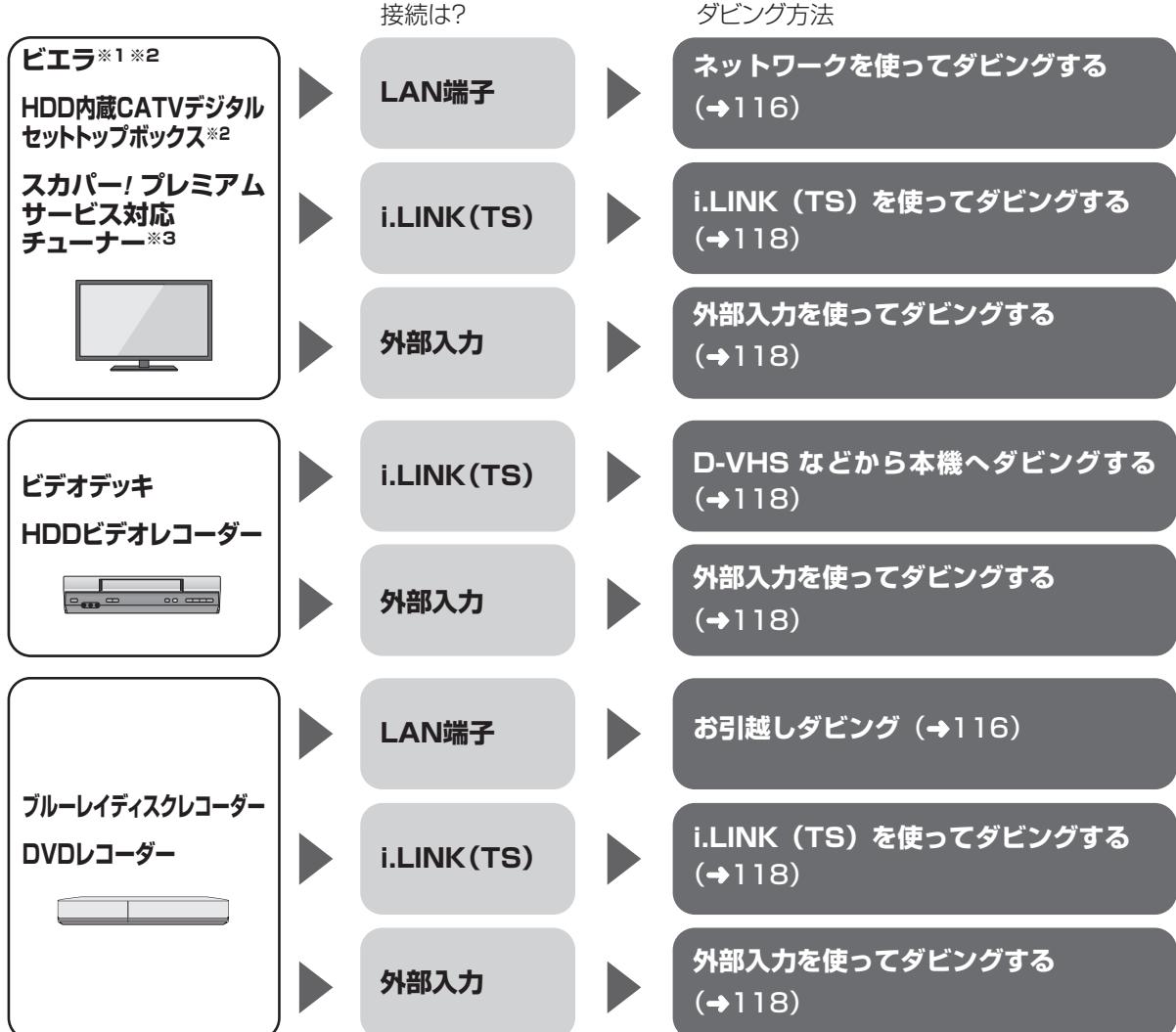
- 入力切換が「外部入力(L1)」
- 電源「切」

上記状態になっておらず予約が失敗することを防ぐため、当社製CATVでIrシステムを使って予約をする場合は、タイマー予約(→左記)での予約をお勧めします。

●外部入力からの録画について

- ハイビジョン画質で録画されますが、画質は向上しません。

ビエラなどからダビングする



* 1 USB-HDD 録画対応ビエラや HDD 内蔵ビエラからダビングできます。

* 2 i.LINK (TS)、LAN 端子でダビングするかは機器によって異なります。

* 3 LAN 端子を使ってダビングします。

接続と設定

LAN 端子

- ネットワーク接続と設定をする (→213、223)
お部屋ジャンプリンク (DLNA) の設定を変更する場合 (→188)

i.LINK (TS)

- i.LINK ケーブルで接続する (→208)
- 「i.LINK 機器モード設定」を設定する (→183)
 - ・ HDD 内蔵 CATV デジタルセットトップボックスと接続：「TS モード 2」
(当社製 CATV デジタルセットトップボックスの中には、「TS モード 1」に設定する機器もあります。
詳しくは接続した機器の取扱説明書をご覧ください)
 - ・ それ以外と接続：「TS モード 1」
- 接続機器側の i.LINK (TS) の設定をする

外部入力

- ビデオと接続する (→210)

C
A
T
V
CA
T
V
他機器からダビング

ビエラなどからダビングする (続き)

ネットワークを使ってダビングする

HDD

ビエラなどの機器とネットワーク接続すると、接続した機器から本機のHDDにダビングすることができます。

ダビングできる機器：

- ・USB-HDD 録画対応ビエラ
- ・HDD内蔵ビエラ
- ・当社製CATVデジタルセットトップボックス
- ・スカパー！プレミアムサービス対応チューナー
- ・対応機器については、当社ホームページ(→3)をご覧ください。

・ネットワーク接続と設定をする

(→214～216、223)

お部屋ジャンプリンク(DLNA)の設定を変更する場合(→188)

ビエラなどの接続機器側でダビングの操作をする

- ・ダビングの操作方法は接続した機器の取扱説明書をご覧ください。

お引越しダビング

お引越しダビングに対応したディーガや他社製レコーダーなどとネットワーク接続すると、番組や写真をダビングすることができます。他のディーガや他社製レコーダーなどから本機にまとめて移動するときに便利です。

- ・対応機器については、当社ホームページ(→3)をご覧ください。

- ・ネットワーク接続と設定をする(→214～216、223)

お部屋ジャンプリンク(DLNA)の設定を変更する場合(→188)

番組ダビングの設定をする

1 [スタート] を押す

2 「全機能から選ぶ」を選び、[決定] を押す

- ・表示がない場合は[◀◀][▶▶]でページを切り換えてください。

3 「ネットワーク機能を使う」を選び、[決定] を押す

4 「お引越しダビング」を選び、[決定] を押す

5 「番組をダビングする」を選び、[決定] を押す

6 接続する機器を選び、[決定] を押す

- ・番組が表示されます。
他社製機器の場合、番組が表示されない場合があります。その場合は、フォルダから番組を探して、表示してください。

7 番組を選び、[決定] を押す

- ・複数の番組をダビングする場合、番組を選んで[青]を押す操作を繰り返してください。
(選んだ番組には「」が表示されます。
もう一度[青]を押すと選択を取り消します。)

例)

番組お引越しダビング 番組一覧(全番組表示) ダビングしたい番組を選択し、決定ボタンを押してください。					GIGA
					ページ 01/01/03
<input checked="" type="checkbox"/>	現代ビジネス	2/8 (金)	地上	101	開始時間 22:00 終焉時間 1:00
<input checked="" type="checkbox"/>	エレキギター入門	2/8 (金)	地上	101	開始時間 9:07 終焉時間 0:28
<input checked="" type="checkbox"/>	夕方ニュース	2/8 (金)	地上	101	開始時間 17:03 終焉時間 1:00

☞ まとめ 番組を選んだ場合は

まとめ番組内や他の番組も選択したい場合は、表示された項目を選んで操作してください。

☞ すべての番組をダビングしたい場合は

「一括ダビング」(→117) してください。

- 8 接続機器がディーガの場合：
「ダビング元機器の番組」を
「残す」または「残さない」に設定する**
- 接続機器が他社製レコーダーの場合：手順 9 へ

- 9 「設定する」を選び、**決定** を押す**
(→右記「ダビングを実行する」へ)

■ 番組ダビング時の便利な機能

番組お引越しダビング画面 (→116 手順 7) で

- ① 番組を選び、**S** を押す

- ② 項目を選び、**決定** を押す (→下記へ)

内容確認	番組の内容が確認できます。
一括ダビング*	HDD 内のすべての番組をダビングします。 (「はい」を選んで [決定] を押し たあと → 上記手順 8 へ)
まとめ表示へ*	表示を切り替えます。
全番組表示へ*	

*番組に が付いているときはできません。

○ お知らせ

- 1 回に複数選択できる番組は 99 番組までです。
- **まとめ** 番組内の番組とそれ以外の番組を複数選んでダビングするには、
[サブメニュー] を押して、「全番組表示へ」に切り換えてください。
- 以下の番組はダビングできません。
 - ・プロテクト設定 (→93) されている ① の番組
 - ・ダウンロードした番組
 - ・ダビングする番組を選択したあと、ダビングが実行される前に
「番組消去」「部分消去」「番組結合」「番組分割」「録画モード変換」「チャプター消去」「チャプター結合」の編集や、番組の複製をした番組
 - ・XP、SP、LP、EP、FR モードの番組
- ① の表示がある番組は以下のようになります。
 - ・手順 8 の「残す」「残さない」の設定にかかわらず、ダビング元からは消去されます。
 - ② ～ ④ の表示がある番組は以下のようになります。
 - ・ダビング先では「1 回だけ録画可能」の番組になります。
 - 一括ダビングの場合、ダビング元の番組のデータ容量によっては、ダビング完了までに時間がかかる場合があります。
 - 他社製レコーダーの場合、「まとめ表示へ」「全番組表示へ」の切り換えはできません。また、ダビングの残り回数 (⑤ ～ ⑦) は表示されません。

写真ダビングの設定をする

HDD 内のすべての写真をダビングします。
写真を選んでダビングすることはできません。

116 ページ手順 4 のあと

- 5 「写真をダビングする」を選び、**決定** を押す**

- 6 接続する機器を選び、**決定** を押す**

- 7 「ダビングする」を選び、**決定** を押す**

(→下記「ダビングを実行する」へ)

○ お知らせ

- 1 回にダビングできる写真是 20000 枚までです。
- ダビング元の写真是削除しません。
- ダビング完了までは、写真的取り込みはできません。

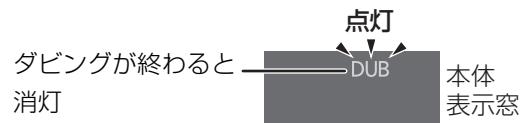
ダビングを実行する

本機と接続機器の電源を切る

- 写真をダビングする場合は、接続機器の電源を切る必要はありません。

電源「切」時にダビングが実行されます。予約録画の設定がされていない時間帯にダビングを行います。

- ダビング中に電源を入れると、ダビングを中断し、次に電源を切ると、ダビングを再開します。



「クイックスタートモード」(→178) が「省エネ（時計表示無し）」の場合、点灯しません。

○ ダビングの状況を確認するには

- ① [スタート] を押す
- ② 「全機能から選ぶ」を選び、[決定] を押す
- ③ 「ネットワーク機能を使う」を選び、[決定] を押す
- ④ 「お引越しダビング」を選び、[決定] を押す
- ⑤ 「番組をダビングする」または「写真をダビングする」を選び、[決定] を押す

○ ダビングを中止するには

上記手順 ⑤ のあとに、[黄] を押す

ビエラなどからダビングする (続き)

i.LINK (TS) を使ってダビングする

接続した機器から、本機のHDDにダビングすることができます。

- 本機は、i.LINK (TS) 出力に対応した当社製のブルーレイディスクレコーダー、DVD レコーダー、D-VHS ビデオカセットレコーダー、HDD ビデオレコーダー、HDD 内蔵ビエラ、HDD 内蔵 CATV デジタルセットトップボックスとの動作のみ保証しています。
(2014年8月現在)

お知らせ

- S400 対応の i.LINK ケーブルをお使いください。
- 本機から i.LINK 対応機器へのダビング、または再生などの操作はできません。
- i.LINK (TS) 経由で本機に接続できる i.LINK (TS) 機器は、1台のみです。

レコーダーなどから本機へダビングする

ダビングできる当社製機器：

ブルーレイディスクレコーダー
DVD レコーダー
HDD 内蔵 CATV デジタルセットトップボックスなど

レコーダーなどの接続機器側でダビングの操作をする

- ダビング方法など、詳しくは接続した機器の説明書をご覧ください。
- ・接続した機器の電源を入れてから本機の電源を入れてください。
- ・DR モードでダビングします。
- ・本機で複数の予約録画が始まり、番組の録画ができない状態（→71）になると、ダビングは中止されます。

D-VHS などから本機へダビングする

- HDD** にダビングできます。

ダビングできる機器：

D-VHS ビデオ
HDD ビデオレコーダーなど

1  を押して、「i.LINK (TS)」を選ぶ

2 接続した機器で再生を始め、録画を始めたい
場面で、 を押す

3 録画の終了方法を選び、 を押す

☞ ダビングを実行中に中止するには

[■ 停止] を押す

●接続した機器の再生も停止してください。

お知らせ

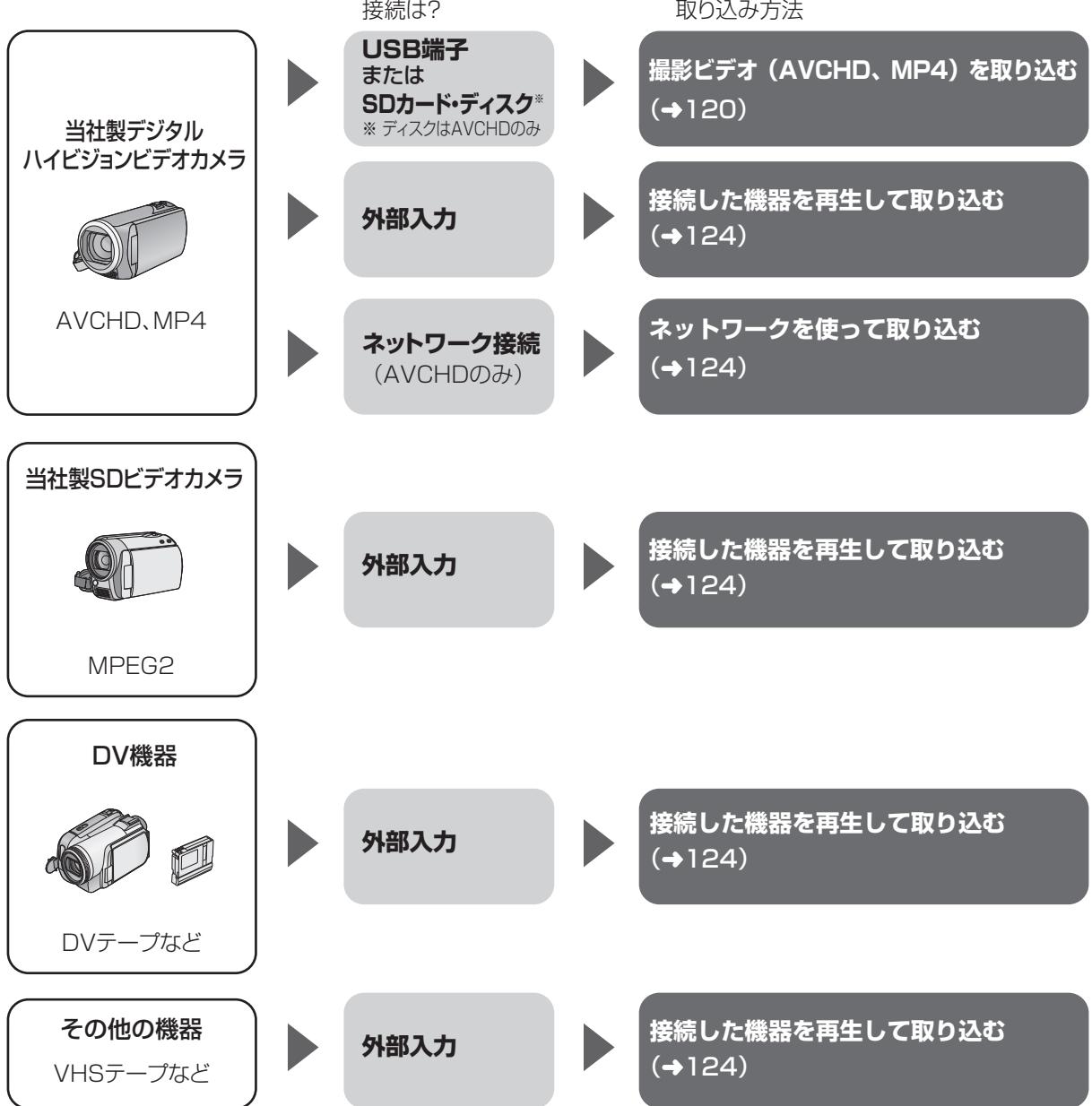
- コピー制限のある番組はダビングできません。
- 本機の予約録画が始まり、複数の番組を録画（→71）できない場合は、ダビングは中止されます。

外部入力を使ってダビングする

HDD

「接続した機器を再生して取り込む」（→124）

ビデオカメラから取り込む



●対応する機器については、当社ホームページ（→3）をご覧ください。

接続と設定

USB 端子

- 接続する（→197）

SD カード・ディスク

- 挿入する（→26）

外部入力

- ビデオと接続する（→210）

ネットワーク接続

- ネットワーク接続と設定をする（→213、223）

お部屋ジャンプリンク（DLNA）の設定を変更する場合（→188）

他機器からダビング



ビデオカメラ

ビデオカメラから取り込む(続き)

撮影ビデオ(AVCHD、MP4)を取り込む

USB

SDカード

ディスク

当社製デジタルハイビジョンビデオカメラなどで撮影した動画を取り込むことができます。

- 「1080/60p」*や「AVCHD 3D」の表示がある番組は **HDD** **BD-RE** **BD-R** にのみ取り込むことができます。

* 1080/60p(1920×1080/60プログレッシブ)記録の番組

- MP4 の番組は **HDD** にのみ取り込むことができます。(変換取込の場合、高速で取り込みはできません)

- HDD** に取り込む場合、動画の種類や初期設定によって、取り込んだ動画の再生方法が異なります。
(→75)

MP4 の変換取込とファイル取込について

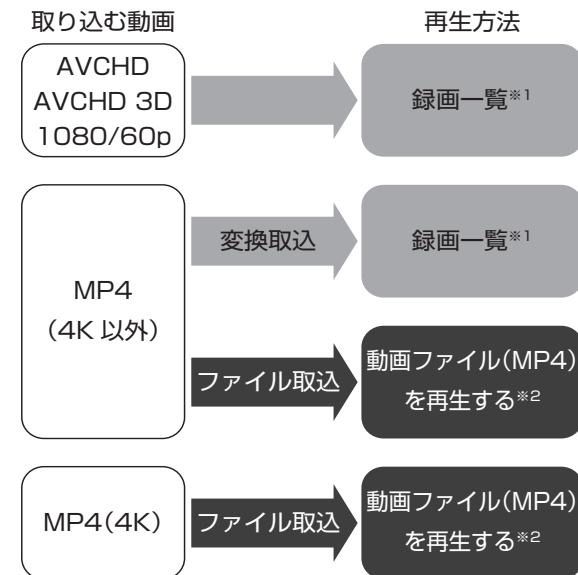
MP4(4K 以外)は、「MP4 の取り込み設定」(→180)によって取り込み後の再生方法が異なります。

[ただし、MP4(4K)は設定にかかわらず、「ファイル取込」されます]

- 「変換取込」すると、本機の録画一覧で再生できます。取り込むときの画質は、「MP4 取り込み画質」(→180)で選ぶことができます。

「高画質モード」は 2 倍録相当、「標準モード」は 5 倍録相当の画質になります。

- 「ファイル取込」すると「動画ファイル(MP4)を再生する」で再生できます。(録画一覧には表示されません)



* 1 取り込んだ動画は、録画一覧のチャンネル欄では以下のように表示されます。

- AVCHD :「AVCHD」
(サイドバイサイド方式で記録した 3D 映像も含む)
- AVCHD 3D :「AVCHD 3D」
- 1080/60p の番組 :「AVCHD PRO」
- MP4(4K 以外) :「AVC VIDEO」

* 2 本機に「ファイル取込」した MP4 は、ネットワーク接続したファイル共有機能対応機器で見ることができます。
(→159)

お知らせ

DVDに取り込んだ動画を他の AVCREC 非対応機器で再生したい場合

- 一度 HDD に取り込んだあと、DVD 画質(XP、SP、LP、EP、FR モード)でディスクにダビングしてください。

かんたん差分取り込み

USB

SDカード

取り込んだ撮影ビデオの履歴を HDD に保持しているため、複数回取り込むと、新たに追加された撮影ビデオのみを取り込みます。

取り込み方向：

USB SD → HDD

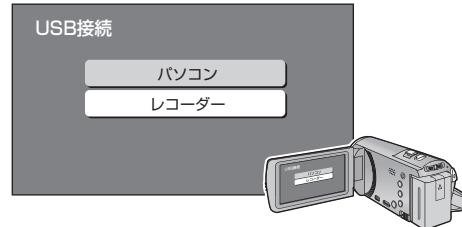
■ USB 機器から取り込む場合

1 USB 機器を接続する (→197)

2 USB 機器側で、本機と USB 接続するための設定をする

- USB 機器の設定は、USB 機器の説明書に従って行ってください。

例)



- USB 機器側の設定をすると、以下の画面が表示されます。



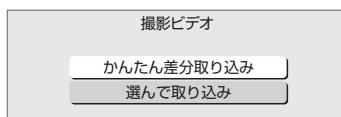
下記操作で表示することもできます。

- [スタート] を押す
- 「メディアを使う」を選び、[決定] を押す
- 「USB 機器」を選び、[決定] を押す

3 「撮影ビデオ」を選び、**決定** を押す

- 「写真・撮影ビデオかんたん取込」を選ぶと、写真も同時に取り込みます。

4 「かんたん差分取り込み」を選び、**決定** を押す

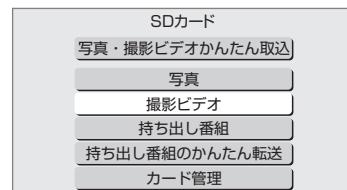


5 「取り込み開始」を選び、**決定** を押す

■ SD カードから取り込む場合

1 SD カードを入れる

- 以下の画面が表示されます。



下記操作で表示することもできます。

- [スタート] を押す
- 「メディアを使う」を選び、[決定] を押す
- 「SD カード」を選び、[決定] を押す

2 「撮影ビデオ」を選び、**決定** を押す

- 「写真・撮影ビデオかんたん取込」を選ぶと、写真も同時に取り込みます。

3 「撮影ビデオを取り込む」を選び、**決定** を押す

4 「かんたん差分取り込み」を選び、**決定** を押す

5 「取り込み開始」を選び、**決定** を押す

お知らせ

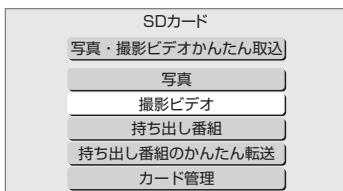
- 取り込んだ撮影ビデオの履歴は、SD カードは 5 枚、USB 機器は 1 台のみ保持し、それ以上になると、古い情報から削除されます。
- 取り込んだ撮影ビデオの履歴保持は、「HDD のフォーマット」(→180) や「全番組消去」(→180) を行うと、削除されます。
- 同じ撮影ビデオを取り込みたい場合や撮影ビデオ単位で取り込みたい場合は、「選んで取り込み」(→122) を行ってください。
- MP4 撮影形式やファイル構成によっては、取り込みができない場合があります。
- 以下の操作を行った場合、取り込み済みの動画を再度取り込んでしまうことがあります。
 - ビデオカメラなどで編集
 - 取り込みを中断



■SDカードから取り込む場合

1 SDカードを入れる

- 以下の画面が表示されます。



下記操作で表示することもできます。

- 【スタート】を押す
- 「メディアを使う」を選び、【決定】を押す
- 「SDカード」を選び、【決定】を押す

2 「撮影ビデオ」を選び、**決定** を押す

3 「撮影ビデオを取り込む」を選び、**決定** を押す

4 「選んで取り込み」を選び、**決定** を押す

- 複数種類の撮影ビデオがSDカードに存在している場合、メッセージが表示されます。
取り込みたい撮影ビデオを選び、【決定】を押してください。
- 「AVCHD」を取り込む場合、取り込み先を選び、【決定】を押してください。

5 タイトルを選び、**青** を押す

- が表示されます。操作を繰り返します。

- ☒ 選択を取り消すには
タイトルを選び、[青] を押す

6 選び終わったあと、**決定** を押す

7 「取り込み開始」を選び、**決定** を押す

- 新品など未フォーマットのディスクに取り込む場合は、自動的にフォーマットをしてから取り込みを始めます。

■ディスクから取り込む場合

1 ディスクを入れる

- 以下の画面が表示されます。



下記操作で表示することもできます。

- 【スタート】を押す
- 「メディアを使う」を選び、【決定】を押す
- 「ブルーレイ (BD) /DVD」を選び、【決定】を押す

2 「撮影ビデオ (AVCHD)を取り込む」を選び、**決定** を押す

3 タイトルを選び、**青** を押す

- が表示されます。操作を繰り返します。

- ☒ 選択を取り消すには
タイトルを選び、[青] を押す

4 選び終わったあと、**決定** を押す

5 「取り込み開始」を選び、**決定** を押す

お知らせ

- 1つのタイトルに99シーンを超えて記録されている場合、99シーンごとに分けて取り込みます。
- 当社製デジタルハイビジョンビデオカメラで撮影した場合、日付単位でタイトルとして表示されます。同じ日に撮影されたシーンが複数ある場合、まとめ番組となります。
- 撮影した機器によっては、取り込み後に撮影日時が表示されない場合があります。

ビデオカメラから取り込む(続き)

接続した機器を再生して取り込む

外部入力

HDD

- 1  を押して、外部機器を接続した端子(L1)を選ぶ
- 2  を押して、録画モード(→69)を選ぶ
1.5~15倍録モードのみ選べます。
- 3 接続した機器で再生を始め、録画を始めたい場面で、 を押す
- 4 録画の終了方法を選び、 を押す

⌚ 録画を一時停止するには

[II 一時停止] を押す

•もう一度押すと、録画を再開します。

⌚ 録画を止めるには

[■ 停止] を押す

お知らせ

- 記録した映像が横長になっているなどアスペクトが正しくない場合、「ハイビジョン画質/持ち出し番組の記録設定」(→179) の「記録アスペクト設定」を変更して再度取り込んでください。

ネットワークを使って取り込む(ダビング)

ネットワーク接続

HDD

本機では、「DIGA コピー」に対応した当社製デジタルビデオカメラとネットワーク接続すると、撮影ビデオ(AVCHD)と写真を本機のHDDに取り込むことができます。

- ネットワーク接続と設定をする
(→214~216、223)
お部屋ジャンプリンク(DLNA)の設定を変更する場合(→188)

お知らせ

- 本機が以下の場合は取り込めません。
 - ・複数の番組を録画中
 - ・LAN 経由(スカパー!プレミアムサービスやCATV)の番組を録画中
 - ・BD ビデオや AVCHD のディスク再生中
 - ・ダビング中
 - ・お部屋ジャンプリンク(DLNA)機能など、ネットワークを利用する機能を使用中など
- 取り込み中に複数の番組の予約録画が始まると、取り込みを中断します。

写真を再生する

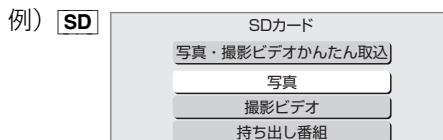
[HDD] [BD-RE] [BD-R] [RAM] [-R] [-RW] [CD] [SD] [USB]

[USB-HDD] (SeeQVault フォーマット)、

+R、+R DL、+RW

- [CD] [USB] 写真を記録した CD-R、CD-RW や当社製デジタルカメラなどの USB 機器が再生できます。
- 本機では、フル HD 対応の 3D テレビと接続している場合、3D 対応のデジタルカメラで撮影した写真 (MPO) の 3D 再生をお楽しみいただけます。
- 本機では、4K 対応のテレビに接続している場合、再生する写真の画質にかかわらず 4K 画質で写真を再生できます。
 - ・「HDMI 出力解像度」(→183) を「オート」に設定してください。
 - ・3D 再生では、4K で出力されません。

ディスク、SD カードを入れるまたは USB 機器、USB-HDD を接続 (→194、197) すると、下記画面が表示されます。(表示される項目は記録内容によって異なります)



ディスク、[SD]、[USB]：
右記の手順 4 に進みます。

[USB-HDD]：
右記の手順 5 に進みます。

1 [スタート] を押す

[HDD] 手順 5 へ

2 「メディアを使う」を選び、[決定] を押す

- 表示がない場合は [◀◀][▶▶] でページを切り換えてください。

3 ディスク：

「ブルーレイ (BD) /DVD」を選び、

[決定] を押す

[SD] :

「SD カード」を選び、[決定] を押す

[USB] :

「USB 機器」を選び、[決定] を押す

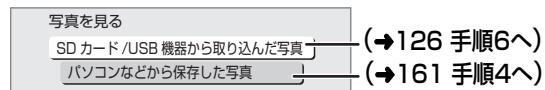
[USB-HDD] :

「USB-HDD」を選び、[決定] を押す (→手順5へ)

4 「写真」を選び、[決定] を押す

5 「写真を見る」を選び、[決定] を押す

- [HDD] 「ファイル共有サーバー機能」(→186) が「入」の場合、下記の画面が表示されます。項目を選び、[決定] を押してください。



(→ 次ページに続く)

ビデオカメラ



写真・音楽



写真を再生する (続き)

6 フォルダ選び、**決定** を押す

例) **HDD**

ラベル

- **3D** ラベル：

取り込んだ 3D 写真 (MPO) を 3D 再生する場合は、このラベルから選んでください。

- **✉** 受信ラベル：

受信した写真を表示します。(**→134**)



フォルダ

- HDD に取り込まれた写真 (**→129**) は、フォルダで管理されます。

- [サブメニュー] を押すと、フォルダや写真を整理することができます。(**→128**)

7 写真選び、**決定** を押す

☞ 再生を止めるには

[■ 停止] を押す

☞ 前後の写真を見るには

[◀][▶] を押す

☞ 写真の情報を表示するには

[画面表示] を押す

☞ スライドショーを見るには

[▶ 再生] を押す

お知らせ

- 写真の横縦比によっては、上下左右に黒帯（グレー帯）が表示される場合があります。

- **☒** の表示になっている写真是、本機では再生できません。

おもいで再生をする

HDD

本機に取り込んだ数年間の写真の中から、今の時期に撮影された写真を自動抽出してスライドショー再生します。

- 現在の前後2週間の日付(例えば、再生日が4月15日の場合、今年を含む過去数年の4月1日~4月29日頃)の写真を抽出して再生します。
- 写真は最大120枚(1フォルダ当たり最大20枚)がランダムに選ばれます。

おもいで
を押す

☞ 再生を終了するには
[戻る] を押す

お知らせ

- 2000年以降の日付から写真を抽出しますが、対象期間に写真がない場合は、最新日付の写真またはサンプル写真を再生します。
- 3D写真は2D再生になります。
- ディスクへの録画中、外部入力からの録画中、ダビング中、写真や動画の送信中は再生できません。
- 「リピート再生」(→右記)は「切」に固定されます。

写真再生のいろいろな機能

写真再生中または写真一覧表示中に操作します。

1 サブメニュー
を押す

- サブメニュー画面が表示されない場合、もう一度[サブメニュー]を押してください。

2 項目を選び、決定を押す

写真再生中

スライド	スライドショーを開始します。
ショー開始	
画面表示	再生中の写真の情報を表示します。
右90°回転	写真を回転します。
左90°回転	
壁紙登録	再生中の写真をスタート画面の壁紙に登録します。
画面表示の飛び出し量	3D写真再生中の画面表示などの飛び出し量を変更することができます。

写真一覧表示中

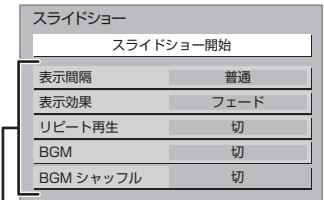
スライド

写真を連続して再生することができます。

ショー

「スライドショー開始」を選び、[決定]を押す

例)



開始前に、スライドショーの内容を設定できます。(→下記)

☞ スライドショーを終了するには
[戻る] を押す

表示間隔

画素数が大きい写真は、設定を変更しても、短くならない場合があります。

表示効果

写真の表示方法を設定します。

- 「フェード」「ランダム」「モーション」「ウェーブ」が選べます。
(3D写真再生時を除く)
・録画中は「フェード」になります。

リピート再生

再生を繰り返します。

BGM

サンプル音楽をBGMとして流すことができます。(3D写真再生時を除く)

BGMシャッフル

BGMを順不同に再生します。
(3D写真再生時を除く)

カレンダー

カレンダー表示に切り替えます。撮影した月からフォルダを探すことができます。

HDD



写真・音楽

写真を整理する

HDD BD-RE BD-R RAM SD

USB-HDD (SeeQVault フォーマット)

(ファイナライズしたディスクでは編集できません)

1 [スタート] を押す

HDD 手順 5 へ

2 「メディアを使う」を選び、[決定] を押す

- 表示がない場合は [<◀◀][▶▶>] でページを切り換えてください。

3 ディスク： 「ブルーレイ (BD) /DVD」を選び、 [決定] を押す

SD :

「SD カード」を選び、[決定] を押す

4 「写真」を選び、[決定] を押す

5 「写真を見る」を選び、[決定] を押す

- HDD 「ファイル共有サーバー機能」(→186) が「入」の場合：
「SD カード /USB 機器から取り込んだ写真」を選び、[決定] を押してください。

6 フォルダ単位で管理する場合：

フォルダを選び、 を押す (→手順 8 へ)

写真単位で管理する場合：

フォルダを選び、[決定] を押す

- 「フォルダをまとめる」とときは、[青] を押してフォルダを選択したあと、[サブメニュー] を押してください。

7 写真を選び、 を押す

8 項目を選び、[決定] を押す (→下記へ)

例) HDD

スライドショー
カレンダー
写真の書き出し
フォルダ名の編集
フォルダをまとめる
フォルダの消去
ネット送信
ネット受信
音楽再生中の表示登録

フォルダ名 の編集	フォルダ名を編集します。 ☞ 文字入力については (→167)
フォルダを まとめる	選択した 2 つ以上のフォルダを、 1 つのフォルダにまとめることができます。 「はい」を選び、[決定] を押す
フォルダの 消去	フォルダを消去します。 「はい」を選び、[決定] を押す
写真の移動	選択中の写真を新規に作成したフォルダや既存のフォルダへ移動します。 「新しいフォルダへ移動」または 「別のフォルダへ移動」を選び、 [決定] を押す ●「別のフォルダへ移動」する場合は、 移動先のフォルダを選んでください。
写真の消去	写真を消去します。 「はい」を選び、[決定] を押す
プロテクト の設定/解除	「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、[決定] を押す ●プロテクトの設定をすると「  」 が表示されます。
RAM SD USB-HDD	
音楽再生中 の表示登録	音楽再生中のスクリーンセーバー (→131) で表示させる写真を登録 します。 「登録」を選び、[決定] を押す

お知らせ

- HDD内の写真一覧に表示される、すべての写真を一度に消去する場合は、「写真一覧の全写真消去」(→180)を行ってください。

写真を取り込む / 書き出す

写真を取り込む

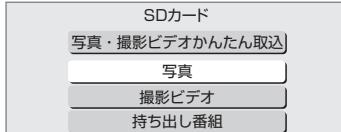
写真かんたん取込

BD-RE **BD-R** **RAM** **-R** **-RW** **CD** **SD** **USB**
+R, +R DL, +RW ➔ **HDD**

取り込んだ写真の履歴を HDD に保持しているため、複数回取り込むと、新たに追加された写真のみを取り込みます。

ディスクや SD カードを入れるまたは USB 機器を接続 (→197) すると、下記画面が表示されます。(表示される項目は記録されている内容によって異なります)

例) **SD**



下記の手順 4 に進みます。

1 **スタート** を押す

2 「メディアを使う」を選び、**決定** を押す

- 表示がない場合は [**◀◀**] [**▶▶**] でページを切り換えてください。

3 ディスクから取り込む場合 :

「ブルーレイ (BD) /DVD」を選び、**決定** を押す

決定 を押す

SD から取り込む場合 :

「SD カード」を選び、**決定** を押す

USB から取り込む場合 :

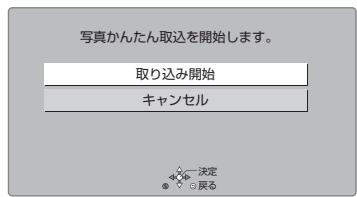
「USB 機器」を選び、**決定** を押す

4 「写真」を選び、**決定** を押す

- SD** **USB** 「写真・撮影ビデオかんたん取込」を選ぶと、撮影ビデオも同時に取り込みます。

5 「写真を取り込む」を選び、**決定** を押す

6 「取り込み開始」を選び、**決定** を押す



お知らせ

- 写真の履歴保持は、「HDDのフォーマット」(→180) や「写真一覧の全写真消去」(→180) を行うと、削除されます。
- 同じ写真を取りみたい場合、消去済み写真をもう一度取りみたい場合、写真単位で取りみたい場合は、「写真一覧から取り込む」(→130) を行ってください。
- 取り込んだ写真は、撮影日または写真データの生成日ごとに、フォルダで管理されます。
- フォルダ名は取り込まれません。
- HDD に取り込んだ写真の累計が 20000 枚に達している場合、過去に取り込んだ写真が取り込まれることがあります。
- 本機に取り込んだ写真は、ネットワーク接続したファイル共有機能対応機器でも見ることができます。(→159)
- 録画中は写真の取り込みはできません。

写真を取り込む / 書き出す (続き)

写真一覧から取り込む

[BD-RE] [BD-R] [RAM] [-R] [-RW] [CD] [SD] [USB]

[USB-HDD] (SeeQVault フォーマット)、

+R, +R DL, +RW → [HDD]

1 [スタート] を押す

2 「メディアを使う」を選び、[決定] を押す

- 表示がない場合は [<◀◀][▶▶>] でページを切り換えてください。

3 ディスクから取り込む場合 :

「ブルーレイ (BD)/DVD」を選び、[決定] を押す

[SD] から取り込む場合 :

「SD カード」を選び、[決定] を押す

[USB] から取り込む場合 :

「USB 機器」を選び、[決定] を押す

[USB-HDD] から取り込む場合 :

「USB-HDD」を選び、[決定] を押す (→ 手順5へ)

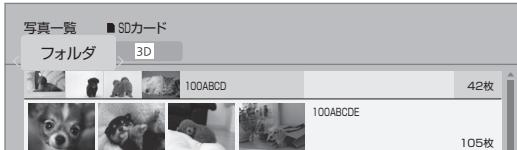
4 「写真」を選び、[決定] を押す

5 「写真を見る」を選び、[決定] を押す

6 フォルダまたは写真を選び、[青] を押す

- 選んだフォルダ、写真には が表示されます。操作を繰り返します。

例) [SD]



7 選び終わったあと、[赤] を押す

8 「HDD へ取り込む」を選び、[決定] を押す

9 「取り込み開始」を選び、[決定] を押す

写真を書き出す

[HDD] → [BD-RE] [BD-R] [RAM] [SD]

[USB-HDD] (SeeQVault フォーマット)

[BD-RE] [BD-R] [RAM] [-R] [-RW] [CD] +R, +R DL, +RW → [SD]

[SD] [USB] → [BD-RE] [BD-R] [RAM]

125 ページ手順 1 ~ 4 のあと

5 「写真を見る」を選び、[決定] を押す

- [HDD] 「ファイル共有サーバー機能」 (→ 186) が「入」の場合 : 「SD カード/USB 機器から取り込んだ写真」を選び、[決定] を押してください。

6 フォルダまたは写真を選び、[青] を押す

- 選んだフォルダ、写真には が表示されます。操作を繰り返します。

例) [HDD]



7 選び終わったあと、[赤] を押す

8 ディスクに書き出す場合 :

「ブルーレイ (BD) /DVD へ書き出す」を選び、[決定] を押す

[SD] に書き出す場合 :

「SD カードへ書き出す」を選び、[決定] を押す

[USB-HDD] に書き出す場合 :

「SeeQVault-HDD へ書き出す」を選び、[決定] を押す

9 「書き出し開始」を選び、[決定] を押す

お知らせ

- BD-R の写真再生のみに対応している当社製ブルーレイディスクレコーダーで再生するためには、ディスクに写真のみを記録した状態でファイナライズしてください。(→ 166)

音楽 CD を再生する

CD

音楽 CD を入れる



再生中の曲の経過時間/
現在の再生位置/演奏時間

- 自動的に再生が始まります。

別の曲を再生するには

再生したい曲を選び、[決定] を押す

音楽再生中のいろいろな操作

- 再生中に、以下のボタン操作を行うことができます。



- 再生中に、以下の再生設定を行うことができます。

- ・「基本設定」(→86) の「リピート」「ランダム」
- ・「音声詳細設定」(→88)

スクリーンセーバー設定

音楽再生中に写真を表示することができます。

スクリーンセーバーを表示するには

[青] を押す

スクリーンセーバーを停止するには

[戻る] を押す

(音楽の再生を停止したときも、停止します)

表示させる写真を選択するには

あらかじめ HDD に内蔵されているオリジナル画像または「音楽再生中の表示登録」(→128) で登録したフォルダを選ぶことができます。
(フォルダ内の 3D 写真は 2D 再生になります)

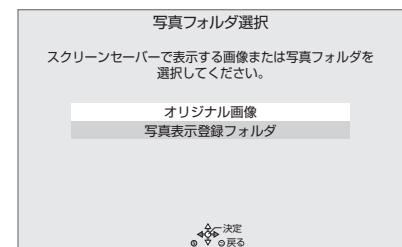
① スクリーンセーバー表示中に、

[サブ メニュー] を押す

② 「写真フォルダ選択」を選び、[決定] を押す

③ オリジナル画像またはフォルダを選び、

[決定] を押す



写真・音楽

写真や動画をネット送受信する

本機は、当社が運営する LUMIX CLUB (PicMate) のサービスを利用することによって、写真や撮影ビデオなどの動画 (AVCHD、AVC VIDEO 表示のある番組) の送受信に対応した機器同士で送受信することができます。

- 2010 年以前に発売された写真の送受信に対応したレコーダーと送受信を行う場合は、下記ホームページをご覧ください。

LUMIX CLUB (PicMate)

<http://lumixclub.panasonic.net/>

- ネットワーク接続と設定をする
(→215、216、223)

ディーガなどの対応機器へ送信する

HDD

HDDの写真一覧や録画一覧から、写真や動画をディーガなどの対応機器へ送信することができます。

- 送りたい相手からアドレス番号とアクセス番号を教えてもらってください。

1 [スタート] を押す

2 写真を送信する場合： 「写真を見る」を選び、[決定] を押す

- 「ファイル共有サーバー機能」(→186) が「入」の場合：
「SD カード /USB 機器から取り込んだ写真」を選び、[決定] を押してください。

動画を送信する場合：

- ① 「全機能から選ぶ」を選び、[決定] を押す
- ② 「見る」を選び、[決定] を押す
- ③ 「撮影ビデオを見る」を選び、[決定] を押す

3 送信したい項目を選び、[赤] を押す

- 複数のフォルダ、写真を選択する場合、[青] を押す (動画は複数選択できません)
・選んだフォルダ、写真には が表示されます。
操作を繰り返します。



4 写真を送信する場合：

「家族や友人の機器へ送信する」を選び、 [決定] を押す

動画を送信する場合：

「ネット送信へ」を選び、[決定] を押す

初めて送受信する場合、「利用規約の同意」「差出人の名前の設定」を行ってください。(→133)

5 宛先の設定をする (→133)

6 「送信開始」を選び、[決定] を押す

利用規約の同意

利用規約に同意すると写真や撮影ビデオなどの動画を送受信することができます。
受信した写真／動画は、写真一覧／動画一覧からご覧いただけます。
※サービスからのお知らせ(写真)が配信されることがあります。

○△×○戻る

- 利用規約を表示するまで、「利用規約に同意する」は選べません。

差出人の名前の設定

差出人（あなた）の名前を設定してください。

○△×○戻る

- ②文字入力については (→167)

宛先の設定

写真を送信したい宛先を選んでください。

○△×○戻る

- 「新規宛先」を選びと、下記画面が表示されます。

宛先のアドレス番号(16桁)を入力してください。
宛先にアクセス番号が設定されている場合はアクセス番号を入力してください。
[*取消し] を押すと、入力した番号を取り消します。

アドレス番号

アクセス番号

○△×○戻る

- 送りたい相手から教えてもらったアドレス番号とアクセス番号を [1] ~ [10] で入力してください。
- 登録できる宛先は最大 10 件です。

お知らせ

●動画は以下のように変換して送信します。(変換すると画質は下がります)

・MP4 に変換

・「AVCHD 3D」は 2D 映像に変換

●送信中は以下の操作ができません。

・XP、SP、LP、EP、FR モードで DVD に予約録画

・スカパー！プレミアムサービス の番組の予約録画や CATV の LAN 録画

・外部入力からの予約録画

・番組編集

・ディスク、SD カード、USB-HDD の再生

・「1080/60p」や「AVCHD 3D」の表示がある番組の再生

・番組のダウンロード

・他の機器から本機の番組を再生（お部屋ジャンプリンク）

・ダビング

●本機を利用してアップロードなど可能なコンテンツは、ご自身が創作、撮影などして著作権を有するもの、または権利者から許諾を得ているもの、および内蔵 BGM に限ります。

あなたが録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。権利者の許諾なく、著作物を不特定または特定多数の人に送信すること、不特定または特定多数の人がインターネット上で視聴、閲覧できるようにすることなどは、著作権などを侵害しますので、お気をつけください。



便利機能

写真や動画をネット送受信する（続き）

ディーガなどの対応機器から受信する

受信の設定をする

以下の手順でアドレス番号とアクセス番号を取得し、送ってもらう相手に伝えてください。

1 [スタート] を押す

2 「全機能から選ぶ」を選び、[決定] を押す

- 表示がない場合は[◀◀][▶▶]でページを切り換えてください。

3 「見る」を選び、[決定] を押す

4 「受信した写真／動画を見る」を選び、[決定] を押す

- 初めて受信する場合、「利用規約の同意」が必要です。（→133）

5 「受信した写真を見る」または「受信した動画を見る」を選び、[決定] を押す

6 [S] を押す

7 写真を受信する場合：

「ネット受信」を選び、[決定] を押す

動画を受信する場合：

① 「ネット送受信」を選び、[決定] を押す

② 「ネット受信」を選び、[決定] を押す

受信する

1 日に 1 回程度、電源「切」時に自動的に受信します。

●上記手順 1～5 で、受信した写真や動画を確認することができます。

●受信する時刻は不定期なため、本機の使用状態によっては受信できていない場合があります。すぐに受信したい場合は、上記手順 1～7 のあと、「受信開始」を選び、[決定] を押してください。

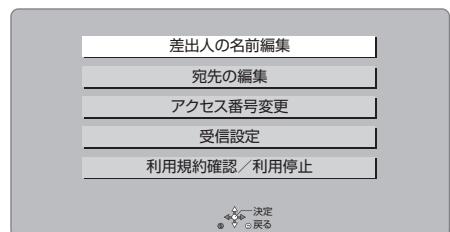
送受信の設定を確認・変更する

必要に応じて設定の変更を行ってください。

左記手順 4 のあと

5 「設定を確認／変更する」を選び、[決定] を押す

6 項目を選び、[決定] を押す



差出人の名前 編集	写真や動画を送る相手に知らせる 差出人の名前を編集します。 「名前入力」を選び、[決定] を押す ☞ 文字入力については（→167）
宛先の編集	宛先を編集します。 ① 編集したい宛先を選び、 [決定] を押す ② 項目を選び、[決定] を押す ・宛先名編集 ・宛先のアクセス番号再入力 ・宛先削除
アクセス番号 変更	アクセス番号を変更します。 ① 「アクセス番号を変更する」を 選び、[決定] を押す ② [1]～[10] で番号を入力し、 [決定] を押す
受信設定	本機宛てにメールで送信された写 真や動画を受信するかどうかの設 定をします。
利用規約確認/ 利用停止	サービスの利用規約を表示したり、 利用を停止したりします。

おまかせクリップを楽しむ

HDD

HDD に取り込んだ写真を自動で組み合わせて、おまかせクリップ（BGM 付きのショートムービー）を作成することができます。

- BGMは、HDDの内蔵BGMの中から1曲が自動的に選ばれます。
- アルバムの画質は、「アルバムの作成画質」(→180)で選ぶことができます。
- 「高画質モード」は2倍録相当、「標準モード」は5倍録相当の画質になります。(→69)

おまかせクリップを作成する

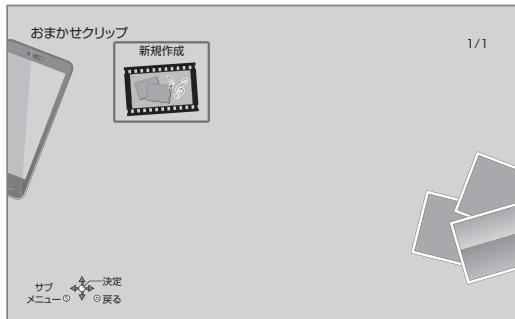
1 [スタート] を押す

2 「アルバムを作る」を選び、**決定** を押す

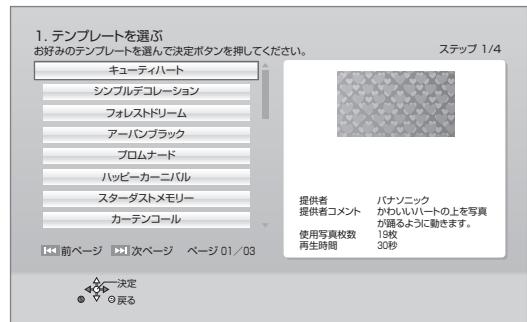
- 表示がない場合は[◀◀][▶▶]でページを切り換えてください。

3 「おまかせクリップ」を選び、**決定** を押す

4 「新規作成」を選び、**決定** を押す



5 テンプレートを選び、**決定** を押す



- テンプレートによって使用する写真の枚数は異なります。

6 フォルダを選び、**決定** を押す



- 選択したフォルダに再生できない写真がある場合、おまかせクリップは作成できません。
- 選択したフォルダ内の写真枚数が、テンプレートの使用写真枚数より少ない場合、同じ写真が複数回使われます。

7 写真の組み合わせを選び、**決定** を押す

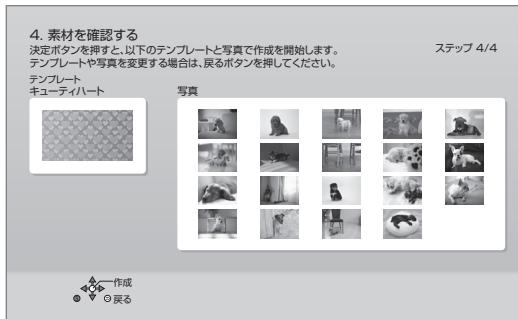
- 組み合わせの候補は最大で6組です。
- 選択したフォルダ内の写真枚数が、テンプレートの使用写真枚数より少ない場合、組み合わせの候補は1組のみです。



(→ 次ページに続く)

おまかせクリップを楽しむ (続き)

8 テンプレートと写真の組み合わせを確認し、 決定 を押す



お知らせ

- ・録画中はおまかせクリップの作成はできません。
- ・おまかせクリップの作成には、画質によって以下のHDD残量が必要です。
 - ・2倍録モードで120分以上
 - ・5倍録モードで300分以上
- ・録画番組数が3000番組以上ある場合は、おまかせクリップの作成はできません。
- ・本機は、電源「切」時に写真の解析を行います。そのため、写真を本機に取り込んだ直後と、いったん電源を切ったあとでは、本機が自動で作成する写真の組み合わせは異なることがあります。

おまかせクリップを再生・消去・ダビングする

1 スタート を押す

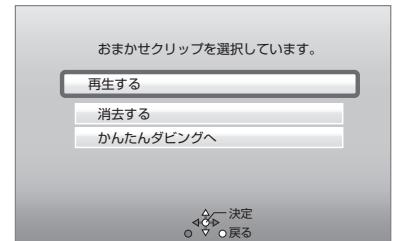
2 「アルバムを作る」を選び、決定 を押す

- ・表示がない場合は[◀◀][▶▶]でページを切り換えてください。

3 「おまかせクリップ」を選び、決定 を押す

4 おまかせクリップを選び、決定 を押す

5 項目を選び、決定 を押す (→下記へ)



再生する	おまかせクリップを再生します。 ☞ 再生中のいろいろな操作については (→81)
消去する	おまかせクリップを消去します。 「消去する」を選び、[決定]を押す
かんたん ダビングへ	おまかせクリップをダビングします。 (→102)

お知らせ

- ・作成したおまかせクリップは、録画一覧 (→73) から再生することもできます。

おまかせクリップの設定

おまかせクリップの自動作成などの設定をします。

1 [スタート] を押す

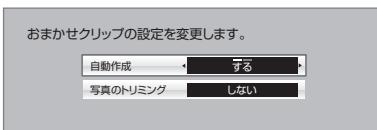
2 「アルバムを作る」を選び、[決定] を押す

- 表示がない場合は[◀◀][▶▶]でページを切り換えてください。

3 「おまかせクリップ」を選び、[決定] を押す

4 [S] を押す

5 項目を選び、[戻る] を押す (→右記へ)



自動作成

電源「切」時に、以下のⒶ～Ⓒのおまかせクリップを自動で作成します。

Ⓐ おまかせクリップが作成されていない、全フォルダを対象にフォルダごとに作成^{*1}

Ⓑ 全フォルダを対象に、よく写る人を中心で写真を選んで作成（ダイジェストと表示）^{*2}

Ⓒ 全フォルダを対象に、よく撮影されている時間帯の写真を選んで作成（スナップと表示）^{*2}

* 1 写真が4枚以下のフォルダでは自動作成しません。

* 2 毎月初めに1個ずつ、最大10個のフォルダから前月の写真を使って自動作成します。フォルダが10個以上ある場合、ダイジェストは写真の多いフォルダを優先、スナップは写真の少ないフォルダを優先します。（フォルダが1個しかない月は自動作成しません）

お知らせ

- 予約録画中、写真お引越しダビング中、ネットワーク機能（アクティブラダウンロードを除く）を使用中は、自動作成できません。

写真のトリミング

選択した写真の中に、おまかせクリップの写真枠と異なる横縦比の写真があった場合、写真枠に収まるように調整します。

お知らせ

- ご希望どおりのトリミングにならない場合があります。あらかじめご了承ください。



動くアルバムを楽しむ

HDD

HDDに取り込んだ写真や撮影ビデオ（AVCHD、AVC VIDEO表示のある番組）を組み合わせてアルバムを作成することができます。

●アルバムの画質は、「アルバムの作成画質」（→180）で選ぶことができます。

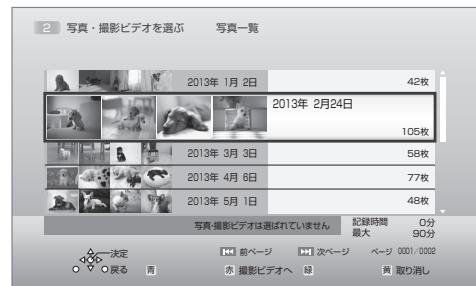
「高画質モード」は2倍録相当、「標準モード」は5倍録相当の画質になります。（→69）

背景を選ぶ

背景を選び、**決定** を押す

写真・撮影ビデオを選ぶ

① 写真の日付または撮影ビデオを選び、**決定** を押す

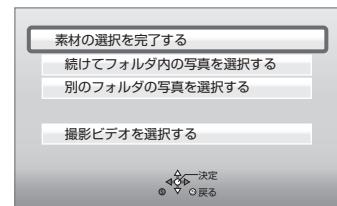


●撮影ビデオを選択する場合は、[赤]を押してください。

●選択した素材には、[清]が表示されます。

② 画面に従い、項目を選び、**決定** を押す

●この操作を繰り返し、写真と撮影ビデオを選んでください。



☞ 撮影ビデオの一部分だけを選択したい場合は

- ① 「使いたい部分を切り出す」を選び、**[決定]** を押す
- ② 「切り出し開始点」を選び、切り出す部分の開始点で**[決定]** を押す
- ③ 「切り出し終了点」を選び、切り出す部分の終了点で**[決定]** を押す
- ④ 「シーンを切り出す」を選び、**[決定]** を押す
- ⑤ 「はい」を選び、**[決定]** を押す

お知らせ

●以下の撮影ビデオは選択できません。

- ・「1080/60p」の表示がある番組
- ・**3D** 表示のある番組

●アルバムの記録時間は、最大90分です。

●選択できる写真や撮影ビデオは、最大900です。

●表示される「記録時間」は目安です。

動くアルバムを作成する

1 **スタート** を押す

2 「アルバムを作る」を選び、**決定** を押す

●表示がない場合は [**◀◀**][**▶▶**] でページを切り換えてください。

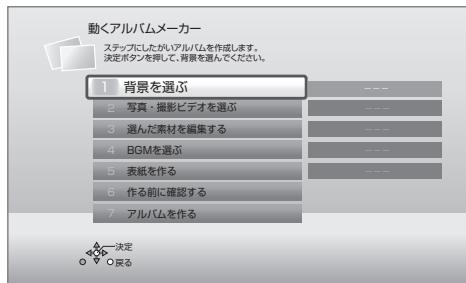
3 「動くアルバムメーカー」を選び、**決定** を押す

4 「新規作成」を選び、**決定** を押す



●作成中のアルバムがある場合には、**[作成中]** が表示されます。

5 ステップに従い、作成する（→右記へ）



選んだ素材を編集する

① 「編集する」を選び、**決定** を押す

② 素材を選び、**決定** を押す



③ 項目を選び、**決定** を押す

- 「選んだ素材を並べ替える」を選んだ場合は、移動先を選び [決定] を押します。
- 「選んだ素材を取り消す」で素材を取り消しても、HDD から素材自体が消去されることはありません。
- 「選んだ素材にデコレーションをつける」で装飾した写真には、**デコ** が表示されます。

④ 編集が終わったあと、**戻る** を押す

⑤ 「はい」を選び、**決定** を押す

BGM を選ぶ

① 項目を選び、**決定** を押す



Ⓐ HDD に内蔵されているサンプル BGM

Ⓑ 最近 HDD に録音した曲 (→ 下記)

② 曲を選び、**決定** を押す

③ 項目を選び、**決定** を押す

●この操作を繰り返し、曲を選んでください。

お知らせ

- BGM は最大 30 曲、合計時間 90 分まで選択できます。
- BGM の合計時間がアルバムの記録時間を超えた場合、超えた部分の BGM は再生されません。
- 映像や写真などとともに音楽を第三者に提供する場合には、本機内蔵のサンプル BGM をお使いください。
あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
権利者の許諾なく、著作物を不特定または特定多数の人に送信すること、不特定または特定多数の人がインターネット上で視聴、閲覧できるようにすることなどは、著作権などを侵害しますので、お気をつけください。

音楽 CD を HDD に録音するには

録音した音楽は、動くアルバムの BGM としてのみ使用できます。

- 音楽 CD を入れる
- [黄] を押す
- 「録音開始」を選び、[決定] を押す

本体表示窓に、録音全体の進行状況が表示されます。
— 61% —
(例: 録音が約 61%まで終了)

お知らせ

- 録画中は録音できません。
- 録音できるのは、音楽 CD1 枚（最大 99 曲）のみです。
録音すると、以前に録音した音楽は消去されます。
- CD の全曲を録音します。曲単位で録音はできません。
- コピー・コントロール CD など、CD 規格外ディスクの再生および録音は保証しておりません。
- CD から HDD へのデジタル録音には、SCMS（シリアル・コピー・マネジメント・システム）という制限があります。著作権保護のため、この制限がある CD から HDD へのデジタル録音はできません。
- CD 音質 (LPCM) で録音されます。



動くアルバムを楽しむ（続き）

表紙を作る

項目を選び、**決定** を押す



- 自分で入力できるアルバム名、日付・メッセージは、全角で最大 16 文字です。

☞ 文字入力について（→167）

作る前に確認する

アルバムの仕上がりを確認できます。

アルバムを作る

アルバムの作成を開始します。

動くアルバムを再生・消去・ダビングする

1 **スタート** を押す

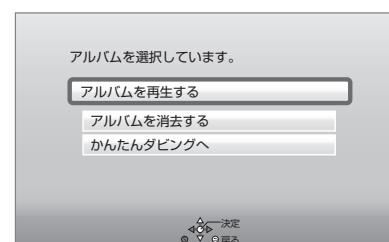
2 「アルバムを作る」を選び、**決定** を押す

- 表示がない場合は [<◀◀][▶▶] でページを切り換えてください。

3 「動くアルバムメーカー」を選び、**決定** を押す

4 アルバムを選び、**決定** を押す

5 項目を選び、**決定** を押す（→ 下記へ）



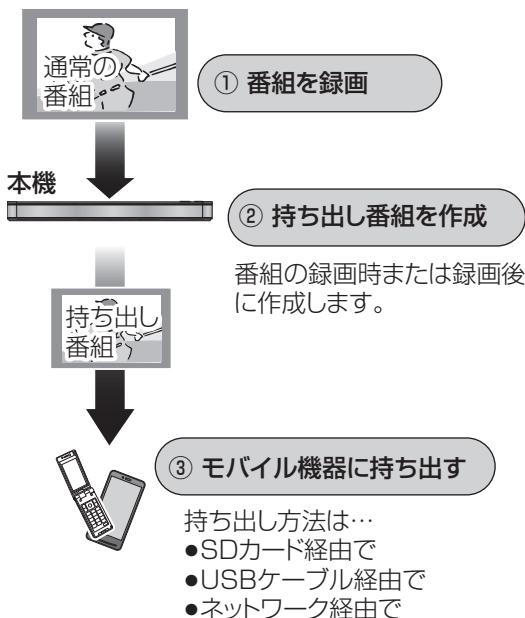
アルバムを 再生する	アルバムを再生します。 ☞ 再生中のいろいろな操作については（→81）
アルバムを 消去する	アルバムを消去します。 「消去する」を選び、[決定] を押す
かんたん ダビングへ	アルバムをダビングします。（→102）

お知らせ

- 録画中は動くアルバムの作成はできません。
- アルバムの作成には、画質によって以下のHDD残量が必要です。
 - 2倍録モードで 100 分以上
 - 5倍録モードで 120 分以上
- 本機で再生できない写真が選択されている場合、アルバムの作成はできません。「作る前に確認する」（→上記）を選び、アルバムの仕上がり具合を確認してください。再生できない写真がある場合は、「選んだ素材を編集する」（→139）で取り消してください。
- 作成を途中で止めても、それまでに設定した内容は保存されるため、次回に続きから作成できます。
ただし、素材として選択した写真、撮影ビデオ、音楽を編集や消去すると、保存された設定内容は変更されます。

録画した番組をモバイル機器に持ち出す

モバイル機器（携帯電話など）に転送するには、HDDに録画した番組から持ち出し番組を作成する必要があります。



持ち出し番組を再生できる機器については、当社ホームページ（**→3**）をご覧ください。

持ち出し方法と画質について

持ち出し方法や再生できる画質は持ち出す機器によって異なります。詳しくは機器の説明書をご覧ください。選べる画質は持ち出し方法によって異なります。

画質 持ち出し方法	ワンセグ 画質 (QVGA)	高画質 (VGA)	ハイビジョン 画質 (HD)
SD/USB 経由	○	○ * ¹	×
ネットワー ク経由	×	○ * ²	○ * ³

* 1 「高画質 (VGA)」に設定すると、「ワンセグ画質 (QVGA)」より高画質で作成します。「持ち出し番組の VGA 画質」（**→180**）で記録する画質 (1.5 Mbps/1.0 Mbps) を変更できます。

* 2 デジタル放送などの録画番組は「高画質 (VGA)」(1.5 Mbps) となり、変更できません。

* 3 撮影ビデオなどの動画 (AVCHD、AVC VIDEO 表示のある番組) のみ選択できます。

お知らせ

•持ち出し番組について

- ・通常の番組の「番組消去」「部分消去」「番組結合」「番組分割」を行うと、持ち出し番組は消去されます。
(ダウンロードした番組は番組消去しても、持ち出し番組は消去されません)
- ・通常の番組の「番組名編集」を行うと、持ち出し番組も同じように編集されます。(ダウンロードした番組を除く)
- ・本機では、持ち出し番組の再生・編集はできません。

•多重音声の記録について

多重音声の番組から持ち出し番組を作成する場合、以下のようになります。

- ・マルチ音声の番組
 - 録画した番組から作成するとき：
「信号切換」の「音声」（**→86**）で設定した音声 1 つ
 - 通常の番組の録画と同時に作成するとき：
マルチ音声、サラウンド音声では放送されていません
- ・二重音声の番組
 - 録画した番組から作成するとき：
「ハイビジョン画質 / 持ち出し番組の記録設定」（**→179**）の設定に従う
 - 通常の番組の録画と同時に作成するとき：
両方の音声



便利機能

☞ 作成が終了しているか確認するには

持ち出し番組一覧		HDD
高画質	3/ 6 (火)	地上D 004 現代ビジネス
高画質	3/ 7 (水)	地上D 102 映画「K2」
高画質	3/ 8 (木)	地上D 015 ザ・タガニース
高画質	3/ 9 (金)	地上D 004 サッカー
高画質	3/10 (土)	地上D 101 ドラマスペシャル
高画質	3/11 (日)	地上D 004 ニュース

持ち出し番組一覧 (**→144 手順④**) で「作成待ち」が表示されている場合、作成は終了していません。

ネットワーク経由で持ち出す（転送）

ネットワーク経由で DLNA 対応のモバイル機器に転送する場合は、以下の設定を行ってください。

- ネットワーク接続と設定をする

(**→215、216、223**)

お部屋ジャンプリンク (DLNA) の設定を変更する場合 (**→188**)

転送操作はモバイル機器側で行います。操作方法は、モバイル機器の取扱説明書をご覧ください。

SD/USB 経由で持ち出す（転送）

かんたん転送

「かんたん転送」の登録がされた番組をすべて転送します。（最大 99 番組まで転送可能）

登録されている番組は、持ち出し番組一覧 (**→144**) で確認することができます。

- 登録は、番組の予約時 (**→142**)、持ち出し番組の作成時 (**→142**) または作成後 (**→144**) に行うことができます。

① SD カードを入れる または USB 機器(携帯電話など) を接続する

☞ USB 機器を接続するには (**→197**)

例) **SD**

SDカード
写真・撮影ビデオかんたん取込
写真
撮影ビデオ
持ち出し番組
持ち出し番組のかんたん転送
カード管理

② 「持ち出し番組のかんたん転送」を選び、決定** を押す**

お知らせ

- ダウンロードした番組の場合：
 - ・ コピー制限がある番組は、ダビングの残り可能回数は 1 回減ります。
 - ・ 以下の設定はできません。
 - 「持ち出し方法」の「ネットワーク経由」
 - 「かんたん転送の登録」の「する」
 - 「開始方法」の「電源[切]後」
 - ・ インターネットに接続した状態で作成してください。
- 視聴制限のある番組は、「かんたん転送の登録」を「する」に設定することはできません。
- ダビングできない番組の場合、持ち出し番組は作成できません。
- HDD の残量が少ない場合や、HDD の番組数がいっぱいの場合、持ち出し番組は作成できません。
- 持ち出し番組は以下の設定に従い作成されます。
 - ・ 二重音声：「ハイビジョン画質/持ち出し番組の記録設定」(**→179**)
 - ・ マルチ音声：「信号切換」の「音声」(**→86**)
 - ・ チャプター：作成元になる番組のチャプター情報
 - ・ 字幕：「信号切換」の「字幕」(**→86**)
(「電源[切]後」作成する場合、電源「切」時の「信号切換」の設定に従い作成されます)

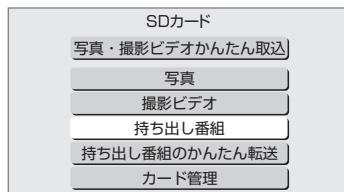


録画した番組をモバイル機器に持ち出す（続き）

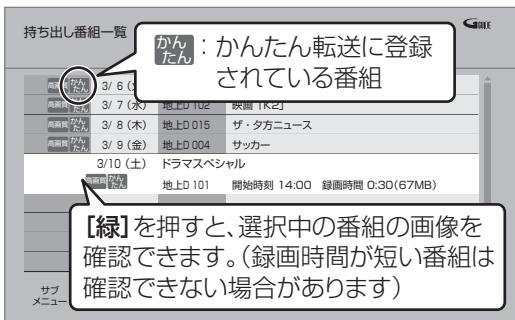
持ち出し番組一覧から転送する

- SDカードを入れる または USB機器（携帯電話など）を接続する
- USB機器を接続するには（→197）

例) SD



- 「持ち出し番組」を選び、**決定** を押す
- 「持ち出し番組を転送する」を選び、**決定** を押す
- 番組を選び、**青** を押す



- ☑ が表示されます。操作を繰り返し、番組を選びます。

選択を取り消すには

番組を選び、[青] を押す

- 選び終わったあと、**決定** を押す
- 「転送を開始する」を選び、**決定** を押す

持ち出し番組の確認と編集

「持ち出し番組一覧から転送する」（→左記）

手順③のあと

- 番組を選び、**S** を押す

- 項目を選び、**決定** を押す（→下記へ）

SD/USBへ転送	SDカードまたはUSB機器へ番組を転送します。 (→左記手順⑥へ)
持ち出し番組消去	持ち出し番組を消去します。
内容確認	番組の情報を確認します。
かんたん転送の設定	「かんたん転送」（→143）の登録をします。 (かんたんが表示されます)
かんたん転送の解除	「かんたん転送」（→143）の登録を解除します。
視聴制限一時解除	「HDD番組の視聴制限」（→180）で設定された視聴制限を一時的に解除します。画面の指示に従って暗証番号を入力してください。

転送（ダビング）の残り可能回数について

デジタル放送には、著作権を保護するためにコピー制御信号が加えられているため、転送（ダビング）できる回数に限りがあります。

- 通常の番組をダビングした場合や持ち出し番組を転送した場合には、ダビングの残り可能回数は1回減ります。
- 表示のある番組をダビング（転送）すると、通常の番組・持ち出し番組はHDDから消去されます。



転送した番組を確認・消去する

- ① SDカードを入れるまたはUSB機器（携帯電話など）を接続する

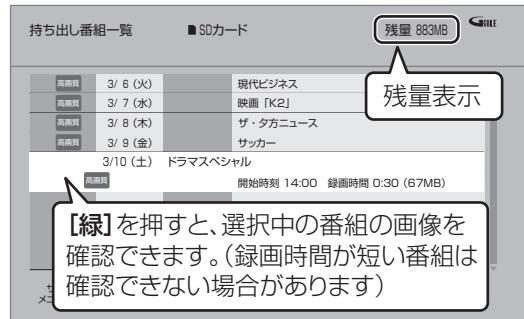
☞ USB機器を接続するには（→197）

- ② 「持ち出し番組」を選び、[決定]を押す

- ③ 「持ち出し番組を確認する」を選び、[決定]を押す

- ④ 番組を選ぶ

例) **SD**



☞ 番組の内容を確認するには

- ① [サブメニュー]を押す

- ② 「内容確認」を選び、[決定]を押す

☞ 持ち出し番組を消去するには

- ① [黄]を押す

- ② 「消去」を選び、[決定]を押す

お知らせ

- 転送した番組の「かんたん転送」の登録は解除されます。
- 選択した番組の容量合計は、管理情報が含まれるなどの理由で、転送する持ち出し番組の合計より少し大きくなります。
- 転送中は以下のようになります。
 - ・通常の番組の再生はできません。
 - ・録画先が「BD」の予約録画が始まると、HDDに代替録画されます。
 - ・ディスクに予約録画中は、転送できません。
 - ・録画中に転送を行うと、通常より時間がかかります。
- 転送した番組は、再生停止位置（→81「続き再生メモリー機能」とチャプターマーク（→97）を通常の番組から引き継ぎます。
 - ・ダウンロードした番組では再生停止位置は引き継ぎません。
 - ・作成したチャプターマークは引き継がれない場合があります。
 - ・位置は多少ずれる場合があります。
- 通常の番組がプロテクト設定（→93）されている「1回だけ録画可能」の持ち出し番組は、転送できません。
- 消去中に他の操作を行うと消去に時間がかかる場合があります。

お知らせ

- 残量表示は、持ち出し番組を最適に記録できる残量を表示するため、実際より少なく表示されます。
- 本機以外で記録された持ち出し番組は、消去できない場合があります。
- ネットワーク経由で転送した番組の確認・消去は本機ではありません。



ビエラリンク (HDMI) を使う

ビエラリンク (HDMI) (HDAVI Control™) とは
本機と HDMI ケーブル (別売) を使って接続したビエラリンク対応機器を自動的に連動させて、リモコン 1つで簡単に操作できる機能です。各機器の詳しい操作については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。
※ すべての操作ができるものではありません。

ビエラリンク (HDMI) 対応機器の確認

それぞれの取扱説明書をご覧ください。

テレビ (ビエラ) 側から録画や録画予約、番組キープをしたときの本機の動作

■録画モード・録画先

- 録画（「見ている番組を録画」など）：
 - ・本機であらかじめ設定された録画モードで HDD に録画
- 録画予約 / 番組キープ：
 - ・DR モードで HDD に録画

■録画予約の登録の確認

- 本機が予約を受け付けたときに、本体表示窓に“ACCEPT”が表示されます。
- 本機の予約一覧画面で予約内容を確認できます。
予約が登録されていない場合、テレビ側で予約の録画先（ディーガなど）が正しいか確認してください。

■探して毎回予約の取り消し

- 「探して毎回予約」で予約した場合は、テレビ側の予約も取り消してください。

■録画ができない場合

- すでに本機が「見ている番組を録画」を実行しているときは、新たに「見ている番組を録画」はできません。
- 本機に契約された B-CAS カードが挿入されていないとき。

■設定

- ① 「ビエラリンク制御」(→182) を「入」にする
(お買い上げ時の設定は「入」)
- ② 「ビエラリンク録画待機」(→182) を「入」にする
 - ・「クイックスタート」(→178) は自動的に「入」になり、本機の電源「入」に伴う連動操作を素早く行えます。(待機時消費電力は増えます)
- ③ 接続した機器側（テレビなど）で、ビエラリンク (HDMI) が働くように設定する
- ④ すべての機器の電源を入れ、一度テレビの電源を切 / 入したあと、テレビの入力を「HDMI 入力」に切り換えて、画像が正しく映ることを確認する
(接続や設定を変更した場合にも、この操作をしてください)

○お知らせ

- ビエラリンク (HDMI) は、HDMI CEC (Consumer Electronics Control) と呼ばれる業界標準の HDMI によるコントロール機能をベースに、当社独自機能を追加したもので、他社製 HDMI CEC 対応機器とのすべての動作を保証するものではありません。
- ビエラリンク (HDMI) に対応した他社製品については、その製品の取扱説明書をご確認ください。
- 本機はビエラリンク (HDMI) Ver.5 に対応しています。ビエラリンク (HDMI) Ver.5 とは、従来の当社製ビエラリンク機器にも対応した当社基準です。
- 「ビエラリンク録画待機」(→182) が「入」の場合など、本機の電源を切ってもテレビの無信号自動オフ機能は働きません。

詳しい操作方法はテレビの取扱説明書をご覧ください

表示マークについて

- 本機のリモコン：本機のリモコンで操作できます。
- テレビのリモコン：テレビのリモコンで操作できます。
- Ver.○以降：接続している機器が表示のバージョン以降のビエラリンク（HDMI）に対応している場合に操作できます。
(テレビによっては、対応していない機能もあります)

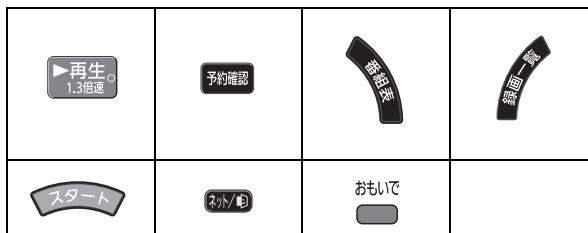
入力自動切換え / 電源オン連動

- テレビの電源が待機状態のときのみ

本機のリモコン

Ver.1以降

下記のボタンを押すと、テレビが連動し、それぞれの画面が現れます。



- 本機の電源「切」時は、[おもいで]、[ネット]は働きません。

電源オフ連動

本機のリモコン テレビのリモコン

Ver.1以降

- リモコンを使ってテレビの電源を切ると、自動的に本機の電源も切れます。

お知らせ

- ダビング、ファイナライズ、消去、バックアップ、復元、
[ワンタッチ予約録画●]を押して録画などの実行中は切れません。

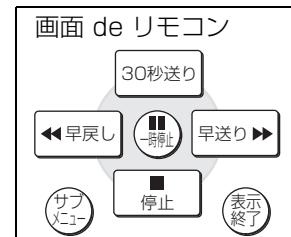
テレビのリモコンでディーガを操作

テレビのリモコン

Ver.1以降

テレビのリモコンで、本機を操作することができます。

- [サブメニュー]を押すと、再生中は下記の画面で操作することができます。
停止中は、ドライブ切換などの操作をすることができます。



- ビエラリンクメニューからスタート画面を表示させると、予約の操作や番組表から放送局を選局することができます。

テレビの電源を切って音楽の再生を続ける

本機のリモコン テレビのリモコン

Ver.2以降

ビエラリンク（HDMI）対応のテレビ（ビエラ）とアンプを接続し、ビエラリンク（HDMI）を使っている場合、連動操作をするためテレビ（ビエラ）の電源を切ると本機の電源も切れます。

ただし、接続したテレビ（ビエラ）がビエラリンク（HDMI）Ver.2以降に対応している場合、以下の操作で、音楽再生を続けることができます。

- 音楽再生中に、**サブメニュー** を押す
 - 「TVのみ電源 OFF」を選び、**決定** を押す
- テレビの電源が切れるときに数秒間、音が途切れの場合があります。



便利機能

ビエラリンク (HDMI) を使う (続き)

番組ぴったりサウンド (オートサウンド連携)

〔本機のリモコン〕 〔テレビのリモコン〕

Ver.3以降

ECOスタンバイ

〔テレビのリモコン〕

Ver.4以降

ビエラとアンプと接続している場合、番組情報やディスクに応じて、最適なサウンドに自動で切り換わります。

- ・VR方式のディスクや他の機器で記録したディスクでは働きません。

設定を有効にするには

- ・「オートサウンド連携」(→182) を「入」にする

番組キープ

〔テレビのリモコン〕

Ver.3以降

視聴中の番組を HDD に一時的に記録して、あとから続きを視聴することができます。

(番組キープ終了後は削除されます)



「番組キープ ●」が表示

お知らせ

- ・チャンネルや入力の切り換え、または電源を切った場合、番組キープは終了し、一時的に記録した番組も削除されます。
- ・以下の場合、一時的な記録は終了します。ただし、その時点までの記録内容を見ることはできます。
 - ・番組キープと 2 番組録画の同時実行中に、別の番組の予約録画開始時刻になったとき
 - ・番組キープが 8 時間を超えたとき、または HDD の容量がなくなったとき
- ・本機が番組を録画できない状態のときは、番組キープを実行することはできません。
- ・ビエラリンク (HDMI) Ver.5 のテレビでも、番組キープに対応していない場合があります。

インターネットを楽しむ

本機では、インターネットを利用してクトビラ、動画共有サイトなどのサービスを楽しむことができます。

●以下の場合は利用できません。また、サービス利用中に以下の状態になると、サービスは終了し、テレビ放送の画面に戻ります。

- ・ディスクにDRモード以外で録画中
- ・外部入力やネットワークを使って録画中
- ・ダビング中

●ネットワーク接続と設定をする
(→215、216、223)

インターネットの閲覧制限機能について

本機には、インターネットを見るとき、お子様などに見せたくないホームページなどの閲覧を制限するための機能が組み込まれています。

お子様などが本機を使ってインターネットをご覧になる家庭では、この制限機能の利用をお勧めします。

制限機能を使用する場合は、「ブラウザ制限」を「する」に設定してください。

- ① [スタート] を押す
 - ② 「放送設定」を選び、[決定] を押す
 - ③ 「デジタル放送 視聴・再生設定」を選び、
[決定] を押す
 - ④ 「制限項目設定」を選び、[決定] を押す
 - ⑤ [1] ~ [10] で暗証番号を設定する
 - ⑥ 「ブラウザ制限」を選び、「する」を選ぶ
- 「テレビでネット」を利用するには、手順⑤で設定した暗証番号の入力が必要になります。

お知らせ

●ホームページへの情報登録について

クトビラを使ってホームページに登録した情報は、そのホームページのサーバーに登録されます。本機を譲渡または廃棄される場合には、登録時の規約などに従って必ず登録情報の消去を行ってください。

●クレジットカードの番号や氏名などの個人情報を入力するときは、そのページの提供者が信用できるかどうか十分お気をつけてください。

●ソフトウェア更新のお知らせが画面上に表示された場合は、ソフトウェアを更新してください。更新を行わない場合、「テレビでネット」をご利用できなくなります。

●「テレビでネット」のポータルサイト画面に表示されないサービス（インターネット上のホームページの閲覧など）はご利用できません。

acTVila（クトビラ）を利用する

acTVila とは

●インターネットを利用して情報サービスが受けられる、デジタルテレビの仕組みです。

●本機は以下のコンテンツをお楽しみいただけます。

- ・クトビラ ベーシック
- ・クトビラ ビデオ
- ・クトビラ ビデオ・フル
- ・クトビラ ビデオ・ダウンロード

クトビラの最新情報はクトビラ情報公式
サイト (<http://actvila.jp/>) をご覧ください。

また、当社ホームページ
(<http://panasonic.jp/support/actvila/>) でも紹介しています。

1  を押す

2 「クトビラ」を選び、 を押す

3 見たい項目を選び、 を押す

☞ アクトビラを終了するには
[地上][BS][CS] を押す



便利機能

インターネットを楽しむ（続き）

ネット操作パネルを表示する

① ホームページ表示中に、 [サブメニュー] を押す

② 項目を選び、[決定] を押す



- Ⓐ 1つ前のページへ
- Ⓑ 1つ先のページへ
- Ⓒ 読み込みを中止
- Ⓓ 表示中のページを再読み込み
- Ⓔ ポータルサイトに戻るとき
- Ⓕ お好みページを使う (→下記)

☞ ネット操作パネルの表示を消すには
[サブメニュー] を押す

お好みページを使う

お気に入りのホームページを「お好みページ」に登録すると、あとからそのページを見るのに便利です。

① ホームページ表示中に、 [サブメニュー] を押す

- 登録したい場合、登録したいホームページを表示して [サブメニュー] を押してください。

② 「お好みページ」を選び、[決定] を押す

■登録する

③  を押す

④ 内容を確認し、[決定] を押す

- 「お好みページ」の登録は最大 20 件までです。

■見る

③ 見たいタイトルを選び、[決定] を押す

■削除する

③ 削除したいタイトルを選ぶ

④  を押す

⑤ 「はい」を選び、[決定] を押す

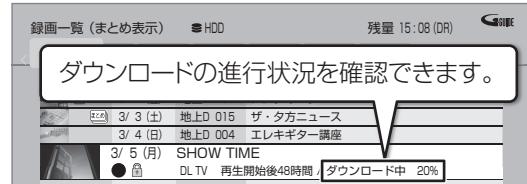
動画コンテンツを HDD にダウンロードする

アクトビラなどのページから動画コンテンツを購入し、HDD にダウンロードすることができます。

- 動画コンテンツ購入の課金方法はそれぞれのサービスのページでご確認ください。

アクトビラなどのページに従って動画コンテンツを購入する

- 録画一覧にダウンロードする番組が登録され、ダウンロードは自動的に開始します。



ダウンロード中に  本体表示窓

☞ ダウンロードを中断するには

ダウンロード中は他のネットワーク機器が使用できなくなる場合があります。その場合は、ダウンロードを一時停止することができます。

- ① 録画一覧で、ダウンロード中の番組を選び、[サブメニュー] を押す
- ② 「ダウンロード一時停止」を選び、[決定] を押す
- ③ 「一時停止」を選び、[決定] を押す
 - ダウンロードを再開するには、手順②で「ダウンロード再開」を選んでください。

☞ ダウンロードに失敗した場合は

ダウンロード履歴を確認してください。

(→170 「ダウンロード履歴」)

お知らせ

- 電源「切」時でもダウンロードは実行されます。
- 以下の操作中はダウンロードは実行されません。
 - ・複数の番組を録画中
 - ・LAN 経由（スカパー！プレミアムサービスや CATV）の番組を録画中
 - ・BD ビデオや AVCHD のディスク再生中
 - ・ダビング中
 - ・お部屋ジャンプリンク（DLNA）機能など、ネットワークを利用する機能を使用中 など
- またダウンロード中に上記の操作を開始した場合、ダウンロードを中断します。操作が終了するとダウンロードを再開します。

ダウンロードした番組を再生する

録画一覧（→73）から再生する

☞ ダウンロードした番組が表示されない場合

「HDD番組の視聴制限」（→180）の設定が「無制限」以外の場合、以下の操作で表示することができます。

- ① [サブメニュー] を押す
- ② 「視聴制限一時解除」を選び、[決定] を押す
- ③ 暗証番号を入力する

☞ お知らせ

- 視聴期限のある番組は、期限内に視聴してください。期限を過ぎると録画一覧から自動的に消去されます。視聴期限は再生を開始した時点から始まります。
- 再生時はインターネットに接続した状態で行ってください。
- 番組は自動的にプロテクト設定されます。

動画共有サイトなどのサービスを利用する

動画コンテンツの閲覧などのさまざまなサービスを楽しむことができます。

1 [スクリーン] を押す

2 項目を選び、[決定] を押す

● 操作方法は画面の指示に従ってください。

☞ サービスを終了するには

[地上][BS][CS] を押す

ダウンロードした番組をディスクにダビングする

ダウンロードした番組には、ディスクにダビングできるものもあります。

かんたんダビング（→102）や詳細ダビング（→104）でダビングを行う

☞ ダウンロードした番組が表示されない場合

「HDD番組の視聴制限」（→180）の設定が「無制限」以外の場合、以下の操作で表示することができます。

- ① [サブメニュー] を押す
- ② 「視聴制限一時解除」を選び、[決定] を押す
- ③ 暗証番号を入力する

☞ お知らせ

- DVD にダビングする場合、CPRM 対応のディスクを準備してください。
- ダビング時はインターネットに接続した状態で行ってください。
- 番組によっては、ダビングできるディスクやダビングできる回数、期間に制限があります。番組の制限については、購入時にご確認ください。



ドアホンやセンサーから録画された映像を再生する

HDD

ドアホンやセンサーから録画された映像を再生する場合、呼び出しや検知があったときに、映像を自動で HDD に録画します。

• H.264 対応のセンサーからの場合は動画（音声付き）を、H.264 非対応のセンサーからドアホンからの場合はコマ送りの画像（連続静止画）を記録することができます。

• 本機とドアホンやセンサーを接続する

(→214～216)

• ドアホンやセンサーの設定をする (→190)

録画された映像を再生する

1 [スタート] を押す

2 「全機能から選ぶ」を選び、[決定] を押す

• 表示がない場合は [<◀◀][▶▶>] でページを切り換えてください。

3 「見る」を選び、[決定] を押す

4 「ドアホン・センサーから映像を見る」を選び、[決定] を押す

☞ ドアホン映像一覧を表示するには
[赤] を押す

☞ センサーから映像一覧を表示するには
[緑] を押す

5 映像を選び、[決定] を押す

• 映像の再生が終了すると、次の映像を表示します。



• 再生中に、以下のボタン操作を行うことができます。



お知らせ

• ドアホン録画が実行された場合のみ、録画終了後に “” が点滅します。

• ドアホン映像に新着の映像がある場合、本機の電源を入れると、確認画面が表示されます。

• ドアホン・センサーから映像の録画は、以下の制約がありますので、ご理解いただいたうえで、ご利用ください。

・以下の場合、映像は録画されません。

- 3番組同時録画中(通知のみ記録)
- 2番組同時録画とダビングの同時実行中(通知のみ記録)
- 1.5～15倍録モードで録画とダビングの同時実行中(通知のみ記録)

- LAN 経由(スカパー! プレミアムサービスや CATV)の番組を録画中(通知のみ記録)

- オンエアダウンロードなどのソフトウェア更新中(→191)

- 本機の安定性維持のために行われる午前 4 時ごろ(1 週間に 1 回程度)の自動再起動時

- その他、ファイナライズ中 など

・録画は最大で約 30 秒です。最短検知間隔が 1 分間のセンサーから映像の場合、検知後、約 30 秒間の映像は記録されますが、30 秒以降から 1 分までの間は、センサーから映像は検知せず、録画されません。

ドアホンの場合、応答すると録画は止まります。

・最大記録件数は、以下になります。

ドアホン映像 400 センサーから映像 400

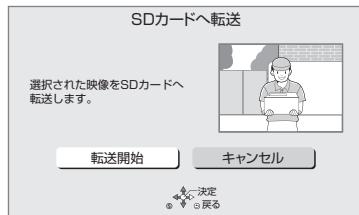
400 件を超えると、古い映像から削除されます。削除したくない映像はプロジェクトを設定してください。(→153)

・本機能を運用された結果、発生したいかなる損害に対して当社は一切の責任を負いません。

映像の一場面を SD カードに保存

映像の一場面を写真（JPEG）に変換して SD カードに保存することができます。

- ① 保存したい場面で [一時停止] を押す
- ② [◀][▶] を押して場面を調整する
- ③ 黄色の [決定] を押す
- ④ 「転送開始」を選び、[決定] を押す



●SECURITY フォルダ内の日付フォルダに保存されます。

録画された映像を編集する

- 1 [スタート] を押す

- 2 「全機能から選ぶ」を選び、[決定] を押す

●表示がない場合は [◀◀][▶▶] でページを切り換えてください。

- 3 「見る」を選び、[決定] を押す

- 4 「ドアホン・センサーcamera映像を見る」を選び、[決定] を押す

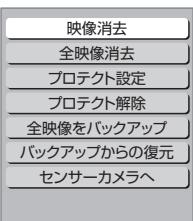
☞ ドアホン映像一覧を表示するには
[赤] を押す
☞ センサーcamera映像一覧を表示するには
[緑] を押す

- 5 映像を選んで、[S] を押す



6 編集する項目を選び、[決定] を押す (→ 下記へ)

例)



映像消去 全映像消去

「消去」を選び、[決定] を押す

プロテクト設定 / 解除

映像を誤って消去しないよう、映像ごとに書き込み禁止（プロテクト）の設定または解除ができます。

「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、[決定] を押す
●プロテクト設定すると「」が表示されます。

全映像をバック アップ

ドアホンまたはセンサーcamera の全映像を DVD-RAM にバックアップすることができます。

「開始」を選び、[決定] を押す

お知らせ

●バックアップする DVD-RAM は、バックアップ専用としてお使いください。（バックアップデータはフォーマット以外の消去方法がありません。番組や写真が混在したディスクの場合、バックアップデータを消去するためにフォーマットすると、大切な録画番組なども消去されてしまいます）
●バックアップデータを再生したり、他の機器にコピーして利用することはできません。
●一度バックアップしたディスクには、フォーマットしないかぎり、バックアップはできません。

バックアップ からの復元

DVD-RAM にバックアップしたデータをHDDに復元します。

●万が一、HDD が故障してデータが損なわれた場合にはHDD の修理が完了してから復元を行ってください。

「開始」を選び、[決定] を押す



便利
機能

お部屋ジャンプリンク (DLNA) を使う

お部屋ジャンプリンク (DLNA) 機能

DLNA 対応機器に記録されたコンテンツの再生などを、ネットワーク接続した機器から行う機能です。

コンテンツが記録された機器をサーバー、コンテンツを再生する機器をクライアントといいます。

- 本機はサーバーとクライアントのどちらとしてもお使いいただけます。
- 2010年4月以前に発売のDLNA対応ディーガは、サーバー機能のみです。
- サーバーとクライアントの組み合わせにより、再生できるコンテンツなどは異なります。
- 当社製DLNA対応機器および再生できるコンテンツについては、当社ホームページをご覧ください。
http://panasonic.jp/support/r_jump/
- 他社製DLNA対応機器では使用できない場合があります。

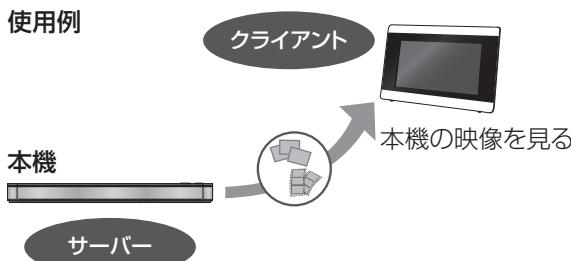
別室のテレビなどで見る (本機をサーバーとして使用する)

- ネットワーク接続と設定をする
(→214～216、223)
- お部屋ジャンプリンク (DLNA) の設定を変更する場合 (→188)

HDD USB-HDD

DLNA 対応機器から、本機の HDD や USB-HDD に録画した番組や写真の再生、受信した放送の視聴ができます。

使用例



テレビなどのクライアント機器側で操作する

- 画面に従って、以降の操作をしてください。

お知らせ

- 本機に接続して同時に操作できるのは 2 台までです。

「ビデオを見る」「写真を見る」のとき

- 編集はできません。(当社製機器の場合、番組の消去のみできます)
- ダウンロードした番組は再生できません。
(DLNA対応の他社製機器から再生時)
- SeeQVault フォーマットのUSB-HDDにある写真は再生できません。
- ファイル取り込みした MP4 は再生できません。(→120)

「放送を見る」のとき

- 本機のチャンネル設定 (→175) で登録しているチャンネルのみ視聴できます。
- 本機が 2 番組録画中の場合、本機側で放送やチャンネルの切り替えはできません。
- アクトビラ、スカパー! プレミアムサービスの番組を視聴することはできません。
- 視聴する番組は、実際の放送よりも数秒遅れます。
- 他社製機器によっては、放送番組を視聴することができない場合があります。

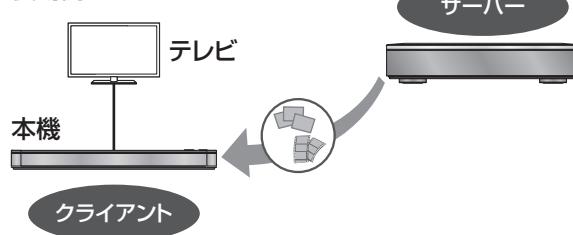
映像が途切れたり、停止する場合

- ネットワーク通信速度が低い可能性があります。「レート変換モード」(→188) を「オート」または「入」に設定すると、番組の画質を調整し、改善される場合があります。さらに「画質モード」(→186) で調整することができます。ただし、画質を調整すると、以下の制限があります。
 - ・早送り・早戻しができない
 - ・XP、SP、LP、EP、FR モードの番組は設定にかかわらず画質調整を行いません。
- 無線 LAN 使用時に映像の途切れなどが起こる場合、本機や無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の位置や角度を変えて、通信状態が良くなるかお確かめください。それでも改善できない場合は、有線で接続してください。
- 無線 LAN はすべてのご利用環境での動作を保証するものではありません。距離や障害物により十分な通信速度が出なかったり接続できない場合があります。
- 本機で BD-Live などを利用しているときは、映像が途切れたり、停止する場合があります。

別室の機器の映像を見る (本機をクライアントとして使用する)

本機からDLNA対応ディーガなどのHDDにある番組などを再生することができます。

使用例



- ネットワーク接続と設定をする
(→214～216、223)
- 接続した機器側で、本機を登録する（当社製機器の場合は「お部屋ジャンプリンク (DLNA)」または「ビエラリンク (LAN)」で登録する）
(本機の操作を必要とするメッセージが表示されたときは、下記の手順1～3の操作を行ってください)

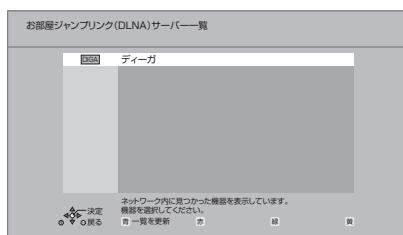
1 [スタート] を押す

2 「お部屋ジャンプリンク」を選び、[決定] を押す

- 表示がない場合は[◀◀][▶▶]でページを切り換えてください。

3 接続する機器を選び、[決定] を押す

例)

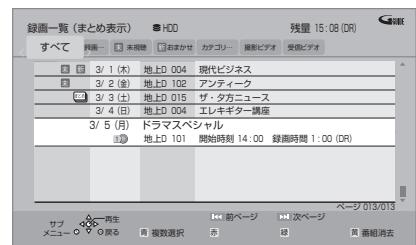


- 選んだ機器の画面が表示されます。
画面に従って、以降の操作をしてください。

例) DLNA 対応ディーガの番組を再生する場合

- ① 機器のリモコンを使って、ディーガの「録画一覧」を表示させる

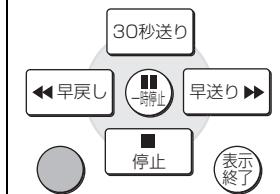
例)



- ② 再生する番組を選び、[決定] を押す

- 「画面 de リモコン」が表示されます。
([▲][▼][◀][▶][決定][戻る] で操作することができます)

例) 番組再生時



☞「画面 de リモコン」が表示されていないときは
[サブメニュー] を押す



便利機能

お知らせ

- DLNA 対応ディーガの番組を再生する場合、[音声] または [字幕] を押すと、「音声切換」「字幕切替」や「電波状態表示」(無線接続時のみ)を行なうことができます。
- 接続環境によっては、接続機器の番組一覧が表示されないことがあります、再生中に映像が途切れたり、再生できないことがあります。
- 本機の録画一覧の「家じゅう」ラベルを選択すると、お部屋ジャンプリンク (DLNA) で接続されたすべての機器の録画番組をまとめて表示できます。(→77)
- パソコン上にあるコンテンツを再生する場合、音楽は LPCM のデータを再生できます。

お部屋ジャンプリンク (DLNA) を使う (続き)

Wi-Fi Direct[®] を利用してお部屋ジャンプリンク (DLNA) を使う

Wi-Fi Direct (ワイファイ ダイレクト) とは、無線ブロードバンドルーターを使わずに、無線 LAN 機器間で直接通信を可能にする規格です。本機のネットワーク接続や設定にかかわらず、他の DLNA 対応機器と一時的に無線で直接接続することができます。



- 「お部屋ジャンプリンク機能」(→186)を「入」にする

1 を押す

2 「全機能から選ぶ」を選び、 を押す

- 表示がない場合は [<◀◀][▶▶>] でページを切り換えてください。

3 「ネットワーク機能を使う」を選び、 を押す

4 「Wi-Fi Direct 接続」を選び、 を押す

5 「クライアント機能」または「サーバー機能」を選び、 を押す

- 接続機器側で本機と Wi-Fi Direct 接続ができるように設定してください。詳しくは、接続機器側の説明書をご覧ください。

6 接続する機器を選び、 を押す

- 接続したい機器が表示されなかった場合、[緑] を押して接続方法を変更してください。

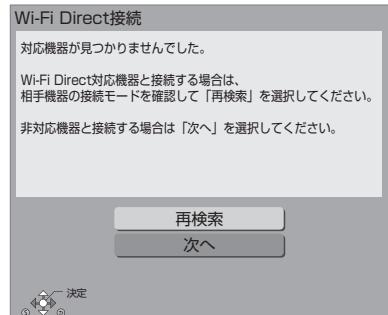
7 手順 5 で「クライアント機能」を選んだ場合：
本機側で操作する

手順 5 で「サーバー機能」を選んだ場合：

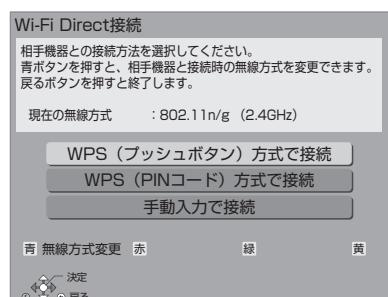
クライアント機器側で操作する

- 画面に従って、以降の操作をしてください。

接続機器が見つからなかった場合



再検索しても対応機器が見つからなかった場合は、「次へ」を選んで接続方法を変更してください。



接続する機器に合わせて、接続方法を選んでください。

- 画面に従って、以降の操作をしてください。

お知らせ

- 接続中は他の機器とネットワーク接続することができません。Wi-Fi Direct 接続が終了すると、元のネットワーク設定に戻ります。
- LAN 経由 (スカパー! プレミアムサービスや CATV) の録画が始まると、Wi-Fi Direct の接続を終了します。

マイメニューについて

本機を家族など複数人でご利用になる場合に、マイメニューを利用すると、利用者ごとにお好みの番組の再生・録画やよく利用する機能を使用しやすくなることができます。

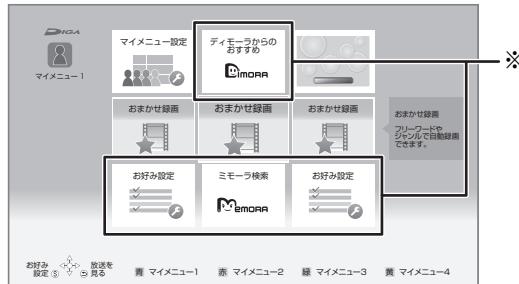
- マイメニューは[青]、[赤]、[緑]、[黄]の4つのボタンにそれぞれ設定できます。

マイメニューを設定する

利用者ごとにお好みに合わせて設定できます。

1 [スタート] を押す

2 設定したいボタン（ 青 赤 緑 黄）を押す



- 「おまかせ録画」は3つまで設定できます。

※ 表示機能を選ぶことができます。

アイコンや背景を選ぶ（マイメニュー設定）

左記手順2のあと

3 「マイメニュー設定」を選び、[決定] を押す

4 項目を選び、[決定] を押す（→下記へ）

メニューのアイコンを選ぶ：

マイメニューアイコンを設定します。

メニューの名前を変更する：

マイメニュー名は全角で最大7文字まで登録できます。

☞ 文字入力については（→167）

メニューの背景を選ぶ：

マイメニュー背景の壁紙を設定します。

表示機能を選ぶ（お好み設定）

左記手順2のあと

3 「お好み設定」などを選び、[決定] を押す

•左記手順2の※部分に登録できます。

•登録済みの機能を変更する場合、「機能を登録する」を選び、「決定」を押してください。

4 メニューを選び、[決定] を押す

5 表示したい機能（→35）を選び、[決定] を押す

•「壁紙設定」「お好み設定リセット」はマイメニューには表示できません。

6 「はい」を選び、[決定] を押す



マイメニューについて(続き)

お好みのおまかせ録画を登録する

マイメニューから、お好みのおまかせ録画一覧(→57)を表示できるようにします。

よく利用するおまかせ録画を登録しておくと、お好みの番組を再生するのに便利です。

157ページ手順2のあと

3 「おまかせ録画」を選び、**決定** を押す

4 **赤** を押す

5 項目を選び、**決定** を押す

- おまかせ録画の一覧(→54手順3)にアイコンが表示されるようになります。
- 新たにおまかせ録画を登録する場合は、「未登録」を選び【青】を押したあと、54ページ手順4、5で録画条件を設定してください。

お知らせ

- 1つのおまかせ録画に対して、複数のマイメニューから登録することはできません。
(すでに他のマイメニューに登録されているおまかせ録画を選択した場合は、他のマイメニューから解除されます)

登録したおまかせ録画を解除する

157ページ手順2のあと

3 登録済みのおまかせ録画を選び、**決定** を押す

4 **赤** を押す

5 **S** を押す

6 「マイメニュー設定解除」を選び、**決定** を押す

7 「設定解除」を選び、**決定** を押す

- おまかせ録画の一覧(→54手順3)に表示されていた利用者アイコンも表示されなくなります。

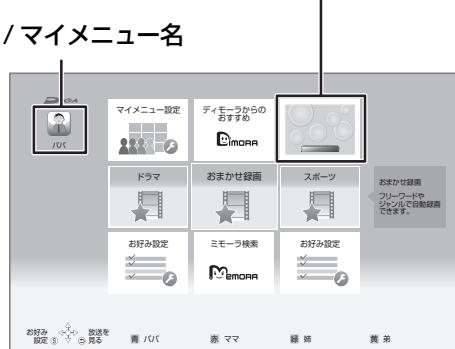
マイメニューを使う

157ページ手順2のあと

3 項目を選び、**決定** を押す

インターネットに接続するとディモーラからお勧めの情報を受信できます。

アイコン/マイメニュー名



ファイル共有機能を使う

HDD

本機と宅内ネットワーク接続したパソコンのデータを、本機の HDD のファイル共有領域に保存することができます。

本機に保存したデータは、ネットワーク接続したファイル共有機能対応機器で共有することができます。

- ネットワーク接続と設定をする (→214 ~ 216、223)

- 「ファイル共有サーバー機能」(→186) を「入」にする

本機の HDD には 3 つの領域があり、保存する領域ごとに動画や写真の再生方法などが異なります。

ファイル共有領域にある動画や写真は、取り込みをすることで、他の領域に移動することができます。(→161)



各領域の特徴について

	ファイル共有領域	通常録画領域	ファイル取込領域
記録できるコンテンツ	●データ（動画・写真・音楽など）	●録画番組 ●撮影ビデオ	●動画（MP4） ●写真
記録方法	●パソコンから保存 ●音楽ファイルのダウンロード*	●録画 ●ダビング ●SD [USB] から取り込み（変換取込時）	●SD [USB] から取り込み（動画はファイル取込時）
本機での再生方法	●「動画ファイル（MP4）を再生する」(→160) ●「写真を見る」(→161)	●「録画一覧」(→75)	●「動画ファイル（MP4）を再生する」(→75) ●「写真を見る」(→125)
メディアへの書き出し	×	○ (→102、104、143)	○ (→75、130)
他のファイル共有機能対応機器での再生	○	×	○
お部屋ジャンプリンク	×	○	○（写真のみ）
「アルバムを作る」の素材としての使用	×	○（撮影ビデオのみ）	○（写真のみ）

※ 音楽ファイルダウンロード機能について

音楽配信サービス e-onkyo music で購入済みの音楽ファイルを本機の HDD のファイル共有領域に自動的にダウンロードすることができます。ダウンロードした音楽ファイルは、ネットワーク接続した DLNA 対応機器で再生することができます。詳しくは下記のホームページをご覧ください。

- 当社ホームページ : <http://panasonic.jp/support/bd/>
- e-onkyo music ホームページ : <http://www.e-onkyo.com/music/>



便利機能

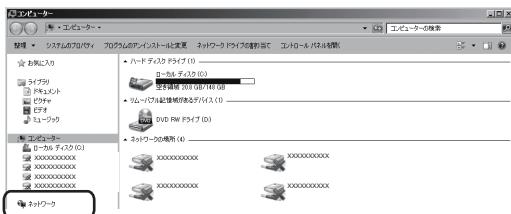
ファイル共有機能を使う（続き）

パソコンから本機にデータを保存する

本機と宅内ネットワーク接続したパソコンからデータを保存します。

例) Windows7の場合

① フォルダを開き、「ネットワーク」をクリックする



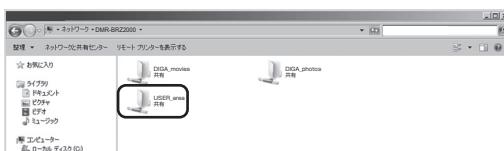
② フォルダ内の「コンピューター」の一覧に表示される「ファイル共有サーバーの名称」(→186)で設定した、本機の名前のアイコンをダブルクリックする

- 「その他のデバイス」に表示されている本機の機器名からはファイル共有サーバーは開きません。
- 「コンピューター」の一覧に本機の名前のアイコンが表示されるまで時間がかかる場合があります。表示されていない場合はフォルダのアドレスバーにある「“ネットワーク”を最新の状態に更新」をクリックしてください。
- ユーザー名とパスワードを求められる場合があります。その場合は以下のように入力してください。
ユーザー名：DIGA
パスワード：「パスワード設定」(→186)で設定したパスワード

“ネットワーク”を最新の状態に更新



③ 「USER_area」フォルダにパソコンのデータを保存する



表示されるフォルダについて

USER_area :

ファイル共有領域です。「USER_area」内のデータを保存したり、データの削除、移動することができます。

DIGA_movies * :

ファイル取込領域です。SD カードや USB 機器から本機にファイル取り込みした動画が表示されます。

DIGA_photos * :

写真の領域です。SD カードや USB 機器から本機に取り込んだ写真が表示されます。

* フォルダ内にデータを保存したり、データの削除、移動をすることはできません。

お知らせ

●「USER_area」フォルダに保存できるファイル数は、60000までです。

保存した動画ファイル(MP4)や写真を本機で再生する

パソコンから保存した動画ファイル(MP4)や写真を本機で再生します

- ファイルによっては再生できないものもあります。

■ 動画ファイル(MP4)を再生する

1 スタート を押す

2 「動画ファイル(MP4)を再生する」を選び、

決定 を押す

- 表示がない場合は[◀◀][▶▶]でページを切り換えてください。

3 「パソコンなどから保存した動画」を選び、

決定 を押す

4 動画を選び、決定 を押す

例)



- ファイルの再生が終了すると動画一覧に戻ります。
- 再生中に予約録画が始まると、再生を中断します。

■ 写真を再生する

1  を押す

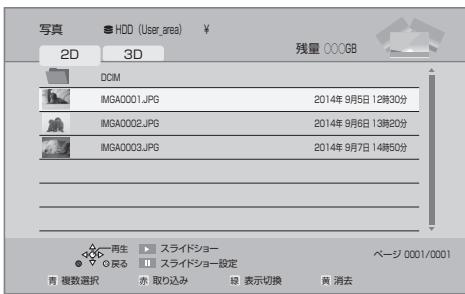
2 「写真を見る」を選び、 を押す

- 表示がない場合は [**◀◀**][**▶▶**] でページを切り換えてください。

3 「パソコンなどから保存した写真」を選び、
 を押す

4 写真を選び、 を押す

例)



☞ スライドショーについては (→127)

保存した動画ファイル（MP4）や写真を 録画一覧や写真一覧に取り込む

パソコンから保存した動画（MP4）や写真を他の領域に取り込んで、録画一覧や写真一覧で表示できるようにします。

- 動画：「MP4 の取り込み設定」(→180) が「変換取込」時は通常録画領域、「ファイル取込」時はファイル取込領域に取り込みます。

[MP4 (4K) はファイル取込領域に取り込みます]

- 写真：ファイル取込領域に取り込みます。

動画を取り込む場合は、160 ページ 手順 3 のあと

写真を取り込む場合は、左記手順 3 のあと

4 動画または写真を選び、 を押す

- が表示されます。操作を繰り返します。

例)



☞ 選択を取り消すには

動画または写真を選び、[青] を押す

5 選び終わったあと、 を押す

6 「取り込み開始」を選び、 を押す



便利機能

自宅にあるパソコンで操作する

本機と接続したパソコンから遠隔操作ができます。

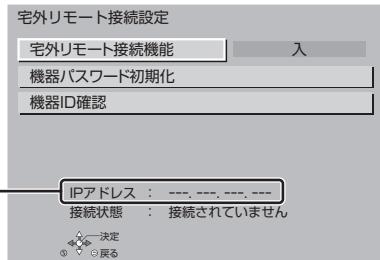
●ブラウザ機能を持つテレビでも操作できます。

☞ 携帯電話や外出先のパソコンから録画予約などの操作をしたいときは(→189)

●ネットワーク接続と設定、宅外リモート接続設定をする(→189、214~216、223)

パソコンを使って以下の操作を行ってください。

1 インターネット閲覧(ブラウザ)ソフトを起動させ、本機のIPアドレス(→189、手順5で確認)をアドレス欄に入力する



●ログイン画面が表示されます。

☞ ログイン画面が表示されないときは
(Internet Explorer® 8.0の場合)

インターネット閲覧ソフトを起動させ、「ツール」→「インターネットオプション」→「接続」→「ローカルエリアネットワーク(LAN)の設定」の「LANにプロキシサーバーを使用する」のチェックを外し、「OK」をクリックする

2 機器パスワードを入力し、「確定」をクリックする



●初めてログインするときはパスワードが未設定です。ここで設定してください。以降のログイン時は、設定したパスワードを入力します。

●サービスの機器登録で設定済みの機器パスワードをお持ちの方は、それと同じパスワードを入力してください。

3 操作内容を選ぶ

●各操作は画面の指示に従ってください。



番組編集 [HDD] 番組の番組名入力や消去

●ブラウザ機能を持つテレビでは、番組名入力はできません。



レコーダー操作 本機の録画、電源入/切など



ヘルプ 操作方法などの説明

ログアウト 操作の終了

☞ 機器パスワードとは

インターネットなどのネットワークから本機を不正に操作されないように設定するパスワードです。

本機で記録できるようにする（フォーマット）

新品または他の
機器で使っていた
ディスクやカード



そのままでは
本機で記録でき
ない
場合があります。

フォーマット
すると



本機で記録でき
る
ようになります。

フォーマットすると、記録した内容は
すべて消去され元に戻すことができま
せん。（パソコンデータなども含む）
すべて消去してよいか確認してから
行ってください。

（番組や写真、ディスクにプロテクト
を設定していても消去されます）

■ディスクの記録方式とフォーマットについて

ディスクの種類と記録方式によりフォーマットが必要な場合と不要な場合があります。

記録方式によって、他の機器で再生する場合の互換性が異なります。（→31）

ディスク	記録方式	記録できる画質	記録できる 録画モード	フォーマット	備考
	—	放送画質 ハイビジョン画質	DR 1.5～15倍録	必要	記録方式の設定は ありません。
	AVCREC 方式	ハイビジョン画質	1.5～15倍録	必要	
	VR 方式	DVD画質	XP SP LP EP FR	— (ディスクによる)	
	ビデオ方式	ビデオ方式はありません。			
	AVCREC 方式	ハイビジョン画質	1.5～15倍録	必要	
	VR 方式	DVD画質	XP SP LP EP FR	必要	
	ビデオ方式	DVD画質	XP SP LP EP FR	不要	デジタル放送は 記録できません。
	AVCREC 方式	AVCREC 方式はありません。			
	VR 方式	DVD画質	XP SP LP EP FR	必要	
	ビデオ方式	DVD画質	XP SP LP EP FR	必要	デジタル放送は 記録できません。

便利機能



？

必要なとき

本機で記録できるようにする（フォーマット）(続き)

BD-RE **BD-R** **RAM** **-R** **-RW** **SD**

1 [スタート] を押す

2 「メディアを使う」を選び、**決定** を押す

- 表示がない場合は [**◀◀**] [**▶▶**] でページを切り換えてください。

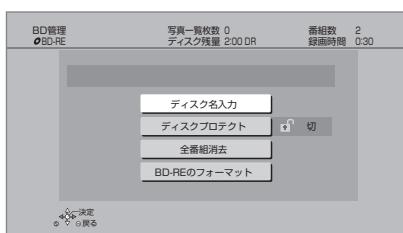
3 「ブルーレイ (BD) /DVD」または「SD カード」を選び、**決定** を押す

4 「BD 管理」、「DVD 管理」または「カード管理」を選び、**決定** を押す

- 未使用の **-R** を入れた場合、「ディスクのフォーマット」の画面が表示されます。（→手順 6 へ）

5 フォーマットの項目を選んで、**決定** を押す

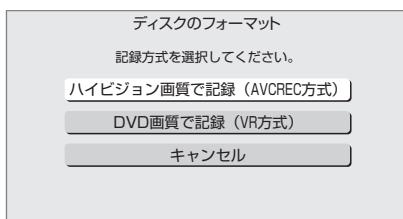
例) **BD-RE**



6 画面の指示に従って、フォーマットする

- DVDの場合、フォーマットの実行前に記録方式を選んでください。

例) **RAM**



お知らせ

- フォーマット実行中は、終了メッセージが表示されるまで、絶対に電源コードを抜かないでください。ディスクやカードが使えなくなることがあります。
- SD** 「カード管理」の「BD ビデオデータ消去」は、BD-Live を利用して、SD カードに記録された BD ビデオのデータが不要になった場合に実行してください。
- R** 記録やフォーマット、または「ディスク名入力」（→165）を行なうと記録方式を変更できません。
- RAM** **-RW** 記録やフォーマットしても、再度フォーマットすれば記録方式を変更できます。
- 本機でフォーマットした場合、本機以外の機器で使えないことがあります。
- HDD** フォーマットは「HDDのフォーマット」（→180）で行ってください。
- フォーマット後のディスクの空き容量は、ディスクに表示されている容量より少なくなります。

ディスク名入力 / ディスクプロテクト / 全番組消去

[BD-RE] [BD-R] [RAM] [-R] [-RW]

(ファイナライズしたディスクではできません)

1 [スタート] を押す

2 「メディアを使う」を選び、**決定** を押す

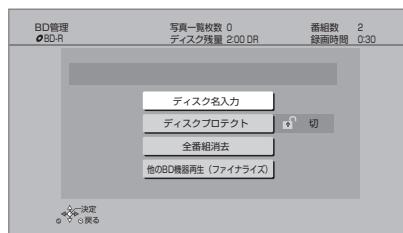
- 表示がない場合は [<◀◀>] [<▶▶>] でページを切り換えてください。

3 「ブルーレイ (BD) / DVD」を選び、**決定** を押す

4 「BD 管理」または「DVD 管理」を選び、 **決定** を押す

5 操作したい項目を選んで、**決定** を押す (→下記へ)

例) [BD-R]

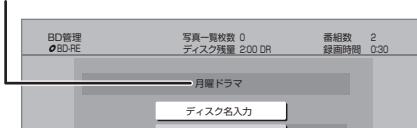


ディスク名入力

[BD-RE] [BD-R] [RAM] [-R] [-RW]

☞ 文字入力については (→167)

入力したディスク名は、「BD 管理」、「DVD 管理」画面に表示されます。



-R V **-RW V**

ファイナライズ後はトップメニューに表示されます。



ディスクプロテクト

[BD-RE] [BD-R] [RAM] [-R AVCREC] [-R VR] [-RW VR]

ディスクの内容を誤って消去することを防ぎます。

⑥ 「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、**決定** を押す

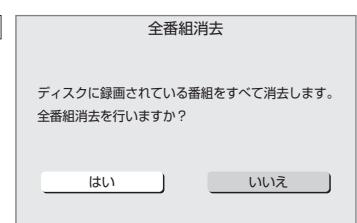
プロテクト設定すると「 入」が表示



全番組消去

[BD-RE] [BD-R] [RAM] [-R AVCREC] [-R VR] [-RW VR]

例) **BD-RE**



⑥ 「はい」を選び、**決定** を押す

⑦ 「実行」を選び、**決定** を押す

お知らせ

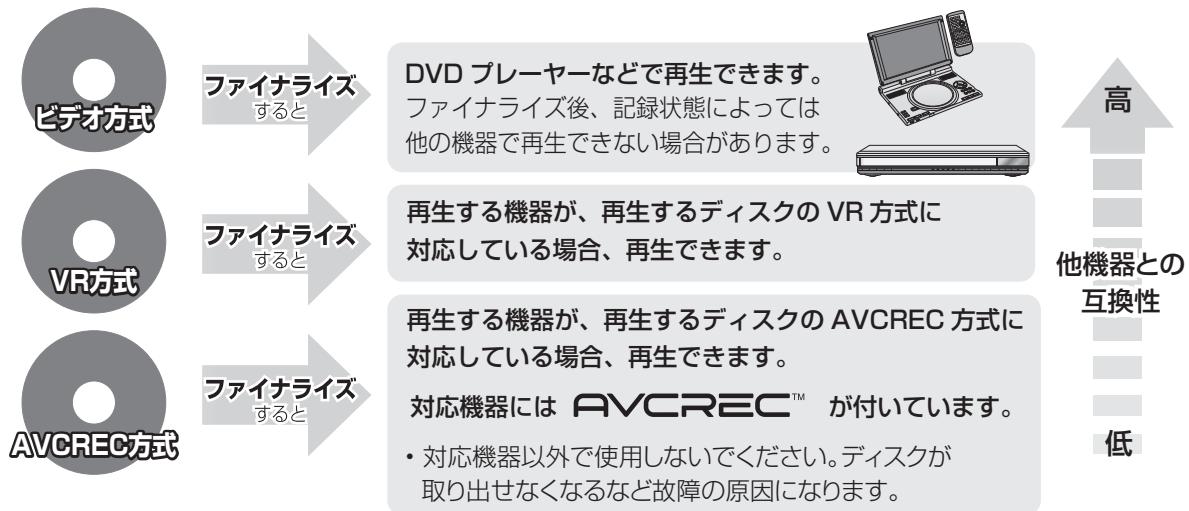
- 全番組消去すると、プレイリストもすべて消去されます。
- BD-RE** **BD-R** **RAM** 写真は消去されません。
- BD-R** **-R AVCREC** **-R VR** 消去しても残量は増えません。

?

必要なとき

ファイナライズ

[BD-RE] [RAM] ファイナライズは不要です。



165 ページ手順 1 ~ 5 のあとに操作します。

トップメニュー

[-R V] [-RW V]

ファイナライズ後のディスクの再生時に表示されるトップメニューの背景を設定できます。

⑥ お好みの背景を選び、**決定** を押す



- トップメニュー内に表示される画像（サムネイル）は変更できます。（→95 「サムネイル変更」）

ファーストプレイ選択

[-R V] [-RW V]

ファイナライズ後のディスクの再生の始め方を設定できます。

⑥ 「トップメニュー」または「タイトル 1」を選び、**決定** を押す

トップメニュー：番組再生前に、メニュー画面を表示する
タイトル 1：先頭の番組から再生する

他の DVD 機器再生（ファイナライズ） 他の BD 機器再生（ファイナライズ）

[-R] [-RW] [BD-R]

- ⑥ 「はい」を選び、**決定** を押す
- ⑦ 「実行」を選び、**決定** を押す

お願い

ファイナライズ実行中は、終了メッセージが表示されるまで、絶対に電源コードを抜かないでください。ディスクが使えなくなることがあります。

お知らせ

- 本機以外の機器で記録したディスクはファイナライズできないことがあります。
- ファイナライズすると再生専用となり、記録や編集はできなくなります。
- **-RW V** フォーマット（→163）すると、記録や編集ができます。ただし記録していた番組などはすべて消去されます。
- **-RW VR** 「ファイナライズ解除」（→下記）を行うと、記録や編集ができます。
- **BD-R** ファイナライズすると、HDDへのコピー制限のある番組の移動はできません。

ファイナライズ解除

[-RW VR]

ファイナライズを解除し、記録や編集を行えるようにします。

- ⑥ 「はい」を選び、**決定** を押す
- ⑦ 「実行」を選び、**決定** を押す

お知らせ

- 本機以外の機器でファイナライズしたディスクは、解除できない場合があります。

文字入力

本機では、表示された画面によって文字入力方法が異なります。

カーソルキー方式で文字入力する

(番組名、ディスク名、フォルダ名、マイラベル名、
フリーワード検索などを入力するとき)



1 青 赤 緑 黄 で文字の種類を選ぶ

- 漢字を入力する場合、まず「かな」を選びます。

2 入力する文字選び、決定 を押す

- この手順を繰り返し、文字を入力します。
- ひらがなの場合は、確定するかまたは漢字変換してください。(→右記)
- 文字入力時に、変換候補に予測変換候補が表示されます。変換候補から選んで [決定] を押すと、その文字が入力されます。

3 入力が終わったら、停止 を押す

4 「はい」を選び、決定 を押す

数字ボタン[1]～[9]、[11]でも文字を入力できます。

例：ひらがな「す」を選ぶ場合

① [3] を押す

- 「さ」行に移動します。

② [3] を2回押し、[決定] を押す

を押す

- 「す」が入力文字表示欄に表示されます。



ひらがなを確定する

[▶▶] を押す

ひらがなを漢字変換する

[▶ 再生] を押したあと、変換候補を選び、

[決定] を押す

・[戻る] を押すと、入力画面に戻ります。

・JIS 第1水準、JIS 第2水準の漢字コードを入力可能

文字を消す

[II 一時停止] を押す

よく使う語句の登録 / 呼び出し / 消去

語句を登録する

- 語句を入力したあと、「語句登録」を選び、[決定] を押す
- 「登録」を選び、[決定] を押す

語句を呼び出す

- 「語句一覧」を選び、[決定] を押す
- 語句を選び、[決定] を押す

語句の消去

- 「語句一覧」を選び、[決定] を押す
- 語句を選び、[黄] を押す
- 「消去」を選び、[決定] を押す

?

必要なとき

文字入力 (続き)

リモコンボタン方式で文字入力する

(アクトビラなどで入力するとき)

リモコンの数字ボタンを使って、携帯電話と同じような操作で入力する方法です。

(番組名やディスク名はこの方法では入力できません)



1 1あ: ~ 12改行 で文字を入力する

例) 「えいが」と入力するとき



4回押す 1回押す 2回押す 1回押す 1回押す
(え) (い) (か) (^)

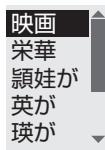
えいが

●入力文字一覧表をご覧ください。(→169)

③ 漢字に変換するには

[▲][▼]で変換候補を選び、[決定]を押す

●JIS第1水準、JIS第2水準の
漢字コードを入力可能



2 決定 を押す

●この手順を繰り返し、文字を入力します。



文字の種類を変換する

[緑]を押して文字の種類を選び、[決定]を押す

●[緑]を押すごとに、(かな→カナ→英数→数字)に切り換わります。

●漢字を入力するときは、「かな」を選びます。

同じボタンで続けて入力する

[▶]でカーソルを右に移動させる

例)「あい」と入力する場合:[1][▶][1][1]の順に押す

文節を分けて変換する

例)「えいが」の「えい」だけを変換する場合:

①「えいが」と入力して、[▼]を押す

② [◀]を押して
「えい」だけを選ぶ

③ 変換候補を選び、
[決定]を押す

映画

えいが

映が

記号を入力する

① “きごう”と入力する

② 変換候補を選び、[決定]を押す

文字を追加する

カーソルを移動させたあと、文字を入力する

(カーソルの左に文字が追加されます)

文字を消す

カーソルを移動させたあと、[黄]を押す

(カーソルの文字が削除されます)

リモコンボタン方式での入力文字一覧表

ボタン コード		[1]	[2]	[3]	[4]	[5]	[6]	[7]	[8]	[9]	[10]	[11]	[12]
かな		あ	か	さ	た	な	は	ま	や	ら	、	わ	
		い	き	し	ち	に	ひ	み	ゅ	り	。	を	
		う	く	す	つ	ぬ	ふ	む	よ	る	？	ん	
		え	け	せ	て	ね	へ	め	や	れ	！	わ	
		お	こ	そ	と	の	ほ	も	ゅ	ろ	・	一	
		あ	2	3	つ	5	6	7	よ	9	(スペ ース	
		い			4			8)			
		う							0				
		え											
		お											
		1											
カナ		ア	カ	サ	タ	ナ	ハ	マ	ヤ	ラ	、	ワ	
		イ	キ	シ	チ	ニ	ヒ	ミ	ユ	リ	。	ヲ	
		ウ	ク	ス	ツ	ヌ	フ	ム	ヨ	ル	？	ン	
		エ	ケ	セ	テ	ネ	ヘ	メ	ヤ	レ	！	ワ	
		オ	コ	ソ	ト	ノ	ホ	モ	ュ	□	・	一	
		ア	2	3	ツ	5	6	7	ヨ	9	(スペ ース	
		イ			4			8)			
		ウ							0				
		エ											
		オ											
		1											
英数		@	a	d	g	j	m	p	t	w	-	スペ ース	
		.	b	e	h	k	n	q	u	x	,		
		/	c	f	i	l	o	r	v	y	;		
		:	A	D	G	J	M	s	T	z	'		
		~	B	E	H	K	N	P	U	W	"		
		_	C	F	I	L	O	Q	V	X	?		
		1	2	3	4	5	6	R	8	Y	!		
								S	Z	(
								7	9)			
										&			
										¥			
										0			
数字	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	*	#	

改行

改行

改行

- ボタンを押すたびに、表の順に文字が変わります。
(例：「い」を入力するときは [1] を2回押す)
- 濁点や半濁点を入力するときは、文字に続けて [10] を押してください。
- 入力可能な文字は画面によって異なる場合があります。

お知らせ

- 入力したすべての文字が表示されない画面もあります。
- 表示可能な漢字コードは、JIS第1水準、JIS第2水準のみです。
- [BD-RE] [BD-R] [RAM AVCREC] [-R AVCREC] 文字の種類によって入力できる文字数が少なくなる場合があります。

?

必要なとき

いろいろな情報を見る（メール／情報）

1  **スタート** を押す

ソフトウェア更新情報（ネットワーク）

ネットワークからダウンロードした日時を確認できます。

2 「全機能から選ぶ」を選び、 **決定** を押す

- 表示がない場合は[◀◀][▶▶]でページを切り換えてください。

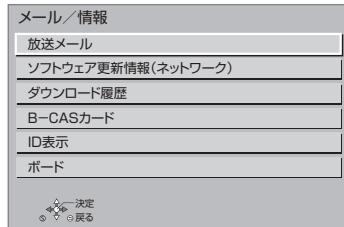
3 「設定する・その他の機能」を選び、
 **決定** を押す

4 「メール／情報・診断コード」を選び、
 **決定** を押す

（診断コードを見る場合 → 232 手順⑤へ）

5 「メール／情報」を選び、 **決定** を押す

6 項目を選び、 **決定** を押す



ダウンロード履歴

ダウンロードに失敗した番組や消去した番組を確認できます。

☞ 表示されていない番組を表示するには

- ① [サブメニュー] を押す
- ② 「視聴制限一時解除」を選び、[決定] を押す
- ③ 暗証番号（→180「HDD番組の視聴制限」）を入力する

B-CAS カード

契約されている各委託放送事業者への問い合わせなど、B-CAS カードの番号が必要な場合に使用します。

ID 表示

本機のソフトウェアに関する情報などを見るときに使用します。

☞ その他の情報を見るには

- [青]：本機のソフト情報を表示
- [赤]：データ放送時のルート証明書情報を表示

放送メール

放送局からのお知らせ（最大 31 通まで保存）や、本機の機能向上のためのダウンロード情報（最新の 1 通のみ保存）を確認することができます。

確認したいメールを選び、 **決定** を押す

お知らせ

- ほとんどのメールは、お客様自身で消去することができません。
- メールが最大保存数を超えると、日付の古い順に消去されます。

ボード

110 度 CS デジタル放送から送られてくる、番組情報などのお知らせを確認します。

① 「CS1 ボード」または「CS2 ボード」を選び、
 **決定** を押す



② 確認したい情報を選び、 **決定** を押す

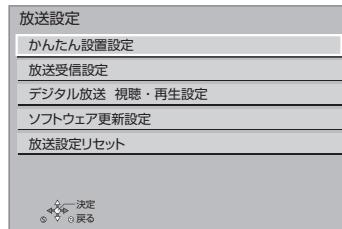
放送設定を変える（放送設定）

1 [スタート] を押す

2 「放送設定」を選び、[決定] を押す

- 表示がない場合は[◀◀][▶▶]でページを切り換えてください。

3 メニューを選び、[決定] を押す



4 設定項目を選び、[決定] を押す

- さらに項目がある場合は、この操作を繰り返してください。

5 設定内容を変更する

かんたん設置設定

かんたん設置設定（→219）

放送受信設定

【】はお買い上げ時の設定です

受信対象設定

放送視聴時や番組表で使わない放送を操作できないようにします。

- 地上デジタルは設定できません。

BS/CS

【使う】

チャンネル設定（→175）

地上デジタル / BS/CS1/CS2

番組表設定

G ガイド地域設定

「かんたん設置設定」（→219）を行うと、自動的に設定されます。

G ガイド受信確認

番組表の受信スケジュールを確認できます。

通信による G ガイド受信

【切】

「入」に設定すると、インターネットを利用して1ヶ月の番組表や注目番組を取得することができます。

●ネットワークの接続と設定（→215、216、223）が必要です。

●「入」にすると、常時接続状態になります。

●1ヶ月の番組表の取得やフリーワード検索などの検索には、時間がかかります。

●2014年8月現在、インターネットから番組情報を取得できる放送局は NHK、スター・チャンネル、WOWOW のみです。

地域設定

データ放送が正しく受信できていない場合に地域の修正を行います。

県域設定

郵便番号

地域設定削除

- お買い上げ時の状態に戻ります。

受信アンテナ設定（→173）

地上デジタル

アッテネーター

【切】

物理チャンネル選択

物理チャンネル（→174）を指定してアンテナレベルを確認します。

衛星

アンテナ電源

【入】

アンテナ出力

【入】

本機の BS・110 度 CS アンテナ出力端子からの信号出力の設定をします。

トランスポンダ選択

衛星周波数

（放送局からの案内がない限り、変更しないでください）

B-CAS カードテスト

NG の場合、電源を切り、電源コードを抜いたあと、B-CASカードを抜き差しして、電源を入れ直して、もう一度テストしてください。

?

必要なとき

放送設定を変える（放送設定）（続き）

デジタル放送 視聴・再生設定

【】はお買い上げ時の設定です

字幕設定

ディスクに録画した場合、デジタル放送の字幕や、番組からのお知らせなど（文字スーパー）を表示させるための設定です。XP、SP、LP、EP、FRモードで録画した場合、設定した内容がそのまま録画され、再生時に切り換えできません。設定しても番組によって無効になる場合があります。

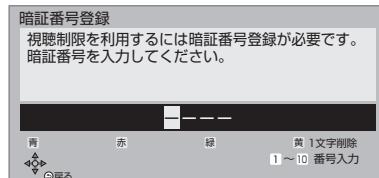
字幕 【切】

字幕言語 【日本語】

文字スーパー 【切】

文字スーパー言語 【日本語】

制限項目設定



画面の指示に従って[1]～[10]を押し、暗証番号を入力する

- 10秒間ボタン操作がないと、元の画面に戻ります。
- 暗証番号を入力後、下記の設定を行ってください。

視聴可能年齢 【無制限】

- 視聴制限のある番組の視聴できる年齢の上限を設定できます。上限を超える番組を見るときは、暗証番号の入力が必要です。
- 年齢制限を超える番組は、番組表などで「・・・」と表示されます。

プラウザ制限 【しない】

「テレビでネット」を利用するとき、暗証番号の入力が必要かどうかの設定をします。

暗証番号変更

暗証番号削除

設定した年齢を超えるなど視聴に制限のある番組を選ぶと、暗証番号入力画面が表示されます。



- 暗証番号を入力すると、番組が映ります。

選局対象

【すべて】

デジタル放送で【チャンネルへ、▽】を押して順送りできるチャンネルを設定できます。

- 「設定チャンネル」を選ぶと、チャンネル設定で設定されているP01～36までのチャンネルを選局します。

ソフトウェア更新設定

【】はお買い上げ時の設定です

ダウンロード予約

【自動】

デジタル放送からの情報を本機に取り込むことにより、本機のソフトウェアを最新のものに書き換えます。（→191）

- 「自動」にすると、電源「切」時に自動的にダウンロードします。
- 「手動」にすると、情報が届いたときにメールで知らせます。（→170「放送メール」）

放送設定リセット

設定項目リセット

「アンテナ電源」「アンテナ出力」（→171）をお買い上げ時の設定に戻します。

個人情報リセット

時刻設定以外の初期設定と放送設定の項目をお買い上げ時の設定に戻します。また、本機に記録されているお客様の個人情報（メールやデータ放送のポイントなど）や、予約内容も消去します。廃棄などで本機を手放される場合以外には、実行しないでください。

お知らせ

- 双方向データ放送をご利用の場合、本機からの操作により、放送局に登録された情報はこの操作では消去されません。消去方法はそれぞれのサービスにお問い合わせください。
- HDDやUSB-HDDの番組などは、この操作では消去されません。消去するには、「HDDのフォーマット」（→180）や「録画用USB-HDDのフォーマット」（→180）を行ってください。

アンテナレベルを確認する

アンテナレベルについて

アンテナレベルは、アンテナの設置方向の最適値を確認するための目安であり、チャンネルによって異なります。表示されている数値は、受信している電波の強さではなく質（信号と雑音の比率）を表します。天候、季節、地域やアンテナシステムの条件などにより変動する場合がありますので、十分な余裕をとることをお勧めします。

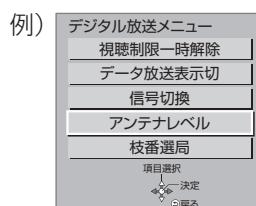
1 視聴中に

サブメニュー
S を押す

- サブメニュー画面が表示されない場合、もう一度 [サブメニュー] を押してください。

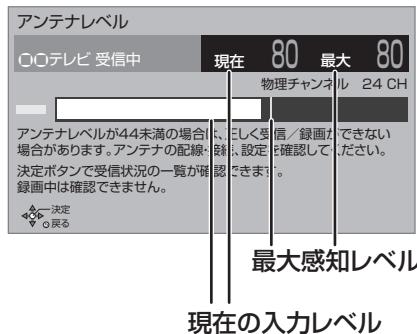
2 「デジタル放送メニュー」を選び、決定 を押す

3 「アンテナレベル」を選び、決定 を押す



4 アンテナレベルを確認する

例) 地上デジタル



受信アンテナ設定をする

マンションなどの共同アンテナや CATV をご利用の場合は、設定不要です。

映りが悪いときは、入力レベルが最大になるよう、アンテナの向きを調整してください。

- アンテナの説明書もご覧ください。

1 スタート を押す

2 「放送設定」を選び、決定 を押す

- 表示がない場合は [◀◀][▶▶] でページを切り換えてください。

3 「放送受信設定」を選び、決定 を押す

4 「受信アンテナ設定」を選び、決定 を押す

5 修正したい放送を選び、決定 を押す

(→174 ページへ)

?

必要なとき

放送設定を変える（放送設定）（続き）

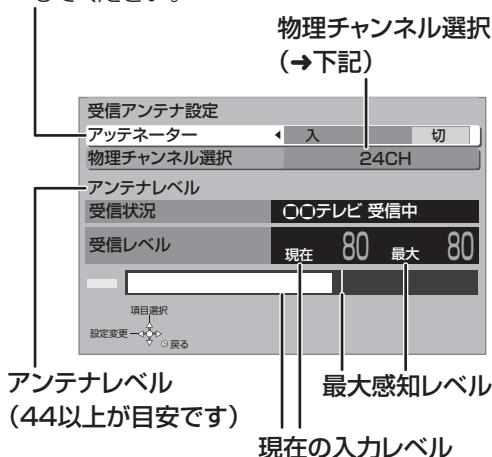
地上デジタル

173ページ手順1～5のあと

6 入力レベルが最大になるように、アンテナの向きを調整する

アッテネーター

- アンテナレベルが大きくなる方を選択してください。



物理チャンネルについて

地上デジタル放送は、UHF の電波を使って行われています。この電波は、放送局ごとに割り当てられており（13 CH～62 CH）、このチャンネルを物理チャンネルと呼んでいます。

- 上記画面で「物理チャンネル選択」を選び、[決定] を押し、[1]～[10] で物理チャンネルを入力し、[決定] を押すと、そのチャンネルのアンテナレベルを確認することができます。

衛星

173ページ手順1～5のあと

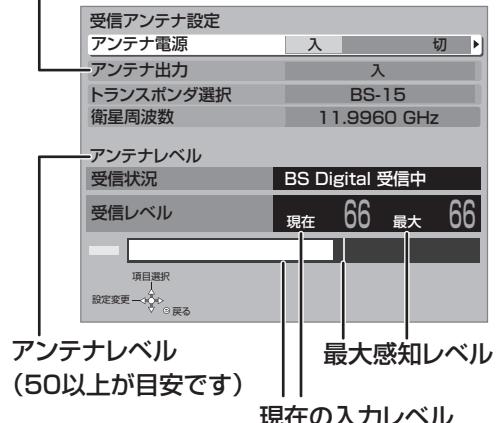
6 「アンテナ電源」を選び、「入」を選ぶ

- 衛星アンテナのコンバーターへ電源を供給します。
- テレビの映りが悪くなる場合があるため、テレビ側のアンテナ電源の設定も「入（オン）」にしてください。

7 入力レベルが最大になるように、アンテナの向きを調整する

アンテナ出力

- 通常は「入」のまま使用してください。「切」にすると電源「切」時に、テレビなどでBS・110度CSデジタル放送の番組を視聴できなくなります。



☞「他の衛星受信中」の表示が出たとき

BS・110度CSデジタル以外の衛星放送を受信しています。再度アンテナの向きを調整してください。

お知らせ

- 映像が不安定になったり、「アンテナレベルが不足しています。アンテナ環境を確認してください。」の表示が出る場合は、以下をお試しいただいたあと、再度「かんたん設置設定」（→219）をやり直してください。
 - アッテネーターを切り換える
 - ブースターをお使いの場合は、ブースターを外す状態が改善されないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

お知らせ

- 「トランスポンダ選択」「衛星周波数」は、変更すると視聴できなくなることがあります。放送局などからの案内がないかぎり、変更しないでください。

受信チャンネルを修正する

1 [スタート] を押す

2 「放送設定」を選び、**決定** を押す

- 表示がない場合は[◀◀][▶▶]でページを切り換えてください。

3 「放送受信設定」を選び、**決定** を押す

4 「チャンネル設定」を選び、**決定** を押す

5 修正したい放送を選び、**決定** を押す

(BS、CS1、CS2の場合 → 176 ページへ)

6 (地上デジタルのみ)
修正する方法を選び、**決定** を押す

(→右記または 176 ページへ)

地上デジタル 初期スキャン

引っ越しなどで受信地域が変わったときに受信できる局を自動で探します。

左記手順 1 ~ 6 のあと

7 お住まいの地域を選び、**決定** を押す

8 受信帯域を選び、**決定** を押す

9 正しく設定されていることを確認したあと、
戻る [←] を押す

地上デジタル 再スキャン

受信状況が変わったときに受信できる局を追加します。

左記手順 1 ~ 6 のあと

7 正しく設定されていることを確認したあと、
戻る [←] を押す

?

必要なとき

放送設定を変える（放送設定）（続き）

地上デジタル マニュアル

チャンネル割り当てを修正したいときなどに行います。

地上デジタルチャンネル設定		種類	
Po	CH	チャンネル名	
1	011	NHK総合・東京	テレビ
2	021	NHKEテレ東京	テレビ
3	---	---	
4	041	日本テレビ	テレビ
5	051	テレビ朝日	テレビ

Po : 「1」～「12」はリモコンの数字ボタンの番号です。（変更できません）

- 「13」以降を表示するには、「13」が表示されるまで、[▼] を押してください。

CH : テレビの画面や本体表示窓に表示される番号です。

「——」の場合、チャンネル設定されていません。

175 ページ手順 1～6 のあと

7 修正したい行（Po）を選び、**[決定]** を押す

8 表示チャンネル（CH）を修正し、**戻る** を押す

9 修正が終わったら、**戻る** を押す

☞ チャンネルの順番を入れ換えるには

- ① [緑] を押す
- ② 入れ換えをしたい行（Po）を選び、
[決定] を押す
- ③ 入れ換え先の行（Po）を選び、[決定] を押す
- ④ 入れ換えが終わったら [戻る] を押す

BS、CS1、CS2

放送のチャンネル割り当てを修正したいときなどに行います。

BS チャンネル設定		種類	
Po	CH	チャンネル	
1	101	NHK BS1	テレビ
2	102	NHK BS1	テレビ
3	103	NHK BS プレミアム	テレビ
4	141	BS 日テレ	テレビ
5	151	BS 朝日1	テレビ

Po : 「1」～「12」はリモコンの数字ボタンの番号です。（変更できません）

- 「13」以降を表示するには、「13」が表示されるまで、[▼] を押してください。

CH : テレビの画面や本体表示窓に表示される番号です。

「——」の場合、チャンネル設定されていません。

175 ページ手順 1～5 のあと

6 修正したい行（Po）を選び、**[決定]** を押す

7 表示チャンネル（CH）を修正し、**戻る** を押す

8 修正が終わったら、**戻る** を押す

☞ チャンネルの順番を入れ換えるには

- ① [緑] を押す
- ② 入れ換えをしたい行（Po）を選び、
[決定] を押す
- ③ 入れ換え先の行（Po）を選び、[決定] を押す
- ④ 入れ換えが終わったら [戻る] を押す

お知らせ

●地上デジタル放送のチャンネル一覧表は、お手持ちのパソコンから以下のホームページでご覧いただけます。

- ① <http://panasonic.jp/support/bd/manual/> を開く
- ② 「同意する」→「DMR-BRZ1000/DMR-BRZ2000」→
「放送チャンネルなどの一覧表」を選ぶ

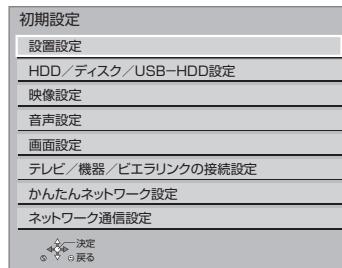
本機の設定を変える（初期設定）

1  を押す

2 「初期設定」を選び、 を押す

- 表示がない場合は [$\blacktriangleleft\blacksquare$] [$\blacktriangleright\blacksquare$] でページを切り換えてください。

3 メニューを選び、 を押す



4 設定項目を選び、 を押す

- さらに項目がある場合は、この操作を繰り返してください。

5 設定内容を変更する

設置設定

【】はお買い上げ時の設定です

自動電源 [切]

【6時間】

操作しないとき、節電のため自動的に電源を切る時間を設定します。

時間を設定すると、本機の動作（録画やダビングなど）が終了してから2時間後または6時間後に、電源が切れます。

リモコン設定（→187）

リモコンモード

【リモコン1】

リモコンのテレビ操作設定

日時設定

本機はデジタル放送から送られてくる情報を取得し、自動的に日時を修正しますので、通常は日時設定の必要はありません。

本体表示窓に右記の表示が出ている場合は、アンテナ線の接続を確認してください。



音声ガイドの設定

番組表や録画一覧の内容、選局時の番組名、エラーメッセージなどを音声や操作音でお知らせします。

- 実際と異なる読み上げを行う場合がありますが、故障ではありません。
- 「音声ガイド機能」を「入」に設定すると、「デジタル出力」（→181）は自動的に「PCM」になります。（「切」に戻しても「PCM」のままで）
- 外部入力のときは、出力されません。

音声ガイド機能

【切】

読み上げ音量

読み上げ速度

?

必要なとき

本機の設定を変える（初期設定）（続き）

クイックスタート設定／本体時計表示

クイックスタート

【切（時計表示無し）】

「入」にすると、電源「切」状態からの起動を高速化します。（テレビの種類によっては、表示が遅れることがあります）

- ・待機時消費電力は増えます。
- ・本機の動作を安定させるため、予約録画終了時または、午前4時ごろ（1週間に1回程度）に、本機全体を再起動することがあります。（再起動中は、本体表示窓に“PLEASE WAIT”と表示され、電源以外のボタン操作が数分間できません）
- ・以下の設定時、「クイックスタート」は自動的に「入」に固定になります。
 - ・「ビエラリンク録画待機」（→182）：「入」
 - ・「i.LINK 機器モード設定」（→183）：「TS モード2」
 - ・「宅外リモート接続機能」（→185）：「入」
 - ・「お部屋ジャンプリンク機能」（→186）：「入」
 - ・「ドアホン・センサーカメラ接続」（→186）：「入」
 - ・「ファイル共有サーバー機能」（→186）：「入」

「切（時計表示無し）」にすると、電源「切」時に本体表示窓は消灯します。

クイックスタートモード

クイックスタート（→上記）が「入」時の設定をします。

・「標準」の場合

- ・無信号自動オフ機能が働かない場合があります。
- ・電源「切」時に本体表示窓が点灯します。

・「省エネ（時計表示無し）」の場合

- ・「標準」より起動が遅くなりますが、待機時の消費電力は少なくなります。
- ・電源「切」時に本体表示窓は消灯します。

節電待機モード

【モード1】

「節電待機」（→32）で電源を「切」にしたときの待機モードを設定します。

初期設定リセット

設定をお買い上げ時の設定に戻します。
ただし、以下の設定は戻りません。

- ・時刻
- ・DVD-Video の視聴制限
- ・BD-Video の視聴可能年齢
- ・HDD 番組の視聴制限
- ・USB-HDD の登録
- ・かんたんネットワーク設定
- ・LAN 接続形態
- ・無線／無線親機設定
- ・IP アドレス /DNS/ プロキシサーバー設定
- ・ファイル共有サーバーの名称
- ・ファイル共有サーバーのパスワード設定
- ・本体側の「リモコンモード」もお買い上げ時の設定（リモコン1）に戻ります。リモコンが働かなくなつた場合（本体表示窓に“U30”と表示）、リモコンモードを変更してください。（→230）

ソフトウェア更新（ネットワーク）

本機をインターネット接続している場合、本機のソフトウェアが最新かどうかの確認や、ソフトウェアの更新をすることができます。

- ・更新中は他の操作はできません。また、故障の原因となるので、以下の操作は行わないでください。

- ・本機の電源を切る
- ・電源プラグをコンセントから抜く

ソフトウェア自動更新

【切】

自動でソフトウェアの更新や確認を行います。
(更新は電源「切」時に行います)

ソフトウェア更新の実行

手動でソフトウェアの更新をします。

HDD/ ディスク /USB-HDD 設定

【】はお買い上げ時の設定です

再生設定（再生専用ディスク）

DVD-Video の視聴制限^{*1}

【8 すべて視聴可】

DVDビデオの視聴制限ができます。

制限レベルの記録されている DVD ビデオ（成人向けや暴力シーンを含むもの）が視聴不可になります。

BD-Video の視聴可能年齢^{*1}

【無制限】

BDビデオの視聴可能な下限年齢を設定できます。

年齢制限の記録されている BD ビデオ（成人向けや暴力シーンを含むもの）が視聴不可になります。

●「年齢入力」を選んで【決定】を押すと、[1]～[10] で年齢を入力できます。

BD-Live インターネット接続^{*1}

【有効（制限付き）】

BD-Live 機能を利用するときに、インターネットへの接続を制限することができます。

MASTER GRADE VIDEO CODING

【入】

（MGVC 対応の [BD-V]）

スタジオマスターと同等の滑らかで質感豊かな高画質映像で再生します。（→85）

3D ディスクの再生方法

【3D 再生】

3D ディスクの再生方法を選びます。

BD-Video の 2D → 3D 変換モード

【モード 1】

3D 変換中の表示方法を選びます。

●「モード 1」の場合は、副映像を表示できません。

音声言語^{*2}

【日本語】

再生時の音声を選びます。

●「オリジナル」は、ディスクの最優先言語で再生します。

字幕言語^{*2}

【オート】

再生時の字幕言語を選びます。

●「オート」は、「音声言語」の言語で音声が再生されなかったときのみ、その言語で字幕を表示します。

メニュー言語^{*2}

【日本語】

テレビ画面に表示される言語を選びます。

AVCHD 優先モード

【切】

[BD-RE] [BD-R] [RAM AVCREC] [-R AVCREC]

ハイビジョン画質の番組とハイビジョン動画（AVCHD）が混在したディスクで再生する動画を設定します。

●「入」はハイビジョン動画（AVCHD）を、「切」はハイビジョン画質の番組を再生します。

記録設定

ハイビジョン画質 / 持ち出し番組の記録設定

外部入力音声設定

【ステレオ】

外部入力から録画時の音声の種別を選びます。

二重音声記録時の音声選択

【主音声（L/R）】

二重音声（二カ国語）番組を録画やダビングする場合に記録する音声を設定します。

記録アスペクト設定

【オート】

480i の映像をハイビジョン画質で記録する場合のアスペクトを設定します。

DVD-Video 記録の設定 **[R V] [-RW V]**

二重音声記録時の音声選択

【主音声（L/R）】

二重音声（二カ国語）番組を記録する場合に記録する音声を設定します。

記録アスペクト設定

【オート】

記録時のアスペクトを設定します。

高速ダビング速度

【最高速モード】

高速モードでのダビング速度を設定します。

（高速記録対応ディスクの場合など）

ムーブバックエラー制御

【中断】

ムーブバック中にディスクの汚れや劣化によるエラーを検出したときの制御を設定します。

自動チャプター

【入】

デジタル放送録画時に CM などで自動的にチャプターを作成する設定をします。

●録画する番組や録画モードによっては、正しく作成されない場合があります。



必要なとき

※ 1 暗証番号入力画面が表示されたら、画面の指示に従って[1]～[10]で暗証番号を入力してください。暗証番号は共通です。

暗証番号は忘れないでください。

※ 2 「その他 * * * *」の場合、*には[1]～[10]で言語番号（→191）を入力してください。

選んだ言語がディスクがない場合は、ディスクの最優先言語で再生されます。ディスクに収録されているメニュー画面でのみ切り換えるものもあります。

本機の設定を変える（初期設定）（続き）

持ち出し番組の VGA 画質

「持ち出し方法」を「SD/USB 経由」、「持ち出し番組の画質」を「高画質（VGA）」に設定して作成する場合に、記録する画質（1.5 Mbps/1.0 Mbps）を変更します。

MP4 の取り込み設定

【変換取込】

MP4（4K 以外）の取り込み形式を選びます。

- ・「変換取込」は、本機のデータ形式に変換して取り込みます。
- ・「ファイル取込」すると、ネットワーク接続したファイル共有機能対応機器でも見ることができます。（→159）

MP4 取り込み画質

【高画質モード】

本機に MP4（4K 以外）を取り込むときの画質を設定します。

- ・「MP4 の取り込み設定」（→上記）が「変換取込」時のみ有効。

アルバムの作成画質

【高画質モード】

おまかせクリップと動くアルバムの記録画質を設定します。

再放送の録画

【録画しない】

「おまかせ録画」（→54）や「カテゴリーまとめて予約」（→58）で一度録画した番組の再放送を録画するかどうかを設定します。

HDD 番組の視聴制限^{※1}

【無制限】

年齢制限の記録されている番組の視聴制限を設定できます。（年齢制限が視聴制限以上の番組は録画一覧で表示されなくなります）

HDD 設定

HDD 管理

全番組消去

番組をすべて消去します。

写真一覧の全写真消去

HDD 内の「写真一覧」（→126）に表示されている写真をすべて消去します。

[ファイル共有領域（→159）に保存した写真は消去されません]

取り込み動画ファイル全消去

本機で「ファイル取込」した MP4 をすべて消去します。（録画一覧にある撮影ビデオは消去されません）

ユーザ共有フォルダの全消去

ファイル共有機能（→159）でパソコンから本機に保存したファイルをすべて消去します。

HDD のフォーマット

HDD の初期化を行います。

USB-HDD 設定

USB-HDD の登録（→195）

別売の USB-HDD を登録します。

USB-HDD の取り外し（→195）

別売の USB-HDD を本機から取り外す前に行います。

お願い

この操作を行わずに USB-HDD を取り外した場合、記録内容を損失するおそれがあります。取り外す前に必ず行ってください。

USB-HDD 管理

録画用 USB-HDD のフォーマット

SeeQVault 対応のフォーマット（→196）

別売の USB-HDD の初期化を行います。

USB-HDD 登録の取り消し（→196）

登録されている USB-HDD の登録を取り消します。

すべての USB-HDD 登録の取り消し（→196）

登録されているすべての USB-HDD の登録を取り消します。

※ 1 暗証番号入力画面が表示されたら、画面の指示に従って[1]～[10]で暗証番号を入力してください。暗証番号は共通です。

暗証番号は忘れないでください。

映像設定

【】はお買い上げ時の設定です

スチルモード

【オート】

一時停止中の画像の表示方法が選べます。

- ・「フィールド」は、動きのある映像や「オート」時にぶれが生じるときに設定してください。
- ・「フレーム」は、「オート」時に細かい絵柄などが見えにくいときに設定してください。

シームレス再生

【入】

部分消去した部分などをなめらかに再生します。

- ・「切」にすると、精度よく再生しますが、画像が一瞬止まる場合があります。

音声設定

【】はお買い上げ時の設定です

音声のダイナミックレンジ圧縮

【切】

小音量でもセリフを聞き取りやすくします。

音声が Dolby® Digital、Dolby® Digital Plus、
Dolby® TrueHD のときのみ有効です。

- 「オート」は、Dolby® TrueHD のときにコンテンツ意図に従います。

デジタル出力

Dolby D/Dolby D +/Dolby TrueHD 【Bitstream】

DTS/DTS-HD 【Bitstream】

AAC 【Bitstream】

音声の出力方法を選びます。

- 出力される音声については、「デジタル出力される音声と接続・設定の関係」(→241)をご覧ください。
- 正しく設定しないと雑音が発生し、耳を傷めたり、スピーカーを破損するおそれがあります。

BD ビデオ副音声・操作音 (副音声を含む BD-V)

【入】

BD ビデオのメニュー画面などで使われる操作音の入／切を設定します。

PCM ダウンサンプリング変換

【切】

サンプリング周波数96 kHzで収録された音声を48 kHzに変換する（「入」）かしない（「切」）かを選びます。

- 96 kHzに非対応の機器に接続時は「入」を、対応した機器に接続時は「切」にしてください。
- 以下の場合、48 kHzに変換されます。
 - ・BD-V「BD ビデオ副音声・操作音」(→上記)：「入」
 - ・BD-V 192 kHz以上の信号
 - ・著作権保護処理がされているディスク

ダウンミックス

【ノーマル】

マルチサラウンド音声を再生するときにダウンミックスの方法を切り換えることができます。

- 「デジタル出力」(→左記) が「Bitstream」のときはダウンミックスの効果はありません。
- 2チャンネルからマルチ・チャンネル・サラウンドに変換する機能に対応した機器に接続時は、「ドルビーサラウンド」に設定してください。

●以下の場合は、「ノーマル」で出力されます。

・AVCHD 再生時

・BD-V 副音声や操作音を含んでの再生時

音声ディレイ

【0 ms】

映像と音声のズレを、音声出力を遅らせて調整します。

はっきり再生設定

はっきり再生 (→42、82) の設定をします。

はっきり効果の強さ

【弱】

はっきり効果の強さを設定します。

はっきり効果の常時設定

【切】

「入」にすると、[ゆっくり / はっきり] を押さなくても、常時はっきり効果が有効になります。

- 「デジタル出力」(→左記) が「PCM」になります。

画面設定

【】はお買い上げ時の設定です

画面表示動作 [オート]

【入】

操作の表示をテレビ画面に自動で表示します。

テレビ画面の焼き付き低減機能

【入】

通常は「入」に設定しておくことをお勧めします。「入」に設定すると、以下のような動作を行います。

- 10分以上操作を行わないと、テレビの焼き付きを低減するために、自動的に画面を切り替えます。
- 黒帯部分を明るくします。

[「HDMI出力解像度」(→183) が「480p」以外のとき]

本体表示窓の明るさ

【常時 明】

本体表示窓の明るさを調節します。

- 電源「切」時の時刻表示は、「クイックスタート」、「クイックスタートモード」の設定に従って点灯・消灯します。(→178)



必要なとき

本機の設定を変える（初期設定）（続き）

テレビ / 機器 / ビエラリンクの接続設定

【】はお買い上げ時の設定です

3D 設定

3D 方式設定

【フルHD】

接続しているテレビの方式に設定します。

- 「サイドバイサイド」の場合、テレビ側でも 3D の設定を切り換えてください。

3D 番組の出力方法

【3D】

3D 番組を 2D 再生します。

3D 再生時の注意表示

【入】

3D 映像再生時に、3D 視聴の注意画面を表示するかどうかを設定します。

ビエラリンク設定

ビエラリンク制御

【入】

ビエラリンク（HDMI）に対応した機器と HDMI 端子で接続時、連動操作の設定をします。

ビエラリンク録画待機

【切】

ビエラの電源が「入」のときに、本機がすぐに録画できる状態に設定します。

- 「入」にすると、「クイックスタート」（→178）は自動的に「入」になります。

オートサウンド連携

【入】

ビエラリンク（HDMI）Ver. 3 以降に対応したビエラとアンプと接続時、自動的に適したサウンドに切り替えます。

ECO スタンバイ

【入】

ビエラリンク（HDMI）Ver. 4 以降に対応したビエラと接続時、ビエラの電源「切」に連動して、本機の電源「切」時の消費電力を少なくします。

- 「入」に設定すると、ビエラの電源「切」時に、「クイックスタート」（→178）が「切（時計表示無し）」のときと同じように動作します。

ビエラの電源「入」時には、上記の設定は実際の設定どおりに動作します。

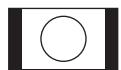
TV アスペクト

【16:9】

アスペクト比が 4:3 の映像の表示方法を設定します。

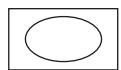
16:9 : ワイドテレビに接続しているとき

4:3 の映像は、左右に
黒帯を付加して表示



16:9 フル: ワイドテレビに接続していて、左右の黒帯をなくして表示したいとき

4:3 の映像は、画面いつ
ぱいに拡大して表示



HDMI 接続

HDMI 出力解像度

【オート】

接続した機器が対応している項目に「*」が表示されます。「*」の付いていない項目を選ぶと、映像が乱れことがあります。映像が乱れた場合は、以下の操作をしてください。

- ① **【決定】** と **【青】** と **【黄】** を同時に 5 秒以上押す
・本体表示窓に “00 RET” が表示されます。
 - ② 本体表示窓に “04 PRG” が表示されるまで **[▶]**を数回押す
 - ③ **【決定】** を 3 秒以上押す
・「480p」に設定されます。再度正しく設定してください。
- 4K 対応テレビと接続する場合は、「オート」を選択してください。
 - 「720p」の場合、720p の映像以外は、1080i で出力されます。

24p 出力 [BD-V] [AVCHD]

【切】

映画など 24p で記録された素材を再生時に、自動で 24p 出力します。

- 4K/24p 対応テレビと接続している場合
「HDMI 出力解像度」(→上記) を「オート」に設定時に 4K/24p で出力されます。
- 1080/24p 対応のテレビと接続している場合
「HDMI 出力解像度」(→上記) を「オート」または「1080i」、「1080p」に設定時に 1080/24p で出力されます。

24p 以外で記録された素材は 60i または 60p で出力されます。

HDMI カラースペース

【YCbCr (MGVC オート)】

HDMI 端子で接続時、映像信号のカラースペース変換方法を選びます。

HDMI 音声出力

【入】

- デジタル音声端子でアンプなどに接続しているときのみ、「切」にしてください。

Deep Color 出力

【オート】

Deep Color 対応テレビと接続時に設定します。

7.1ch 音声リマッピング [BD-V]

【オート】

接続する機器が 7.1 チャンネル・サラウンドに対応している場合、6.1 チャンネル以下の LPCM サラウンド音声を自動的に 7.1 チャンネルに拡張して再生します。

- 「切」にすると、オリジナルのチャンネル数で再生します。(6.1 チャンネルの場合は 5.1 チャンネルで再生します)

コンテンツタイプフラグ

【オート】

接続したテレビがこの設定に対応している場合、再生する内容によってテレビが最適な方法に調整し出力します。

i.LINK 機器モード設定

【TS モード 1】

i.LINK (TS) 端子に接続した機器に合わせて設定します。

- 「TS モード 2」にすると、「クイックスタート」(→178) は自動的に「入」になります。



必要なとき

本機の設定を変える（初期設定）（続き）

かんたんネットワーク設定

かんたんネットワーク設定（→223）

ネットワーク通信設定【】はお買い上げ時の設定です

通常は「LAN接続形態」「無線／無線親機設定」「IPアドレス/DNS/プロキシサーバー設定」の設定は不要です。

「かんたんネットワーク設定」（→上記）を行ってもネットワークにつながらない場合に設定してください。

●不明な場合、設置された方に確認するか、ルーターなどの説明書をご覧ください。

LAN接続形態【有線】

ネットワーク接続の方法を選びます。

●「無線親機（シンプルWi-Fi）」にすると、本機をアクセスポイントに設定することができます。

無線／無線親機設定

無線接続時の設定をします。また接続済みの場合は、設定内容や電波の状態を確認することができます。

●「LAN接続形態」（→上記）が「無線」または「無線親機（シンプルWi-Fi）」時のみ有効

WPS（プッシュボタン）方式

WPS（PINコード）方式

無線ネットワーク検索

手動設定

無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）との接続を行います。

●「LAN接続形態」（→上記）が「無線」時のみ有効

WPS方式での子機接続

無線子機を追加で登録することができます。（最大8台まで）

●「LAN接続形態」（→上記）が「無線親機（シンプルWi-Fi）」時のみ有効

設定変更

●「LAN接続形態」（→左記）が「無線親機（シンプルWi-Fi）」時のみ有効

ネットワーク名（SSID）

暗号化キー

無線方式

接続する子機が802.11n/aに対応している場合は、無線方式は802.11n/a（5GHz）を選択することをお勧めします。ただし、無線子機が対応していない場合は接続できない場合があります。詳しくは無線子機の取扱説明書をご覧ください。

倍速モード

【通常モード（20MHz）】

無線方式が5GHzの場合、通信速度を設定します。

●「無線方式」（→上記）が「802.11n/a(5GHz)」時のみ有効。

●「倍速モード（40MHz）」で通信を行うと、2チャンネル分の周波数帯域で高速に通信します。ただし、電波干渉が起こりやすくなるおそれがあります。そのため、通信速度が低下したり、通信が不安定になったりする場合があります。

無線チャンネル

他機器との電波干渉があるときに、無線チャンネルを変更してください。

設定リセット

本機が無線親機（シンプルWi-Fi）のときの設定をリセットします。

IP アドレス /DNS/ プロキシサーバー設定

接続テスト

ネットワークの接続状態を確認します。

- ネットワーク接続をしたあと、または「IP アドレス /DNS/ プロキシサーバー設定」の各設定を終えたあとに必ず行ってください。
- 「NG」が表示された場合、接続と設定を確認してください。
- 「宅内機器使用可」は、宅内のネットワーク接続機器が使用できる状態です。

IP アドレス自動取得

【入】

通常は「入」を選んでおいてください。

IP アドレス

サブネットマスク

ゲートウェイアドレス

ルーターに DHCP^{*}サーバー機能がない場合、ルーターの DHCP サーバー機能を「有効」にしていないときのみ設定してください。

- 「IP アドレス自動取得」(→上記) を「切」にしたあと設定します。
- パソコンを確認して、「IP アドレス」にはパソコンと違った値を、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」にはパソコンと同じ値をそれぞれ入力してください。

* サーバーやブロードバンドルーターが、IP アドレスなどを本機に自動的に割り当てる仕組みのことです。

DNS-IP 自動取得

【入】

通常は「入」を選んでおいてください。

プライマリ DNS

セカンダリ DNS

手動で「プライマリ DNS」、「セカンダリ DNS」を設定する必要がある場合のみ設定してください。

- 「DNS-IP 自動取得」(→上記) を「切」にしたあと設定します。
- パソコンを確認して、「プライマリ DNS」にはパソコンの「優先 DNS サーバー」の値を、「セカンダリ DNS」にはパソコンの「代替 DNS サーバー」の値をそれぞれ入力してください。

プロキシサーバー設定

ブロードバンド環境でお使いになり、プロバイダーから指示があるときに設定してください。

- プロキシサーバーを設定すると、アクティラのサービスが利用できなくなります。

標準に戻す

プロキシアドレス

プロキシポート番号

【0】

接続テスト

宅外リモート接続設定 (→189)

宅外リモート接続機能

【切】

- 「入」にすると、「クリックスタート」(→178) と「お部屋ジャンプリンク機能」(→186) は自動的に「入」になります。

機器パスワード初期化

機器 ID 確認



必要なとき

本機の設定を変える（初期設定）（続き）

お部屋ジャンプリンク（DLNA）/スカパー！Link（録画）設定（→188）

お部屋ジャンプリンク機能 [切]

- 「入」にすると、「クイックスタート」（→178）は自動的に「入」になります。
- 「切」にすると、「宅外リモート接続機能」（→185）は自動的に「切」になります。

本機の名称

アクセス許可方法 [自動]

レート変換モード [切]

画質モード [5倍録画質]

- 「レート変換モード」（→上記）が「オート」または「入」時のみ有効。

機器一覧

家じゅう録画一覧設定

家じゅうラベルの表示 [切]

- 「入」にすると、録画一覧に「家じゅう」ラベルを表示し、接続機器の録画番組の情報をHDDに書き込みます。（HDDが容量不足の場合、「入」にはできません）

自動更新 [入]

- 「入」にすると、録画一覧の「家じゅう」ラベルの情報を自動で更新します。
(更新は1日に1回程度、電源「切」時に行います)

接続する機器一覧

- 「家じゅう」ラベルで番組情報を表示する機器を設定します。

録画番組の情報を消去

- 「家じゅう」ラベルに表示されている録画番組の情報や接続する機器一覧の情報を消去します。

ドアホン・センサーハンマの接続設定（→190）

ドアホン・センサーハンマ接続 [切]

- 「入」にすると、「クイックスタート」（→178）は自動的に「入」になります。

ドアホン録画

センサーハンマ録画

機器一覧

ディモーラ / ミモーラサービス設定

（おとどけ動画設定）

ディモーラやミモーラの機器登録を解除します。

ファイル共有サーバー設定

ファイル共有サーバー機能 [切]

- 「入」にすると、ネットワーク接続したパソコンを操作して、MP4や写真などのファイルを本機のHDDに保存することができます。
- 「入」にすると、「クイックスタート」（→178）は自動的に「入」になります。

パスワード設定

- ネットワーク接続したパソコンなどから本機にアクセスするときのパスワードを設定します。

ファイル共有サーバーの名称

- 接続したパソコンなどの機器に表示する本機の名前を設定します。

音楽ファイルダウンロード設定

e-onkyo musicで購入した音楽ファイルを本機のHDDに自動的にダウンロードすることができます。

音楽ファイルダウンロード機能 [切]

デバイス認証キー設定

ダウンロード（手動更新）

音楽ファイルダウンロード履歴

MAC アドレス

家庭内ネットワークで接続されている機器を特定するための番号です。

表示される番号は、「LAN接続形態」（→184）の設定によって、以下のようになります。

- 「有線」：背面のLAN端子に割り当てられた番号
- 「無線」：内蔵の無線LANに割り当てられた番号

リモコン設定をする

リモコンを使うと他機器が同時に動作するのを防ぐ

リモコンモード

本機の近くに当社製ブルーレイディスクレコーダーなどがあるとき、リモコンで再生などの操作をすると、本機以外の機器にも影響してしまうことがあります。このときは、リモコンモードを変えてください。

1 [スタート] を押す

2 「初期設定」を選び、**決定** を押す

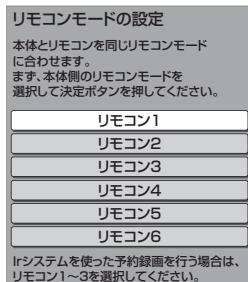
- 表示がない場合は [<◀◀>] [<▶▶>] でページを切り換えてください。

3 「設置設定」を選び、**決定** を押す

4 「リモコン設定」を選び、**決定** を押す

5 「リモコンモード」を選び、**決定** を押す

6 「リモコン 1」～「リモコン 6」のいずれかを選び、**決定** を押す



リモコン側のモードを設定する

7 1 [あ～] ～ 6 [は] のいずれかを押しながら、**決定** を3秒以上押したままにする

リモコンモードの設定

本体側のリモコンモード：リモコン○

次に、リモコン側の設定を行います。

- リモコンの決定ボタンと数字ボタン○を同時に3秒以上押してください。
リモコン側の設定が完了します。
- 続いて、リモコンを本体に向けて、画面表示が切り換わるまで決定ボタンを3秒以上押してください。

8 リモコンを本体に向けて、**決定** を3秒以上押す

- 本機側とリモコン側のリモコンモードの設定が完了します。

9 **決定** を押す

- リモコンモードの設定を終了します。

お知らせ

- セットトップボックスなどのIrシステム（→208）を利用する場合は、Irシステムのリモコン種別を本機のリモコンモードに合わせてください。また、本機のリモコンモードは「リモコン1」～「リモコン3」のいずれかをお使いください。詳しくは、セットトップボックスなどの説明書をご覧ください。
- リモコン下部に「IR6」の表示があるリモコンの場合、「リモコン4」～「リモコン6」で操作できます。

本機のリモコンでテレビを操作する

リモコンのテレビ操作設定

テレビに合った番号を設定すると、リモコンの【テレビ電源】、【テレビ入力切換】、【音量 +, -】でテレビを操作できます。

また、【テレビ操作】を押してボタンを点灯させると、他のボタンでもテレビを操作できるようになります。



左記手順4のあと

5 「リモコンのテレビ操作設定」を選び、**決定** を押す（→221、手順2へ）

必要なとき

本機の設定を変える（初期設定）（続き）

ネットワーク連携する機器の設定をする

DLNA 対応の機器 / CATV セットトップボックス / スカパー！プレミアムサービス対応チューナー / ビエラなどと接続する

お部屋ジャンプリンク(DLNA) /
スカパー！Link(録画)設定

1 [スタート] を押す

2 「ネットワーク設定」を選び、[決定] を押す

- 表示がない場合は [<◀◀>] [<▶▶>] でページを切り換えてください。

3 「ネットワーク通信設定」を選び、[決定] を押す

4 「お部屋ジャンプリンク (DLNA) /
スカパー！Link (録画) 設定」を選び、
[決定] を押す

5 「お部屋ジャンプリンク機能」を選び、
[決定] を押す

6 「入」を選び、[決定] を押す

- レート変換モードの設定画面が表示される場合があります。（→右記）
- 「クイックスタート」（→178）が「入」になり、待機時の消費電力が増えます。
- 無線接続で無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）との通信が暗号化されていない場合、「入」に設定できません。

7 「アクセス許可方法」を選び、[決定] を押す

8 「手動」または「自動」を選び、[決定] を押す

- 「自動」の場合、本機にアクセスのあった機器をすべてアクセス許可します。（「手動」から「自動」に変更する場合、メッセージが表示されます。メッセージを確認したあと、「はい」を選んで [決定] を押してください。）
- 「手動」の場合（→右記手順 9 へ）

左記手順 8 で「手動」を選んだ場合

9 「機器一覧」を選び、[決定] を押す

10 アクセスを許可したい機器の機器名または MAC アドレスを選び、[決定] を押す

11 「アクセス許可」を選び、[決定] を押す

- 最大 16 台まで登録できます。

☞ 登録している機器のアクセス許可を取り消すには（「アクセス許可方法」が「手動」の場合のみ）

- 手順 10 で、取り消したい機器の機器名または MAC アドレスを選び、[決定] を押す
 - 「アクセス許可取消」を選び、[決定] を押す
- 「自動」の場合、機器ごとにアクセス許可を取り消すことはできません。手順 8 で「手動」を選んだあと、上記手順で機器ごとに取り消し操作を行ってください。

☞ 「レート変換モード」を変更するには

- 映像が途切れたり停止するのを改善するには、「オート」または「入」に設定してください。
- 手順 4 のあと「レート変換モード」を選び、[決定] を押す
 - 「オート」「入」または「切」を選び、[決定] を押す

☞ 接続した機器側で表示される本機の名前を変更するには

- 手順 4 のあと「本機の名称」を選び、[決定] を押す
- 項目を選び、[決定] を押す
 - 一覧から選んで変更：あらかじめ登録されている名前から選びます。
 - 文字入力して変更：文字入力画面から入力します。（→167）

☞ お部屋ジャンプリンク機能を使用しないときは

- 手順 6 で「切」を選ぶ
•登録している機器からの操作はできなくなります。

お知らせ

- スカパー！プレミアムサービス対応チューナーや CATV セットトップボックスから録画または予約録画をする場合や、ビエラなどからダビングまたは他のディーガからお引越しダビングをする場合、その機器をアクセス許可の状態にしてください。
機器側の設定は、各機器の取扱説明書をご覧になって行ってください。

スマートフォン、携帯電話、パソコンと接続する 宅外リモート接続設定

外出先から、スマートフォンやタブレットで番組を視聴したり、パソコンなどで録画予約などの操作をご利用になるには、対応サービスへの加入が必要です。詳しくは、下記ホームページをご覧ください。

当社ホームページ

外からどこでもスマホで視聴：

http://panasonic.jp/support/av/m_access/

ディモーラ：<http://dimora.jp/>

ミモーラ：<http://me-mora.jp/>

株式会社インタラクティブ・プログラム・ガイド

パソコンの場合 <http://ipg.jp/ra>

携帯電話の場合 <http://ipg.jp/k>

☞「接続されていません」が表示されているとき
ネットワークの接続（➡214～216）、「IPアドレス/DNS/プロキシサーバー設定」（➡185）を確認してください。

☞ 機器パスワードを初期化するには

① 手順4のあと「機器パスワード初期化」を選び、

[決定] を押す

② 「する」を選び、[決定] を押す

1 [スタート] を押す

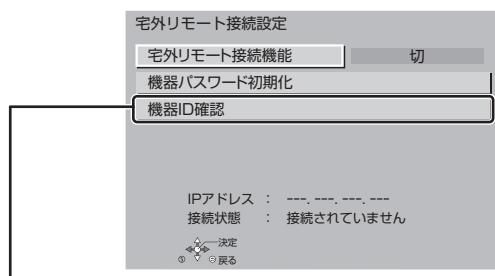
2 「ネットワーク設定」を選び、[決定] を押す

- 表示がない場合は[◀◀][▶▶]でページを切り換えてください。

3 「ネットワーク通信設定」を選び、[決定] を押す

4 「宅外リモート接続設定」を選び、[決定] を押す

5 「宅外リモート接続機能」を選び、[決定] を押す



機器ID：

宅外リモート接続機能を使ってインターネット経由でパソコンや携帯電話から操作するとき、機器を特定するための番号です。

6 「入」を選び、[決定] を押す

お知らせ

- 外出先から番組を視聴する場合、本機が3番組を録画中は放送番組の視聴はできません。
- 外出先から番組を視聴する場合、2台同時に視聴することはできません。

?

必要なとき

本機の設定を変える（初期設定）（続き）

ドアホン・センサーハンマと接続する

ドアホン・センサーハンマの接続設定

ドアホンやセンサーハンマの映像を、本機で録画するための設定です。

手順 4 から 8 の間で登録する機器を登録モードにしてください。機器によって登録モードにする方法は異なりますので、必ず登録する機器の取扱説明書をご覧ください。

1 [スタート] を押す

2 「ネットワーク設定」を選び、[決定] を押す

- 表示がない場合は [<◀◀][▶▶>] でページを切り換えてください。

3 「ネットワーク通信設定」を選び、[決定] を押す

4 「ドアホン・センサーハンマの接続設定」を選び、[決定] を押す

5 「ドアホン・センサーハンマ接続」を選び、 [決定] を押す

6 「入」を選び、[決定] を押す

- 「ドアホン・センサーハンマ接続」の設定を「入」にすると、HDD にドアホンやセンサーハンマの映像を録画するための領域が確保されます。一度「入」にすると、「HDD のフォーマット」(→180) をしないかぎり、「切」にしても、HDD の領域は確保されたままです。
- メッセージを確認したら、[戻る] を押してください。

7 「〈新規登録〉」を選び、[決定] を押す

8 「する」を選び、[決定] を押す

- 登録が正しく完了したら “登録が完了しました。” と表示され、本体表示窓に “” が点灯します。
- ドアホンやセンサーハンマは最大5台まで登録できます。

☞ 「ドアホン・センサーハンマ接続」からの録画を解除するには

手順 6 で「切」を選ぶ

- 手順 4 のあと「ドアホン録画」または「センサーハンマ録画」を選び、「しない」を選ぶと、ドアホン単位またはセンサーハンマ単位で設定を解除できます。

☞ 登録機器の詳細情報を確認するには

手順 4 のあと「機器一覧」から情報を知りたい機器を選び、[決定] を押す

- 「機器のページ」では、登録している機器の設定画面が表示されます。

詳しい操作方法は各機器の取扱説明書をご覧ください。

☞ 機器の登録を削除するには

- 手順 4 のあと「機器一覧」から削除したい機器を選び、[決定] を押す
- 「登録削除」を選び、[決定] を押す
- 「する」を選び、[決定] を押す

☞ 機器の登録ができない場合は

- 本機と各機器の接続を確認し、登録したい機器を再起動してから、再度設定を行ってください。
- 本機の電源を入れた直後に操作をすると、登録できない場合があります。その場合は、約 3 分待って、操作を行ってください。(登録する機器が登録モードになったのを確認してから手順 8 を行ってください)
- ネットワークの接続や設定が正しく行われていても登録ができない場合は、DIGA（ディーガ）ご相談窓口 (→ 裏表紙) までお問い合わせください。

ソフトウェアの更新について

本機は以下の方法でソフトウェアの更新を行うことができます。

オンエアーダウンロード

電源「切」の状態で、デジタル放送から送られてくる情報を本機に取り込むことにより、自動的に本機のソフトウェアを最新のものに書き換えます。

- お買い上げ時は、本機が更新を自動で行う設定になっています。(→172 「ソフトウェア更新設定」)

ネットワークからのダウンロード

本機をネットワーク接続している場合、インターネットを利用して、本機のソフトウェアが最新かどうかの確認や、ソフトウェアの更新をすることができます。

[→178 「ソフトウェア更新（ネットワーク）」]

ソフトウェアのダウンロード実行中は、本体表示窓が以下のように表示します。

- 例) オンエアーダウンロードによる
更新の実行中



- 例) ネットワークからのダウンロードによる
更新の実行中



- “1/5”などは進行状況です。
- “5/5”まで表示したあと表示が消えるまで、本機を操作できません。

お知らせ

- ダウンロードの実行中は、故障の原因になりますので、絶対に電源コードを抜かないでください。
- オンエアーダウンロードには、地上デジタル放送またはBSデジタル放送の受信環境が必要です。

言語番号一覧

「再生設定（再生専用ディスク）」の言語選択時に使用します。(→179)

アイスランド	7383	オランダ	7876	ジャワ	7487	ドイツ	6869	ベンガル
アイマラ	6589	カザフ	7575	スウェーデン	8386	ナウル	7865	(バングラ)
アイルランド	7165	カシミール	7583	スペイン	6983	日本語	7465	ペルシャ
アゼルバイジャン	6590	カタロニア	6765	スロバキア	8375	ネパール	7869	ポーランド
アッサム	6583	ガリチア	7176	スロベニア	8376	ノルウェー	7879	ポルトガル
アファル	6565	韓国（朝鮮）語	7579	スワヒリ	8387	ハウサ	7265	マオリ
アフリカーンス	6570	カンナダ	7578	スンダ	8385	ハンガリー	7285	マケドニア
アブハジア	6566	カンボジア	7577	ズールー	9085	バシキール	6665	マダガスカル
アムハラ	6577	キルギス	7589	セルビア	8382	バスク	6985	マライ
アラビア	6582	ギリシャ	6976	セルボクロアチア	8372	バシュト	8083	(マレー)
アルバニア	8381	クルド	7585	ソマリ	8379	パンジャブ	8065	マラッタ
アルメニア	7289	クロアチア	7282	タイ	8472	ヒンディー	7273	マラヤーラム
イタリア	7384	グラナーニ	7178	タガログ	8476	ビハール	6672	マルタ
イディッシュ	7473	グジャラト	7185	タジク	8471	ビルマ	7789	モルダビア
インターリングア	7365	グリーンランド	7576	タタール	8484	フィジー	7074	モンゴル
インドネシア	7378	グルジア	7565	タミル	8465	フィンランド	7073	ヨルバ
ウェールズ	6789	ケチュア	8185	チェコ	6783	フェロー	7079	ラオ
ウォロフ	8779	ゲール		チベット	6679	フランス	7082	ラテン
ウクライナ	8575	(スコットランド)	7168	中国語	9072	フリジア	7089	ラトビア
ウズベク	8590	コーヌ	8872	ティグリニア	8473	ブータン	6890	(レット)
ワルドゥー	8582	コルシカ	6779	テルグ	8469	ブルガリア	6671	リトアニア
ヴォラピュック	8679	サモア	8377	デンマーク	6865	ブルターニュ	6682	リンガラ
英語	6978	サンスクリット	8365	トワイ	8487	ヘブライ	7387	ルーマニア
エストニア	6984	ショナ	8378	トルクメン	8475	ベトナム	8673	レトロマンス
エスペラント	6979	シンド	8368	トルコ	8482	ペロルシア		ロシア
オーリヤ	7982	シンハラ	8373	トンガ	8479	(白ロシア)	6669	

必要なとき

再生のみできるディスク / 使えないディスクについて

再生のみできるディスク

BD ビデオ



映画や音楽などの市販ソフト

- 本機では右記のマーク（リージョンコード）が表示されたディスクを再生できます。

「A」または「A」を含むもの

例)



- リージョンコードは国により違います。

DVD ビデオ



映画や音楽などの市販ソフト

- 本機では右記のマーク（リージョン番号）が表示されたディスクを再生できます。

ただし、PAL方式のディスクは再生できません。

「2」（または「2」を含むもの）、「ALL」が表示されたもの

例)



- 番号は国により違います。

CD



音楽や音声が記録された市販ソフト

（CD-DA 形式で記録した CD-R や CD-RW を含む）

写真が記録された CD-R や CD-RW （JPEG フォーマット記録ディスク）

+R

他機器で番組やハイビジョン動画（AVCHD）、写真（JPEG）を記録したディスク

+R DL（片面2層）

- 録画した機器でファイナライズを行ったディスクのみ再生できます。

+RW

- 編集や追記はできません。再生や HDD への取り込みのみ可能です。

DVD-RAM

他機器でハイビジョン動画（AVCHD）を記録したディスク

DVD-R

- 編集や追記はできません。再生や HDD への取り込みのみ可能です。

DVD-RW

-R -RW 写真（JPEG）を記録したディスク

- 記録状態によって再生できない場合があります。

●CD-DA 規格に準拠していない CD（コピーコントロール CD など）は、動作および音質の保証はできません。

●8 cm ディスクに記録や編集はできません。再生や HDD へのダビングのみ可能です。

●本機では、「RAM 2」マークの付いた DVD-RAM ディスク（6X 以上の高速記録対応）の記録や編集はできません。再生や HDD へのダビングのみ可能です。

本機で使えないディスク

- カートリッジから取り出せない DVD-RAM (TYPE1)
- 2.6 GB/5.2 GB DVD-RAM
- 本機以外の機器で記録し、ファイナライズされていない DVD-R (ビデオ方式)、DVD-R DL (ビデオ方式)、DVD-RW (ビデオ方式)
- HD DVD
- ビデオ CD
- SACD
- SVCD
- DVD オーディオ
- Photo-CD
- パソコンやゲームのソフト など

SD カードについて

本機で使えるカード

- SD メモリーカード (8 MB ~ 2 GB)
(miniSD メモリーカード、microSD メモリーカードを含む)
- SDHC メモリーカード (4 GB ~ 32 GB)
(microSDHC メモリーカードを含む)
- SDXC メモリーカード (48 GB、64 GB、128 GB)
(microSDXC メモリーカードを含む)



カードを廃棄 / 譲渡するときのお願い

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、カード内のデータは完全には消去されません。廃棄 / 譲渡の際は、カード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。カード内のデータはお客様の責任において管理してください。

誤消去防止のために

カードにあるスイッチを「LOCK」側にすると、カードの内容を誤って消去することを防げます。



- 本書では上記カードのことを「SD カード」と記載しています。
- mini タイプ、micro タイプの SD カードは、必ず専用のアダプターを装着してご使用ください。
- SD カードを他機でフォーマットすると、記録に時間がかかるようになる場合があります。また、パソコンでフォーマットすると本機では使用できない場合があります。このようなときは本機でフォーマットしてください。(→163)
- SDHC メモリーカードと SDXC メモリーカードはそれぞれのカードに対応した機器で使用できます。(SDHC メモリーカードは SDXC メモリーカード対応機器でも使用できます)
非対応のパソコンや機器で使用すると、カードがフォーマットされるなど記録内容が消去されてしまう場合があります。

本機で利用できる操作

本機では、以下のことができます。

- 動画 (AVCHD、MP4) の取り込み
(→120 ~ 123) や再生 (→74)
- 録画した番組の持ち出し (→143)
- 写真の再生 (→125) や取り込み (→129)

お知らせ

- パソコンを使ってコピーや編集をした動画の再生や取り込みは、本機では保証しておりません。

?

必要なとき

別売の USB ハードディスク (USB-HDD) について

本機は、USB-HDD を接続し、番組を USB-HDD に録画することができます。

- USB-HDD に予約録画する場合は、録画用フォーマットにして使用してください。(→195)
- USB3.0対応のUSB-HDDを使用すると、USB-HDD に複数の番組を同時に録画することができます。
(USB3.0 非対応の場合は、複数番組の同時録画はできません)
- USB-HDD の説明書もよくお読みください。

SeeQVault 対応の USB-HDD を使用すると

本機では、SeeQVault フォーマットにして使用することもできます。(→196)

- 予約録画はできませんが、番組や撮影ビデオ、写真をダビングすることができます。
- 他の SeeQVault 対応ディーガで再生やダビングをすることができます。(録画用フォーマットの USB-HDD は、他のディーガで使用できません)

ディーガ以外の機器で記録した
SeeQVault 対応の USB-HDD の動作確認情報は以下のホームページで
ご確認ください。

<http://panasonic.jp/support/bd/>



USB-HDD に記録できるコンテンツについて

コンテンツ	録画用 フォーマット	SeeQVault フォーマット
番組	○	○*
撮影ビデオ	×	○
写真	×	○

* 予約録画はできません。ダビングでの記録のみ可能です。ただし、コピー制限のある番組をダビングした場合は、USB-HDD の番組のダビング残り可能回数は 1 回になります。

- ・「部分消去」「番組結合」「番組分割」「サムネイル変更」「録画モード変換」、まとめ番組やチャプターの編集はできません。
- ・保存している番組数が多い場合、本機の電源を入れてから最大数分の間、SeeQVault フォーマットした USB-HDD へのダビング、消去、編集など再生以外の操作ができないことがあります。

推奨 USB-HDD について

録画や再生に適した、推奨 USB-HDD をご使用ください。
推奨 USB-HDD の最新情報については、以下のホームページでご確認ください。

<http://panasonic.jp/support/bd/>

- USB-HDD に不具合が起きた場合は、お買い上げのメーカーにお問い合わせください。

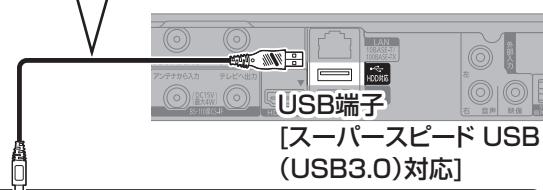
接続する

USB-HDD の接続は、本体の電源「切」時に行ってください。

- USB-HDD は、本機背面のスーパースピード USB (USB3.0) 対応の端子に接続してください。(他の端子に接続すると、録画できません)

USB 接続ケーブル

USB-HDD に付属の USB ケーブルをご使用ください。

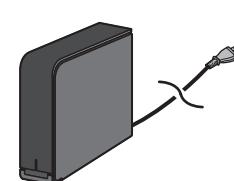


バスパワー方式



電源コード
接続不要

電源供給方式

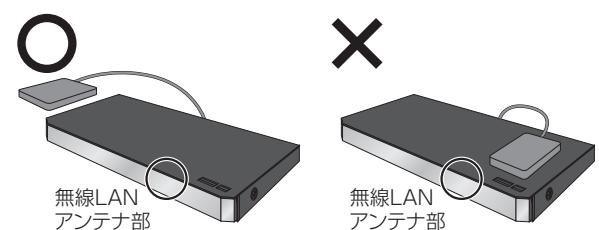


電源供給方式の USB-HDD の場合、
本機で使用中は電源を切ったり、
電源コードを抜いたりしないでください。

- USB ハブを使用して接続しないでください。

お知らせ

- USB3.0対応のUSB-HDDを使用すると、2.4 GHz帯への電波干渉によって通信速度が低下したり、通信が不安定になることがあります。そのため、お部屋ジャンプリンクやインターネット接続が不安定になる場合があります。以下のように設置してください。
 - ・無線 LAN をご使用の場合は、802.11 n (2.4 GHz/5 GHz 同時使用可) の無線ブロードバンドルーターで接続し、5 GHz で使用する
 - ・ご使用の無線ブロードバンドルーターが 2.4 GHz のみの場合
 - USB-HDD は本機の上には置かない
 - USB-HDD は本機右前にある無線 LAN アンテナ部からできるだけ離して設置する



取り外しについて

以下の手順を行ってから取り外してください。この操作を行わずに取り外した場合、記録内容を損失したり、予約録画が実行されないおそれがあります。

① **スタート** を押す

② 「初期設定」を選び、**決定** を押す

- 表示がない場合は [**◀◀**][**▶▶**] でページを切り換えてください。

③ 「HDD/ディスク/USB-HDD 設定」を選び、**決定** を押す

④ 「USB-HDD 設定」を選び、**決定** を押す

⑤ 「USB-HDD の取り外し」を選び、**決定** を押す

⑥ 「実行」を選び、**決定** を押す

⑦ USB-HDD を取り外す

5 「USB-HDD の登録」を選び、**決定** を押す

6 「登録」を選び、**決定** を押す

7 **決定** を押す

お知らせ

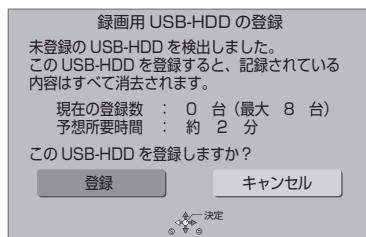
- 本機以外で使用した USB-HDD を本機に登録する場合、USB-HDD に記録されている内容はすべて消去されます。消去された内容は、元に戻せません。
- 登録番号は録画一覧で確認することができます。
- 本機ではセクタサイズが 512 B または 4 KB(4096 B)以外の USB-HDD は使用できません。

録画用フォーマットで使用する

本機で USB-HDD の登録をする必要があります。登録できるのは 8 台ですが、複数台の USB-HDD を同時に接続して使用することはできません。

•接続時に USB-HDD の登録画面が表示された場合は、手順 6 に進んでください。

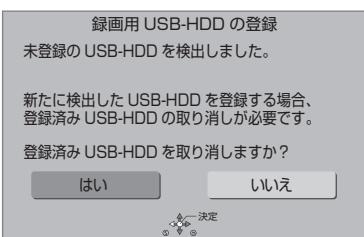
例)



9 台目の USB-HDD を接続したとき

9 台目の USB-HDD を登録するには、すでに登録済みの USB-HDD を取り消す必要があります。
9 台目の USB-HDD を接続し、本機の電源を入れると、USB-HDD の登録画面が表示されます。

例)



1 **スタート** を押す

2 「初期設定」を選び、**決定** を押す

- 表示がない場合は [**◀◀**][**▶▶**] でページを切り換えてください。

3 「HDD/ディスク/USB-HDD 設定」を選び、**決定** を押す

4 「USB-HDD 設定」を選び、**決定** を押す

1 「はい」を選び、**決定** を押す

2 取り消しを行う USB-HDD の登録番号を選び、**決定** を押す

3 「実行」を選び、**決定** を押す

4 「登録」を選び、**決定** を押す

5 **決定** を押す

?

必要なとき

別売の USB ハードディスク (USB-HDD) について (続き)

USB-HDD 登録を取り消す

本機に登録されている USB-HDD の登録を取り消します。

USB-HDD や本体を廃棄・譲渡する場合などに行ってください。

●USB-HDD 登録を 1 台ずつ取り消す場合は、登録を取り消したい USB-HDD を接続してから実行してください。

●すべての USB-HDD 登録を取り消す場合は、「USB-HDD の取り外し」(→195) を行ったあと、実行してください。

「録画用フォーマットで使用する」(→195)

手順 1 ~ 4 のあと

⑤ USB-HDD 登録を 1 台ずつ取り消す場合：

「USB-HDD 登録の取り消し」を選び、
決定 を 3 秒以上押す

すべての USB-HDD 登録を取り消す場合：

「すべての USB-HDD 登録の取り消し」を選び、
決定 を 3 秒以上押す

⑥ 「はい」を選び、決定 を押す

⑦ 「実行」を選び、決定 を押す

⑧ 決定 を押す

SeeQVault フォーマットで使用する

以下の操作は、SeeQVault 対応の USB-HDD 接続時のみ可能です。

●予約録画する場合は、「録画用フォーマットで使用する」(→195) で USB-HDD を登録してください。

1  を押す

2 「初期設定」を選び、決定 を押す

●表示がない場合は [◀◀] [▶▶] でページを切り換えてください。

3 「HDD/ディスク /USB-HDD 設定」を選び、
決定 を押す

4 「USB-HDD 設定」を選び、決定 を押す

5 「USB-HDD 管理」を選び、決定 を押す

6 「SeeQVault 対応のフォーマット」を選び、
決定 を押す

7 「はい」を選び、決定 を押す

8 「実行」を選び、決定 を押す

お知らせ

●登録を取り消した USB-HDD の内容は、再生できなくなります。

お知らせ

●本機ではセクタサイズが 512 B または 4 KB(4096 B)以外の USB-HDD は使用できません。

USB 機器について

接続できる USB 機器について

当社製のデジタルハイビジョンビデオカメラやデジタルカメラ、携帯電話などと接続することができます。動作確認済みの機器については、当社ホームページ（**→3**）をご覧ください。

- USB機器(USBメモリー、USBリーダー＆ライター、USB 電源を利用する機器など)によっては動作保証していないものがあります。故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。
- USB ハブおよび USB 延長ケーブルで接続した場合やUSB端子経由でパソコンと接続した場合の動作は保証しておりません。
- 接続に使う USB ケーブルは、接続する機器の付属品など、メーカー指定のケーブルをお使いください。

USB 機器を接続する



背面端子も同様に接続することができます。

接続した当社製機器に設定画面が表示される場合があります。接続した機器の取扱説明書に従って設定してください。（機器によっては、パソコンに接続するモードに設定する場合もあります）

- 接続・設定については、接続した機器の取扱説明書も参考にしてください。

本機で利用できる操作

本機では、以下のことができます。

- 動画 (AVCHD、MP4) の取り込み
(**→120～122**)
- 録画した番組の持ち出し (**→143**)
- 写真の再生 (**→125**) や取り込み (**→129**)

取り外しについて

本体表示窓の “” (**→23**) 点滅中は、認識や読み込み・書き込みを行っています。本体が正常に動作しなくなったり、記録内容が破壊されたりするおそれがありますので、点滅中に電源を切ったり、USB接続ケーブルを抜いたりしないでください。

?

必要なとき

取り扱いについて

録画内容の補償に関する免責事項について

何らかの不具合により、正常に録画・編集ができなかった場合の内容の補償、録画・編集した内容（データ）の損失、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。また、本機を修理した場合（HDD以外の修理を行った場合も）においても同様です。あらかじめご了承ください。

本機の温度上昇について

本機を使用中は温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。

本機の移動やお手入れなどをするときは、電源を切って電源コードを抜いてから3分以上待ってください。

- 本機の温度が気になる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

本機の移動などで電源プラグを抜くとき

- ① 電源を切る
(本体表示窓から“BYE”が消えるまで待つ)
- ② 電源プラグをコンセントから抜く
- ③ HDDの回転が完全に止まってから(3分程度待つてから)、振動や衝撃を与えないように動かす
(電源を切っても、HDDはしばらくの間は惰性で回転しています)

お手入れ

本体およびリモコン

本体をお手入れするときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、その後、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげることがありますので使用しないでください。
- 化学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従ってください。

録画 / 再生用レンズ

長期間使用すると、レンズにほこりなどが付着し、正常な録画・再生ができなくなることがあります。

使用環境や使用回数にもよりますが、約1年に一度、レンズクリーナー（RP-CL720A）でほこりなどの除去をお勧めします。使い方は、レンズクリーナーの説明書をご覧ください。

- クリーニング中に音がすることがありますが、故障ではありません。

本機を廃棄 / 譲渡するとき

本機にはお客様の操作に関する個人情報（メールやデータ放送のポイントなど）が記録されています。

廃棄や譲渡などで本機を手放される場合は、「ディモーラ／ミモーラサービス設定（おとどけ動画設定）」（→186）で機器登録を解除してから、「個人情報リセット」（→172）を実行し、記録された情報を必ず消去してください。

- 本機に記録される個人情報に関しては、お客様の責任で管理してください。
- 製品を廃棄する際は、各自治体の指示に従ってください。

本機を修理依頼するとき

HDDの初期化（録画内容の消去）に関するお願い

HDDは大変デリケートな部品です。細心の注意を払って修理を行いますが、修理過程においてやむをえず記録内容が失われたり、故障状態によってはHDDの初期化（出荷状態に戻すため、記録内容はすべて失われます）や交換が必要な場合があります。

HDDの初期化に同意できない場合は、その旨を修理をご依頼されるときにご連絡ください。（ただし、初期化しないと修理ができない場合があります）

USB-HDDに関するお願い

USB-HDDを録画用フォーマットでお使いになっていた場合、本機の修理過程においてUSB-HDDの登録が取り消される場合があります。

再度登録し直せばお使いいただけるようになりますが、記録内容はすべて失われます。このような場合、記録内容（データ）の修復などはできません。あらかじめご了承ください。

HDD (ハードディスク)・USB-HDD

振動・衝撃やほこりに弱い精密機器です

設置環境や取り扱いにより、部分的な損傷や、最悪の場合、録画や再生ができなくなる場合もあります。

特に動作中は振動や衝撃を与える、電源プラグを抜いたりしないでください。また、停電などにより、録画・再生中の内容が損なわれる可能性があります。

一時的な保管場所です

録画した内容の恒久的な保管場所ではありません。一度見るまで、または編集やダビングするまでの一時的な保管場所としてお使いください。

異常を感じたらすぐにダビング（バックアップ）を…

不具合箇所があると、録画時や再生時、ダビング時に継続した異音がしたり、映像にブロック状のノイズが発生することがあります。そのままお使いになると劣化が進み、使えなくなってしまうおそれがあります。このような現象が確認された場合は、すみやかにディスクなどにダビングし、修理をご依頼ください。

- HDD や USB-HDD が故障した場合は、記録内容（データ）の修復はできません。

ディスク、カード

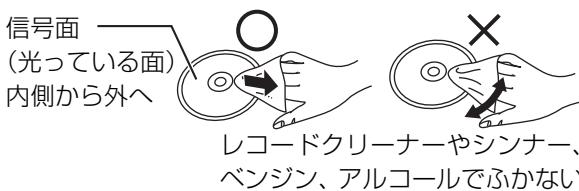
持ち方



信号面や端子面には手を触れない

汚れたとき

水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。



- ディスククリーナー（別売）のご使用をお勧めします。
- ディスクが汚れている場合、記録や再生ができないことがあります。

破損や機器の故障防止のために、次のことを必ずお守りください。

- 落としたり、激しい振動を与えない。
- お茶やジュースなどの液体をかけたりこぼしたりしない。

• ディスク

- シールやラベルを貼らない。（ディスクにそりが発生したり、回転時のバランスがくずれて使用できないことがあります）
- 印刷面にあるタイトル欄に文字などを書き込む場合は、必ず柔らかい油性のフェルトペンなどを使う。ボールペンなど、先のとがった硬いものは使わない。
- 傷つき防止用のプロテクターなどは使わない。
- 以下のディスクを使わない。
 - シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているレンタルなどのディスク
 - そっていたり、割れたりひびが入っているディスク
 - ハート型など、特殊な形のディスク



• カード

- カード裏の端子部にごみや水、異物を付着させない。

保管場所

次のような場所に置いたり保管したりしないでください。

- ほこりの多いところ
- 高温になるところ
- 温度差が激しいところ
- 湿度の高いところ
- 湿気や油煙の出るところ
- 冷暖房機器に近いところ
- 直射日光の当たるところ
- 静電気・電磁波の発生するところ（大切な記録内容が損傷する可能性があります）

使用後は、ディスクの汚れや傷つきを防ぐため、ケースまたはカートリッジに収めて保管してください。不織布ケースに保管すると、ディスクが変形して読めなくなる場合があります。

?

必要なとき

取り扱いについて (続き)

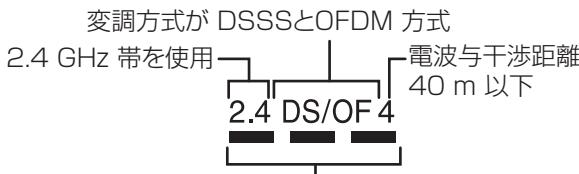
内蔵無線 LAN 使用上のお願い

■ 使用周波数帯

内蔵無線 LAN は 2.4 GHz 帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に留意してご使用ください。

■ 周波数表示の見方

周波数表示は、本機背面に記載しています。



2.400 GHz～2.483 GHz の全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

無線 LAN 機器使用上の注意事項

この機器の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- ① この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていない事を確認してください。
- ② 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに場所を変更するか、または電波の使用を停止したうえ、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
- ③ その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた時は、次の連絡先へお問い合わせください。

パナソニック DIGA (ディーガ) ご相談窓口 (→裏表紙)

■ 機器認定

内蔵無線 LAN は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、無線局の免許は不要です。ただし、内蔵無線 LAN に以下の行為を行うことは、電波法で禁止されています。

- 分解 / 改造する
- 本機記載の定格銘板を消す
- 5 GHz 帯無線 LAN を使って屋外で通信を行う

■ 使用制限

内蔵無線 LAN の使用に当たり、以下の制限がありますのであらかじめご了承ください。

制限をお守りいただけなかった場合、および内蔵無線 LAN の使用または使用不能から生ずる付随的な損害などについては、当社は一切の責任を負いかねます。

- 日本国内でのみ使用できます。
- 利用権限のない無線ネットワークには接続しないでください。

無線ネットワーク環境の自動検索時に利用する権限のない無線ネットワーク (SSID*) が表示されることがあります、接続すると不正アクセスと見なされるおそれがあります。

- 磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください。

–次の機器の付近などで使用すると、通信が途切れたり、速度が遅くなることがあります。

- 電子レンジ
- デジタルコードレス電話機
- その他 2.4 GHz 帯の電波を使用する機器の近く (Bluetooth® 対応機器、ワイヤレスオーディオ機器、ゲーム機など)
- 802.11n(2.4 GHz/5 GHz 同時使用可) の無線プロードバンドルーター (アクセスポイント) をお選びください。5 GHz でのご使用をお勧めします。また暗号化方式は「AES」にしてください。
- 電波によるデータの送受信は傍受される可能性があります。

* 無線 LAN で特定のネットワークを識別するための名前のことです。この SSID が双方の機器で一致した場合、通信可能になります。

受信できるテレビ放送について

地上デジタル放送 (地上デジタル)

UHF 帯の電波を使って行う放送で、高品質の映像と音声、さらにデータ放送が特長です。

- 本機ではワンセグ放送を録画できます。(→141)

ワンセグは携帯端末向けの地上デジタルテレビ放送です。(お住まいの地域によっては、放送されない地域もあります)

BS デジタル放送 (BS デジタル)

放送衛星 (Broadcasting Satellite) を使って行う放送で、ハイビジョン放送やデータ放送が特長です。

- WOWOWなどの有料放送には、加入申し込みと契約が必要です。

110 度 CS デジタル放送 (CS デジタル)

通信衛星 (Communications Satellite) を使って行う放送で、ニュース、映画、スポーツ、音楽などの専門チャンネルがあります。ほとんどの番組は有料です。

- 110 度 CS デジタル放送の放送事業者「スカパー!」*への加入申し込みと契約が必要です。

「スカパー!」*には、CS1 と CS2 の 2 つの放送サービスがあります。

* 2012 年 9 月 29 日より「スカパー! e2」から「スカパー!」に名称変更しました。

お問い合わせ先

スカパー! カスタマーセンター（総合窓口）

0120-039-888 (携帯、IP 電話などもつながります)

受付時間 10:00 ~ 20:00 (年中無休)

スカパー! 公式ホームページ

<http://www.skyperfectv.co.jp/>



必要なとき

お知らせ

- B-CAS カードを挿入しないと、デジタル放送は映りません。
- WOWOW など有料の放送局とのご契約は B-CAS カード単位でのご契約となります。テレビの B-CAS カードをご契約いただいている場合でも、本機付属の B-CAS カードのご契約が必要です。
- 本機では、ラジオ放送やデータ放送は記録できません。

詳しい接続と設定

接続

203 ページ

接続の前に

- 各機器の電源コードをコンセントから抜いてください。
(本機の電源コードは、すべての接続が終わったあと、接続してください)
- 各機器の説明書もご覧ください。

設定

219 ページ

設定終了後に

「かんたん設置設定」「リモコンのテレビ操作設定」「かんたんネットワーク設定」を行ったあと、以下の場合は、指定の設定を行ってください。

放送が受信できない/映りが悪い

アンテナの入力レベルが正常か確認する場合

▶ 「受信アンテナ設定」を確認
(→173)

地上デジタル放送の映像が不安定になる場合

▶ 「アッテネーター」を切り換える (→174)

リモコンを使うと他機器が同時に動作する

複数の当社製機器を使う場合

▶ 「リモコンモード」(→187)

つなぎ方ナビゲーション

接続方法をわかりやすく説明しています。

<http://panasonic.jp/support/mpi/connectionnavi/>

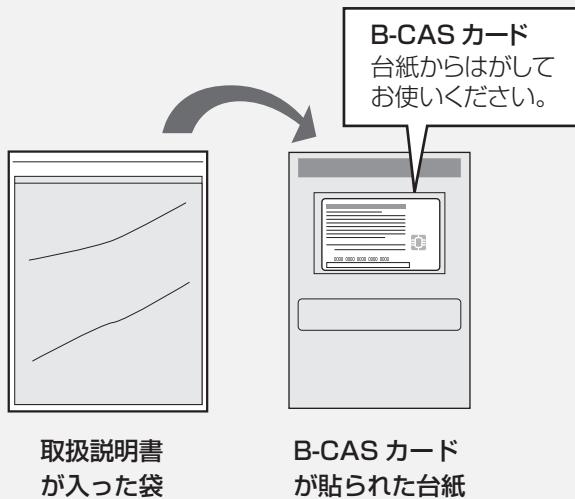


接続1 B-CAS（ビーキャス）カードを挿入する

デジタル放送の受信には、本機へのB-CASカード（付属）の常時挿入が必要です。

本機に挿入されていない場合、デジタル放送の視聴・録画はできません。

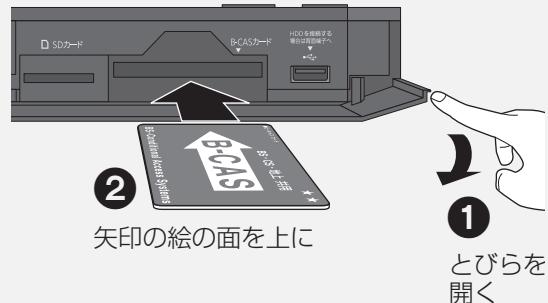
- B-CASカードの取り扱いについて詳しくは、カードが貼ってある台紙の説明をご覧ください。



挿入 / 取り出しづけるときは、電源コードが差し込まれていないことを確認してください。

前面のとびらを開け、B-CAS カードを奥まで差し込む

(B-CASカードは、奥まで差し込んでも少し出ている状態になります)



接続と設定を行う

- B-CASカードに記載されている番号は、契約内容の管理や問い合わせに必要です。メモ（→244）などに控えておいてください。
- 本機でも番号を確認できます。（→170）

お問い合わせは（紛失時など）

（株）ビース・コンディショナル
アクセスシステムズ・カスタマーセンター
TEL：0570-000-250

お知らせ

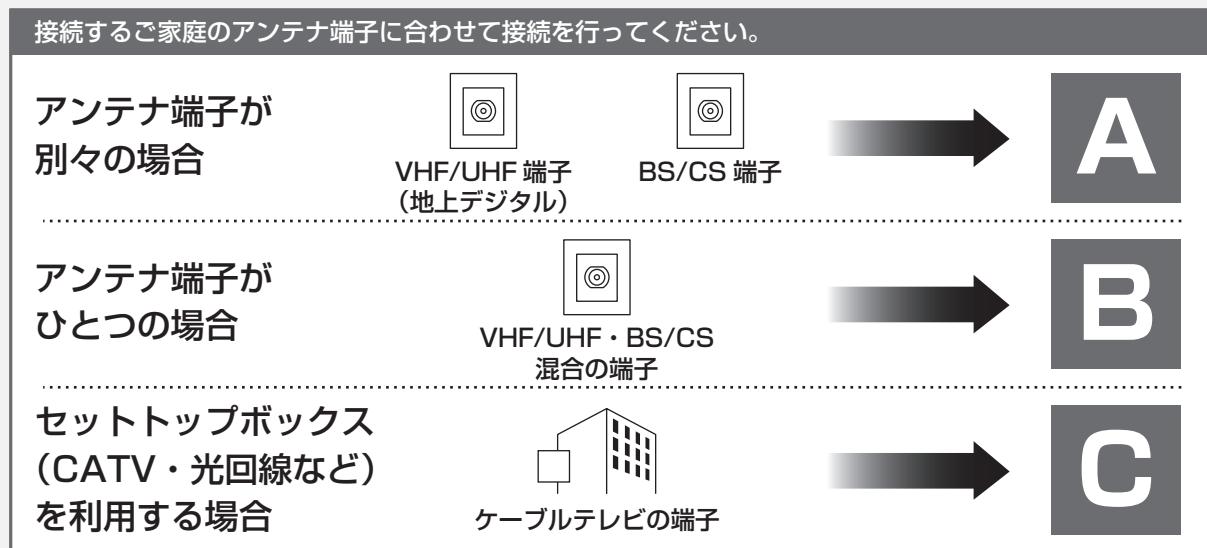
- カードを取り出すときは、電源コードを抜いた状態で、引き抜いてください。
- B-CASカード以外は絶対に挿入しないでください。

接続2 テレビやアンテナと接続する

ご利用になる放送に従って、必要なアンテナ線を接続してください。

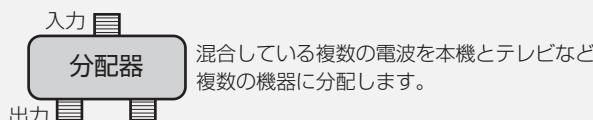
- すべての接続が終わったらあとは、必ず電源コードをつないでおいてください。

電源コードを抜いているとテレビで放送の受信ができない、または映りが悪くなる場合があります。



お知らせ

- アンテナ線をアンテナに直接接続する場合は、アンテナプラグが外れないようにF型接栓をご使用になることをお勧めします。F型接栓は、緩まない程度に手で締め付けてください。締め付けすぎると、本機内部が破損するおそれがあります。
- 分配器を使って本機とテレビにBS・110度CSデジタルハイビジョンアンテナを接続する場合は、アンテナに電源を供給するために全端子電流通過型の分配器を使用してください。
- 接続状態により、分波器や専用のブースターなど別売の部品や加工が必要になることがあります。接続のしかたがわからない、接続しても映らないなどの場合、販売店にご相談ください。



- HDMIケーブルは、「ハイスピードHDMIケーブル」をお買い求めください。HDMI規格に準拠していないケーブルでは動作しません。当社製HDMIケーブルのご使用をお勧めします。
- HDMIケーブルが端子から外れないようにしっかり接続してください。

本機とテレビとの接続には、HDMIケーブル(別売)が必要です。

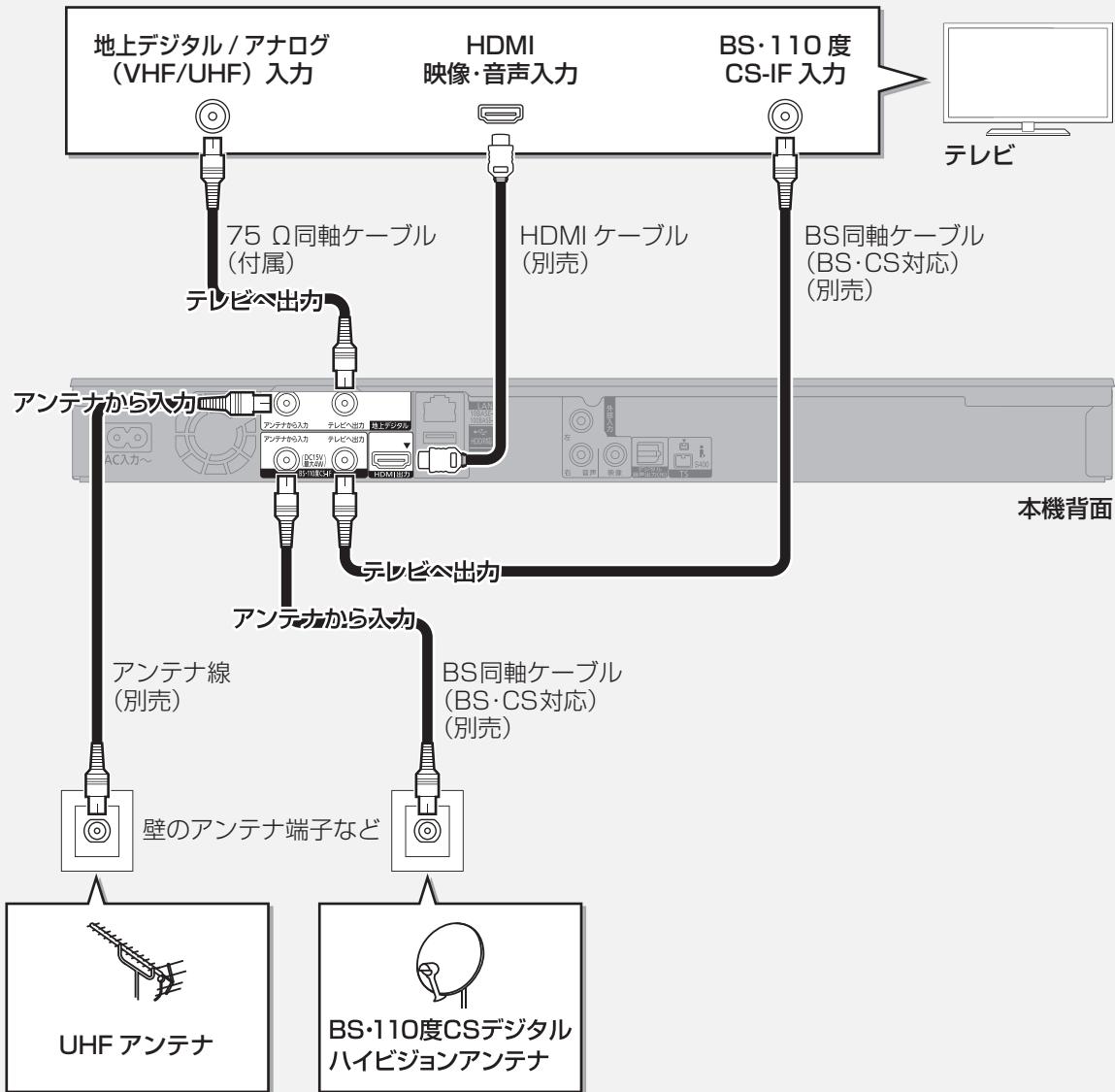
本機はアナログ出力端子がありません。HDMI端子のないテレビでは、ご利用になれません。

A

アンテナ端子が別々の場合



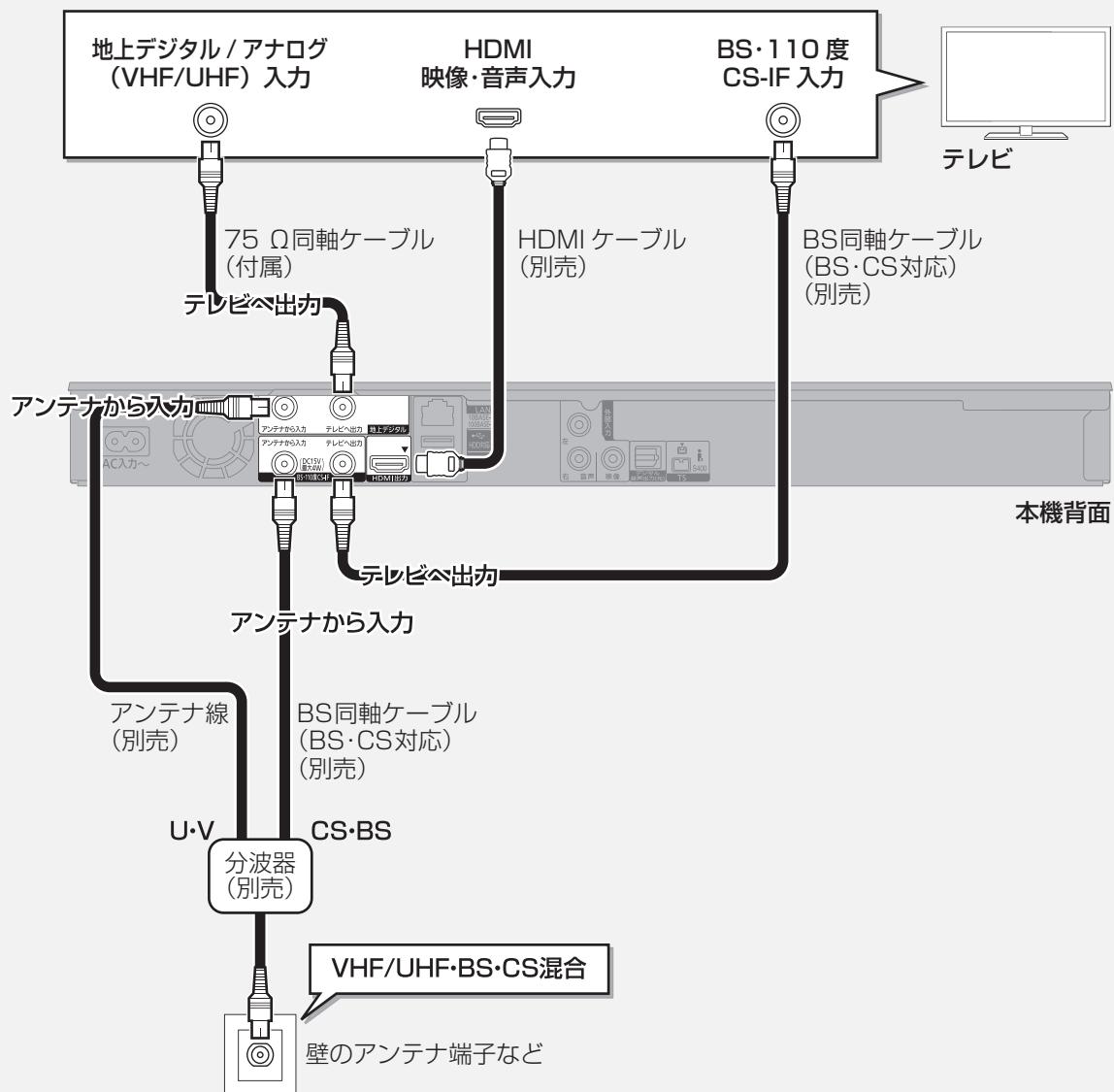
接続と設定を行う



接続2 テレビやアンテナと接続する (続き)

B

アンテナ端子がひとつの場合



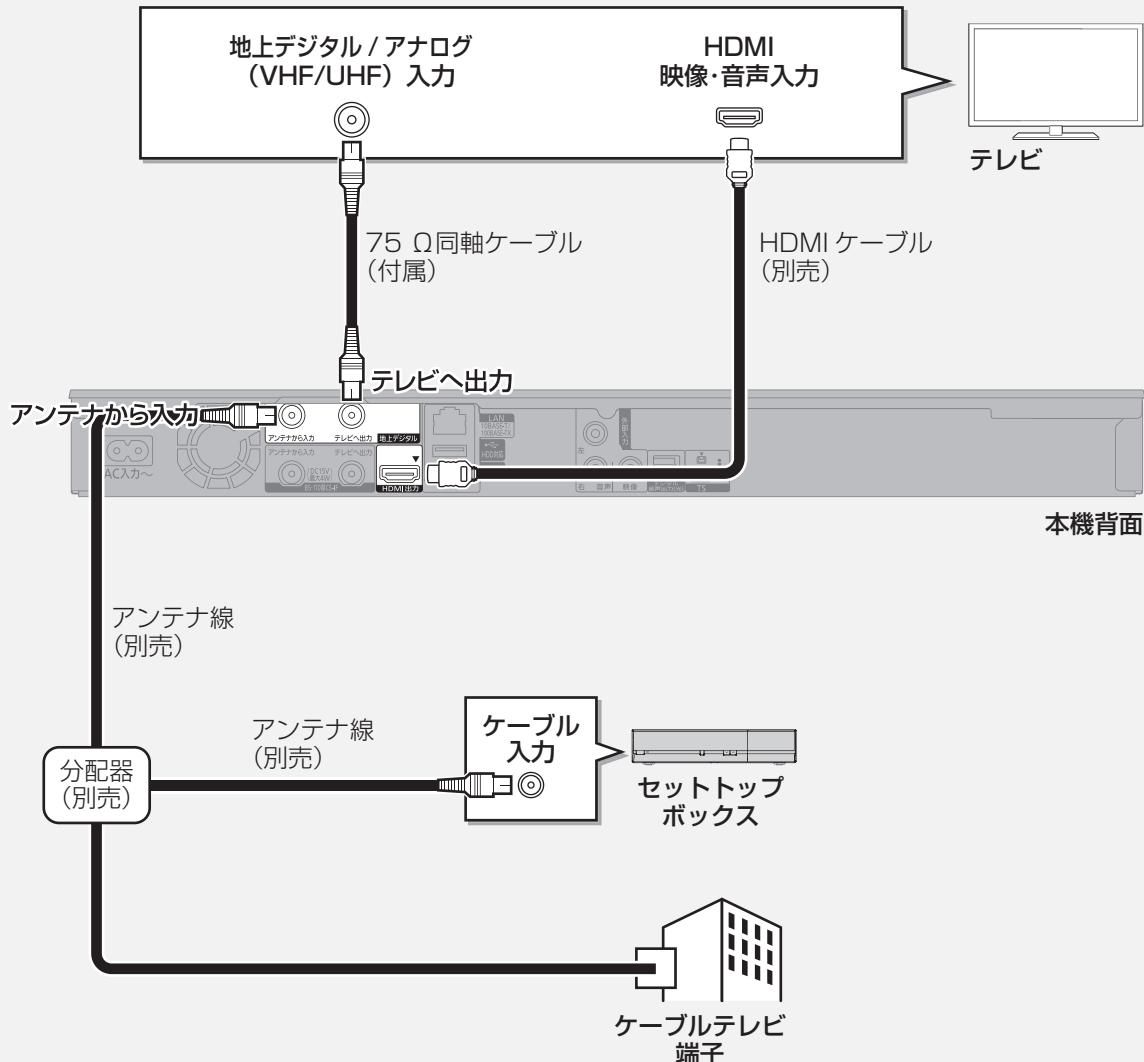
C

セットトップボックス (CATV・光回線など) を利用する場合

CATVの接続方法や、受信できる放送はさまざまです。詳しくはご契約のCATV会社にご相談ください。

このページでは、CATVの地上デジタル放送の信号方式がバススルー方式^{*}の場合の接続を紹介しています。

* CATV会社がデジタル放送を再送信する伝送方式です。セットトップボックスを経由せず本機で直接受信できます。



●BS・CS デジタル放送を録画するには

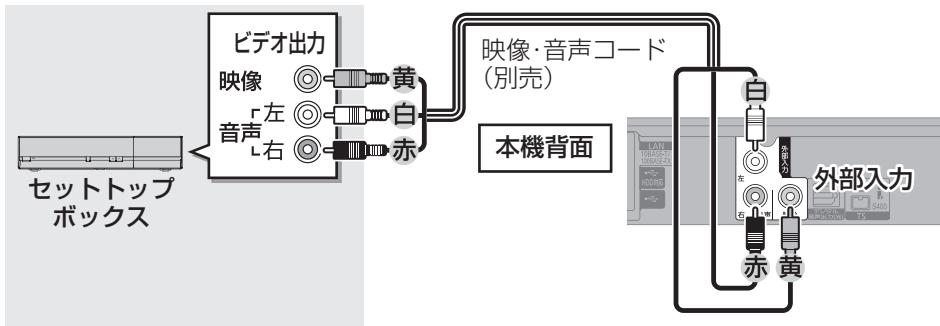
BS・CS デジタル放送を録画できる衛星アンテナを BS・110 度 CS-IF 入力端子に接続するか、208 ページの接続を行ってください。



接続と設定を行う

接続2 テレビやアンテナと接続する (続き)

パススルー方式でない場合や、パススルー方式でも本機で受信できない放送を録画するためには、下記の接続が必要です。

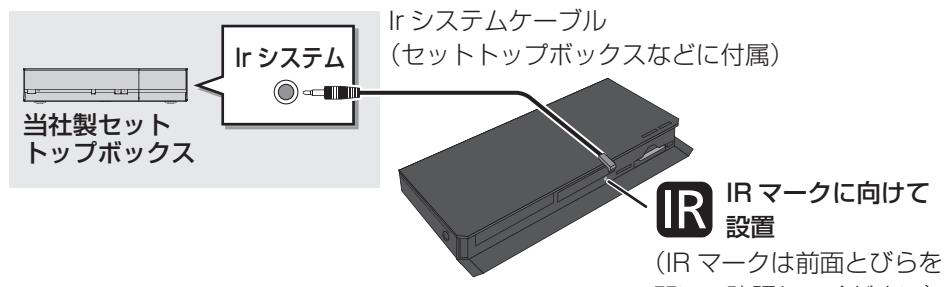


CATV から運動して予約録画するために

映像・音声コードで接続する

上記接続に加えて、Ir システムの接続をすると、CATV から予約録画の信号を本機のリモコン受信部に送り、運動操作することができます。(CATV のIrシステムがブルーレイディスクレコーダーに対応していない場合、予約録画できません)

Ir システムケーブルの設置例



- Ir システムケーブルの発信部を本機のリモコン受信部に向け、前面とびら開閉時に引っかからないように取り付けてください。

i.LINK ケーブルで接続する

- ハイビジョン放送の番組をそのままの画質で予約録画できます。 (→113)
- セットトップボックスが i.LINK 対応していない場合、予約録画できません。
- S400 対応の i.LINK ケーブルをお使いください。



LANケーブルで接続する

- ハイビジョン放送の番組をそのままの画質で予約録画できます。
 - セットトップボックスが LAN ケーブルでの予約録画に対応している必要があります。対応機器については当社ホームページ (→3) をご覧ください。
- 接続方法は (→214、215)

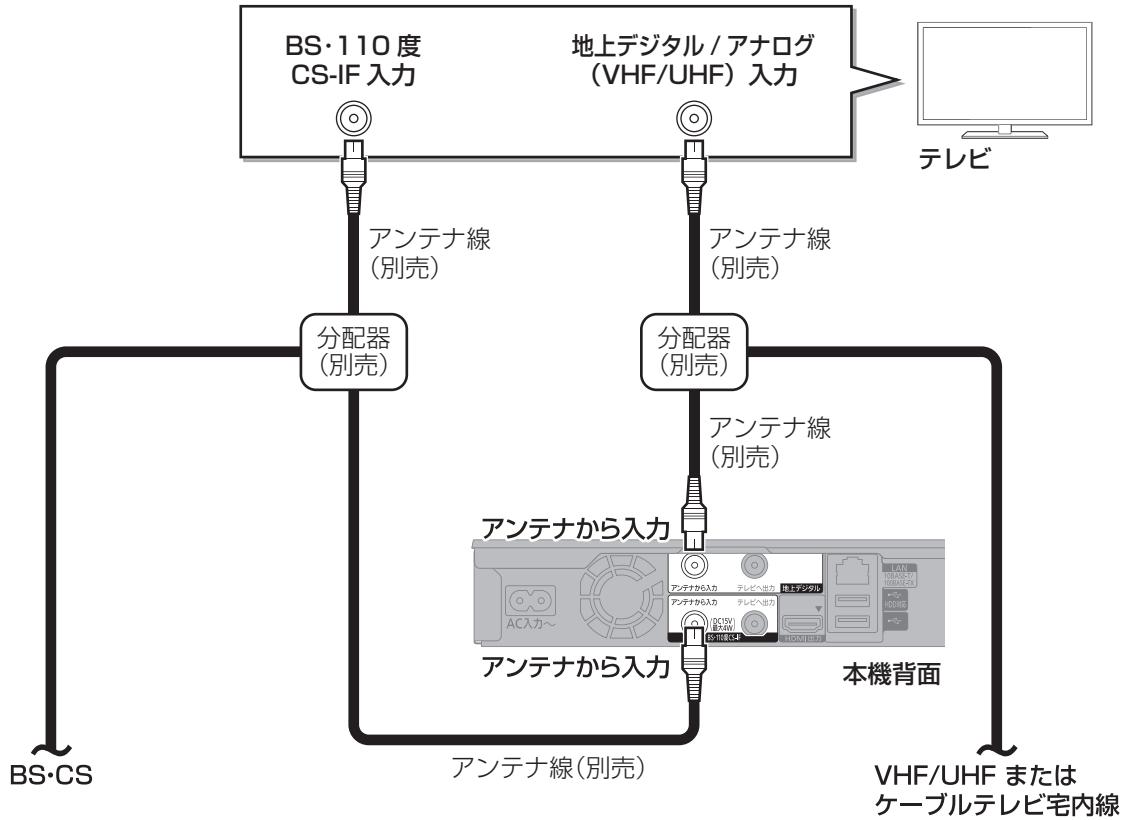


本機が「節電待機」時にテレビを視聴する場合

「節電待機」(→32)で電源を切ると、本機の待機時消費電力を少なくすることができます。

ただし、**A** **B** **C** の方法でアンテナ接続した場合、テレビの映像が映らない、もしくは画質が悪くなることがあります。[「節電待機モード」(→178)が「モード2」のとき]

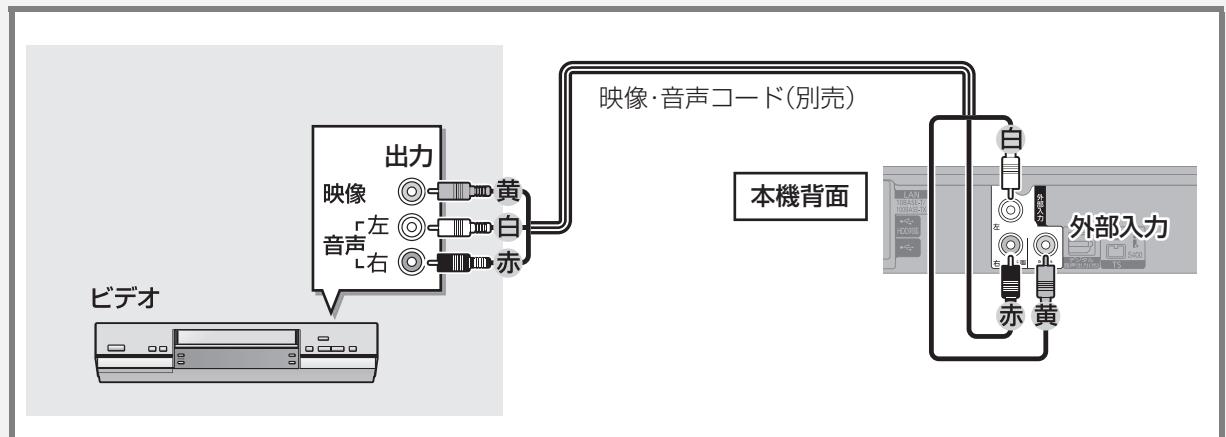
「節電待機」を使用してテレビの映像を映るようにするには、以下のようにアンテナ接続をしてください。



お知らせ

- 分配器を使って本機とテレビにBS・110度CSデジタルハイビジョンアンテナを接続する場合は、アンテナに電源を供給するために全端子電流通過型の分配器を使用してください。

接続3 ビデオと接続する

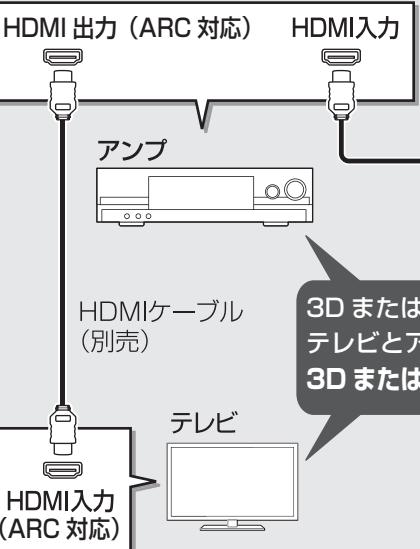


接続4 アンプと接続する

アンプと接続して、ホームシアターなどを楽しむことができます。

☞ デジタル出力される音声と接続・設定の関係 (→241)

HDMI 端子で接続する



HDMI ケーブル(別売)



本機背面

HDMI 映像・音声出力

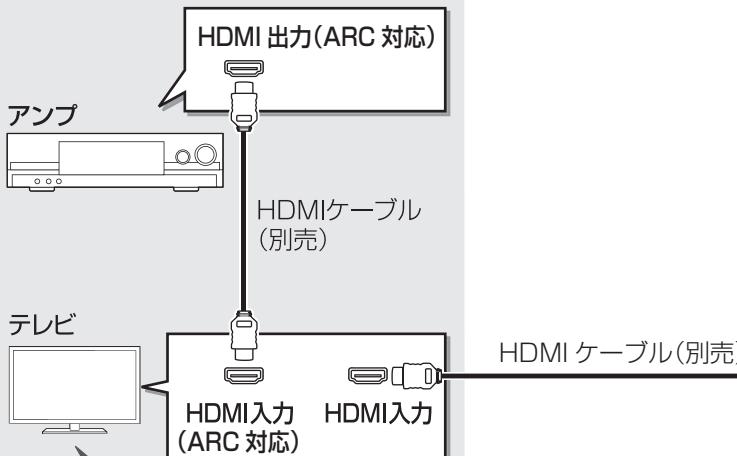


接続と設定を行なう

お知らせ

- HDMI ケーブルは、「ハイスピード HDMI ケーブル」をお買い求めください。
- ビエラリンク (HDMI) 機能に対応した当社製テレビ (ビエラ)、アンプと接続すると連動操作が可能になります。

3D または 4K 非対応のアンプと接続して、3D または 4K 映像を視聴するには



本機背面

HDMI 映像・音声出力

お知らせ

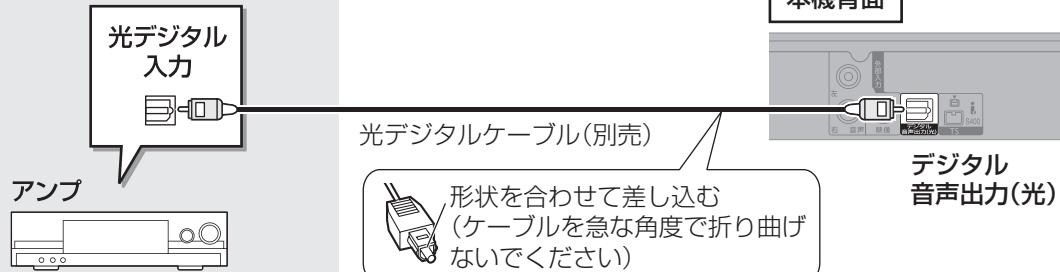
- 音声は最大で 5.1ch になります。

お知らせ

- HDMI 端子に「ARC 対応」の表示がない ARC 非対応のテレビまたはアンプを使用する場合は、テレビの音声をアンプで楽しむために、さらにアンプとテレビを光デジタルケーブルで接続する必要があります。

接続4 アンプと接続する (続き)

デジタル音声端子で接続する



お知らせ

- 3D 対応テレビと本機を HDMI ケーブルで接続すると、3D 映像を視聴することができます。

接続5 ネットワーク接続をする

本機をネットワークに接続すると、以下のサービスや機能を利用することができます。

ご家庭のネットワーク環境に合わせて、接続（→214～216）と、かんたんネットワーク設定（→223～227）を行ってください。

接続機器につないで

DLNA対応機器

お部屋ジャンプリンク
(DLNA)機能を使う

▶ 154

スカパー! プレミアムサービス
対応チューナー^{*1}

スカパー! プレミアムサービス
の番組を録画する

▶ 110

CATVセットトップボックス^{*1}

ネットワークを使って
予約録画する

▶ 112

ビエラ^{*2}など

ネットワークを使って
ダビングする

▶ 116

パソコン

ファイル共有機能を使う/
自宅のパソコンから録画
などの操作をする

▶ 159、162

ドアホン・センサー・カメラ

ドアホンやセンサー・カメラ
の映像を録画する

▶ 152

*1 スカパー! プレミアムサービス対応チューナーや CATV セットトップボックスは、安定した録画を実行するために、
LAN ケーブルを使っての接続をお勧めします。（→214、215）

*2 USB-HDD 録画対応ビエラや HDD 内蔵ビエラ



接続と設定を行う

インターネットにつなぐと

•インターネットを使用するサービスや機能もご利用の場合は、215、216 ページの接続をしてください。

アクティビラなどのサービス
を楽しむ

▶ 149

BD-Live対応のディスクを
楽しむ

▶ 85

1ヵ月の番組表や注目番組
を受信する

▶ 48、52

外出先から番組の視聴や
録画予約をしたり、録画番
組の詳細情報を見る

▶ 189

写真や動画を送受信する

▶ 132

デジタル放送の情報サービ
スを利用する

デジタル放送のさまざまな情報配
信サービスを利用できます。

接続5 ネットワーク接続をする (続き)

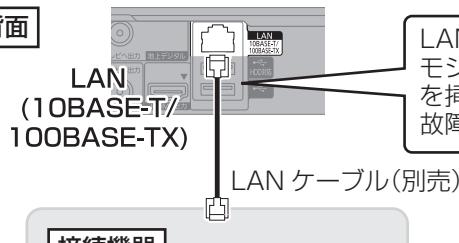
お知らせ

- 接続後にテレビの映りが悪くなったときは、LANケーブルとアンテナケーブルを離してみてください。
それでも良くならない場合は、シールドタイプのLANケーブルのご使用をお勧めします。
- カテゴリー5 (CAT5) 以上のLANケーブルのご使用をお勧めします。
- 接続機器は、本機と同じハブまたはブロードバンドルーター（アクセスポイント）に接続してください。

各機器と直接接続する

有線

本機背面



LANケーブル以外(電話のモジュラーケーブルなど)を挿入しないでください。
故障の原因になります。



接続に関する詳細は、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

- LANケーブルはストレートとクロスのどちらを使用しても問題ありません。

各機器と直接無線LANで接続することができます。

無線

(シンプルWi-Fi)

本機

内蔵無線LAN



無線LAN

接続機器

DLNA対応機器

お部屋ジャンプリンク
(DLNA)機能を使う

接続に関する詳細は、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

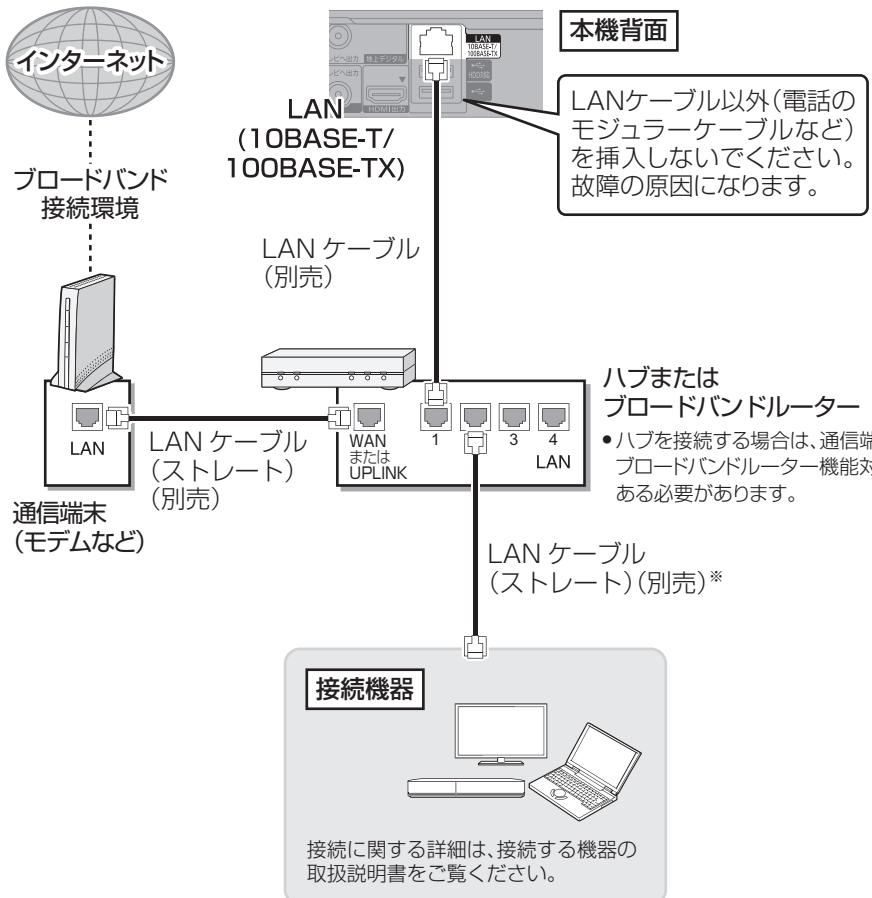
お知らせ

- この接続では、お部屋ジャンプリンク(DLNA)機能 (→154) やスマートフォンでの操作／予約登録 (→224) のみ利用できます。



ハブまたはブロードバンドルーターを使って各機器と接続する

有線



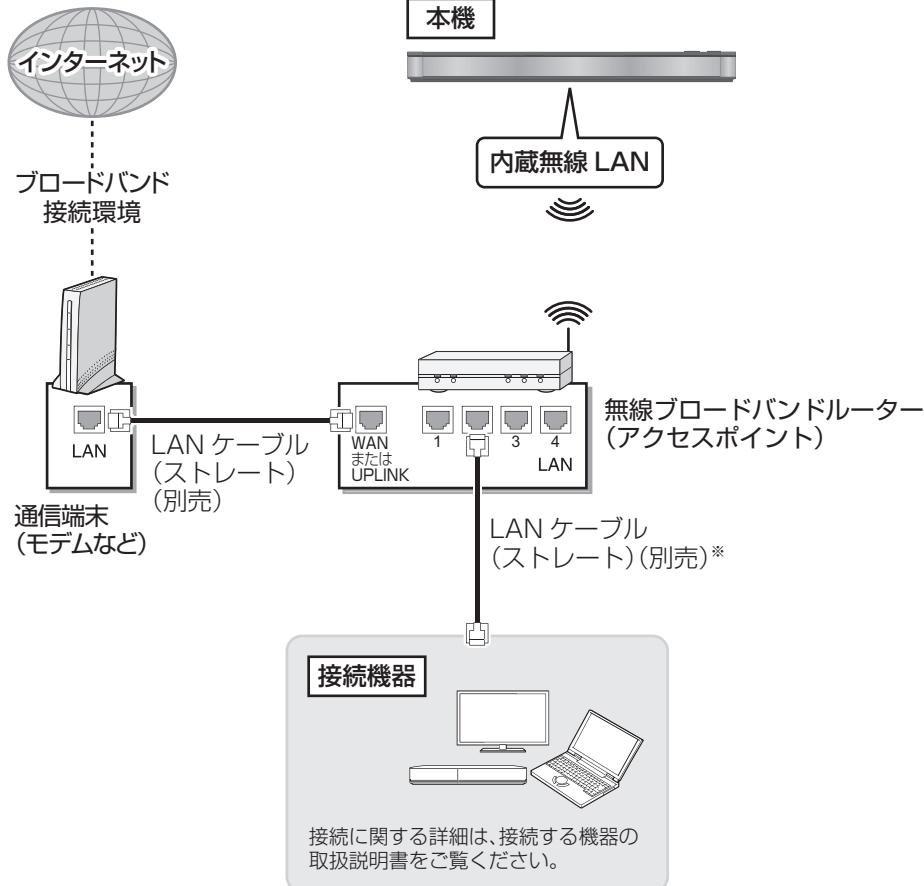
* 接続機器とルーターの接続は、LAN ケーブルまたは無線 LAN で接続してください。



接続と設定を行う

接続5 ネットワーク接続をする（続き）

無線



* 接続機器とルーターの接続は、LAN ケーブルまたは無線 LAN で接続してください。

お知らせ

- 無線 LAN をご使用時は、LAN ケーブル(有線)での使用はできません。
- 802.11n (2.4 GHz / 5 GHz 同時使用可) の無線プロードバンドルーター (アクセスポイント) をお選びください。5 GHz でのご使用をお勧めします。2.4 GHz で電子レンジやコードレス電話機などを同時にご使用の場合、通信が途切れたりします。また、暗号化方式は「AES」にしてください。
- 動作確認済みの無線プロードバンドルーター (アクセスポイント) については、下記サポートサイトでご確認ください。
<http://panasonic.jp/support/bd/>
- スカパー！プレミアムサービス対応チューナーやCATVセットトップボックスは、安定した録画を実行するために、LAN ケーブルを使っての接続をお勧めします。（→214、215）



接続する機器、環境について

回線業者やプロバイダーとの契約をご確認のうえ、指定された製品を使って、接続や設定をしてください。

- 接続する機器の説明書をご覧ください。
- 契約により、本機やパソコンなどの端末を複数台接続できない場合や、追加料金が必要な場合があります。
- 使用する機器や接続環境などによっては正常に動作しないことがあります。
- 本機は公衆無線 LAN への接続には対応しておりません。

ハブまたはブロードバンドルーター

- 有線接続の場合、100BASE-TX 対応のものをお使いください。無線接続の場合、802.11n (2.4 GHz / 5 GHz 同時使用可) 対応のものをお使いください。
- ルーターのセキュリティ設定によっては、本機からインターネットに接続できない場合があります。必要な情報については下記サポート情報ホームページをご覧ください。

本機を操作できるパソコン（2014年8月現在）

OS :

Microsoft® Windows® XP Home Edition/Professional

Microsoft® Windows Vista® Home Basic/

Home Premium/Business/Ultimate

Microsoft® Windows® 7 Home Premium/Professional/
Ultimate

www ブラウザ :

Internet Explorer® 8.0 以上

動作確認済みのパソコンや携帯電話などの機器や環境について
は、ホームページにて順次ご案内いたします。
詳しくは、下記サポート情報ホームページをご覧ください。
(携帯電話からはご利用いただけません)
<http://panasonic.jp/support/bd/>

ネットワーク機能を快適に利用するために

個人情報の取り扱いについて

本機の機能およびサービスを提供するため、機器 ID・機器パスワードおよび利用履歴情報は当社の適切なセキュリティ環境のもと、安全に保管・管理します。利用履歴などの情報については、個人が特定できない状態で集計し、製品やサービスの向上などに利用させていただく場合があります。あらかじめご了承ください。

不正利用を防ぐために

- 機器パスワードは
 - ・他人に見られたり、教えたりしないでください。
 - ・第三者が本機の設置・設定を行った場合は、必ず変更してください。
 - ・修理依頼する場合は機器パスワードを初期化し（→189）、再設定してください。
 - ・第三者に譲渡したり廃棄する場合は、機器パスワードを初期化してください。
- 当社では、ネットワークのセキュリティに関する技術情報についてはお答えできません。
- 携帯電話やパソコンを紛失した場合は、第三者による不正な使用を避けるため、直ちに加入されていた通信事業者、対応サービス提供者へ連絡してください。
- 利用権限のない無線ネットワークには接続しないでください。無線ネットワーク環境の自動検索時に利用権限のない無線ネットワーク（SSID*）が表示されることがあります、接続すると不正アクセスと見なされるおそれがあります。
※ 無線 LAN で特定のネットワークを識別するための名前のことです。この SSID が双方の機器で一致した場合、通信可能になります。

対応サービスについて

サービスは対応サービス提供者が提供します。詳しくはホームページをご覧ください。（→189）

- 本機の接続に必要なインターネット接続機器（モデム、ルーター やハブなど）や、電話通信事業者およびプロバイダーとの契約・設置・接続・設定作業・通信などの費用は、すべてお客様のご負担となります。
- 一部のサービスは有料です。また、現在無料のサービスでも、将来有料になることがあります。
- 宅外リモート接続機能のご利用には、対応サービスに加入していただく必要があります。
- 定期的なメンテナンスや、不測のトラブルで一時にサービスを停止したり、予告ありなしにかかわらず、サービス内容の変更・中止や操作メニュー画面の変更をする場合があります。あらかじめご了承ください。

免責事項について

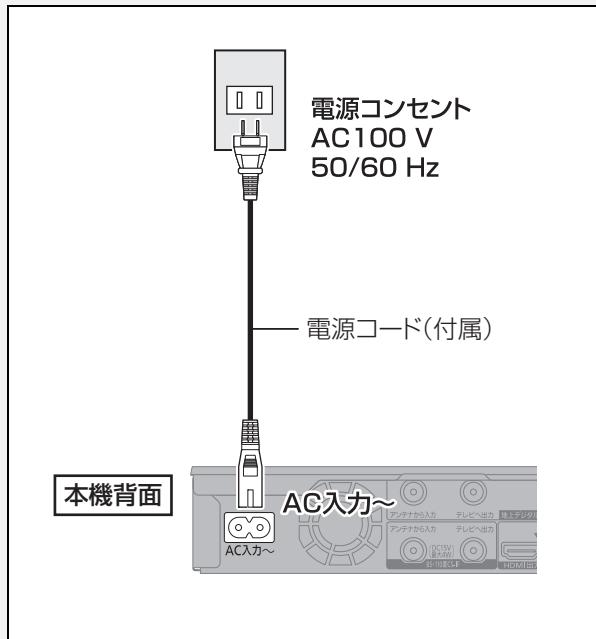
- 機器登録時や会員登録時のパスワードが第三者に知られた場合、不正に利用される可能性があります。パスワードはお客様ご自身の責任で管理してください。当社では不正利用された場合の責任は負いません。
- 当社が検証していない接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作やハングアップなどから生じた損害に関して、当社では責任を負いません。
- 本機がお手元にない場所から問い合わせの際、本機自体の接続や現象などの目視確認が必要な内容については、お答えできません。
- ルーターのセキュリティ設定をする場合は、お客様ご自身の判断で行ってください。ルーターのセキュリティ設定により発生した障害に関して、当社では責任を負いません。また、ルーターの設定・使用方法などに関する問い合わせには、当社ではお答えできません。



接続と設定を行なう

接続6 電源コードを接続する

すべての接続が終わったあと、接続してください。



☞ 長期間使用しないとき

節電のため、電源コードを電源コンセントから抜いておくことをお勧めします。電源を切った状態でも、電力を消費しています。(電源「切」時の消費電力→236)

●電源コードを抜いている場合：

- ・自動的に行われる番組表などの情報受信や時刻情報の取得はできません。
- ・テレビで放送の受信ができない、または映りが悪くなる場合があります。

設定1 かんたん設置設定をする

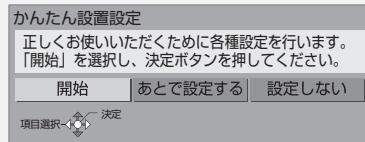
初めて電源を入れたときに自動的に「かんたん設置設定」の画面が表示されます。

設定中は電源コードを抜いたり、電源を切らないでください。

電源

1 リモコンの を押して、電源を入れる

2 「開始」を選び、 を押す



以下の手順でかんたん設置設定を行うこともできます。

① を押す

② 「放送設定」を選び、 を押す

- 表示がない場合は [][] でページを切り換えてください。

③ 「かんたん設置設定」を選び、 を押す

画面の指示に従って設定を行ってください。

テレビから設置情報を取得

ビエラリンク (HDMI) Ver.2以降に対応した当社製テレビと接続している場合、テレビから設置情報を取得することができます。

かんたん設置設定

テレビから設置情報を取得しますか？
取得する場合は、「はい」を選択し、
決定ボタンを押してください。チャンネル設定を
自動で行います。
取得せずに本機で設定する場合は、「いいえ」を
選択してください。

はい

いいえ

項目選択  決定  戻る 

設置情報の取得に失敗する場合、「いいえ」を選んで「地域設定」から設定を進めてください。

地域設定

お住まいの地域の郵便番号、都道府県、市外局番を設定します。

かんたん設置設定

お住まいの地域の郵便番号を、リモコンの数字ボタンで入力し、決定ボタンを押してください。
データ放送時の地域限定情報を表示させるために
必要です。

青 赤 緑 黄 [文字削除]

番号変更  決定  衡移動  戻る 

地上デジタル放送チャンネルの設定

受信帯域選択

チャンネルスキャンの帯域を設定します。
通常は「UHF」を選択してください。

ケーブルテレビ (CATV) 等で、地上デジタル放送が受信できなかったときに「全帯域」を選択すると、受信することができます。(詳しくはCATV会社にご確認ください)

決定ボタンを押すと、チャンネルスキャンを開始します。地上デジタルチャンネル設定リストが表示されましたら、内容を確認の上、よろしければ「次へ」を選択し、決定ボタンを押してください。

UHF

全帯域

項目選択  決定  戻る 

地上デジタルチャンネル設定 / アンテナレベル確認					
Po	CH	チャンネル名	種類	アンテナレベル	切
1	011	NHK総合・東京	テレビ	80	高
2	021	NHKEテレ東京	テレビ	80	高
3	---	---			
4	041	日本テレビ	テレビ	80	高
5	051	テレビ朝日	テレビ	80	高
6	061	TBS	テレビ	80	高
7	071	テレビ東京	テレビ	80	高
8	081	フジテレビジョン	テレビ	80	高
9	091	TOKYO MX	テレビ	80	高
10	---	---			
11	---	---			
12	121	放送大学	テレビ	80	高
青	---	---			
赤	---	---			
NHK総合・東京	受信レベルは良好です。	緑	入換	黄	

項目選択  決定  修正する / 確認する  次へ 

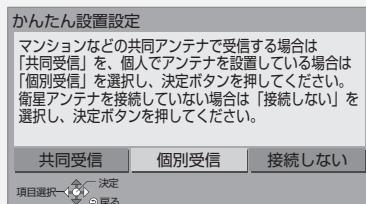
ふだん見ている放送局が表示されていない場合やチャンネルの割り当てが違うときは、「修正する／確認する」を選んでください。(→176「マニュアル」)



接続と設定を行なう

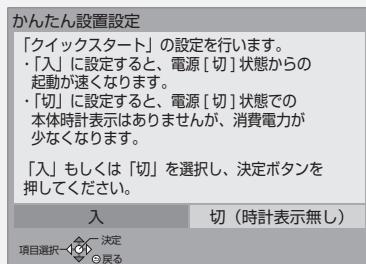
設定1 かんたん設置設定をする (続き)

衛星アンテナ設定

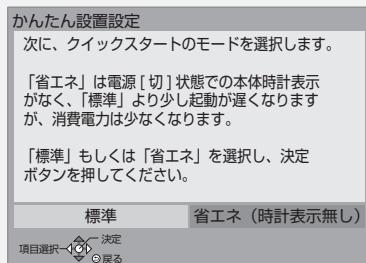


「個別受信」を選んだ場合は、テレビの映りが悪くなる場合があるため、テレビ側で衛星アンテナの電源を「入(オン)」にする設定をしてください。

クイックスタートの設定



「入」を選んだ場合、「標準」または「省エネ（時計表示無し）」を選んでください。



●「ピエラリンク録画待機」の設定画面が表示された場合、「入」を選んでください。

かんたん設置設定終了後、引き続き
「リモコンのテレビ操作設定」(→221)
「かんたんネットワーク設定」(→223)
を行うことができます。

クイックスタートとは

電源「切」状態からの起動を高速化します。

- テレビの種類によっては、表示が遅れることがあります。

ただし、「入」に設定すると、内部の制御部が通電状態になるため、「切（時計表示無し）」のときに比べて以下の内容が異なります。

- 待機時消費電力が増えます。
- 本機の動作を安定させるため、予約録画終了時または午前4時ごろ（1週間に1回程度）に、本機全体を再起動することがあります。（再起動中は、本体表示窓に“PLEASE WAIT”と表示され、【電源】以外のボタン操作が数分間できません。また、本機から動作音がしますが、故障ではありません。）
- 内部の温度上昇を防ぐため、内部冷却用ファンが低速で回ることがあります。
- クイックスタートモードを「標準」に選んだ場合、テレビの無信号自動オフ機能が働かないことがあります。
- 「クイックスタート」(→178)を「入」、「クイックスタートモード」(→178)を「省エネ（時計表示無し）」に設定すると、電源「切」時に本体表示窓の時刻は表示されなくなります。

お知らせ

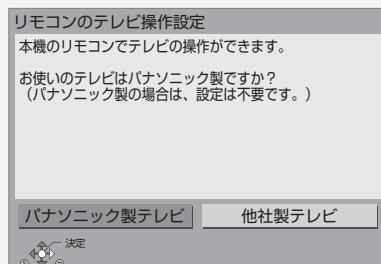
- デジタル放送を受信できない場合、「かんたん設置設定」終了後、日時設定を行ってください。(→177)
- テレビに映像が映らない場合は
 - ・テレビの入力を確認してください。(→32「本機の映像をテレビに映す」)
 - ・接続を確認してください。(→203～218)
 - ・以下の操作を行うと映像が映ります。
 - ①【決定】と【青】と【黄】を同時に5秒以上押す
 - ・本体表示窓に“OO RET”が表示されます。
 - ②本体表示窓に“04 PRG”が表示されるまで、【▶】を数回押す
 - ③【決定】を3秒以上押す

設定を中止するには
【戻る】を押す

設定2 リモコンのテレビ操作設定をする

「かんたん設置設定」(→219、220) のあと
テレビに合った番号を設定すると、リモコンの
[テレビ電源]、[テレビ入力切換]、[音量 +,-] でテ
レビを操作できます。
また、[テレビ操作] を押すと「テレビ操作モード」に
なり、他のボタンでもテレビ操作ができるようになります。(→222)

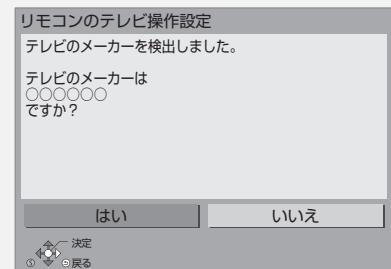
1 「パナソニック製テレビ」または 「他社製テレビ」を選び、**決定** を押す



●「他社製テレビ」を選んだ場合:(→右記手順2へ)

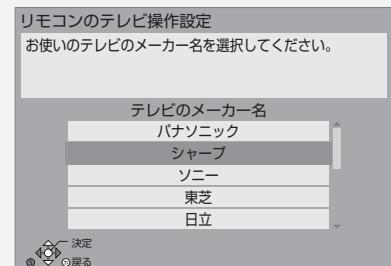
2 テレビのメーカー確認画面が表示された場合： 「はい」または「いいえ」を選び、**決定** を押す

例)



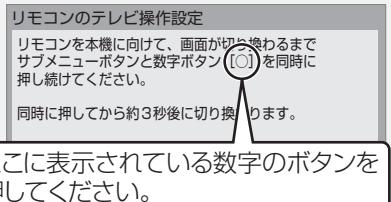
●お使いのテレビメーカーと異なるメーカー名が
表示される場合、「いいえ」を選び、メーカー選
択画面(→下記)で正しいメーカー名を選んで
ください。

テレビのメーカー選択画面が表示された場合： メーカー名を選び、**決定** を押す



3 リモコンを本機に向け、 **S** を押しながら、1@. ~ 12改行 のいずれ かを3秒以上押したままにする

例)



●画面が切り換わったら、リモコンをテレビに向
け、音量ボタンを使って、テレビ操作ができる
か確認してください。
正しく動作しない場合「メーカー番号を入力し
て設定する場合」(→222)をお試しください。

4 **決定** を押す



接続と設定を行う

設定2 リモコンのテレビ操作設定をする (続き)

以下の手順でリモコンのテレビ操作設定を行うこともできます。

① [スタート] を押す

② 「初期設定」を選び、[決定] を押す

- 表示がない場合は [$\leftarrow\right]\left[\rightarrow\right>] でページを切り換えてください。$

③ 「設置設定」を選び、[決定] を押す

④ 「リモコン設定」を選び、[決定] を押す

⑤ 「リモコンのテレビ操作設定」を選び、[決定] を押す

テレビ操作モードにする

1 リモコンの  を押す

- ボタンが点灯し、テレビ操作モードになります。

2 下記のボタンでテレビを操作する



テレビの操作に使用できるボタン

[テレビ電源]、[テレビ入力切換]、[音量 +,-] は、[テレビ操作] を押さなくてもテレビを操作できます。

番号を複数持つメーカーの場合は、番号を順に入力して、テレビ操作できる番号に合わせてください。

設定が完了すると、[テレビ操作] が 2 回点滅します。

- 正しく操作できないときは、テレビに付属のリモコンで操作してください。
- テレビ側でリモコンモードを変更している場合、本機のリモコンでは操作できないことがあります。

お知らせ

- 再度[テレビ操作]を押すか、約30秒間何も操作しなかった場合、[テレビ操作]は消灯し、テレビ操作モードは終了します。
- 機種によっては、操作できないボタンもあります。
- 登録したテレビのリモコンにないボタンは動作しません。また、機種によってはボタンの名称が異なる場合があります。
- 三洋、ビクター、NEC、富士通ゼネラル、アイワ製のテレビは[テレビ電源]、[テレビ入力切換]、[チャンネル $\leftarrow\right.\leftarrow$]、[音量 +,-] 以外は対応していません。

設定③ かんたんネットワーク設定をする

「リモコンのテレビ操作設定」(→221、222) のあと

はじめに、本機で楽しめるネットワーク機能が紹介されます。

決定 を数回押して画面を進め、ネットワーク設定を開始する

LAN ケーブルを接続している場合は、自動的に有線の設定で開始します。

画面の指示に従って設定を行ってください。

以下の手順でかんたんネットワーク設定を行うこともできます。

① リンクボタンから設定する

- ① **リンク(長押し)** を 3 秒以上押す
- ② 表示される画面の指示に従って、ネットワーク設定を行う

② スタートボタンから設定する

- ① **スタート** を押す
- ② 「ネットワーク設定」を選び、**決定** を押す
 - 表示がない場合は[!◀◀!][▶▶!]でページを切り換えてください。
- ③ 「かんたんネットワーク設定」を選び、**決定** を押す
- ④ 表示される画面の指示に従って、ネットワーク設定を行う

お知らせ

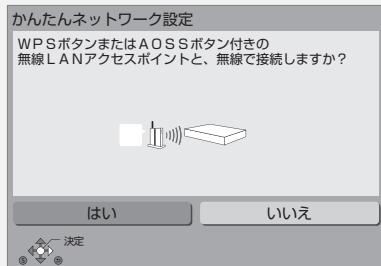
- インターネットに接続できる状態で、かんたんネットワーク設定を行うと、以下のようになります。
 - ・ネットワークに接続されたすべての機器から本機にアクセスできるようになります。機器ごとにアクセス制限をしたい場合は、「お部屋ジャンプリンク (DLNA) / スカパー! Link (録画) 設定」(→188) を行ってください。
 - ・「クイックスタート」(→178) が「入」になり、待機時の消費電力が増えます。
- 接続機器側での設定が必要になる場合があります。詳しくは接続機器側の説明書をご覧ください。
- かんたんネットワーク設定をやり直すと、スカパー! プレミアムサービスや CATV の登録済みの予約は、正しく実行されなくなる場合があります。設定前に、登録済みの予約を取り消し、設定後に再度予約登録を行ってください。



設定③ かんたんネットワーク設定をする (続き)

こんな画面が表示された場合

無線 LAN アクセスポイントとの接続確認



無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）がWPS（Wi-Fi Protected Setup™）に対応している場合は、「はい」を選ぶと、簡単に設定することができます。

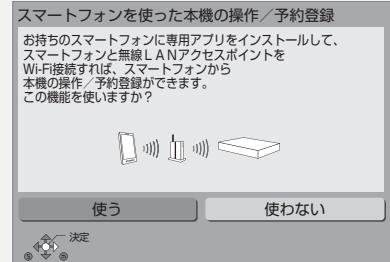
「いいえ」を選んだ場合や、ネットワークに問題がある場合は、「その他のネットワーク設定」（→下記）の画面が表示されます。

画面の指示に従って設定してください。

- WPSとは、無線LAN機器との接続やセキュリティに関する設定を簡単に行うことができる機能です。お持ちの無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）が対応しているかどうかは、ルーターの取扱説明書をご覧ください。

スマートフォンを使った本機の操作 / 予約登録

例)



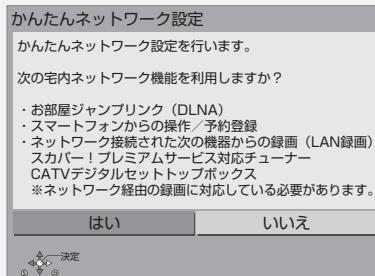
スマートフォンを以下のように接続すると、スマートフォンから本機の操作や録画予約ができます。

- 無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）と無線接続
- 本機と無線親機（シンプル Wi-Fi）で接続

お知らせ

- スマートフォンに専用のアプリケーションをインストールする必要があります。
- 本機を無線親機（シンプル Wi-Fi）に設定してスマートフォンと無線接続すると、スマートフォンでインターネットを利用できなくなります。インターネットをご利用になりたい場合は、スマートフォン側の Wi-Fi® の設定を切ってください。

その他のネットワーク設定



ネットワークをご利用にならない場合や WPS で接続しない場合、ネットワークに問題がある場合は上記の画面が表示されます。

画面の指示に従って設定してください。



ディモーラ・ミモーラ会員登録

ネットワークの設定が完了すると、ディモーラ・ミモーラの会員登録の画面が表示されます。

ディモーラやミモーラのサービスの登録について

本機では、ディモーラやミモーラのサービスに一定期間お試しで登録して利用することができます。
(2014年8月現在)

お試しの期間が終了後、引き続きすべての機能を利用したい場合は、パソコンなどからディモーラやミモーラに会員登録する必要があります。すでに CLUB Panasonicに会員登録している場合は、本機からディモーラやミモーラに会員登録することができます。本機でのお試しの登録や会員登録については、画面の指示に従って行ってください。

- お試しの登録は「ディモーラ／ミモーラサービス設定（おとどけ動画設定）」(→186) で解除することができます。

ディモーラやミモーラのサービスについては、下記ホームページをご覧ください。

パナソニック株式会社

テレビ番組情報ウェブサービス

ディモーラ : <http://dimora.jp/>

ミモーラ : <http://me-mora.jp/>

無線ネットワークの接続確認

例)

無線設定

無線ネットワークの接続設定に失敗しました。

認証エラー、またはタイムアウトエラーが発生しました。

再度、接続設定を行ないますか？

設定を行う場合は、「はい」を選択して決定ボタンを押してください。

はい

いいえ

決定

無線ネットワークの接続に失敗した場合

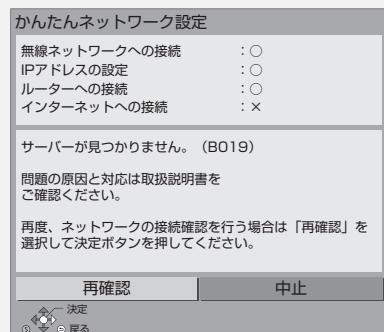
表示	ここを確認してください
他の機器との競合が発生しました。	<ul style="list-style-type: none">しばらく待ってから、再度実行してください。
タイムアウトエラーが発生しました。	<ul style="list-style-type: none">無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）側のMACアドレスなどの設定電波が弱いことが考えられます。本機の位置や角度を調節してください。
認証エラー、またはタイムアウトエラーが発生しました。	<ul style="list-style-type: none">無線設定のネットワーク名（SSID）や暗号化キーしばらく待ってから、再度実行してください。
デバイスエラーが発生しました。	<ul style="list-style-type: none">再度設定しても失敗する場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

設定③ かんたんネットワーク設定をする (続き)

ネットワークに問題があるとき

以下のような画面が表示されます。画面の指示に従つてください。

例)



有線接続で「×」の表示が出た場合

表示	ここを確認してください
LAN ケーブルの接続: × IP アドレスの設定: × ルーターへの接続: × インターネットへの接続: ×	LAN ケーブルの接続 (→215)
LAN ケーブルの接続: ○ IP アドレスの設定: × ルーターへの接続: × インターネットへの接続: ×	<ul style="list-style-type: none"> ハブやルーターの接続と設定 「IP アドレス」の確認 (→185)
LAN ケーブルの接続: ○ IP アドレスの設定: ○ ルーターへの接続: × インターネットへの接続: ×	<ul style="list-style-type: none"> ハブやルーターの接続と設定 「IP アドレス」の確認 (→185)
LAN ケーブルの接続: ○ IP アドレスの設定: ○ ルーターへの接続: ○ インターネットへの接続: ×	<p>「サーバーへの接続に失敗しました (B020)」表示時</p> <ul style="list-style-type: none"> サーバーの混雑やサービスの停止の可能性があります。しばらく待ってから、再度実行してください。 「プロキシサーバー設定」(→185) や ルーターなどの設定
	<p>「サーバーが見つかりません (B019)」表示時</p> <ul style="list-style-type: none"> 「プライマリDNS」、「セカンダリ DNS」の設定 (→185) ルーターなどの設定



無線接続で「×」の表示が出た場合

表示	ここを確認してください
無線ネットワークへの接続：○ IP アドレスの設定：× ルーターへの接続：× インターネットへの接続：×	<ul style="list-style-type: none"> ●無線プロードバンドルーター（アクセスポイント）の接続と設定 ●「IP アドレス」の確認（→185）
無線ネットワークへの接続：○ IP アドレスの設定：○ ルーターへの接続：× インターネットへの接続：×	<ul style="list-style-type: none"> ●無線プロードバンドルーター（アクセスポイント）の接続と設定 ●「IP アドレス」の確認（→185）
無線ネットワークへの接続：○ IP アドレスの設定：○ ルーターへの接続：○ インターネットへの接続：×	<p>「サーバーへの接続に失敗しました (B020)」表示時</p> <ul style="list-style-type: none"> ●サーバーの混雑やサービスの停止の可能性があります。しばらく待ってから、再度実行してください。 ●「プロキシサーバー設定」（→185）やルーターなどの設定 <p>「サーバーが見つかりません (B019)」表示時</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「プライマリ DNS」、「セカンダリ DNS」の設定（→185） ●ルーターなどの設定

お知らせ

- ハブやルーターについてはそれぞれの取扱説明書をご覧ください。
- 本機とネットワーク設定を行うと、無線プロードバンドルーター（アクセスポイント）の暗号化方式などが変更されることがあります。お持ちのパソコンがインターネットに接続できなくなった場合は、無線プロードバンドルーター（アクセスポイント）の設定に従って、パソコンのネットワークの設定を行ってください。
- 2.4 GHz で電子レンジやコードレス電話機などを同時にご使用の場合、通信が途切れたりします。5 GHz をお使いください。
- 無線設定（→184）の画面で「電波状態」のインジケーターが4つ以上（受信レベル 30 以上）点灯していることが、安定した受信状態の目安です。3つ以下、または通信の途切れなどが発生する場合は、本機や無線プロードバンドルーター（アクセスポイント）の位置や角度を変えて、通信状態が良くなるかお確かめください。それでも改善できない場合は有線で接続し、かんたんネットワーク設定（→223）を再度行ってください。
- お部屋ジャンプリンク機能（→188）をご利用になるには、802.11n（5 GHz）をお使いのうえ、暗号化方式を「AES」にしてください。暗号化についてはお使いの無線プロードバンドルーター（アクセスポイント）の取扱説明書をご覧ください。
- 暗号化せずにネットワーク接続すると、第三者に不正に侵入されて通信内容を盗み見られたり、お客様の個人情報や機密情報などのデータが漏えいするおそれがありますので、十分お気をつけください。
- USB 3.0 対応のUSB-HDDを使用すると、2.4 GHz 帯への電波干渉によって通信速度が低下したり、通信が不安定になることがあります。無線 LAN をご使用の場合は、802.11n（2.4 GHz/5 GHz 同時使用可）の無線プロードバンドルーターで接続し、5 GHz で使用してください。（→235）

同時操作について

録画 / 予約録画中の同時操作

(○:できる ×:できない)

録画状態			再生				HDDの編集 ^{*1}	ダビング	
放送 / 入力	録画先	録画モード	HDD・USB-HDDの番組	録画ディスク	BDビデオ・AVCHD	DVDビデオ		ファイルナライズ切	ファイルナライズ入
地上 D BS CS	HDD (1番組録画)	DR 1.5~15倍録	○	○	○	○	○	○	×
	HDD (2番組録画)								
	HDD (3番組録画)								
	BD	DR	○	×	× ^{*2}	×	○	×	×
		1.5~15倍録	○	×	× ^{*2}	×	○	×	×
	DVD	1.5~15倍録	○	×	× ^{*2}	×	○	×	×
		XP, SP, LP, EP, FR	○ ^{*3}	×	×	×	○	×	×
	USB-HDD	DR 1.5~15倍録	○	○	○	○	○	×	×
外部入力	HDD	1.5~15倍録	○	○	×	○	○	○ ^{*4}	×
	BD DVD (AVCREC)	1.5~15倍録	○	×	×	×	○	×	×
	DVD (VR)	XP, SP, LP, EP, FR	○ ^{*3}	×	×	×	○	×	×
i.LINK	HDD	DR	○	○	○	○	○	○	×
スカパー! プレミアム サービス CATV (LAN録画)	HDD	—	○	○	×	○	○	○ ^{*4}	×

●HDDの残量が少なくなると、同時操作はできなくなることがあります。

* 1 実行できる編集 (→93 ~ 99) (ただし、録画モード変換はできません)

* 2 SDカードのAVCHDは再生できます。

* 3 「1080/60p」の表示がある番組は、再生や編集ができません。また、「AVCHD 3D」の表示がある番組は、3D再生できません。

* 4 画質変更ダビングはできません。

ダビング中の同時操作

(○ : できる × : できない)

ダビングの種類	視聴	予約録画 の実行	再生					HDD の 編集 ^{*5}
	放送中 の番組		HDD の 番組	録画 ディスク	BD ビデオ · AVCHD	DVD ビデオ	USB- HDD	
高速ダビング中 (ファイナライズ切)	○	○	○	×	×	×	×	○
画質変更ダビング中 (ファイナライズ切)	○	○ ^{*7}	○ ^{*8}	×	×	×	×	○ ^{*8}
ファイナライズ入で ダビング中	×	×	×	×	×	×	×	×
AVCHD 取り込み中	×	×	×	×	×	×	×	×
ネットワークを使って ダビング中	○	○ ^{*9}	○	○	×	○	○	○

*5 実行できる編集 (→93~99) (ただし、録画モード変換はできません)

*6 HDD 番組を複製中は、再生できます。(SD カードは除く)

*7 スカパー! プレミアムサービスや CATV の番組の予約録画、外部入力の予約録画は実行できません。

*8 「1080/60p」の表示がある番組は、再生や編集ができません。また、「AVCHD 3D」の表示がある番組は、3D 再生できません。

*9 複数の番組の予約録画が始まると、ダビングは中断します。

本機を操作中のお部屋ジャンプリンク (DLNA) の同時操作

(○ : できる × : できない)

クライアント側の操作 (ビデオを見る / 放送を見る)					
1台目	ビデオ	放送	ビデオ	ビデオ	放送
2台目	—	—	ビデオ	放送	放送
HDD・録画ディスク再生中	○	○ ^{*10}	○	○ ^{*10}	○ ^{*10}
DVD ビデオ再生中	○	○	○ ^{*11}	×	×
BD ビデオ・AVCHD 再生中	○	○	○ ^{*11}	×	×
HDD へ放送番組を 1 番組録画中	○	○	○	○	○
HDD へ放送番組を複数番組録画中	○ ^{*12}	○ ^{*12 * 13}	○ ^{*12}	○ ^{*12 * 13}	×
LAN 経由 (スカパー! プレミアムサービス · CATV) で録画中	×	×	×	×	×
ディスクに高速ダビング中	○ ^{*12}	○ ^{*12}	○ ^{*12}	○ ^{*12}	○ ^{*12}
ディスクに画質変更ダビング中	○ ^{*11 * 12}	×	○ ^{*11 * 12}	×	×
アクティビラなどのネットワーク使用中	×	×	×	×	×

●本機の状態によってはお部屋ジャンプリンク (DLNA) ができない場合があります。

*10 本機側で「1080/60p」や「AVCHD 3D」の表示がある番組を再生中は、放送を見ることはできません。

*11 「レート変換モード」(→186) が「オート」または「入」の場合、お部屋ジャンプリンク (DLNA) ができないときがあります。
また、VGA 変換が必要な機器 (ビエラワンセグなど) がクライアントの場合、お部屋ジャンプリンク (DLNA) はできません。

*12 本機側で番組の再生が始まると、お部屋ジャンプリンク (DLNA) はできません。

*13 本機側が 3 番組録画中は放送を見ることはできません。

?

必要なとき

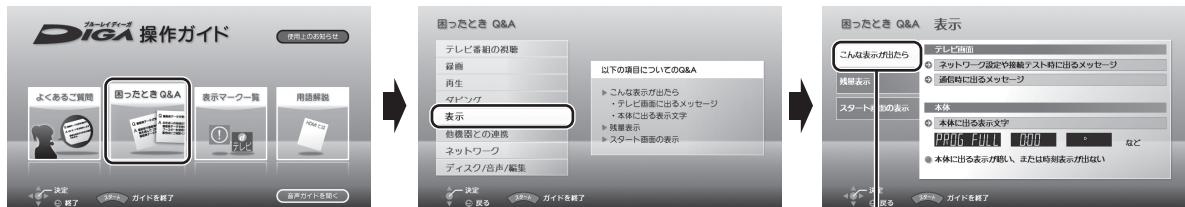
こんな表示が出たら

下記以外の表示やメッセージについては、本体の「操作ガイド」をご覧ください。

① [スタート] を押す

② 「操作ガイド」を選び、[決定] を押す

●表示がない場合は [$\leftarrow\right]$ [$\rightarrow\right]$] でページを切り換えてください。



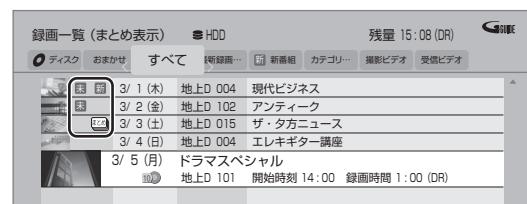
この項目を確認してください。

表示マークについても「操作ガイド」をご覧ください。

予約一覧画面



録画一覧画面



表示文字

調べるところ・原因・対策



●停電や電源コードをコンセントから抜き差ししたあと、点滅します。時刻を合わせてください。

●デジタル放送が受信できる場合は、電源を入れると自動的に時刻を合わせます。



●現在選んでいる BS デジタル放送のチャンネルです。(例: 101 チャンネル)



●オンエアダウンロードによる更新の実行中です。表示が消えるまで、本機を操作することはできません。故障の原因となりますので、絶対に電源コードを抜かないでください。(1/5などはダウンロードの進行状況です)



●ネットワークからのダウンロードによる更新の実行中です。表示が消えるまで、本機を操作することはできません。故障の原因となりますので、絶対に電源コードを抜かないでください。(1/5などは更新の進行状況です)



1~6のいずれかを表示

●本体とリモコンのリモコンモードが違っています。リモコンモードを合わせてください。

表示されたこの番号の数字ボタンを押しながら、
[決定] を3秒以上押したままにしてください。

●4 ~ 6 の数字が表示されている場合、本機以外のリモコンでは操作できません。場合があります。(リモコン下部に "IR6" の表示があるリモコンで操作できます)

表示文字	調べるところ・原因・対策
	●アンテナ電源の異常です。アンテナ線内で芯線と編組線が接触（タッチ）していないか確認してください。
	●本体の内部温度が上昇しています。安全のため動作停止中です。表示が消えるまで（約30分間）お待ちください。できるだけ風通しのよいところに設置し、背面の内部冷却用ファンの周りを空けてください。
	●ディスクが入っていない状態で、録画や再生、ダビング中に、異常が確認されたため、本体動作を正常に戻すための復旧動作中です。表示が消えれば使えます。消えない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
	●本機で使用できないUSB機器が接続されています。本機に対応した機器をお使いください。 ●USB機器接続時に異常が発生しました。接続したUSB機器をいったん本機から外して、再び接続し直してください。
	●再生やダビング中に、ディスクに異常が確認されたため、本体動作を正常に戻すための復旧動作中です。表示が消えれば使えます。消えない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
	●本機が正常に動作しません。本体の【電源 】を押し、電源を切／入してください。それでも症状が変わらない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
 (数字のOOは例です)	●異常が発生しました。（“F”または“H”以降の数字は、本機の状態によって変わります） 本体の【電源 】を3秒以上押して電源を切ったあと、再び電源を入れてください。

●上記の数値表示は、本機の症状を表すサービス番号です。

●上記の操作をしても表示が消えない場合、お買い上げの販売店またはお近くの「修理ご相談窓口」(→244)へ修理を依頼してください。なお、修理のご依頼の際には、「サービス番号、F99」などとお知らせください。

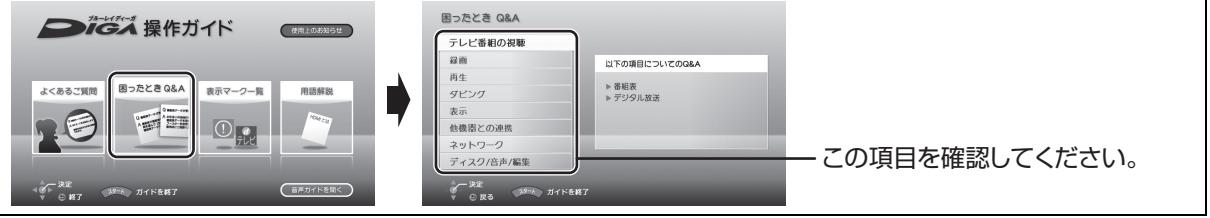


故障かな!?

修理を依頼される前に、下記の項目を確かめてください。これらの処置をしても直らないときや、下記の項目以外の症状は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

「故障かな!?」の内容は、本体の「操作ガイド」や当社ホームページ(→3)も併せてご覧ください。

- ① [スタート]を押す
- ② 「操作ガイド」を選び、[決定]を押す
●表示がない場合は[◀◀][▶▶]でページを切り換えてください。



以下の動作音は、故障ではありません

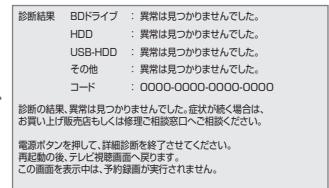
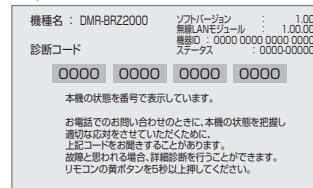
- 周期的なディスクの回転音（ファイナライズ時などに通常より回転音が大きくなる場合があります）
 - 電源切／入時の音
 - 以下の状態のときに、本機から動作音が聞こえる場合があります。
 - ・電源切／入時
 - ・番組表データを受信中
 - ・ソフトウェア更新中または番組のダウンロード中
 - ・録画中
 - ・録画モード変換時、持ち出し番組作成時
 - ・「ビエラリンク録画待機」(→182) の「入」時
 - ・「家じゅう録画一覧設定」(→186) の「自動更新」の「入」時
 - ・「おまかせクリップ」(→137) の「自動作成」時
 - ・予約録画終了時または午前4時ごろ（1週間に1回程度）の、本機全体の自動再起動時
- 本機の安定性維持のため、自動的に内部点検を行っています。

診断コードについて

本機では、故障と思われる症状が出たときは、下記の操作を行って機器の状態を診断することができます。

- ① [スタート]を押す
- ② 「全機能から選ぶ」を選び、[決定]を押す
- ③ 「設定する・その他の機能」を選び、[決定]を押す
- ④ 「メール／情報・診断コード」を選び、[決定]を押す
- ⑤ 「診断コード」を選び、[決定]を押す
- ⑥ [黄]を5秒以上押す
- ⑦ 「はい」を選び、[決定]を押す
●診断を開始します。

- 診断コードですべての故障を診断できるわけではありません。あらかじめご了承ください。



電源

電源が入らない

- 予約録画終了時や午前4時ごろの数分間は、「クイックスタート」を「入」にしていると、電源ボタン以外の操作ができないときがあります。
- 電源コードを差した直後は電源が入りません。しばらくお待ちください。
- 停電のあとなど一時的にリモコンから電源が入らない場合があります。本体の【電源 OFF/I】を押し、電源を入れてください。

自動的に電源が切れた

- 「自動電源〔切〕」(→177) やビエラリンク (HDMI) の電源オフ連動 (→147)、「こまめにオフ」の機能が働いている場合、自動的に電源が切れます。

自動的に電源が入る

- ビエラリンク (HDMI) をお使いのときは、テレビから電源を入れたり予約をすると、本機の電源が自動的に入ります。

USB-HDD の電源が切れない

- 本機の設定によっては、電源を「切」にしても USB-HDD の電源が切れない場合があります。

時刻表示が出ない

- 電源「切」時に本体表示窓に時刻を表示するには、以下①～③の設定にしてください。
 - ① 「クイックスタート」(→178) を「入」に設定
 - ② 「クイックスタートモード」(→178) を「標準」に設定
 - ③ 「ECO スタンバイ」(→182) を「切」に設定ただし、「節電待機」(→32) で電源を切ると、時刻は表示されません。

ビエラリンクが働かなくなったり

- 本体の【電源 OFF/I】を約3秒間押して電源を切り、テレビの主電源を切ったあと、HDMI ケーブルを抜き差してください。

本体

本機が熱い

- 本機使用中は温度が高くなります。性能・品質には問題ありません。本機の上下左右にスペースを空けてください。
本機の温度が気になる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

ディスクが取り出せない

- 本機の故障が考えられます。
電源「切」状態で、以下の操作を行うと、ディスクトレイが開きます。
 - ① 本体の【電源 OFF/I】を3秒以上押す
・本体の電源が切れます。
 - ② 【決定】と【青】と【黄】を同時に5秒以上押す
・本体表示窓に“OO RET”が表示されます。
 - ③ 本体表示窓に“06 FTO”が表示されるまで
▶]を数回押す
 - ④ 【決定】を押す
(ディスクトレイが開かない場合は、電源コードを抜き差ししたあと、再度同様の操作を行ってください)
ディスクを取り出し、お買い上げの販売店へご相談ください。



必要なとき

ボタン操作

リモコンが動かない

- 本体とリモコンのリモコンモード(→187)が異なっていますか。電池を交換すると、リモコンモードを合わせ直す必要がある場合があります。



表示されたこの番号の数字ボタンを押しながら、[決定]を3秒以上押したままにしてください。

- リモコンモードを「4」～「6」に設定している場合、本機のリモコン以外では操作できないときがあります。(リモコン下部に“IR6”的表示があるリモコンで操作できます)
- 本体のリモコン受信部に向けて操作していますか。また、受信部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光が当たると受信できなくなる場合があります。
- リモコンと本体の間に障害物(ラックなどの色付きガラスも含む)などがありますか。
- リモコンでテレビ操作をできない場合は、以下のことを確認してください。
 - ・[テレビ操作]が点灯していますか。
 - ・テレビのメーカー番号が異なっていますか。電池を交換すると、合わせ直す必要がある場合があります。(→187)

本機のリモコンで操作したら、他の当社製機器も動いてしまう

- 本機と他の当社製機器のリモコンモードが同じになっています。本機のリモコンモードを変更してください。(→187)

テレビ画面や映像

本機からの映像が映らない テレビに「信号ありません。」が表示される

- 本体の[電源 OFF]を押し、電源を入れてください。
- HDMIケーブルが認識されていない場合があります。本機の電源が「切」の状態で、HDMIケーブルを抜き差したあと、もう一度本機の電源を入れてください。

本機を接続したら、テレビの映りが悪くなったり、または映らなくなったり

- アンテナ線の接続方法によっては、映りにくくなる場合があります。お買い上げの販売店にご相談ください。
- 以下の場合は、テレビ側のアンテナ電源も「入」にしてください。
 - ・かんたん設置設定で衛星アンテナの設定を「個別受信」にしているとき(→220)
 - ・「アンテナ電源」を「入」にしているとき(→171)
- 「アンテナ出力」(→171)を「入」にしてください。「切」の場合、本機の電源「切」時にBS・110度CSアンテナ出力から信号を出力しないため、テレビなどでBS・110度CSデジタル放送を視聴できません。
- 一度「アッテネーター」(→174)の設定を切り換えてみてください。
- 「節電待機」(→32)で電源「切」時は、テレビの映像が映らない、もしくは画質が悪くなることがあります。本機を経由させずにアンテナ線をテレビに接続すると、改善することができます。(→209)

アンテナレベルが改善して、テレビの映りがよくなっていますが、アンテナレベル不足の表示が消えない

- 「かんたん設置設定」(→219)をやり直してください。

表示していた画面が消える

- 「テレビ画面の焼き付き低減機能」(→181)が「入」の場合、10分以上操作を行わないと、自動的に表示していた画面を切り替えます。

画面の上下左右に黒帯(グレー帯)が表示される 画面の横縦比がおかしい

- 「画面モード切換」(→87)で調整してください。(テレビのアスペクト設定でも調整できます)
- 「TVアスペクト」(→182)で調整してください。

再生時の映像に残像が多い

- 「ノイズ低減」(→87) の各項目を「0」にしてください。

映像が映らない

映像が乱れる

- 接続やテレビ側の入力切り換えを確認してください。
(→203 ~ 218)
- 以下の場合、故障ではありません。
 - ・気象条件が悪いためによる受信映像の乱れ
 - ・BS/CS 放送の一時的な休止による受信障害
 - ・3D ディスク入れ替え時の画面の乱れ
 - ・HDCP (不正コピー防止技術) 非対応機器に接続した場合は映像が映りません。HDCP 対応機器でも接続した機器（パソコンのディスプレーなど）によって正常な映像にならない、または映らない場合があります。（音声は出力されません）
 - ・以下の場合、HDMI 認証が起り、黒画面になります。
 - 「24p 出力」(→183) が「オート」の場合、24p 素材とそれ以外の素材が切り換わる部分
 - 2D 映像と 3D 映像を切り換えたとき
 - ・「24p/30p 変換出力」(→88) の設定を変更したとき
 - ・「Deep Color 出力」(→183) もしくは「コンテンツタイプフラグ」(→183) を「切」にしてください。
- テレビによっては、再生中などの操作時の画面にノイズが出る場合があります。
接続するテレビの HDMI 端子を他の HDMI 端子に変更すると改善される場合があります。
- 4K 出力時、HDMI ケーブルによっては映像が乱れる場合があります。4K 出力対応の HDMI ケーブルをお使いください。

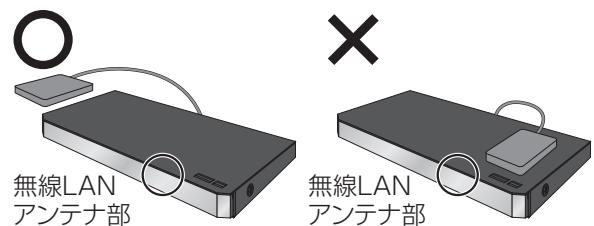
ネットワーク

接続機器との通信ができなくなった

- 通信が混み合っている場合があるため、しばらく待って再度実行してください。
- ブロードバンドルーターのリセットを行ってみてください。
- ネットワークに関しては、本体の操作ガイド (→2) や当社ホームページ (→3) をご覧ください。

お部屋ジャンプリンク・インターネット接続が不安定になる

- USB3.0 対応の USB-HDD を使用すると、2.4 GHz 帯への電波干渉によって通信速度が低下したり、通信が不安定になることがあります。
以下のように設置してください。
 - ・無線 LAN をご使用の場合は、802.11 n(2.4 GHz/ 5 GHz 同時使用可) の無線ブロードバンドルーターで接続し、5 GHz で使用する
 - ・ご使用の無線ブロードバンドルーターが 2.4 GHz のみの場合
 - USB-HDD は本機の上には置かない
 - USB-HDD は本機右前にある無線 LAN アンテナ部からできるだけ離して設置する



?

必要なとき

仕様

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

■ DMR-BRZ2000

電源：AC 100 V、50/60 Hz

消費電力：

動作時：約 23 W

待機時（クイックスタート「切」／節電待機「モード2」）：

時刻表示消灯時・約 0.01 W^{*1*2}

待機時（クイックスタート「入」省エネ）：

時刻表示消灯時・約 3.3 W^{*1}

待機時（クイックスタート「入」標準）：

時刻表示点灯時・約 4.9 W^{*1*3}

■ DMR-BRZ1000

電源：AC 100 V、50/60 Hz

消費電力：

動作時：約 22 W

待機時（クイックスタート「切」／節電待機「モード2」）：

時刻表示消灯時・約 0.01 W^{*1*2}

待機時（クイックスタート「入」省エネ）：

時刻表示消灯時・約 3.3 W^{*1}

待機時（クイックスタート「入」標準）：

時刻表示点灯時・約 4.9 W^{*1*3}

※ 1・地上デジタルアッテネーター：「入」

・BS・110度CSデジタルアンテナ電源：「切」

・BS・110度CSデジタルアンテナ出力：「切」

・外部接続端子（LAN、USB、TS）：未接続

・無線LAN：未接続

※ 2・節電待機「モード1」の数値は、お客様の設定により変わります。

※ 3・HDMI出力解像度：1080i

待機時（電源「切」時）でも、番組表データの受信など本機が動作している場合の消費電力は増えます。

■ 本体

寸法：

■ DMR-BRZ2000

幅 430 mm × 高さ 45.0 mm × 奥行 179 mm (突起部含まず)

幅 430 mm × 高さ 45.0 mm × 奥行 189 mm (突起部含む)

■ DMR-BRZ1000

幅 430 mm × 高さ 41.5 mm × 奥行 179 mm (突起部含まず)

幅 430 mm × 高さ 41.5 mm × 奥行 189 mm (突起部含む)

質量：DMR-BRZ2000 約 2.5 kg DMR-BRZ1000 約 2.2 kg

許容周囲温度：5 ℃～40 ℃

許容相対湿度：10%～80%RH (結露なきこと)

■ テレビジョン方式

アンテナ受信入力：

地上デジタル入力：

90 MHz～770 MHz 75 Ω (VHF：1～12 CH、

UHF：13～62 CH、CATV：C13～C63 CH)

BS・110度CSデジタル-IF入力：

1032 MHz～2071 MHz (IF入力周波数) 75 Ω

電源供給：DC 15 V、最大4 W

■ 入出力端子（映像・音声を除く）

TS入力端子：

4ピン：1系統 (IEEE1394準拠)、端子は背面1装備

SDメモリーカードスロット：1系統

LAN端子：1系統 (10BASE-T/100BASE-TX)

USB端子 [ハイスピードUSB(USB2.0)対応]：

前面1系統、背面1系統 (DC 5 V 最大 500 mA)

USB端子 (USBハードディスク録画用)

[スーパースピードUSB(USB3.0)対応]：

背面1系統、HDD対応 (DC 5 V 最大 900 mA)

■ 映像

記録圧縮方式：

MPEG-2 (Hybrid VBR)、MPEG-4 AVC/H.264

映像入力：

入力端子：1系統 (ピンジャック)

入力レベル：1.0 Vp-p 75 Ω

HDMI映像・音声出力：

出力端子：1系統 (19ピン typeA端子)

[480p/1080i/720p/1080p/2160p (4K/30p)]

マスター/グレードビデオコーディング対応

■ 音声

記録・再生圧縮方式：

MPEG-2 AAC：最大 5.1ch 記録

Dolby Digital：2ch記録

アナログ入力：

入力端子：2ch入力、1系統 (ピンジャック)

入力レベル：

FS：2 Vrms (1 kHz, 0 dB)

入力インピーダンス：22 kΩ

デジタル出力：

光デジタル音声出力端子：1系統

HDMI映像・音声出力端子：1系統

■ SD 部

対応カード：

SD カード : FAT12/FAT16

SDHC カード : FAT32

SDXC カード : exFAT

■ USB 部

USB 機器：

- 対応フォーマット : FAT12、FAT16、FAT32

USB-HDD :

- USB3.0/USB2.0 (160 GB 以上 3 TB 以下)

- 登録可能台数 : 最大 8 台まで (同時接続台数は 1 台のみ)

USB-HDD (SeeQVault 規格準拠) :

- USB3.0/USB2.0 (160 GB 以上 3 TB 以下)

- 同時接続台数は 1 台のみ

■ 写真

画素数：

34 × 34 ~ 8192 × 8192

サブサンプリング : 4:2:2、4:2:0

解凍時間：約2秒 (1010万画素)

・解凍時間は使用環境 (ファイル数・圧縮率など) によって多少長くなることがあります。

記録 / 再生可能メディア：

HDD、BD-RE、BD-R、DVD-RAM、SD カード

再生のみ可能メディア：

DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW、+R、+R DL、
+RW、CD-R/CD-RW、USB

ファイル方式：

- JPEG : ベースライン方式 (DCF 準拠)
 - ・ ファイル名の拡張子に「jpg」、「JPG」と書かれたファイル (半角英数字のみ)
- MOTION JPEG 非対応
- MPO : マルチピクチャーフォーマット (MPF 準拠)
 - ・ ファイル名の拡張子に「mpo」、「MPO」と書かれたファイル (半角英数字のみ)

フォルダ数：

BD-RE、BD-R、DVD-RAM、DVD-R、DVD-R DL、
DVD-RW、+R、+R DL、+RW、CD-R/CD-RW、SD カー
ド、USB : 最大 500

・ 最大フォルダ数 : ディスク 1 枚に対し、本機で対応してい
る最大フォルダ数 (ルートもフォルダとして数える)

ファイル数：

- HDD : 最大 20000
- BD-RE、BD-R、DVD-RAM、DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW、
+R、+R DL、+RW、CD-R/CD-RW、SD カード、USB :
最大 10000
- ・ 最大ファイル数 : ディスク 1 枚に対し、本機で対応して
いる最大ファイル数 (JPEG と MPO のファイル合計)

CD/DVD-R/DVD-R DL/DVD-RW/+R/+R DL/+RW :

ISO9660 level1 と 2 (拡張フォーマットは除く)、Joliet
対応

■ AVCHD 動画

ファイル形式 : AVCHD 規格準拠

圧縮方式 : MPEG-4 AVC/H.264

■ MP4 動画

ファイル形式 : MP4 ファイルフォーマット

- ・ ファイル名の拡張子に「MP4」と書かれたファイル (半角英
数字のみ)

ビデオ圧縮方式：

- MPEG-4 AVC/H.264 : High profile 5.1 以下
- 解像度 : 4096 × 2160 まで

音声圧縮方式：

MPEG-4 AAC-LC

サンプリング周波数 : 8 kHz ~ 48 kHz

チャンネル数 : 1 または 2

(音声の内容によっては、映像のみ再生し、音声が出力できな
い場合があります)

■ 持ち出し動画

ファイル形式 / 画質：

SD VIDEO 規格 (ISDB-T Mobile Video Profile) 準拠 /

320 × 180 15 fps (412 kbps)

SD VIDEO 規格 (H.264 Mobile Video Profile) 準拠 /

640 × 360 30 fps (1.5 Mbps, 1.0 Mbps)

圧縮方式 : MPEG-4 AVC/H.264

■ 内蔵無線 LAN モジュール

規格：

IEEE802.11n / IEEE802.11a /

IEEE802.11g / IEEE802.11b 準拠

・ 従来の 11a (J52) のみの対応機器とは接続できません。
ARIB STD-T71(5 GHz 帯)、ARIB STD-T66(2.4 GHz 帯)
(5 GHz 帯は屋内使用限定)

セキュリティー：

WPATM / WPA2TM

(暗号化方式 : TKIP / AES、認証方式 : PSK)

WEP (64 bit / 128 bit)

DCF 準拠 (デジタルカメラなどで記録したもの) したフォーマッ
トが使用できます。

DCF : Design rule for Camera File system [電子情報技術産
業協会 (JEITA) にて制定された統一規格]



必要なとき

仕様 (続き)

■ 録画モードと記録時間の目安

録画モード		ディスク		内蔵HDD				BD-RE、BD-R								
		DMR-BRZ2000 (2 TB)	DMR-BRZ1000 (1 TB)	128 GB (片面4層)	100 GB (片面3層)	50 GB (片面2層)	25 GB (片面1層)									
放送 画質	DR	BS デジタル	HD放送 (≤24 Mbps)	約 180 時間	約 90 時間	約 11 時間 10 分	約 8 時間 40 分	約 4 時間 20 分	約 2 時間 10 分							
		SD放送 (≤12 Mbps)		約 360 時間	約 180 時間	約 22 時間 20 分	約 17 時間 20 分	約 8 時間 40 分	約 4 時間 20 分							
		地上 デジタル	HD放送 (≤17 Mbps)	約 254 時間	約 127 時間	約 15 時間 30 分	約 12 時間	約 6 時間	約 3 時間							
ハイビ ジョン 画質	1.5 倍録		約 270 時間	約 135 時間	約 16 時間 45 分	約 13 時間	約 6 時間 30 分	約 3 時間 15 分								
	1.6 倍録		約 288 時間	約 144 時間	約 17 時間 55 分	約 14 時間	約 7 時間	約 3 時間 30 分								
	1.8 倍録		約 324 時間	約 162 時間	約 20 時間 10 分	約 16 時間	約 8 時間	約 4 時間								
	2 倍録 (HG)		約 360 時間	約 180 時間	約 22 時間 20 分	約 17 時間 20 分	約 8 時間 40 分	約 4 時間 20 分								
	2.3 倍録		約 414 時間	約 207 時間	約 25 時間 45 分	約 20 時間	約 10 時間	約 5 時間								
	2.5 倍録		約 450 時間	約 225 時間	約 27 時間 55 分	約 21 時間 40 分	約 10 時間 50 分	約 5 時間 25 分								
	2.7 倍録		約 486 時間	約 243 時間	約 30 時間 10 分	約 24 時間	約 12 時間	約 6 時間								
	3 倍録 (HX)		約 540 時間	約 270 時間	約 33 時間 30 分	約 26 時間	約 13 時間	約 6 時間 30 分								
	3.5 倍録		約 630 時間	約 315 時間	約 39 時間 5 分	約 30 時間 20 分	約 15 時間 10 分	約 7 時間 35 分								
	4 倍録 (HE)		約 720 時間	約 360 時間	約 44 時間 40 分	約 34 時間 40 分	約 17 時間 20 分	約 8 時間 40 分								
	4.5 倍録		約 810 時間	約 405 時間	約 50 時間 15 分	約 39 時間	約 19 時間 30 分	約 9 時間 45 分								
	5 倍録 (HL)		約 900 時間	約 450 時間	約 55 時間 50 分	約 43 時間 20 分	約 21 時間 40 分	約 10 時間 50 分								
	5.5 倍録		約 990 時間	約 495 時間	約 61 時間 25 分	約 48 時間	約 24 時間	約 12 時間								
	6 倍録		約 1080 時間	約 540 時間	約 67 時間	約 52 時間	約 26 時間	約 13 時間								
	7 倍録		約 1260 時間	約 630 時間	約 78 時間 10 分	約 60 時間 40 分	約 30 時間 20 分	約 15 時間 10 分								
	8 倍録 (HM)		約 1440 時間	約 720 時間	約 89 時間 20 分	約 69 時間 20 分	約 34 時間 40 分	約 17 時間 20 分								
	9 倍録		約 1620 時間	約 810 時間	約 100 時間 30 分	約 78 時間	約 39 時間	約 19 時間 30 分								
	10 倍録		約 1800 時間	約 900 時間	約 111 時間 40 分	約 86 時間 40 分	約 43 時間 20 分	約 21 時間 40 分								
	11 倍録		約 1980 時間	約 990 時間	約 122 時間 50 分	約 95 時間 20 分	約 47 時間 40 分	約 23 時間 50 分								
	12 倍録		約 2160 時間	約 1080 時間	約 134 時間	約 104 時間	約 52 時間	約 26 時間								
	15 倍録 (HZ)		約 2700 時間	約 1350 時間	約 167 時間 30 分	約 130 時間	約 65 時間	約 32 時間 30 分								
DVD 画質	XP		本機では録画できません													
	SP															
	LP															
	EP (8 時間)															

128 GB(片面4層)はBD-Rのみ。2014年8月現在、BD-R (128 GB:片面4層)は発売されていません。

ディスク	DVD-RAM DVD-R (4.7 GB)	DVD-R DL (8.5 GB) (片面2層)	DVD-RW (4.7 GB)
ハイビジョン画質	1.5倍録	約36分	約1時間7分
	1.6倍録	約39分	約1時間12分
	1.8倍録	約44分	約1時間21分
	2倍録(HG)	約48分	約1時間30分
	2.3倍録	約56分	約1時間43分
	2.5倍録	約1時間	約1時間52分
	2.7倍録	約1時間5分	約2時間1分
	3倍録(HX)	約1時間12分	約2時間15分
	3.5倍録	約1時間24分	約2時間37分
	4倍録(HE)	約1時間36分	約3時間
	4.5倍録	約1時間48分	約3時間22分
	5倍録(HL)	約2時間	約3時間45分
	5.5倍録	約2時間12分	約4時間7分
	6倍録	約2時間24分	約4時間30分
	7倍録	約2時間48分	約5時間15分
	8倍録(HM)	約3時間12分	約6時間
	9倍録	約3時間36分	約6時間45分
	10倍録	約4時間	約7時間30分
	11倍録	約4時間24分	約8時間15分
	12倍録	約4時間48分	約9時間
	15倍録(HZ)	約6時間	約11時間15分
DVD画質	XP	約1時間	約1時間45分
	SP	約2時間	約3時間35分
	LP	約4時間	約7時間10分
	EP(8時間)	約8時間	約14時間20分

本機では
録画できません

お知らせ

- **HDD** 持ち出し番組や写真を記録している場合、「ドアホン・センサー/カメラ接続」(→186) を「入」にすると、記録できる時間は少なくなります。
- 15倍録モードでの録画では、録画する番組がサラウンド音声やマルチ音声の場合、実際に録画できる時間が残量表示よりも短くなることがあります。残量に余裕がある状態（録画される時間の1.3倍以上の残量がある状態）で録画することをお勧めします。
- 表の数値は目安です。記録する内容によっては変化することがあります。
- DRモード以外で録画する場合、映像の情報量に合わせてデータの記録量を変化させる方法（可変ビットレート方式：VBR）を採用しているため、残量表示と実際に記録できる時間が異なることがあります。（**HDD** **BD-RE** **BD-R** **RAM AVCREC** **R AVCREC** では、特にその差が著しくなります）
- DRモードの録画時間は放送（転送レート）によって異なります。本機の残量表示は、地上デジタル放送を17Mbps、BSデジタル放送を24Mbpsで録画したものとして計算されています。そのため、残量表示と実際の残量は異なる場合があります。
- 情報量の少ない（ビットレートの低い）番組を高画質の録画モードで長時間記録すると、ディスク容量いっぱいに記録することができない場合があります。
- 録画モードに記載されているHG、HX、HE、HL、HM、HZの表記は、従来ディーガの録画モードとの目安です。

?

必要なとき

仕様（続き）

■記録できる最大番組数（使い方によっては、記録できる番組数は少なくなります）

- **HDD**：3000（持ち出し番組を含む。長時間連続して記録すると、8時間ごとの番組に分けて記録されます）
- **BD-RE** **BD-R** **RAM AVCREC** **-R AVCREC**：200
- **RAM VR** **-R VR** **-R V** **-RW VR** **-RW V**：99
- **USB-HDD**：3000（撮影ビデオ、写真は記録できません）

■予約可能番組数

128（予約可能期間：1年間）

■スカパー！プレミアムサービスの番組記録時間の目安

番組	内蔵HDD DMR-BRZ2000 2 TB	内蔵HDD DMR-BRZ1000 1 TB
スカパー！プレミアムサービスの ハイビジョン画質の番組	約 469 時間（約 254～587 時間）	約 234 時間（約 127～293 時間）
スカパー！プレミアムサービスの 標準画質の番組	約 805 時間（約 508～1545 時間）	約 400 時間（約 254～770 時間）

● 録画する番組によって記録できる時間は変動します。（）は変動する記録時間の目安です。

■最大チャプターマーク数（記録状態により異なります。自動的に作成されるチャプターマークを含む）

- **HDD** **USB-HDD**：1番組当たり約 999 個
- **BD-RE** **BD-R** **RAM** **-R AVCREC** **-R VR** **-RW VR**：ディスク当たり約 999 個
(**BD-RE** **BD-R** の BDXL は約 20000 個)
- **BD-RE** **BD-R** **RAM AVCREC** **-R AVCREC**：1番組当たり約 100 個

■持ち出し番組の記録可能時間の目安

SD カード 画質	ワンセグ（412 kbps）	VGA（1.0 Mbps）	VGA（1.5 Mbps）
4 GB	約 21 時間 19 分	約 7 時間 46 分	約 5 時間 23 分
16 GB	約 87 時間 20 分	約 31 時間 52 分	約 22 時間 5 分
64 GB	約 349 時間 28 分	約 127 時間 34 分	約 88 時間 24 分
128 GB	約 690 時間 23 分	約 252 時間 1 分	約 174 時間 39 分

SD カードは主な記憶容量のみ記載しています。

本機では、情報量の多い番組を想定して記録可能時間を算出しています。そのため、情報量の少ない番組を記録する場合、記録可能時間は上記の目安よりも長くなります。

- 最大番組数：99 [ハイビジョン動画（AVCHD）以外の動画を含む]

■ デジタル出力される音声と接続・設定の関係

[表内の ch (チャンネル数) は最大チャンネル数を表示]

接続端子	HDMI 端子				デジタル音声出力端子			
「デジタル出力」の設定	Bitstream ^{*1}		PCM		Bitstream		PCM	
「BD ビデオ副音声・操作音」の設定	入 ^{*2}	切	入	切	入	切	入	切
Dolby Digital Dolby Digital EX	Dolby Digital	オリジナルの音声で出力	ダウンミックス 2ch	Dolby Digital Dolby Digital EX ^{*3}	Dolby Digital DTS Digital Surround™ DTS Digital Surround ES™	DTS Digital Surround™ DTS Digital Surround ES™ ^{*3}	ダウンミックス 2ch	ダウンミックス 2ch
Dolby Digital Plus Dolby TrueHD	DTS Digital Surround™							
DTS-HD High Resolution Audio™	DTS Digital Surround™							
DTS-HD Master Audio™								
7.1ch LPCM	7.1ch PCM				ダウンミックス 2ch PCM			

- ※ 1 接続する機器が非対応のときは、Dolby Digital か DTS Digital Surround™ の Bitstream またはダウンミックス 2ch PCM (例: テレビなど) で出力します。
- ※ 2 **BD-V** 副音声や操作音を含まない場合は、「BD ビデオ副音声・操作音」(→181) を「切」に設定したときと同様の音声で出力します。
- ※ 3 **BD-V** 「BD ビデオ副音声・操作音」(→181) を「入」に設定した場合、Dolby Digital EX は Dolby Digital、DTS Digital Surround | ES™ は DTS Digital Surround™ の Bitstream で出力します。ただし、副音声や操作音を含まない BD ビデオの再生時は、オリジナルの音声で出力します。

■ 4K 出力のためのお勧めの設定と出力映像信号

本機を 4K 対応テレビに接続して、本機の再生設定を下記表の設定にすると、本機から 4K 映像を出力することが可能になります。
(4K ダイレクトクロマアップコンバート)
(テレビ放送視聴映像は 4K 出力できません)

接続するテレビの種類	再生素材	本機のお勧め設定		本機から出力される映像信号	
		初期設定 ^{*4} 「24p 出力」 (→183)	再生設定 「24p/30p 変換出力」 (→88)	解像度	フレームレート
4K 対応テレビ	BD-V ^{*5} 24p	オート	—	4K	24p
	BD-V / 録画番組 60i	—	24p ^{*6}		30p ^{*7}
		—	30p ^{*7}		

- ※ 4 その他の初期設定値（お買い上げ時の設定）

- ・「HDMI 出力解像度」(→183) : 「オート」
- ・「HDMI カラースペース」(→183) : 「YCbCr (MGVC オート)」

- ※ 5 MGVC 対応ディスクは、4K24p / 4:2:2 / 36bit [12bit(Y)+12bit(Cb)+12bit(Cr)] で出力します。

- ※ 6 1 秒あたり 24 コマの映画素材以外の場合、映像の動きがなめらかではなくなることがあります。

- ※ 7 1 秒あたり 30 コマの素材以外の場合、映像の動きがなめらかではなくなることがあります。

?

必要なとき

著作権など

- 著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- ロヴィ、Rovi、G ガイド、G-GUIDE、および G ガイドロゴは、米国 Rovi Corporation および／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
G ガイドは、米国 Rovi Corporation および／またはその関連会社のライセンスに基づいて生産しております。
米国 Rovi Corporation およびその関連会社は、G ガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、G ガイドに関する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
- 電子番組表の表示機能に G ガイドを採用していますが、当社が G ガイドの電子番組表サービスを保証するものではありません。
- 天災、システム障害、放送局側の都合による変更などの事由により、電子番組表サービスが使用できない場合があります。当社は電子番組表サービスの使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- 「マスターグレード\MASTER GRADE」は（株）バンダイの登録商標です。
- DTSの特許については、<http://patents.dts.com>をご参照ください。DTS Licensing Limited からの実施権に基づき製造されています。DTS、シンボルマークおよび DTS とシンボルマークとの複合ロゴは DTS, Inc. の登録商標です。DTS 2.0+Digital Out は DTS, Inc. の商標です。© DTS, Inc. 無断複写・転載を禁じます。
- SDXC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。
- i.LINKとi.LINKロゴ “” は商標です。
- DLNA, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interface は、米国およびその他の国における HDMI Licensing LLC の商標または、登録商標です。
- Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。
- Microsoft、Windows、Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- HDAVI Control™ は商標です。
- マーク、および「AcTVila」、「アクトビラ」は、（株）アクトビラの商標または登録商標です。
- “Wi-Fi CERTIFIED™” ロゴは、“Wi-Fi Alliance®” の認証マークです。
- Wi-Fi Protected Setup™ 認証マークは、“Wi-Fi Alliance®” の認証マークです。
- “Wi-Fi®”、“Wi-Fi Direct®” は“Wi-Fi Alliance®” の登録商標です。
- “Wi-Fi Protected Setup™”、“WPA™”、“WPA2™” は “Wi-Fi Alliance®” の商標です。
- 日本語変換はオムロンソフトウェア（株）のモバイルWnnを使用しています。
“Mobile Wnn” © OMRON SOFTWARE Co.,Ltd. 1999-2002 All Rights Reserved
- 富士通株式会社のInspirium音声合成ライブラリを使用しています。Inspirium 音声合成ライブラリ Copyright FUJITSU LIMITED 2011-2014
- “AVCHD”、“AVCHD 3D”、“AVCHD Progressive”、および“AVCHD 3D/Progressive” はパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- “DVD Logo” は DVD フォーマットロゴライセンシング株式会社の商標です。
- SeeQVault Text and Logo are trademarks of NSM Initiatives LLC.
- 本製品は、AVC Patent Portfolio License 及び VC-1 Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかる個人使用を除いてはライセンスされておりません。
 - ・AVC 規格及び VC-1 規格に準拠する動画（以下、AVC/VC-1 ビデオ）を記録する場合
 - ・個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録された AVC/VC-1 ビデオを再生する場合
 - ・ライセンスを受けた提供者から入手された AVC/VC-1 ビデオを再生する場合詳細については米国法人 MPEG LA, LLC (<http://www.mpeglal.com>) をご参照ください。
- Copyright 2004-2014 Verance Corporation. Cinavia™ は Verance Corporation の商標です。米国特許第 7,369,677 号および Verance Corporation よりライセンスを受けて交付されたまたは申請中の全世界の特許権により保護されています。すべての権利は Verance Corporation が保有します。
- 本機がテレビ画面に表示する平成丸ゴシック体は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものです。許可なく複製することはできません。
- この製品に使用されているソフトウェアに関する情報は、[スタート] ボタンを押し、“全機能から選ぶ” → “設定する・その他の機能” → “メール／情報・診断コード” → “メール／情報” → “ID 表示” → “ソフト情報” をご参照ください。
- メールやデータ放送のポイントなどのデジタル放送に関する情報は、本機が記憶します。万一、本機の不都合によって、これらの情報が消失した場合、復元は不可能です。その内容の補償についてはご容赦ください。
- 本機器をネットワークに接続して利用される場合、当社は、本機器に入力された文字情報を、本機器の操作機能（かな漢字変換や番組の検索等を含む）の利便性向上や新機能の開発のために、弊社サーバー上で保管し、利用することができます。
- この取扱説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の登録商標または商標です。
- 本機は2014年8月現在のデジタル放送規格の運用条件(著作権保護内容)に基づいて設計されています。

- あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
- シーン／見どころ情報は、情報提供元より提供された番組関連情報を元に表示しています。当社は、シーン／見どころ情報について、表示結果としての完全性、正確性、網羅性、的確性、十分性、その他あらゆる意味での完成度について、一切保証を行うまではありません。シーン／見どころ情報の正確性、的確性、完成度などに起因または関連して生じたお客様の損失・損害について、当社は一切責任を負わないものとします。
- 天災、システム障害などの事由により、シーン／見どころ情報が表示できない場合があります。当社は、シーン／見どころ情報の使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。



VIERA Link



放送やネットワークのサービス事業者が提供する以下のサービス内容は、サービス提供会社の都合により、予告なく変更や終了することがあります。サービスの変更や終了にかかるいかなる損害、損失に対しても当社は責任を負いません。

- クトビラなどのインターネットサービス
- 番組表表示や、1ヶ月の番組表、注目番組などの電子番組表サービス
- 動画共有サービスからの似たものおすすめ機能
- 宅外リモート接続機能
- その他の放送・ネットワーク事業者が提供するサービス

本製品は、以下の種類のソフトウェアから構成されています。

- (1) パナソニック株式会社（パナソニック）が独自に開発したソフトウェア
 - (2) 第三者が保有しており、パナソニックにライセンスされたソフトウェア
 - (3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.0 (GPL V2.0)に基づきライセンスされたソフトウェア
 - (4) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.1 (LGPL V2.1)に基づきライセンスされたソフトウェア
 - (5) GPL V2.0、LGPL V2.1 以外の条件に基づきライセンスされたオープンソースソフトウェア
- 上記(3)～(5)に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布ますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての默示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。

詳細は、本製品の初期設定画面から所定の操作により表示されるライセンス条件をご参照ください。

パナソニックは、本製品の発売から少なくとも3年間、以下の問い合わせ窓口にご連絡いただいた方に対し、実費にて、GPL V2.0、LGPL V2.1、またはソースコードの開示義務を課すその他の条件に基づきライセンスされたソフトウェアに対応する完全かつ機械読取り可能なソースコードを、それぞれの著作権者の情報と併せて提供します。

問い合わせ窓口：oss-cd-request@gg.jp.panasonic.com

また、これらソースコードおよび著作権者の情報は、以下のウェブサイトからも自由に無料で入手することができます。
<http://panasonic.net/avc/oss/>

?

必要なとき

保証とアフターサービス (よくお読みください)

使いかた・お手入れ・修理などは

■ まず、お買い上げの販売店へご相談ください。

▼ お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電話 () -

お買い上げ日 年 月 日

B-CASカード番号

※ B-CAS カード番号を記入してください。

お問い合わせのときに必要な場合があります。

修理を依頼されるときは

「故障かな!?」(→232 ~ 235) でご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と下記の内容をご連絡ください。

● 製品名 ブルーレイディスクレコーダー

● 品番 DMR-BRZ2000
 DMR-BRZ1000

 お買い上げの品番に記入してください。

● 故障の状況 できるだけ具体的に

● 保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、おそれりますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

● 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※ 修理料金は次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用

部品代 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

※ 换修用性能部品の保有期間 **8年**

当社は、本製品の換修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後8年保有しています。

■ 転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。

ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

● 使いかた・お手入れなどのご相談は - - - - -

パナソニック DIGA(ディーガ) ご相談窓口 365日
受付9時~20時

電話 フリー ダイヤル  0120-878-982
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

● 修理に関するご相談は - - - - -

パナソニック 修理ご相談窓口

電話 フリー ダイヤル  0120-878-554
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

パナは キュウハチニ
イイヨ

• 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

お問い合わせのときは、診断コードをお聞きすることができます。(→232)

事前に診断コードをお控えいただくと、お問い合わせへの迅速なご対応が可能となります。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

■ 各地域の修理ご相談窓口 ※電話番号をよくお確かめの上、おかげください。

- ・地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

北海道地区	札幌	☎ (011)894-1255	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
	旭川	☎ (0166)22-3015	旭川市2条通16丁目1166
	帯広	☎ (0155)33-8478	帯広市西20条北2丁目23-3
	函館	☎ (0138)48-6630	函館市西桔梗町589-241
東北地区	青森	☎ (0172)62-0880	青森市浪岡大字浪岡字稻村262-1
	秋田	☎ (018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
	岩手	☎ (019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43
	宮城	☎ (022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
	山形	☎ (023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
	福島	☎ (024)991-9308	郡山市備前館2丁目5
	栃木	☎ (028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
首都圏地区	群馬	☎ (027)254-2075	前橋市箱田町325-1
	茨城	☎ (029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
	埼玉	☎ (048)728-8960	熊谷市宮町1丁目29番
	千葉	☎ (043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
	東京	☎ (03)5477-9700	東京都杉並区本天沼3丁目43-16
	山梨	☎ (055)222-5822	中央市山之神流通団地1-5-1
	神奈川	☎ (045)847-9720	横浜市戸塚区品濃町561-4
中部地区	新潟	☎ (025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14
	石川	☎ (076)280-6608	金沢市玉鉢2丁目266番地
	富山	☎ (076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
	福井	☎ (0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
	長野	☎ (0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
	静岡	☎ (054)287-9000	静岡市駿河区高松2丁目24-24
	愛知	☎ (052)819-0225	名古屋市瑞穂区塙入町8-10
近畿地区	岐阜	☎ (058)278-6720	岐阜市中鶴4丁目42
	三重	☎ (059)254-5520	津市久居野村町字山神421
	滋賀	☎ (077)582-5021	栗東市小柿9丁目4-10
	京都	☎ (075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
	大阪	☎ (06)7730-8888	門真市松生町1-15
	奈良	☎ (0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
	和歌山	☎ (073)475-2984	和歌山市栗栖373-4
中国地区	兵庫	☎ (078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4
	鳥取	☎ (0857)26-9695	鳥取市安長295-1
	松江	☎ (0852)23-1128	松江市平成町182番地14
	出雲	☎ (0853)21-3133	出雲市渡橋町416
	浜田	☎ (0855)22-6629	浜田市下府町327-93
	岡山	☎ (086)242-6236	岡山市北区野田3丁目20-14
	広島	☎ (082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
四国地区	山口	☎ (083)973-2720	山口市小郡下郷220-1
	香川	☎ (087)874-3110	高松市国分寺町国分359番地3
	徳島	☎ (088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
	高知	☎ (088)834-3142	高知市仲田町2-16
	愛媛	☎ (089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1
九州地区	福岡	☎ (092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
	佐賀	☎ (0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
	長崎	☎ (095)830-1658	長崎市東町1919-1
	大分	☎ (097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
	宮崎	☎ (0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
	熊本	☎ (096)367-6067	熊本市東区健軍本町12-3
沖縄地区	鹿児島	☎ (099)246-7050	鹿児島市上谷口町3128-3
	沖縄	☎ (098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。<http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html>

0514

必要なとき ?

英数字	ページ	
■ AVCHD		
再生する	74	SDカード 193 入れ方/出し方 26
取り込む	120	撮影ビデオを取り込む 120
■ AVCREC 方式	28	撮影ビデオを見る 74
■ B-CASカード		写真的再生 125
挿入する	203	写真的取り込み 129
テストする	171	フォーマット 163
番号を見る	170	プロテクト（書き込み禁止） 193
■ BD-Live	85	持ち出し番組の転送 143
BD-Live インターネット接続	179	■ SeeQVault 194
■ CATV		■ U30 230
接続する	207	■ USB-HDD
録画する	111	接続する 194
■ DNS-IP 自動取得	185	フォーマットする 195、196
■ DR モード	69	予約録画する 46
■ DR モード切り換えについて	70	■ USB 機器 197
■ DVD 画質	69	撮影ビデオを取り込む 120
■ ECO スタンバイ	182	写真的再生 125
■ FR (フレキシブルレコーディング)	69	写真的取り込み 129
■ HDD		接続する 197
取り扱い	199	持ち出し番組の転送 143
フォーマット	180	■ VR 方式 (DVDビデオレコーディング規格) 28
■ HDMI		■ Wi-Fi Direct 156
アンプと接続	211	■ 10 秒戻し 81
設定する（「HDMI接続」）	183	■ 24p 出力 88、183
テレビと接続	205	■ 30p 出力 88
■ i.LINK		■ 30秒送り 81
i.LINK (TS) 対応機器とのダビング	115	■ 3D
設定する（「i.LINK 機器モード設定」）	183	3D 奥行きコントローラー 89
■ IP アドレス /DNS/ プロキシサーバー設定	185	3D 再生時の注意表示 182
■ Irシステム		3D ディスクの再生方法 179
Irシステムを接続する	208	3D 方式設定 182
Irシステムを使ってタイマー予約する	114	再生する（映像） 84
■ MP4		再生する（写真） 125
書き出す	75	■ 4K 出力 88、183
再生する	74、75	■ 4K ダイレクトクロマアップコンバート 241
取り込む	120	



必要なとき

あ 行	ページ	か 行	ページ
■ アクトビラ		■ 画質の選択（再生時）	87
ダウンロードする	150	■ 画質変更ダビング	100
見る	149	■ カテゴリーまとめて予約	58
■ 暗証番号		■ 画面モード切換	87
BD-Video の視聴可能年齢	179	■ かんたん設置設定	219
DVD-Video の視聴制限	179	■ かんたんダビング	102
HDD 番組の視聴制限	180	■ かんたん転送	143
視聴制限（番組）	172	■ かんたんネットワーク設定	223
■ アンテナ		■ かんたん番組表	38
アンテナ電源	174	■ かんたん録画一覧	38
アンテナの調整（アンテナレベル）	173	■ 機器パスワード初期化	185
接続する	204	■ 記録方式	28
■ アンプと接続する	211	■ クイックスタート	178
■ 一括ダビング	117	■ ケーブルテレビ（CATV）	
■ 動くアルバムメーカー	138	接続する	207
■ 枝番号	42	録画する	111
■ オートサウンド連携	148	■ 検索する	62、90
■ お好みチャンネル	41	■ 高速ダビング	
■ 追っかけ再生	73	高速ダビング速度	179
■ お手入れ	198	■ 個人情報リセット	172
■ おとどけ動画設定	186	■ コマ送り／コマ戻し	82
■ お引越しダビング	116		
■ お部屋ジャンプリンク（DLNA）			
設定する	188		
操作する	154		
■ おまかせクリップ	135		
■ おまかせ録画	54		
■ おもいで再生	127		
■ 音楽			
再生する（CD）	131		
■ 音質効果	88		
■ 音声			
音質効果を設定する	88		
音声言語を切り換える（音声情報）	86		
音声を切り換える（再生時）	82		
音声を切り換える（受信時）	41		
外部入力から録画する			
（「外部入力音声設定」）	179		
記録する音声（主／副）を選ぶ			
（「二重音声記録時の音声選択」）	179		
■ 音声ガイド			
設定する（「音声ガイドの設定」）	177		

さ 行	ページ
■ サーチ	81
■ 最新ニュース	61
■ 再生する	
BDビデオ、DVDビデオ	
(市販またはレンタル)	73
音楽 (CD)	131
撮影ビデオ (AVCHD、MP4)	74
写真	125
スライドショー	127
ドアホン・センサーカメラ映像	152
番組	73
プレイリスト	75
■ 再生設定	86
■ 再生中番組の保存	108
■ 探して毎回予約	146
■ 撮影ビデオ (AVCHD、MP4)	
再生する	74
取り込む	120
■ サブメニュー	
かんたんダビング	103
写真一覧	128
番組表	49
持ち出し番組一覧	144
録画一覧 (再生)	78
録画一覧 (編集)	93
■ シーン一覧	79
■ 時間指定予約	53
■ 視聴制限	
BDビデオの視聴可能年齢を設定する	179
DVDビデオの視聴制限を設定する	179
番組の視聴制限を設定する	172
■ 自動更新録画	65
■ 字幕	
切り換える (再生時)	86
切り換える (受信時)	42
字幕設定 (再生設定)	86
字幕設定 (放送設定)	172
録画モードによる記録の違い	69

■ 写真	
書き出す	130
かんたん取込	129
再生する	125
スライドショー	127
整理する	128
送受信する	132
取り込む	129
プロジェクト	128
■ 受信アンテナ設定	173
■ 仕様	236
■ 消去する	
写真	128
写真一覧の全写真消去 (HDD)	180
全番組消去 (HDD)	180
全番組消去 (ブルーレイディスク、DVD)	165
番組	99
持ち出し番組	144
■ 詳細ダビング	
番組をダビングする	104
ファイナライズ後のディスク (DVDビデオ) をダビングする	106
■ 初期設定	177
初期化する (初期設定リセット)	178
■ 信号切換	
再生時	86
放送受信時	42
■ 信号設定	51
■ 診断コード	232
■ 新番組おまかせ録画	60
■ シンプル Wi-Fi	214
■ スカパー! プレミアムサービス	
接続する	214、215
設定する	188
録画予約する	110
■ スキップ	81
■ スタート画面	34
■ スロー再生	82
■ 節電待機	32
■ セレクトバー	39
■ 選局対象	172
■ 操作ガイド	2
■ 操作状態の表示 (情報表示)	
再生時	83
受信時	41
■ 外からどこでもスマホで視聴	5、189



必要なとき

た 行	ページ
■ 代替録画	65
■ ダウンミックス	181
■ ダウンロード	
ソフトウェア更新.....	191
番組のダウンロード.....	150
■ 他機器での再生について	31
■ 宅外リモート	
設定する	189
パソコンから本機を操作する	162
■ 他の BD 機器再生 (ファイナライズ)	166
■ 他の DVD 機器再生 (ファイナライズ)	166
■ ダビング	
i.LINK (TS) 対応機器	118
お引越しダビング	116
かんたんダビング	102
再生中番組の保存	108
詳細ダビング	104
セットトップボックスから	115
ディーガから	115
ビエラから	115
ビデオカメラから	119
ファイナライズ後のディスク (DVDビデオ) (詳細ダビング)	106
■ チャプター	97
再生・編集する	98
自動チャプター	179
■ チャプターマーク	97
■ チャンネル設定	175
■ 重複について	66
■ 通信による G ガイド受信	171
■ 続き再生メモリー機能	81
■ ディスク	
記録できるディスク	28
再生のみできるディスク	192
ディスクの選び方	30
ディスクの再生方法 (再生設定)	86
ディスクのメニュー画面	73
名前を付ける	165
フォーマット	163
プロテクト	165
■ ディモーラ	5
■ データ放送	40
■ テレビでネット	149

ドアホン・センサー・カメラ録画	ページ
再生する	152
接続する	214～216
設定する (ドアホン・センサー・カメラの 接続設定)	190
■ 同時録画再生	73
■ 同時録画について	71

な 行	ページ
■ 名前を付ける	
ディスク	165
番組	93
フォルダ	128
予約録画	53
■ 二重放送	
音声の記録について	68
記録する音声 (主/副) を選ぶ (「二重音声記録時の音声選択」)	179
■ 日時設定	177
■ ニューストピックス	61
■ ネットワーク	
かんたんネットワーク設定	223
接続する	213
設定する	184

は 行	ページ		
■ ハイビジョン画質	69	■ プロキシサーバー設定	185
■ ハイビジョン動画 (AVCHD)		■ プロテクト (書き込み禁止)	
再生する	74	SD カード	193
取り込む	120	写真	128
■ はっきり再生		ディスク	165
再生時	82	番組	93
視聴時	42	■ 編集する	
■ バックアップ		番組	93
ドアホン・センサー・カメラ	153	■ 放送設定	171
■ 早送り / 早戻し (サーチ)	81	■ 放送メール	170
■ 早見再生 (1.3倍速)	81	■ ポップアップメニュー	73
■ 番組		■ 本体表示窓の明るさ	181
再生する	73		
消去する	99		
名前を付ける	93		
プロテクト	93		
編集する	93		
■ 番組キープ	148		
■ 番組結合	94		
■ 番組追従機能	65		
■ 番組表			
枝番号表示を非表示にする (選局対象)	172		
画面の見方	45		
検索 (フリーワード、ジャンル)	62		
設定を確認する	171		
表示チャンネル数を変更する	49		
表示を変更する	48		
予約録画する	46		
■ 番組分割	95		
■ 番組持ち出し	141		
■ ビエラリンク (HDMI)			
接続する (アンプ)	211		
接続する (テレビ)	205		
操作する	146		
ビエラリンク制御	182		
ビエラリンク録画待機	182		
■ ビデオ方式 (DVDビデオ規格)	28		
■ ファイナライズ			
ファイナライズ解除	166		
他のBD/DVD機器再生 (ファイナライズ)	166		
■ フォーマット (初期化)	163		
■ 副映像	85		
■ 部分消去	94		
■ プレイリスト			
再生する (番組)	75		

ま 行	ページ
■ 毎日・毎週予約	65
設定する	50
毎日・毎週予約で録画した番組の再生 (まとめ番組の再生)	80
■ マイメニュー	157
■ マイラベル	
設定する (予約時)	51
設定する (録画一覧で)	95
■ マスタークリアードビデオコーディング	85
■ まとめ番組	80
■ ミモーラ	5
■ 無線 LAN	
接続する	216
設定する	223
■ ムーブバック (詳細ダビング)	101、104
■ メール/情報	170
■ 文字入力	167
■ 持ち出し番組	
SDカードの記録時間の目安	240
SDカードを確認・消去	145
画質を変更する (「持ち出し番組の VGA 画質」)	180
作成する (予約登録時)	142
作成する (録画後)	142
転送する	143

ら 行	ページ
■ リージョンコード / リージョン番号	192
■ リピート再生	86
■ リ・マスター	88
■ リモコン	
各部の働き	25
他機器が同時に動作するのを防ぐ (リモコンモード)	187
本機のリモコンでテレビを操作する (リモコンのテレビ操作設定)	221
■ リモコンモード	187
■ 録画中に再生する (追っかけ再生/同時録画再生)	73
■ 録画中の同時操作	228
■ 録画モード	69
変換する	96
録画モードを選ぶ	43
■ 録画モードと記録時間の目安	238

や 行	ページ
■ 野球延長対応 (番組追従)	65
■ ゆっくり / はっきり再生	
再生時	82
視聴時	42
■ 予約確認	64
■ 予約録画	
Irシステムを使って (タイマー予約)	114
重複について	66
番組表を使って	46
予約内容の確認・取り消し・修正	64
録画日時を指定して (時間指定予約)	53

?

必要なとき



パナソニックの会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください

お宅の家電情報をまとめて登録管理！エンジョイポイントをためてプレゼントに応募！

PC <http://club.panasonic.jp/>
携帯 <http://mobile.club.panasonic.jp/>



※このサービスは
WEB限定のサービスです。

●使いかた・お手入れなどのご相談は…

パナソニック 総合お客様サポートサイト

<http://www.panasonic.com/jp/support/>

パナソニック DIGA(ディガ)ご相談窓口

電話 365日 受付9時～20時

フリーダイヤル

0120-878-982

携帯・PHSOK ※携帯電話・PHSからもご利用になります。

■上記番号がご利用いただけない場合 **06-6907-1187**

■FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan

Tokyo (03)3256-5444

Osaka (06)6645-8787

Open: 9:00 - 17:30

(closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

●修理に関するご相談は…

パナソニック 修理サービスサイト

<http://club.panasonic.jp/repair/>

インターネットでのご依頼も可能です。

パナソニック 修理ご相談窓口

電話 フリー パナは イイヨ
ダイヤル **0120-878-554**

携帯・PHSOK ※携帯電話・PHSからもご利用になります。

・上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

• 有料で宅配便による引取・配送サービスも承っております。

●パナソニックスマートアプリの使いかたなど のご相談は…

パナソニック スマートアプリのご紹介サイト

<http://panasonic.jp/pss/ap/>

パソコン、スマートフォンのどちらからでもご覧になれます。

スマートフォンを使った
タッチアクセス・無線アクセス機能ご相談窓口 受付9時～20時

電話 フリー パナは ハチサンニ
ダイヤル **0120-878-832**

携帯・PHSOK ※携帯電話・PHSからもご利用になります。

ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

本機の使用中、何らかの不具合により、正常に録画・編集ができなかった場合の内容の補償、録画・編集した内容（データ）の損失、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧、放送方式が異なりますので使用できません。
This unit can not be used in foreign country as designed for Japan only.

愛情点検

長年ご使用のブルーレイディスクレコーダーの点検を！



こんな症状は
ありませんか

- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 映像や音声が出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 変形や破損した部分がある
- その他の異常や故障がある

ご使用
中止

故障や事故防止のため、
電源を切り、コンセント
から電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検を
ご相談ください。

パナソニック株式会社 ホームエンターテインメント事業部

〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号

© Panasonic Corporation 2014

SQT0345-4
F0814HS4035